

高等学校総合学科の 定着過程に関する追跡研究

平成10年度～平成12年度 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)
研究成果報告書
課題番号 10610229

2001(平成13)年3月

研究代表者 飯田浩之
(筑波大学教育学系)

は し が き

本報告書は、科学研究費補助金〔基盤研究(C)(2)〕の交付を受けて1998（平成10）年度より実施した下記の研究の報告書である。

研究課題：高等学校総合学科の定着過程に関する追跡研究
研究組織：研究代表者； 飯田浩之（筑波大学教育学系助教授）
研究協力者： 渡辺 恵（筑波大学大学院教育学研究科）
遠藤宏美（筑波大学大学院教育学研究科）
研究経費：平成10年度； 400千円
平成11年度； 500千円
平成12年度； 500千円
計 1,400千円

「総合学科」が設置されはじめたのは1994（平成6）年度からである。その後、各県において設置が進められ、2000（平成12）年度における設置の実績は、全国で144校となっている。

総合学科発足から7年、既に最初に設置された学校においては卒業生を送り出している。先発の学校においてはその実践の経験が積み重ねられ、また、後発の学校においても先発の学校の経験に学び、総合学科の運営についてのノウ・ハウも蓄積されつつある。さらに、むろん徐々にではあれ、「総合学科」の存在が中学生やその保護者、中学校の教師の間に知られつつある。その点で、全体としてみたときに「総合学科」は今や創設期を終えようとしている。

とはいえ、これは全体としてみた場合のことであり、それぞれの学校はまだ創設の途上にある。先を模索しつつ、日々の教育活動を展開している。新たな発想に基づく、新たな学科が、どのようにつくられ、それがどのような形を成していくか。それは、未だ、確定していないことである。果たして「総合学科」は、我が国の高校教育システムのなかに定着していくのか、定着していくとするならば、どのような過程でどのように……。 「総合学科」がいわゆる「普通科」「専門学科」と並ぶ第3の学科として設けられていればこそ、その定着の過程を、個々の学校において丹念に追跡することが必要となつてこよう。

本研究は、こうした問題意識の上になつて、1998（平成10）年度に茨城県で最初に総合学科を発足させた茨城県立八千代高等学校を対象に、総合学科発足の過程とその後の展開を追跡しようというものである。

研究は、学科の発足年次である1998年度から開始し、初年度は、同校に総合学科が発足するに至った契機とその後の展開を、諸資料と同校の先生へのインタビューによって調査した。また、第1期生を対象に、主として同学科に入学するに至った契機を尋ねた質問紙調査を実施した。研究2年度目の昨年度は、その後の入学生も含む生徒に対して、学校への適応状況や学科の評価に関わる調査を実施した。さらに、近隣の中学校との関係を明らかにすべく、同校に比較的多くの生徒を送っている中学校の2年生が同校を見学する機会を捉え、中学生の同校に対する評価を調査した。そして、最終年度においては、生徒に対する調査を継続し、第1期生の入学後3年間にわたる学校生活および総合学科についての受けとめ方を追跡した。また、同時に、この3年間における入学生徒の変化を明らかにした。

本報告書は、こうした一連の研究の成果を、特に生徒に対する質問紙調査に焦点をあてながら報告するものである。

茨城県立八千代高等学校には、総合学科が開設される前、同校がまだ総合選択制の学校であった頃から、高等学校改革の研究にご協力いただいている。総合学科の開設・運営という大変な状況のなかで、豊崎功校長先生、近藤隆・鈴木忠司両教頭先生、岡野満先生はじめ、同校の諸先生方に本当にお世話になっている。記して感謝申し上げる次第である。本報告が、同校の教育実践に、なにがしかのお役に立てば幸いである。

2001（平成13）年3月

研究代表者 飯田浩之

序章 研究の目的と課題，調査の概要

1．研究の目的と課題

1 - 1．研究の目的

本研究は，1998年（平成10）年度に設置された，ある総合学科を取り上げ，設置後の3年間の過程を，特に生徒との関係に焦点を当てながら追跡調査することによって，総合学科が，高校教育としてどのように位置づき，定着していくかを，個別の学校レベルにおいて明らかにしようというものである。

総合学科が，高校教育改革の一翼を担って発足したのは1994（平成6）年4月のことである。それから7年，当初，全国で7校だった総合学科設置校は，現在（2000年度）では144校となっている。同学科を設置する都道府県も，2000年度設置の長野県を最後に，すべて出揃って今日に及んでいる。

周知のように，総合学科は，「普通教育を主とする学科」「専門教育を主とする学科」に次ぐ「第3の学科（普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科）」としての発足である。「新学科」という高校教育の枠組みを大きく変える形で発足したことに，この学科の高校教育改革史上における重みが存在している。果たして，この「新学科」が，わが国の高校教育の中にどのような位置を占めていくのか。発足後数年を経た今，当然ながらそれが問われてこよう。

事実，この点に関しては，平成12年度に文部省が「総合学科の今後のあり方に関する調査研究協力者会議」を設置し，その「実態調査」を実施している。そして，総合学科で学ぶことに「満足」あるいは「ほぼ満足」している生徒が7割，既に卒業した者においては，その割合が約8割に及ぶことを明らかにしている。加えて，総合学科の特色である「自由に科目を選択し学習できること」「進路についてじっくり考えることができること」「進学にも就職にも対応できること」が，生徒や卒業生のみならず保護者や教員にも高く評価されていることも明らかにしている。総合学科は，全国的なレベルでみた場合には，ほぼ確実に定着しつつあるとされているのである。

しかし，総合学科について同時に言われていることは，総合学科内での多様化である。総合学科においては，その名の通り，幅広い教育の展開が可能である。展開可能な教育の幅が広ければ広いだけに，各学校の特色もそこに現れてくる。一言に「総合学科」といっても，そこでの教育には多様な方向が考えられ，また，実際に多様な方向に教育が展開されているのである。

さらに，総合学科について言われていることは，この多様な展開が，各学校の個別的な要因に規定される，ということである。新設校としての設置であるか，学科改編に伴う設置であるか，前身校が普通科であるか，それとも専門学科であるか……所在地が都市部であるか，周辺部であるか……各学校にはそれぞれ，その学校ならではの事情が存在している。そうした個別的な要因が，総合学科の多様な展開を規定している，というのである。つまり，総合学科にはさまざまな“変異”が存在している。そしてその“変異”は各学校の個別性に依拠している。総合学科に関しては，このような指摘もなされているのである。

そこで、もし、そうであるならば、「新学科」としての総合学科が高校教育のなかでどのような位置を占めていくかについては、より、個別的にみていく必要があると言えよう。確かに全国一律に網をかぶせて全体を捉えることも大切ではある。しかし、同時に、ある学校を取り上げ、その学校がおかれた文脈に即して、その定着の度合いをみていくことも重要である。その両者があってはじめて、この「新学科」が、わが国の高校教育にどう位置づいていくかが明らかになると考えられるのである。

さらにいま一つ、総合学科の教育の展開を把握する上で重要なのは、その過程の追跡である。総合学科は「新学科」なればこそ、そこでの教育の展開、そしてその成果の出現には、発足からの時間が関係してくるはずである。総合学科における教育は、従来の高校教育とは発想を異にしている。カリキュラムをはじめ、その組織・経営もこれまでの学科と大きく異なっている。そうした“特異”な学科がある形を成していくには、相応の時間がかかるはずである。しかも、先に述べたように、総合学科の教育は極めて振れ幅の大きなものである。可能性として様々な“変異”があり得るのが総合学科である。であればこそ、ある学校の総合学科が一つの形でもって定着して過程には、様々な紆余曲折があり得よう。そうした点で、総合学科の教育をみるためには、それが創設されてからの過程を時間を追って追跡していくことが大事なのである。

ところで、このように、個別の学校において時間を追いながら総合学科定着の過程を明らかにすることが大事だとして、その時、中心に置かなくてはならないのは、学科と生徒の関係である。

臨教審以降の教育改革が「個性重視の原則」をキー・コンセプトとして展開していることは周知の通りである。言うまでもなく、高校教育の改革も、生徒の興味・関心、資質・能力に対応することを基軸に展開している。当然ながら、総合学科の場合にも、その基軸に変わりはない。徹底した科目選択制、それを実現するための単位制、生徒の選択をサポートするための「産業社会と人間」の授業……総合学科の「総合学科」ならではの諸制度・諸組織は、学校が個々の生徒の興味・関心、資質・能力に応ずるためのものである。そしてそこでは、常に、学科として提供する教育が、個々の生徒の興味・関心、資質・能力に応じているかが問われているのである。

かくして、総合学科がこのようなものであればこそ、その定着の過程を追跡する場合にも、学科と生徒との関係が問われるべき課題となってくる。果たして総合学科は、設置後、どのような経緯を経て、どのような生徒を受け入れることになっていくのか。また、入学してきた生徒たちにどのように受けとめられていくのか。さらには、どのような生徒をどのような進路に送り出していくことになるのか。結局のところ、生徒のニーズを満たす教育を提供できるのか。生徒との関わり合いのなかで、その教育の方向を見定めていくことが必要なのである。

本研究は、このような問題意識のもとに、冒頭に述べたように、ある一つの総合学科を取り上げ、その設置後3年間の過程を、特に生徒との関係に焦点を当てながら追跡調査したものである。

1 - 2 . 研究の課題

本研究は、今も述べたように、総合学科と生徒との関係に焦点を当てた3年間の追跡研究である。学科が設置され、初年度の生徒が入学する。その生徒が1年次、2年次と学校生活を送っていく。と同時に、年度がかわれば新たに1年次生が入学してくる。そして3年後、初年度に入学した生徒はそれぞれの進路へと卒業していく。その3年間の追跡である。

本研究では、このような追跡研究であることに鑑み、生徒の入学 - 学校生活 - 卒業の3つの局面をとりあげ、次の研究課題を設定している。

< 入学の局面に関わる研究課題 >

高校側において、総合学科及びその生徒像がどこに確定されていくか。

総合学科が、中学生はもちろんのこと、その保護者や中学の教員にどのように認知・評価されていくか。また、中学校の進路指導等において、同学科がどのような扱いを受けるようになるか。

結果的に、どのような生徒が総合学科に入学してくるようになるのか。

< 学校生活の局面に関わる研究課題 >

総合学科としての諸制度、特に科目選択制がどのような形で制度化されていくか。

生徒たちは、総合学科の諸制度のもとで学ぶことをどのように意識し、それをどう受容していくか。

結果的に生徒たちは、総合学科でどのような学校生活を送っていくことになるのか。

< 卒業の局面に関わる研究課題 >

3年間の高校生活を通じて、生徒たちは、最終的に総合学科で学んだことをどのように評価することになるか。

入学後、卒業までの間に、生徒たちの進路意識はどのように変化するか。

結果的に生徒たちはどのような進路に進むこととなり、総合学科はどのような社会的機能を果たすことになるのか。

むろん、ここであげた課題は、本研究の研究期間である3年間で明らかにし得る範囲を超えている。何よりも、「定着過程」といった場合、いつ、何ををもって「定着」とするかといった問題も存在している。学校の改革自体が継続して進行していくものである以上、ある時点でもって、あるいはある事柄でもって「定着」とすることには無理がある。また、改革そのものの性格に照らしても不自然である。ここで取り上げる総合学科の「定着」も、元来、あり得るはずのない「定着」である。

したがって、本研究における上記の課題は、仮にその答が出たとしても常に仮の答でしかない。と同時に、であればこそ、これらの課題は、長期間に問い続けなくてはならないものである。

かくして、3年間という期間を区切って実際に行った研究は、上記の課題を極めて限定的に縮減したものである。つまり、実際に実施した研究は、「定着の過程」というよりも、「1期生が入学し、卒業するまでの過程」の研究である。また、その研究のスタンスについても、分析して結論を導出することよりも、過程を記述することに力点が置かれている。

さて、以上のように課題を縮減して実施した本研究であるが、同時に、いま一つ、研究の限定という点にかかわって付言しておくならば、それは課題の解明の基軸を生徒に絞り、彼らに対する調査を通して行ったことである。総合学科では、先に述べたように、生徒と学科の関係が常に問われている。「定着過程」にかかわる上記の課題も生徒に焦点づけられたものであるが、なお、それを的確に解明するためには、生徒に基軸を据えた方が得策である。期間や人員等、研究実施上の種々の制約を前提にした場合、解明の方法という点でも生徒に中心を置いた方がベターである。そうした判断から、生徒を基軸に、彼らに対する調査を主として研究を進行させることにしたのである。

かくして、本研究では、ある総合学科の1期生、2期生、3期生を取り上げて研究を進めている。1期生に焦点を当てれば、1年次から3年次までの学校生活をトレースすることが可能である。また、総合学科の総括的な評価を求めたり、進路とその形成を問うたりすることも可能である。一方、1期生から3期生までの1年次に焦点をあてれば、入学生徒の態様の変化を追うことが可能である。本研究では、このような考え方のもとに、生徒を中心にしながら、当該の総合学科の3年間を追跡し続けたのである。

2. 研究対象校 - 茨城県立八千代高等学校総合学科 - の概略

本研究で取り上げたのは、茨城県立八千代高等学校である。同校は、県下初の総合学科を1998（平成10）年4月に発足させている。

以下、同校（学科）の概略を記しておこう。

以下の「概略」については、主に、同校の教諭である岡野満氏による次の論稿に依っている。

岡野満「事例報告 - 改革の軌跡、茨城県立八千代高等学校 - 」高等学校の特色ある学科等研究会『文部省高等学校教育多様化実践研究委嘱報告書 特色ある学科・コースの調査分析』平成11年3月

まず、第一に、同校の立地である。同校は、茨城県西南部に位置する人口約25,000人の町、茨城県結城郡八千代町に所在している。農村地帯の一角にある同校は、決して交通の便がよいとはいえない地にあり、生徒のほとんどが自転車通学である。そのため、総合学科として全県から生徒を募集しているものの、実際には生徒のほとんどが八千代町あるいはその周囲からの通学である。

次いで、同校の歴史についてである。同校は、八千代町とそれに隣接する三和町が積極的に誘致することによって1976（昭和51）年に創設されている。当時の名称は、茨城県立北総高等学校、設置学科は普通科である。当初は、1学年6学級270名であったが、その後、表1に示すように高校進学者の増加に対応して学級増がなされ、1989（平成元）年度には1学年9学級423名にまで定員が増えている。

しかし、それとともにさまざまな特性をもつ生徒が入学してくるようになり、同校は、生徒の学習意欲の点で、また生活指導の点で問題を抱えたとのことである。中退者も少なくなり、学校として指導上の困難にも直面したのがこの時期だったようである。そうした事情もあり、志願倍率は低迷、定員割を起こす年度も出てきたのであるが、こうした状況を打破すべく始まったのが、同校の改革である。

同校の改革のまず第一歩は、総合選択制の導入である。1991（平成3）年7月、同校に「ビジョン委員会」が設置されている。この委員会でもって、同校の改革が検討され、実現に向けて準備されていったのであるが、その結果、1994（平成6）年度から「総合選択制」が導入されている。ちなみに、同校の総合選択制は、表2に示す4つのコースからなっている。また、コースを超えた科目の履修を認めたり、自由選択科目を設けるなどして、選択履修の幅が拡大されている。

なお、この改革にあわせて北総高校から八千代高校への校名変更が行われている。この背景には、ともに高校の誘致にかかわった隣接の三和町に新たに高校が新設されたという事情もあったようである。つまり、北総高校はそれによりいわば“八千代町のもの”となり、校名に「八千代」の名を冠することができるようになったという訳である。

表 1 八千代高校生徒の動静

入学年度	学級数	定員数	志願者数	志願倍率	備考	
1976	昭和51	6	270	316	1.17	
1977	昭和52	"	"	301	1.11	
1978	昭和53	"	"	285	1.06	
1979	昭和54	"	"	290	1.07	
1980	昭和55	"	"	322	1.19	
1981	昭和56	"	"	278	1.03	
1982	昭和57	"	"	271	1.00	
1983	昭和58	8	376	381	1.01	
1984	昭和59	"	"	407	1.08	
1985	昭和60	"	"	398	1.06	
1986	昭和61	"	"	380	1.01	
1987	昭和62	"	"	404	1.07	推薦入学導入
1988	昭和63	"	"	402	1.07	
1989	平成元	9	423	489	1.16	
1990	平成2	8	376	372	0.99	
1991	平成3	"	360	278	0.77	
1992	平成4	6	270	258	0.96	
1993	平成5	5	220	249	1.13	
1994	平成6	"	210	230	1.10	総合選択制導入
1995	平成7	"	200	222	1.11	
1996	平成8	"	"	210	1.05	
1997	平成9	"	"	239	1.20	
1998	平成10	"	"	214	1.07	総合学科に改編
1999	平成11	"	"	284	1.42	

表 2 八千代高校総合選択制 コース設定

コース名	概要
アカデミーコース	文系 幅広い学習を通して大学・短大・専門学校への進学を目標とする。
	体育系 体育的な知識・技術を習得させ、将来、指導的立場に立ち得る力を持った、生涯体育を实践する人材を育成する。
ヒューマニティーコース	高齢化社会に対応し、社会福祉に関する知識・技術を習得させ、社会福祉施設などにおいてサービス業務に従事する能力を育成する。
テクニカルコース	自動車整備を中心として、工業に関する知識・技能を習得させ、車社会に対応できる産業人を育成する。
ビジネスコース	OA機器を活用し、情報処理に関する知識・技能を習得させ、資格取得を目指し、情報化社会に対応する人材を育成する。

さて、校名も変更し、総合選択制として再スタートをきった八千代高等学校であるが、これでもって改革を終わらせることがなかったのが同校である。同校は、総合選択制の第1回生が卒業年度を迎えたのを契機に、再度、改革への道を歩み始める。1996(平成8)年4月には、総合選択制の教育課程のさらなる改善に向けて、その検討が「総合選択制推進委員会」ではじめられる。同委員会では、そのなかに「教育課程小委員会」を設け、総合選択制の成果と問題点の整理に着手する。

その整理に基づきつつ、同校は、次のステップへの準備を始めたのである。

ところで、同校は、その後、この小委員会で整理された総合選択制の成果・問題点を踏まえて総合学科へと改編されていくことになるのであるが、この小委員会が整理した成果と問題点は、そのまま、同校が総合学科へと改編される必然を示している。以下、それを列挙しておこう。

* 総合選択制の成果

目的意識をもつ入学生が増加し、学校の活性化につながり退学者が激減した。

多様な教科・科目の開設により、主体的な学習意欲が高まった。

生徒募集での定員割れがなくなった。

上級学校進学者が増加した。

* 総合選択制の問題点

コースの希望に片寄りがあり、生徒の希望を生かすのが難しい。

アカデミーコース体育系の2年次からのクラス編成を検討する必要がある。

自由選択科目の希望に片寄りが出始めた。

クラス編成においてコースによる男女の片寄りがあり、学校行事等の実施方法が難しい。

職業科目を充実する必要がある。

普通科のため専門科目の履修に制限があり、資格取得に無理を生じる。

ガイダンスの充実が難しい（LHRがガイダンスに使用され、クラス独自のホームルーム展開ができない）。

出口の問題（推薦入学等の枠がない）

その他

- ・ 時間割編成の複雑化 / 成績処理の複雑化 / 指導要録記入の複雑化 / 出張等により時間割の変更が困難

かくして、こうした検討のなかから浮上してきたのが、総合学科への学科改編である。折から1994（平成6年）4月には全国で7つの総合学科がスタートし、総合学科への関心が高まっていた。総合学科は、上記の成果を踏まえ、かつ問題点を解決するための有効な方策である。「教育課程小委員会」では、こうした見通しに基づいて、総合学科についての研究をはじめ、そこから得た知見をもとに、職員会議に「総合学科への学科改編」を提案するに至ったのである。

同校の「総合学科への改編」が職員会議で了承されたのは、1996（平成8年）10月である。ちなみに、これより少し前、1995（平成7年）2月に茨城県高等学校審議会は、審議のまとめ「総合学科について」を報告している。同校は、総合学科の設置が県の方針として打ち出されていることを積極的に受けとめ、「総合学科への改編」を決定、県の教育委員会への働きかけを開始したのである。

職員会議での決定を受け、同校から県教育委員会に対して「総合学科への学科改編について」の要望書が出されたのは、1996（平成8年）10月18日である。その後、同年、12月20日には、県教育委員会の決定を受けて、学校長から職員会議で、「総合学科への学科改編内定」の発表がなされている。そして、そこから、平成10年4月の総合学科スタートに向けての同校の準備が始まったのである。

翌1997年は、まさに総合学科開設に向けての準備に明け暮れた年だったようである。まず、「総

合選択制推進委員会」を発展的に解消して「総合学科推進委員会」が設けられている。さらにこの委員会は、内部に「総合学科小委員会」を設け、「総合学科」なるものについての研究を開始している。職員全員が先進校を視察し、その報告会を通して職員全員が研修を重ねるといったことが行われたのもこの時期のようである。1997（平成9）年2月には、総合学科の総合的な企画・運営を行う委員会として、「総合学科企画委員会」が設置されている。学校長とそうした委員会を中心にしながら、次第に「八千代高校総合学科」はその骨格を成してくる。そして、1997（平成9）年11月27日付「茨城県報号外第171号 茨城県教育委員会規則を改正する規則」に八千代高校の総合学科への改編が正式に公示され、翌4月1日のスタートを迎えたのである。

以上、八千代高校総合学科が発足するまでの過程の概要を記してきた。では、そうして発足した八千代高校総合学科は、どのような総合学科であるのか。以下、学科の概要を記しておく。

*定員：1学年200人

*教職員数：67

*教育課程および教育指導の特徴

1. 6つの系列（表3）
2. 幅広い選択科目：16教科129科目（学校設定科目を含む）
3. 生徒の選択を最優先する時間割設定（“群”を設けずに、聴取した生徒の希望をもとに時間割を作成）
4. 「ライフプラン」（自分自身の将来設計）、「サクセスプラン」（自分自身の科目選択プラン）の作成を含む「産業社会と人間」の授業
5. カウンセリング・ウィークを設けての科目選択指導
6. 資格取得への対応（介護福祉士国家試験受験資格／ホームヘルパー2級、3級自動車整備士／溶接（ガス・アーク）／簿記、情報処理、ワープロ、危険物取扱者など）

なお、卒業生の進路であるが、総合選択制当時の状況では、年度によって変動があるものの、およそ3割が進学、7割が就職である。進学先は、半数以上が専門学校となっている。

表3 八千代高等学校総合学科 系列設定

系列	概要
人文科学系列	文学，語学，歴史など人文科学に関することを中心に学習する。
自然科学系列	数学，理科など自然科学に関することを中心に学習する。
健康体育系列	スポーツや健康づくりに関することを中心に学習する。生涯体育，スポーツインストラクター等を目指す人材を育てる。
社会福祉系列	健康で快適な家庭生活のあり方や福祉に関することを中心に学習する。介護福祉士の受験資格やホームヘルパー2級の資格が得られる。
自動車工業系列	自動車の構造と機能に関する知識と技能を知識に学習する。自動車整備3級の受験資格（実技試験免除）が得られる。
流通経済系列	商業，流通，情報処理などに関することを中心に学習する。情報処理や簿記会計の資格が得られる。

3. 本研究における調査の概要

本研究では、先に記した研究課題の解明を行うために、県の高校教育関連資料（高等学校審議会報告など）、八千代高校関連資料（学校要覧／学校説明会配布資料／雑誌等における紹介記事など）、八千代第一中学校「八千代高校見学会」関連資料（「見学会のしおり」／生徒の感想など）等の資料収集、関係者に対するインタビュー調査を行った。また、同時に、八千代高校の生徒等を対象にした以下の質問紙調査を行った。本報告は、この質問紙調査を中心にした結果の報告である。

調査の名称	調査対象	実施	有効回答者数	調査方法	
八千代高校 生徒調査	第1回	1期生（1年次）	1998年9月	193	学級における集団記入
	第2回	2期生（1年次）	2000年1月	176	〃
		1期生（2年次）		176	〃
	第3回	3期生（1年次）	2000年11月	192	〃
		2期生（2年次）		178	〃
		1期生（3年次）		153	〃
八千代第一中学生徒調査	2年生	2000年2月	204	〃	

なお、調査の時期であるが、第1回調査においては、入学時にかかわる事柄を中心に質問するために、夏休み明けの9月に実施した。第2回調査は、1年次生に対して科目選択にかかわる質問を行うために、それが終了する時点を待って年明けに実施した。第3回調査については、3年次生について進路の見通しがつき、また、この3年間を評価できるような立場になる時期を選び、11月に実施した。この点が、結果をある程度左右していることも考えられるが、各回の調査の実施時期がずれているのは、このような事情があつてのことである。調査に関しては、単純集計結果と、第1回から第3回の調査項目についての対照表を巻末の付録に掲載しておいた。

また、八千代第一中学校の生徒を対象にした調査は、同中学校が2年生を対象に行った「高校体験学習」に基づいている。すなわち、同中学校は、2000（平成12）年1月31日に進路学習の一環として「高校体験学習」を実施、2年生に八千代高等学校の見学をさせている。この調査は、「高校体験学習」から数日後に、見学会に出席した生徒を対象に実施したものである。なお、この調査に関しても、単純集計結果を巻末に掲載しておいた。

4. 本報告書の構成

4つの章から構成される本報告書の内容は、以下の通りである。

まず、第1章では、総合学科設置後の3年間における入学生徒の変化の分析を行っている。同時に、1年次の時点でもって、生徒たちがどのような学校生活を送り、総合学科で学ぶことをどのように受けとめ、進路等にどのような見通しをもっているかの分析も行っている。

第2章では、1期生の入学後、3年間の軌跡を、その学校生活と総合学科についての受けとめ方において分析している。加えて、彼らはどのような中学生であったのか、八千代高校総合学科の受験にどのように対応し、合格・入学をどのように受けとめたのかにも触れている。また、彼らが3年間を総括して下した総合学科の評価に関する分析も行っている。

第3章では、設立後、3年目を迎えた同校の現状を、生徒の学校生活や総合学科についての受け

とめ方に焦点を当て、全体的に、また、学年別に分析している。

第4章は、八千代第一中学校2年生からみた八千代高校総合学科の分析である。八千代高校見学会をどのように受けとめたか、見学会を通じて、八千代高校総合学科についてどのような感想をもったか、どのような中学生が同学科を希望しているかなどを分析の俎上に上げている。

以上の4章の報告は、「分析」と言いながらもデータそのものに即しての「報告」＝「記述」である。その点で、今後、視点を定めての「分析」が必要となる。また、ここでは、学校・学科の動きと切り離して彼らの生活や意識を取り上げている。その点で、今後、学校・学科づくりの過程との関係づけを行う必要がある。諸資料との関連で言えば、これらの結果に学校レベルの資料やインタビュー調査を重ね合わせてみるという課題が残されている。また、先にも述べたように、八千代高校の姿が変化し続けている以上、今後の追跡も不可欠である。本報告は、八千代高校総合学科の3年間を、とりあえず生徒に着目しつつ整理したものと受けとめていただければ幸いである。

第1章 設置後3年間における入学生徒の変化

学校の段階・種別に関わらず、入学してくる生徒がどのような生徒であるかは、その学校の教育活動を大きく左右する要因である。各学校の教育活動は、入学してくる生徒に合わせて展開されるのであって、その点で彼らの態様は極めて重要な意味をもっている。このように、ただでさえ重要な入学生徒の態様である。新設の学科であれば、なおのこと、この点が重要となつてこよう。しかも、新設の学科の場合、極端に言えば、年々、その評価や位置づけが変わっていく。したがって、入学してくる生徒の態様も、毎年、同じではない。それが変化することも十分に考えられる。

八千代高校総合学科は、既に設置後3年がたち、3期生を受け入れている。思うに、初年度と2年度、3年度では、同学科の評価や位置づけも変わってきている。であれば、1期生から3期生まで、同学科が受け入れてきた入学生徒についても、何らかの変化があったと予想されよう。果たして、同学科の入学生徒は、第1期から第3期にかけて変化したのか、しなかったのか。したとすれば、どのような変化なのか。ここでは、1期生から3期生まで各1年次の調査の結果をもとに、入学生徒の態様の变化を追跡してみることにする。

1. プロフィールにみる変化

まずは、入学生徒のプロフィールについてである。

表1-1は、1期生から3期生までの性別と保護者の就業状況をみたものである。性別では、第1期と第2期は、男子が5割半、女子が4割半程度であったものが、第3期になってその割合が逆転している。第3期でもって女子が大きく増加したのである。保護者の就業状況については、勤労形態ではほとんど変化はない。「父不在」の категорияに变化があったように見えるが、これは質問の方法を変えたためである。具体的な仕事に関しては、「自動車の運転手や工員など技能・作業的な仕事」が減少し、「大工や左官など、職人的な技術を生かした仕事」がやや増加している。「管理的な仕事」も第3期になってやや増えている。しかし、これをもって入学生徒の社会的背景が変化したとは言い難い。

八千代高校総合学科の入学者選抜では、推薦入試でもって全体の定員の約40%を入学させている。1期生から3期生までの一般・推薦入試入学者の割合は、表1-2に示したとおりである。当然ながら推薦入試合格者は「約40%」であるが、厳密に40%ではなく、第2期、第3期と若干、増加傾向にある。

表1-1 入学生徒のプロフィール
(入学年別)

		(%)		
		1期生 1年次 (N=193)	2期生 1年次 (N=176)	3期生 1年次 (N=192)
性別	1. 男	58.0	55.7	43.8
	2. 女	42.0	43.8	54.7
	無回答	0.0	0.6	1.6
保護者(父) 勤労形態・職	1. 会社等勤務	68.9	71.6	71.4
	2. 自営	25.4	26.7	26.6
	3. 父不在	3.6		
	無回答	2.1	1.7	2.1
	1. 事務職	6.2	10.2	8.9
	2. 管理職	4.7	2.3	9.4
	3. 労務職	48.2	39.8	37.0
	4. 技術職	5.2	5.7	3.1
	5. 技能職	9.8	10.2	16.7
	6. 販売職	3.6	5.7	5.7
	7. サービス職	1.0	3.4	2.1
8. 専門職	0.0	1.1	1.6	
9. 農業等	8.3	8.5	9.9	
10. その他	6.7	1.7	1.6	
11. 父親不在	3.6			
無回答	2.6	11.4	4.2	

表1 - 2 推薦・一般入試入学の別

	(入学年別) (%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 推薦入試	40.9	43.2	45.3
2. 一般入試	59.1	56.8	54.7
無回答	0.0	0.0	0.0

表1 - 3 出身中学所在地(入学年別)

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 八千代町	44.6	43.8	37.0
2. 八千代町のまわりの市町村	52.3	52.8	57.3
3. 上の1と2を除く、第5学区の市町村	3.1	1.1	0.5
4. 第5学区以外の市町村	0.0	1.1	0.5
無回答	0.0	0.0	4.7

2. 入学生徒の中学時代にみる変化

2 - 1. 出身中学の変化

表1 - 3は、出身中学の所在地である。1期生から3期生までを大つかみにしてみれば、八千代町内が全体の4割前後、その周囲の市町村が5割～6割、そのほかはわずかというのが、入学生徒の出身中学所在地である。

1期生から3期生までの変化を追ってみると、1期生と2期生の出身中学所在地はほとんど変わらないが、3期生において、5ポイント程、八千代町内が減り、その分、周囲の市町村が増えている。先に推薦入試合格者の割合が増えたことを指摘したが、あるいはそのことと関係があるのかもしれない。八千代町とその周囲の市町村を除く第5学区の中学がやや減少気味ではあるが、もともと人数が少なく、この傾向が確かなものであるとは言い難い。

八千代高校総合学科は全県を学区とする学科である。広域に生徒を募ることが制度上、可能となっている。しかし、実際には交通の便の悪さから、生徒の出身中学は、八千代町とその周りの市町村に集まっている。3期生での変化は、地元内での広域化である。生徒の出身中学の広がり、入学してくる生徒の質にも関係してくる。その点で、今後の変化が注目される。

2 - 2. 中学時代の学業成績と役員経験にみる変化

(1) 学業成績

周知のように、高等学校は入学生徒の中学時代の学業成績によって序列化されている。その序列が規範化して、中学生の進路選択を規定し、さらには高等学校における教育活動、学校文化、生徒文化、生徒たちの進路形成をも左右している。したがって、学校はもとより人々の関心事は、否応なく、入学生徒の学業成績に集中する。

八千代高校総合学科は、茨城県で初の総合学科である。ただでさえ人々の関心をひく入学生徒の学業成績である。それが県初の総合学科とあれば、尚更であろう。総合学科として八千代高校には、どのような成績の生徒が入学してくることになるのか。新しい学科であればこそ、その社会的な評価が定まるまで、入学してくる生徒の学業成績が変化することもあり得よう。さらに長期的に見れば、八千代高校総合学科は、成績上、どのような位置にいる生徒が入学する学科として定着するのか。発足後3年間だけの調査では長期的な見通しまで立てることは不可能であるが、とりあえず、1期生から3期生に至る動きを追跡してみよう。

表1 - 4は、第1期から第3期までの生徒に、中学時代の自分の成績が学年でどのくらいの位置にあったかを自己評価してもらった結果である。むろん、自己評価は実際の成績とは異なっている。自己評価は主観

的であり、事実ではない。事実を追跡するためには実際の成績を用いなければならないのであるが、この種の調査でそれを行うことは不可能なので、ここではこの自己評価でみてみよう。

表をみると、八千代高校に入学してくる生徒の中心は、中学校で学年の「まん中ぐらい」あるいは「少し、下の方」に位置していた生徒である。両方を合わせると、年次によって変化をしてきているが、全体の7～8割がこの位置である。逆に「上の方」という生徒は、あまり多くない。

1期生から3期生まで、入学生徒の学業成績には変化が認められる。まず、1期生と2期生との間では目立って上昇している。具体的には、「かなり下の方」「少し下の方」が減少し、「少し上の方」が大幅に増加している。それに比べて2期生と3期生との間の変化は微妙である。「かなり上の方」が若干、上昇するかわりに、「少し、上の方」が減少、「まんなかぐらい」がふくらんでいる。設置後3年間をみると、初年度から2年度にかけて全体的に入学生徒の学業成績の上昇が認められる。2年度から3年度にかけては、「上の方」という生徒と「まんなかぐらい」という生徒にやや分かれる傾向が現れている。果たして、この先、八千代高校総合学科が、どのくらいの学業成績の生徒を集めることになっていくのか、学科の社会的評価の変化とともに、なお、追跡が必要であろう。

(2) 役員経験

表1-5は、第1期から第3期までの入学生徒の中学時代における役員経験である。これをみると役員の種類によって違いはあるが、2～3割の経験率である。ただ、この点に関しては、1期生から3期生までの間の変化が大きい。すなわち、明らかに1期生よりも2期生において、そして2期生よりも3期生において、中学時代、生徒会等の役員を経験した者の割合が増えている。特に、第1期から第2期にかけては、「部の役員」を経験した者の増加が著しい。第2期から第3期にかけては、「クラスの役員」「生徒会の役員」の経験者が増加している。次第に、中学時代、リーダー的であった生徒が同学科に入ってきているのである。むろん、こうした役員を経験者は、増えたといっても全体の3割程度である。しかし、こうした生徒が増えていくことによって、学校・学科の雰囲気も変わってくるものと思われる。なお、3つの役員のうち、どれか一つでも経験したことがあるという生徒の割合は、第1期では42.0%、第2期では47.7%、第3期では55.7%である。役員経験のある入学生徒の増加は、この数字にも現れている。

表1-5 中学時代の役員経験（入学年別）

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
A. 生徒会執行部の役員や委員会の委員長、副委員長	25.9	25.0	30.2
B. クラスの役員（代表）	18.7	19.9	30.7
C. 部の役員	15.5	22.7	23.4

2 - 3 . 中学時代の自己像に関する変化

本調査研究では、入学生徒に、彼らが中学時代にどのような生徒であったかを自己評価してもらっている。表1 - 6は、1期生から3期生までのその結果である。八千代高校総合学科に入学してくる生徒は、設置後3年で、変化してきているのであろうか。

1期生から3期生までを通して見て取れる自己像は、概して自分の志向・選好を中心に生活を送ってきた者というイメージである。「教科によって勉強の好き嫌いが大きかった」り、「選択教科の授業が好きだった」り、「教科によって勉強の出来・不出来が大きかった」り、「趣味に夢中になった」りした生徒が多くなっている。逆に、「日頃の授業に熱心に取り組んだ」り、「先生たちのウケがよかった」り、「受験勉強をがんばった」りした生徒は少なくなっている。

表1 - 6 中学時代の自己像（入学年別）

	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 日頃の授業に熱心に取り組んだ。	60.6	58.0	68.2
2. 受験勉強をがんばった。	52.3	51.1	47.9
3. 選択教科の授業が好きだった。	81.3	79.0	76.6
4. 教科によって勉強の好き嫌いが大きかった。	81.9	84.1	83.9
5. 教科によって勉強の出来・不出来が大きかった。	76.7	85.8	79.7
6. 運動関係の部(クラブ)活動をがんばった。	65.3	70.5	63.6
7. 文化関係の部(クラブ)活動をがんばった。	34.7	21.0	27.6
8. クラスの活動や生徒会活動に熱心だった	65.8	65.9	70.8
9. 校外のコンクールや大会などで賞をとった。	33.7	43.8	55.7
10. 技能検定で級や段をとった。	39.4	50.0	53.6
11. ボランティアなど社会のために活動した。	26.9	32.4	40.1
12. 趣味に夢中になった	72.5	73.9	70.8
13. 校外の遊び場でよく遊んだ。	43.0	51.7	54.2
14. 先生たちのウケがよかった。	43.0	48.3	53.1

注)「あてはまる」「まああてはまる」の合計

さて、1期生から3期生にかけての変化であるが、表をみると、その姿は予想以上に大きく変わってきている。第1期から第3期まで一貫して増え続けているのは、中学校で正規のカリキュラムを超えて活動した生徒である。「校外のコンクールや大会などで賞をとった」「技能検定で級や段をとった」「ボランティアなど社会のために活動した」といった項目で、「あてはまる」という生徒の割合が増えている。目下、中学では、社会体験を重視する教育が行われている。したがって、この変化も、八千代高校総合学科に限られないかもしれない。中学卒業生全体に見て取れる変化である可能性も残されている。この点、これが同学科のみの傾向であることを確かめるためには、他の学校・学科との比較が必要である。しかし、とはいうものの、先にみたように、設置後3年間、入学生徒の学業成績は上昇傾向である。役員経験のある生徒も急速に増えている。その点も合わせ考えると、八千代高校総合学科に入学してくる生徒には、諸活動に活発な生徒が多くなってきていると言ってよいものと思われる。ちなみに、このように入学生徒が活発化する傾向は「遊び」の面にも現れており、「校外の遊び場でよく遊んだ」という生徒の割合も、1期生から徐々に増えている。このように、1期生から3期生へと、各方面に活発な生徒が入学してくるようになったのが、調査結果に窺える変化の一つである。

二つ目の変化は、特に2期生から3期生にかけて、中学校で日常的に一生懸命勉強した生徒が入学するようになってきたことである。「日頃の授業に熱心に取り組んだ」という生徒の割合は、2期生と3期生では1割ほど違っている。「先生たちのウケがよかった」という生徒の割合も、1期生から引き続き上昇している。逆に、「受験勉強をがんばった」という生徒の割合は減少傾向である。このようにしてみると、八千代高校総合学科には、徐々に日常の学校生活を重視する生徒が入学するようになってきているように思われる。

三つ目の変化は、部活動経験に関わる変化である。第1期から第2期にかけて、「文化関係の部活動ががんばった」という生徒の割合が減り、逆に「運動関係の部活動ががんばった」という生徒が増えている。しかし、この傾向は3期生になると逆転する。再び、「文化関係の部活動ががんばった」という生徒の割合が増え、「運動関係の部活動ががんばった」という生徒の割合が減っている。何故に、このような動きを示したのかわからないが、部活動経験の上でも入学してくる生徒に何らかの変化があったことが窺える。

3. 受験・入学に対する意識・構えの変化

新たな学科のスタート - 八千代高校の場合、総合選択制から総合学科への転換 - は、中学生の高校選択に新たな要素を付け加えたはずである。特に、1期生の場合には、この要素がより大きな意味をもったはずである。「新しい学科であればこそ」、「総合学科になればこそ」、八千代高校を選び受験した生徒が、少なからずいて不思議はない。

しかし、「新しい学科」の「新しさ」は、時間とともに失せていく。「総合学科」になったことも、その評価が定まるとともに、特殊なことではなくなっていく。

果たして、八千代高校の総合学科としての再スタートは、同学科への入学を目指した生徒たちに、どのように受けとめられたであろうか。その受けとめ方は、1期生から3期生までに、どのように変化したであろうか。

3-1. 受験・入学時における意識の変化

(1) 「総合学科」であることの意味

表1-7は、第1期から第3期までの生徒に、「八千代高校が『総合学科』であることが、どのくらい受験の契機となったか」を尋ねた結果である。これをみると、1期生の場合には、全体の4分の1の生徒において「大きなきっかけとなり」(26.4%)、半分の生徒において「まあ、きっかけとなっ」ていた(48.2%)。きっかけとしての大小はともかく、かなりの割合の生徒にとって八千代高校の「総合学科」転換は、高校選びの契機をなしていたのである。

では、2期生、3期生ではどうか。むろん、この転換が、かなりの割合の生徒の高校選びに意味をもったことに変わりはない。しかし、表をよく見ると、1期生から2期生、そして3期生と、「まあ、きっかけとなった」とする生徒の割合が減少し、その分「あまり、きっかけにならなかった」「まったく、きっかけにな

表1-7 「総合学科」であることを契機とした受験(入学年別)

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 大きなきっかけとなった。	26.4	24.4	25.0
2. まあ、きっかけとなった。	48.2	46.0	41.1
3. あまり、きっかけにならなかった。	18.1	15.3	22.4
4. まったく、きっかけにならなかった。	7.3	14.2	11.5
無回答	0.0	0.0	0.0

らなかつた」とする生徒の割合が増えていることがわかる。「総合学科」であることは、徐々に、高校選びの契機になりにくくなっているのである。

もっとも、この点について若干、補足しておけば、第1期の生徒から第3期の生徒まで、八千代高校が総合学科であることが「大きなきっかけとなった」という生徒の割合はほとんど変わっていない。設置後の3

年間を通じて25%程度であり、4分の1の生徒は、「総合学科であること」を大きな契機として八千代高校に入学してきているのである。高校選びにおいて八千代高校が総合学科であることのもつ意味は、全体的には、設置後徐々に薄れつつある。しかし、そのなかで、八千代高校が総合学科であることは、ある一定の割合の生徒をひきつけ続けている。第1期から第3期までの生徒の高校選びを比べると、このような現状が浮き彫りになるのである。

ところで、このような入学生徒についての3年間の変化であるが、これと類似した変化が、若干ではあるが、「受験時に八千代高校が総合学科であることに魅力を感じたかどうか」においても見て取れる。表1-8が、この点についての調査の結果である。1期生から3期生まで大つかみに結果をみれば、「たいへん、魅力を感じていた」生徒が2割程度、「まあ魅力を感じていた」生徒が5割程度、合わせて7割程度の生徒が、受験時に「総合学科」としての八千代高校に惹かれている。結果の大要はその通りなのであるが、より詳細に結果をみると、3年間の間に「まあ、魅力を感じていた」生徒が徐々に減少してきている。そしてそのかわりに、一方では「たいへん、魅力を感じていた」生徒が、他方では「あまり、魅力を感じていなかった」生徒あるいは「まったく、魅力を感じていなかった」生徒が増えつつある。つまり、第1期から第3期の間で、「総合学科」としての八千代高校に関しては、それに惹か

表1-8 八千代高校総合学科に感じた魅力の強さ（入学年別）

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. たいへん、魅力を感じていた。	17.6	19.9	20.3
2. まあ、魅力を感じていた。	50.8	49.4	45.3
3. あまり、魅力を感じていなかった。	24.4	19.9	24.5
4. まったく、魅力を感じていなかった。	6.7	10.8	9.9
無回答	0.5	0.0	0.0

れる生徒が増える一方で、逆に惹かれない生徒も増えるといった具合に、その評価が両極に分かれる傾向が生まれだしているのである。果たしてこうした傾向が、今後、大きくなっていくのかどうか、なお追跡が必要であると言えよう。

(2) 八千代高校総合学科に感じる魅力

次に、1期生から3期生まで、生徒たちが八千代高校のどこに惹かれて受験したかについても見ておこう。生徒たちのみる八千代高校の魅力には、第1期から第3期まで、変化があったのか。

表1-9は、受験を決めた時に八千代高校のどこに惹かれたかを尋ねた結果である。まず、全体としてであるが、一つには、総合学科の特徴である「選択科目制」にひかれたとする生徒が多くなっている。「自分自身でつくる自分の時間割」、「選択科目の数の多さ」、「選択科目の内容」、「6つの系列から選べること」については、各年次生とも6割を超える生徒が「ひかれた」と答えている。二つには、自身の進路形成上のメリットである。具体的には、「とれそうな資格」と「就職の有利さ」について、どの年次においても「ひかれた」とする生徒の割合が6割を超えている。

次いで1期生から3期生にかけての変化であるが、表に示された結果をみてまず気づかされるのは、多くの項目において2期生において「ひかれた」とする生徒の割合が低くなっている点である。1期生から3期生までを比較して「ひかれた」とする生徒の割合が最も高くなっている項目は、1期生と3期生が15項目中6項目、それが2期生の場合には3項目である。むろん、1期生から3期生への変化自体、あまり大きなものではなく、断言はできないのであるが、どちらかと言えば2期生は、多少醒め気味に「総合学科」を捉えて入学してきているように思われる。ちなみに、特に2期生において「ひかれた」とする生徒の割合が低

くなっている項目は、「部活動の実績」と「将来の進路を入学後に考えられるゆとり」「『地元の学校』と

表1 - 9 八千代高校総合学科にひかれるもの（入学年別）

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 選択科目の数の多さ	72.0	68.2	71.3
2. 選択科目の内容	65.3	65.9	68.2
3. 自分自身でつくる自分の時間割	83.9	84.7	84.3
4. 6つの系列から選べること	73.6	69.3	68.2
5. 「産業社会と人間」など、総合学科独自の科目	18.7	18.8	21.3
6. 体験的な学習を取り入れた授業	52.8	48.3	51.5
7. 部活動の実績	18.1	12.5	20.3
8. 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	53.9	44.9	53.1
9. 就職における有利さ	69.9	68.2	70.3
10. 大学進学における有利さ	31.6	29.5	29.7
11. とれそつな資格	82.4	79.5	84.9
12. 施設や設備の充実度	48.2	59.7	57.3
13. 推薦入試による生徒の募集	39.4	36.9	44.2
14. 通学の便利さ	53.9	54.5	51.5
15. 「地元の学校」としての身近さ	48.2	43.8	48.0

注)「とてもひかれた」「まあひかれた」の合計

しての身近さ」である。なぜ、このような項目において違いが出たのがはわからないが、ともあれ、2期生に若干特異な傾向が認められる。

とは言うものの、基本的には1期生から3期生まで、「ひかれた」とすることがらについてはそんなに大きな変化はない。大体、同じような目でもって八千代高校を見て、それを受験校として選び、入学してきているのである。

3 - 2 . 受験・入学の経緯にみる変化

(1) 受験決定の主体と時期

表1 - 10は、八千代高校総合学科受験を決めたのが生徒自身なのかどうかを尋ねた結果である。これをみると、1期生から3期生まで、全体の3分の2程度の生徒が「自分の判断」で同学科を選択、受験していることがわかる。「変化」という点では、第1期から第2期にかけて、「自分の判断」で決めたという生徒が増えている。1期生の場合には、新規に発足する学科ということもあり、おそらく周囲から種々、言われることも多かったのであろう。それが2期生では、そうした介入が少なくなるためか、自分自身で受験を決断する生徒が増えたのである。しかし、3期生になると、「自分の判断」で決

表1 - 10 八千代高校総合学科受験決定の主体（入学年別）

	(%)		
受験決定の判断	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 自分の判断	39.9	46.0	44.3
2. どちらかと言えば、自分の判断	23.8	22.7	22.4
3. 自分の判断と他の人の意見	21.8	21.0	15.1
4. どちらかと言えば、他の人の意見	6.2	3.4	12.0
5. 他の人の意見	4.1	2.3	4.2
無回答	4.1	0.0	2.1

*他の人の意見を入れて決めた場合) 誰の意見を重視したか	1期生 (N= 62)	2期生 (N= 47)	3期生 (N=60)
1. お父さん	4.8	12.8	3.3
2. お母さん	41.9	25.5	31.7
3. きょうだい	3.2	4.3	3.3
4. 中学の先生	32.3	42.6	36.7
5. 友だち	9.7	10.6	15.0
6. 先輩	4.8	0.0	0.0
7. 塾・家庭教師の先生	0.0	0.0	5.0
8. その他の人	3.2	2.1	0.0
無回答	0.0	2.1	5.0

めたという生徒の割合は変わらないが、その一方で「他の人の意見」で決めたという人が増えてくる。むろん、こうした変化はわずかであり確定的なことは言えないが、先にみたように、「総合学科」としての八千代高校に関しては、それに惹かれる生徒が増える一方で、逆に惹かれない生徒も増えるといった具合に、その評価が両極に分かれる傾向があることと合わせて考えると、この傾向にも注意を払っておいてよいであろう。

この点にかかわって、受験決定の時期についても結果をみておこう

表 1 - 11 八千代高校総合学科受験決定の時期（入学年別）

（表 1 - 11）。結論的に言えば、1 期生から 3 期生にかけて、早い時期に八千代高校総合学科受験を決定する生徒が増える一方で、若干ではあるが、逆に、決定が遅い生徒が出てきているのである。人数としては数人程度の小さな動きではあるが、

	(%)		
	1 期生 (N=193)	2 期生 (N=176)	3 期生 (N=192)
1. 中学 3 年生の夏休みの終わり頃まで	17.1	25.6	27.6
2. 中学 3 年 2 学期以降、面談の前まで	25.4	28.4	23.4
3. 面談が開かれた頃	39.9	28.4	29.2
4. 面談が終わってから	16.1	17.0	19.3
無回答	1.6	0.6	0.5

1 期生から 3 期生へと、入学生徒の間に徐々に幅ができてきているように思われる。

なお、前頁の表 1 - 10 には、参考までに、「他の人の意見」を参考にした場合について、最も重視した意見が誰のものであったかを尋ねた結果を示しておいた。調査の結果では、1 期生から 2 期生にかけては「お母さん」が減り、「お父さん」と「中学の先生」が増えている。第 2 期から第 3 期では、それがまた、もとに戻る傾向にある。第 1 期から第 3 期まで、続けて増えているのは「友達」である。

（ 2 ）両親の賛否

「高校受験」は生徒のみならずその両親にとっても大きな問題である。新しく総合学科として発足した八千代高校に、自分の子どもを進学させることについて、両親はどのように考えていたのか。「両親の賛否」とその発足 3 年間の変化を追ってみよう。むろん、調査の対象は生徒なので、ここで「両親の賛否」といっても、それは「生徒が判断した“両親の賛否”」である。その点、結果を読む時に注意が必要であるが、ともあれ表 1 - 12 が、その結果である。

これをみると、1 期生では「父親」の場合にも、「母親の場合」にも、「賛成」がかなり多くなっている。「父親」と「母親」を比べると「母親」の方がより「賛成」の傾向を示している。八千代高校の総合学科としての再出発は、両親、特に母親に好意的に受けとめられていたようである。では、その評価は、新たに入学してくる生徒たちの場合にも保持されているのか。

表をみると、「父親」の場合にも「母親」の場合にも、一方で「賛成」という生徒の割合は決して減っていない。「父親」の場合、2 期生で「賛成」が目立って増えたために変動が大きいですが、それでも 3 期生は 1 期生の水準を維持している。「母親」の場合には 1 期生から 3 期生にかけて「賛成」の割合は徐々に上昇してきている。この点で、八千代高校総合学科に対する親の受けとめ方は、やはり肯定的である。

しかし、その一方で、「どちらかといえば賛成」が減り、「どちらともいえない」が増える傾向も見取れる。この点は、「父親」についても「母親」についても同様である。

一方で高い評価を維持しつつも、その一方で必ずしも「賛成」とはいえない親の存在も出てきている。ここでも、生徒と同様、若干ではあるが、評価が分かれつつあることを示す傾向が見取れる。

表1 - 12 八千代高校総合学科受験についての父母の賛否（入学年別）

(%)				(%)			
A) お父さん	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)	A) お父さん, 賛否の理由	1期生 (N=140)	2期生 (N=136)	3期生 (N=122)
1. 賛成	46.6	54.5	48.4	1. 系列や科目など, 勉強内容の点で	12.1	2.9	6.6
2. どちらかといえば賛成	20.7	15.3	8.9	2. 生徒が自分の時間割を決める点で	8.6	2.2	6.6
3. どちらでも	17.6	15.9	21.4	3. 選択科目が多い点で	2.1	2.2	1.6
4. どちらかといえば反対	4.1	7.4	4.7	4. 入学後に卒業後の進路を決めてよい点	4.3	3.7	0.8
5. 反対	1.0	0.0	1.6	5. 資格の取得につながる点で	15.7	14.0	12.3
6. お父さんいない	2.1	3.4	6.8	6. 卒業生の就職・進学実績の点で	5.7	5.9	1.6
無回答	7.8	3.4	8.3	7. 新しくスタートした点で	1.4	5.1	1.6
				8. 生徒の学力水準の点で	7.1	7.4	7.4
				9. 校内の雰囲気, という点で	2.1	0.7	2.5
				10. 世間の評判, という点で	3.6	2.9	3.3
				11. 通学の便, という点で	24.3	29.4	32.0
				12. その他	6.4	16.9	13.9
				無回答	6.4	6.6	9.8

(%)				(%)			
B) お母さん	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)	B) お母さん, 賛否の理由	1期生 (N=156)	2期生 (N=152)	3期生 (N=151)
1. 賛成	53.4	55.1	59.4	1. 系列や科目など, 勉強内容の点で	10.3	8.6	7.3
2. どちらかといえば賛成	20.2	19.9	9.9	2. 生徒が自分の時間割を決める点で	10.9	7.9	9.9
3. どちらでも	8.3	6.3	12.0	3. 選択科目が多い点で	1.3	2.0	1.3
4. どちらかといえば反対	5.7	9.7	5.7	4. 入学後に卒業後の進路を決めてよい点	3.8	3.3	3.3
5. 反対	1.6	1.7	3.6	5. 資格の取得につながる点で	17.9	10.5	16.6
6. お父さんいない	2.6	3.4	1.0	6. 卒業生の就職・進学実績の点で	5.8	7.9	4.6
無回答	8.3	4.0	8.3	7. 新しくスタートした点で	3.2	2.6	1.3
				8. 生徒の学力水準の点で	6.4	9.2	9.9
				9. 校内の雰囲気, という点で	2.6	0.7	1.3
				10. 世間の評判, という点で	1.9	4.6	3.3
				11. 通学の便, という点で	20.5	25.7	20.5
				12. その他	7.1	8.6	7.9
				無回答	8.3	8.6	12.6

もっとも、先に注釈を加えたように、これは「両親の賛否」といっても「生徒が判断した“両親の賛否”」であって、その点で生徒自身の評価がそこに混ざっている可能性もある。いずれにしても、八千代高校総合学科に入学してくる生徒には、「親の賛否」も含めてそれを肯定的に捉える生徒ばかりではなくなっている。肯定的な生徒が一定水準確保される一方で、わずかではあれ、八千代高校に積極的に動機づけられていない生徒が入学しつつある。今後、こうした傾向が広がっていくのかどうか。同学科の将来にとって、この動きは大きな意味をもつものと考えられる。

(3) 学校説明会への参加

新設の学科ならばこそ、学校・学科についてよく知ることが受験校決定において重要である。この点について、八千代高校は「オープン・スクール」と称し

表1 - 13 学校説明会への参加（入学年別）

(%)			
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 八千代高校「オープン・スクール」参加	36.3	34.7	41.7
2. 「オープン・スクール」とは別に学校見学	7.8	15.9	8.9
3. 「オープン・スクール」参加, それ以外にも学校見学	7.8	5.1	6.3
4. 「オープン・スクール」不参加, 見学もせず	47.7	44.3	42.7
無回答	0.5	0.0	0.5

て「学校説明会」を開いている。入学生徒におけるそれへの参加状況はどうであろうか。表1 - 13がその結果であるが、ほぼ、3～4割の生徒が「オープン・スクール」に参加している。しかし、それ以上に、「オ

ープン・スクール」にも参加していないし、それ以外にも学校見学をしていない生徒が入学してきている。この点が、同学科が新しい学科であればこそ、気になるところである。

しかし、1期生から3期生へと、少しずつ、「『オープン・スクール』不参加、見学もせず」といった生徒の割合が減ってきている。「『オープン・スクール』参加」の生徒も増加傾向にある。こうした動きは、同学科の今後にとってプラスであろう。

(4) 受験・入学についての希望の度合い

さて 果たして八千代高校総合学科に入学した生徒たちは、その入学を積極的に捉えていたのだろうか。新たな学科の教育にとっては、入学生徒の動機づけが大事である。不本意な思いをして入学してくる生徒が多ければ、改革は空回りすることになってしまう。

表1-14は、「入学についての希望の度合い」である。これをみると、「一番、入りたい学校だった」という生徒の割合は2割程度、「ほかに入りたい学校があった」という生徒の割合が6割と、不本意な思いを抱いて入学してくる生徒が多くなっている。学校間格差の存在を前提に少しでも“上の学校”を目指す高校受験のあり方は、いくら“上の学校”に入学したとしても“それ以上の学校”がある限り、生徒に不本意感を抱かさずにはおかない仕組みとなっている。それゆえ、この結果をもって八千代高校の生徒の動機づけの強弱は論ずべくもないのであるが、気になるのは「高校ならばどこでもよかった」という生徒が第2期、第3期と増加傾向を示している点である。再三、指摘しているように、八千代高校総合学科は設置当初より生徒に一定の評価を受けつつも、2期生、3期生となるにしたがって、徐々に同学科に動機づけられていない生徒が入学生の中のなかに混ざってきている。結果的に、入学生徒に“幅”ができてつつある。同学科に動機づけられていない生徒に、今後、どのように対処していくか、また、いかに、入学生徒の動機づけを強化していくか、その点は、同学科の今後の課題だと言える。

表1-14 八千代高校総合学科入学についての希望の度合い

(入学年別)

(%)

	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 一番、入りたい学校だった。	20.2	25.0	21.4
2. ほかに、入りたい学校があった。	60.6	55.1	57.8
3. 高校ならばどこでもよかった。	9.8	15.3	16.1
4. 高校には、行きたくなかった。	3.6	2.8	2.1
無回答	5.7	1.7	2.6

4. 1年次における学校生活と総合学科についての受けとめ方

次に、1期生から3期生まで、1年次における学校生活と総合学科についての受けとめ方に関して、どのような傾向があるのかをみていく。具体的には、高校生活に対する構え、科目選択についての受けとめ方、総合学科の受けとめ方、資格取得と進路希望の4つの側面を取り上げる。

4-1. 高校生活に対する構え

まずは、高校生活に対する構えの変化である。表1-15は、生徒に学校生活にかける割合を尋ねた結果である。設置後3年間をみると、1年次では学校生活に「4割から6割」をかける傾向にあると言える。これを1期生から3期生における変化でみていくと次のようである。学校生活に「6割から8割くらいか

けている」と回答する割合に着目すると、1期生から3期生までで、22.3% 23.3% 30.2%と増加している。特に、2期生から第3期生では、大きく増加している。かわりに、「4割から6割」と回答する生徒は、1期生から3期生の間で減少している。つまり、この3年間で、より学校生活に比重をかける傾向をみせている。しかし、その一方で、「2割から4割」と「2割もかけない」と回答する生徒の割合は、1期生から3期生の間でほとんど変化していない。つまり、1期生から3期生まで、学校生活にあまり比重をおかない生徒が同じくらい存在することになる。このことからみて、八千代高校総合学科への入学生徒は、設置後3年間で、学校生活をより重視する層と学校から距離をおく層とに分離しつつあると考えられる。

では、全体としてほどほどに力を入れているとされている学校生活を、生徒たちは具体的にどのように過ごしているのだろうか。学校生活における過ごし方の変化を見ていくことにする。表1-16は、「あなたは、日頃、どのように過ごしていますか」の質問に対する、1期生から3期生までの

結果である。1期生から2期生まで大きく変化していることは、「クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている」という項目である。1期生の44.6%が、2期生では36.9%に減少している。そのかわり、2期生では、次の2つの項目で1期生よりも増加している。「何はともあれ、今より成績を上げようとしている」(8.3% 14.2%)と「学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている」(5.2% 9.1%)である。つまり、1期生から2期生にかけての変化は、授業に力を入れようとする傾向が出てくることである。

3期生では、この傾向はどうなっているのだろうか。2期生から3期生では、「成績を上げようとしている」生徒(14.2% 5.7%)や「生活に役立つ知識や技術を身につけようとしている」生徒(9.1% 6.3%)が、逆に減っている。それに対して、「学校生活を楽しもうとする」生徒(36.9% 41.1%)が増えている。つまり、3期生は、1期生と同じように、友人関係やクラブ活動を楽しむ傾向を再び示している。先にみたように、1期生から3期生へと、学校生活に力点をかける生徒が増えていた。と同時に、ここでみたように、3期生では「学校生活を楽しもうとする」傾向が見て取れた。このことから考えると、3期生において増えてきた学校生活をより重視する生徒層の内実は、授業への取り組みよりは学校生活自体を楽

表1-15 学校生活にける割合(入学年別/1年次)

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 8割以上をかけている。	3.1	5.1	4.7
2. 6割から8割くらいをかけている。	22.3	23.3	30.2
3. 4割から6割くらいをかけている。	49.7	45.5	41.7
4. 2割から4割くらいをかけている。	16.1	16.5	14.6
5. 2割もかけていない。	8.8	9.1	7.3
無回答	0.0	0.6	1.6

表1-16 学校生活の過ごし方(入学年別/1年次)

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 学校で、より広く、より高度な知識や技術を身につけようとしている。	4.1	4.5	5.7
2. 学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている。	5.2	9.1	6.3
3. よい会社に就職したり、よい大学に進学しようとしている。	6.7	6.3	7.8
4. 何はともあれ、今よりも成績を上げようとしている。	8.3	14.2	5.7
5. 何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている。	19.2	17.0	19.8
6. クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている。	44.6	36.9	41.1
7. 校外でボランティアをしたり、地域活動をしたり、幅広い経験を得ようとしている。	1.6	0.6	1.0
8. カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しもうとしている。	8.8	9.1	8.9
9. その他	0.5	2.3	2.6
無回答	1.0	0.0	1.0

しむことに力をかけることにあると言えそうである。なお、先に示した結果では、学校生活にあまり力をかけずにそれと距離をおく生徒たちが一定の割合で見取れたが、学校生活の過ごし方でも同様に、「校外で楽しむ」と回答する生徒が1期生から3期生まで、ほぼ同じ割合で存在していた。

4 - 2 . 科目選択についての受けとめ方

次に、八千代高校の大きな特色であり、1年次における最大のイベントであると言える科目選択を取り上げていくことにする。この1年次の科目選択は、八千代高校でのその後の過ごし方、学校に対する評価、進路決定に大きく影響していくと考えられる。1期生から3期生までの生徒たちは、何を基準に科目選択を行い、それをどのように受けとめたのか。また、これらの事柄は、1期生から3期生でどのように変化しているのか。

ただ、データ上の問題について触れておくと、1期生のデータは、調査時期が9月であったため、科目選択を行っている途中のものである。それに対して、2期生と3期生は、既に科目選択が終わった時期のデータである。そのため、2期生、3期生の調査では、質問項目及び回答項目が現在進行形(「している」)から過去形(「した」)に変わっている。結果の読み取りに影響があると思われるので、あらかじめお断りしておく。

(1) 系列との関係

まず、科目選択に関わる系列に関してみていくことにする。八千代高校の生徒は、科目選択を行うときに、系列を頼りに選んでいると考えられる。そこで、主にどの系列から選択したかを回答してもらった。結果は、表1 - 17 にみられるように、設置後3年間では、「流通経済系列」から選択をしたとする生徒が3割以上である。このことから、この系列が一番の人気であることが窺える。

表1 - 17 主に選択科目を選択した系列(入学年次別)

	(%)		
主に選択科目を選択した系列	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 人文科学系列	15.0	21.6	13.0
2. 自然科学系列	8.8	8.5	7.3
3. 健康体育系列	3.1	1.7	3.6
4. 社会福祉系列	13.0	12.5	15.1
5. 自動車工業系列	21.2	16.5	16.1
6. 流通経済系列	33.2	36.4	39.6
7. 系列を考えていない	5.7	2.8	5.2
無回答	0.0	0.0	0.0

それでは、1期生から3期生までの変化はどうか。ひとつの変化は、「流通経済系列」(33.2% 36.4% 39.6%)が増加傾向にあることである。この系列では、1期生から3期生まで徐々に増加している。つまり、科目選択時の系列にますます偏りがみられるようになってきていると言える。もう一つの変化は、「自動車工業系列」の減少である。1期生から2期生では、21.2%が16.5%に減っている。3期生では、2期生から横ばいである。「自動車工業系列」では、このまま16%程度で安定しそうである。そして、増減が目立つのは、「人文科学系列」(15.0% 21.6% 13.0%)である。この系列は、入学年ごとの生徒の特質により人気の度合いが変わるのではないだろうか。ちなみに、入学年ごとの特徴をあげると、1期生では「自動車工業系列」が多いこと、2期生では「人文科学系列」が多いことである。3期生では、「流通経済系列」が多く、また若干ではあるが「社会福祉系列」が多くなっている。

それでは、生徒たちは系列の選択科目に対して満足しているのだろうか。表1 - 18は、自分が主に科目を選択している系列に開設されている科目が、「ちょうどよい数であるかどうか」を尋ねた結果である。「ちょうどよい」とする割合をみていくと、1期生では、56.5%である。この割合は、2期生では1割強

減り、3期生では、2期生とほぼ同じ割合である。つまり、1期生に比べ、選択科目数に対して不満を感じるようになってきているとみることができる。そして、その不満の多くは、「もっといろいろあってもよい」というものである。1期生から3期生にかけて、科目が少ないと感じる傾向が強まっているようなのである。

これを系列ごとにみてみたのが表1-18の下の部分である。ここでは、生徒の人数が多い「流通経済系列」「自動車工業系列」「人文科学系列」について取り上げている。「流通経済系列」では、2期生において不満が高くなっている。2期生では、「もっといろいろあってもよい」(37.5% 56.3% 39.5%)とする生徒が半数を超えている。「自動車工業系列」では、全体の傾向と同じで、「ちょうどよい」と感じる生徒が減少している。ただ、その不満が、2期生では「多すぎる」の方に振れ、3期生では「少なすぎる」方に振れている。「人文科学系列」では、満足している生徒の割合が上の2つの系列に比べ高くなっている。しかし、1期生から3期生まで、一貫して満足度が下がる傾向がみ

表1-18 系列の選択科目の数についての満足度
(入学年別 / 1年次)

(%)			
満足度(全体)	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. もっといろいろあってもよい	34.2	46.6	42.2
2. ちょうどよい	56.5	44.3	46.9
3. もっと少なくてもいい	7.3	9.1	9.9
4. まだ、系列を決めていない	1.6	0.0	1.0
無回答	0.5	0.0	0.0
流通経済系列			
系列ごとの満足度(流通経済)	1期生 (N=64)	2期生 (N=64)	3期生 (N=76)
1. もっといろいろあってもよい	37.5	56.3	39.5
2. ちょうどよい	56.3	32.8	51.3
3. もっと少なくてもいい	6.3	10.9	9.2
自動車工業系列			
系列ごとの満足度(自動車工業)	1期生 (N=41)	2期生 (N=29)	3期生 (N=31)
1. もっといろいろあってもよい	34.1	37.9	48.4
2. ちょうどよい	56.1	44.8	45.2
3. もっと少なくてもいい	9.8	17.2	6.5
人文科学系列			
系列ごとの満足度(人文科学)	1期生 (N=29)	2期生 (N=38)	3期生 (N=25)
1. もっといろいろあってもよい	34.5	50.0	48.0
2. ちょうどよい	58.6	50.0	48.0
3. もっと少なくてもいい	6.9	0.0	4.0

られている。以上のように、系列ごとに、選択科目に対する満足度の傾向は違っている。こうした動きをみると、系列によっては、今後、選択科目を再検討していくことも大事なことであろう。

(2) 科目選択の基準

それでは、科目選択の時に、どのようなことを重視しているのだろうか。このことを、1期生から3期生においてみていくことにする。表1-19は、科目選択時において重視すること(したこと)を尋ねた結果である。1期生から3期生まで共通して「重視した」という生徒の割合が高い項目は、「興味を持って楽しく勉強できる科目かどうか」(89.6% 88.6% 92.2%)と「将来、仕事をするのに必要な知識や技術を身につけることができる科目かどうか」(85.5% 84.7% 84.9%)である。このことから、興味を持って、かつ将来の仕事に役立つことが、科目選択時の基準であると考えられる。

1期生から3期生までの変化を追っていくと、次の傾向が認められる。一つは、1期生から2期生で、「自分自身の適性を生かして勉強できる科目かどうか」(87.0% 82.4%)、「自分の趣味や楽しみに関係する科目かどうか」(84.5% 75.6%)、「生活に必要な知識や技術を身につけられる科目かどうか」(82.9% 71.6%)の3項目の値が減少していることである。この値は、2期生から3期生では、ほぼ横ばいで推移している。つまり、自分にとって身近な科目であることが、科目選択時の基準として意味をもたなくなる傾向がみとれる。

表1 - 19 科目選択において重視する(した)こと(入学年別 / 1年次)

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 興味をもって楽しく勉強できる科目かどうか	89.6	88.6	92.2
2. 自分自身の適性を生かして勉強できる科目かどうか	87.0	82.4	81.2
3. 専門的なことが勉強できる科目かどうか		80.7	87.5
4. 生活に必要な知識や技術を身につけられる科目かどうか	82.9	71.6	75.0
5. 自分の趣味や楽しみに関係する科目かどうか	84.5	75.6	77.1
6. 大学や短大, 専門学校の入試に役立つ科目かどうか	51.3	51.1	45.8
7. 大学や短大, 専門学校で勉強するのに学んでおいた方がよい科目かどうか	50.3	49.4	46.3
8. 就職試験(採用試験)に合格するのに必要な科目かどうか	76.7	58.0	63.5
9. 何らかの資格をとるために役立つ科目かどうか	79.8	77.3	90.1
10. 将来, 仕事をするのに必要な知識や技術を身につけることができる科目かどうか	85.5	84.7	84.9
11. 実習や実験など, 様々な体験ができる授業であるかどうか		51.1	52.1
12. 好きな先生の担当の授業かどうか(にかがてな先生の担当の授業でないかどうか)	30.1	14.8	16.2
13. それほど勉強しなくても単位がとれそうな科目かどうか	33.7	21.0	27.1
14. 仲のよい友だちと一っしょに授業を受けられるかどうか	57.5	36.9	39.6
15. 先輩たちの評判がよいかどうか。		10.8	27.6

注) すぐ重視する(した)・まあ重視する(した)の合計

もう一つは、科目選択時に「重視したこと」として「人物」にかかわる事柄をあげる生徒の割合が少なくなってきたことである。このことは、「好きな先生の担当の授業かどうか」(30.1% 14.8%, 16.2%)と「仲のよい友だちと一緒に授業を受けられるかどうか」(57.5% 36.9%, 39.6%)の2つの項目においてうかがえる。「重視した」という生徒の割合が、2期生と3期生で、1期生よりも大きく減少しているのである。

科目選択の基準としての「身近さ」と「人物要因」が後退している一方で、次の基準はより意味をもちはじめているようである。2期生から3期生にかけて、「何らかの資格をとるために役立つ科目かどうか」(77.3% 90.1%)と「専門的なことが勉強できるかどうか」(80.7% 87.5%)について、「重視した」と回答した生徒が大きく増えている。つまり、将来に向けた専門性が、科目選択の基準として重視されるようになってきたものと思われる。

ちなみに、1期生、2期生、3期生、それぞれの科目選択の特徴をみると、1期生では、自分にあった身近な科目を選ぶ傾向がある。また、特定の人物に依存した選び方をする傾向もみてとれる。2期生では、比較的進路を意識した選び方をする傾向がある。3期生では、2期生と似た特徴であるが、2期生よりもより、仕事に就いた時の有用性を重視した選び方をする傾向が見てとれる。

(3) 科目選択の受けとめ方

では、科目を選択することをどのように受けとめているのだろうか。八千代高校総合学科では、科目選

択を学科運営上、非常に重視している。表1 - 20 は、同学科において重きが置かれている科目選択を、生徒がどのように受けとめているのかを尋ねた結果である。まず、科目選択全体に対する感想であるが、2期生と3期生のみ尋ねた質問に「満足のいく科目選択ができたかどうか」を尋ねた質問がある。この質問に対する生徒の回答をみると、「あてはまる」とする生徒が6割程度である。これからみると、大方の生徒が満足のいく科目選択ができたようである。ただし、科目選択に対して戸惑いを感じた生徒が半数近くいたことを忘れてはならないであろう。「どの科目を取ったらいいのかわからなかった」とする生徒は、1期生から3期生で、46.1% 58.0% 46.1%と推移している。特に、2期生では、科目選択に対する戸惑いが強くなっている。

さらに詳しく科目選択に対する受けとめ方をみていくことにする。科目選択を楽しんでいるか、それともめんどくさいと感じるかに注目すると、1期生では、「楽しい」と感じる生徒と「めんどくさいと感じる生徒」がどちらも4割弱である。しかし、2期生では、楽しいと感じる生徒が1期生と同じ割合であっても、めんどくさいと感じる生徒が1割ほど増えている。つまり、2期生では、めんどくさいと感じる傾向が出てくる。3期生では、この傾向が続くのかというと、そうではない。3期生では、科目選択を楽しんでいると感じる傾向が強くなっている。このことは、2期生から3期生で、「科目を選ぶのが、楽しく感じられた」生徒が、37.5%から47.9%に増え、かわりに「科目を選ぶのが、めんどくさかった」生徒が47.2%から37.0%に減っていることにみとれる。このように、科目選択が楽しいか、それともめんどくさいかは、入学年により差がみられ、1期生から3期生を通した傾向はつかみ難い。

取りたい科目がたくさんあったのか、それといやいや取る科目が多かったのかをみると、次のような結果である。「取りたいと思う科目がたくさんあって、困った」や「時間割をうめるために、いやいや取る科目が多かった」をみると、1期生と2期生では、どちらの項目も「あてはまる」と回答する生徒は4割強である。これが、3期生では、「取りたいと思う科目がたくさんあって、困った」とする生徒が1割ほど増え、「いやいや取る科目が多かった」とする生徒が1割程度減っている。つまり、いやいや取るのではなく、取りたいと思う科目がたくさんあると感じる傾向が出てきたと言える。

このようにみていくと、1期生では、科目選択に対して肯定も否定もないようであるが、2期生では、

表1 - 20 科目選択についての受けとめ方

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 取りたいと思う科目がたくさんあって、困った。	40.9	43.2	52.7
2. 時間割をうめるために、いやいや取る科目が多かった。	42.5	44.9	36.5
3. どの科目を取ったらいいのかわからなかった。	46.1	58.0	46.9
4. 科目を選ぶのが、楽しく感じられた。	37.3	37.5	47.9
5. 科目を選ぶのが、めんどくさかった。	37.8	47.2	37.0
6. 担当する先生が誰かが気になった。	50.8	34.1	31.3
7. 科目の選択について、友だちと話をした。	66.8	78.4	78.1
8. 選択科目について、先輩から話を聞いた。		21.6	35.4
9. 科目選択についてお父さん、お母さんと話をした。	35.2	34.1	28.1
10. 科目の選択について、先生に相談した。	24.9	41.5	50.0
11. 満足のいく科目選択ができた。		59.7	65.7

注) 「おおいにあてはまる」と「あてはまる」の合計

科目を選択することが苦手、もしくはそれに否定的な傾向がみられるようになる。しかし、3期生になると、科目選択を楽しむ傾向があり、肯定的に受けとめる傾向が窺える。

次に、科目選択時に誰に相談をしたのかをみていくことにする。どの入学年度でも、「科目の選択について、友だちと話した」とする生徒が多くなっている。そうした生徒の割合は、1期生では66.8%だが、2期生と3期生では、約8割に増えている。つまり、友だちと相談する傾向が強まっていることがわかる。また、先生に相談したとする生徒の割合が1期生から3期生で、24.9% 41.5% 50.0%と大きく増加している。さらに、先輩から話を聞いたとする生徒も2期生から3期生で、1割強増えている。その反面、親に相談する割合が、1期生から3期生で減ってきている。このようにみると、1期生では、友だちを除けば、まわりに相談せず比較的自分だけで科目選択する傾向にあった。それが、2期生、3期生になると、次第にいろいろな人から話を聞きながら科目選択を行うようになってきた、と言えそうである。

以上、生徒の科目選択に関わる事柄について調査の結果をみてきた。それでみる限り、1期生は、比較的自分にあった系列を見つけ、科目選択を行ったと言えそうである。しかし、科目選択自体そのこと自体については、どうしたらよいかわからないという状況にあったように思われる。2期生になると、選択時に周りに相談するようになっていく。科目の選択では、系列との関係も含め、自分にあったものが探し出しにくかったように思われる。科目選択に対して否定的に感じる傾向が見てとれる。3期生では、科目選択の仕方を周りが熟知してきたためか、いろいろな人に相談しながら、比較的楽しく科目選択をする傾向が出てきている。総合的にみれば、1期生から3期生にかけて、科目選択は生徒に程々にうまく受けとめられるようになってきたと言えそうである。

4 - 3 . 「総合学科」の受けとめ方

(1) 「総合学科」で学ぶことの意識

1期生から3期生にかけて、「総合学科」の受けとめ方はどう変化してきたであろうか。1年次において、日頃、どの程度、総合学科で学んでいることを意識しているかについてみてみよう。その結果は、表1-21に示した通りである。1期生から3期生にかけて、「かなり」と「ある程度」を合わせて、総合学科であることを「意識している」とする生徒の割合は、44.0% 35.2% 38.5%と変化している。また、「まったく意識していない」とする生徒の割合は、7.8% 23.3% 23.4%と、1期生から2期生で大幅に増加している。このことから、1期生では、総合学科であることを日頃から意識する傾向があったが、2期生以降では、あまり意識しなくなる傾向が見てとれる。設置後3年間で、入学後、間もない1年次生においてすでに、総合学科で学んでいることを意識しなくなっているようである。これは、それだけ総合学科の特色が学校生活の中に根づき、日常化しているためとも考えられる。

表1-21 「総合学科」で学んでいることの意識

(入学年別 / 1年次)

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. かなり意識している。	4.1	3.4	3.1
2. ある程度、意識している。	39.9	31.8	35.4
3. あまり、意識していない。	47.7	41.5	38.0
4. まったく意識していない。	7.8	23.3	23.4
無回答	0.5	0.0	0.0

(2) 総合学科の特徴に対する見方 - 学校観より -

それでは、生徒たちは総合学科としての特徴を八千代高校にどの程度、認めているのだろうか。総合学科の具体的な特徴としては、選択科目制、進路に関連した知識や技術の習得、ゆっくりとした進路決定が

あげられる。表1 - 22 は、1 期生から 3 期生に各 1 年次の時点でもって「八千代高校をどのような学校だと思いますか」という質問をした結果である。値は、「そう思う」（「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計）と回答した生徒の割合を示している。ここでは、この表をもとに、総合学科の特徴と関連するもののみをみていくことにする。まず、選択科目制に根ざす特色をどの程度感じているかであるが、1 期生から 2 期生にかけて、「自分の学びたいことが学べる学校」（76.7% 64.2%）、「自分のペースで勉強できる学校」（53.4% 35.8%）に対して「そう思う」と答えた生徒の割合が大きく減少している。2 期生から 3 期生では、どちらの項目も増加に転じているものの、1 期生に比べれば、その割合は低くなっている。設置後 3 年間で、入学生徒は八千代高校に、選択科目制により自分なりのスタイルで学べるという特徴を感じなくなる傾向にある。

では、進路に関連した知識や技術の習得に関してはどうか。これは、1 期生から 3 期生までほと

表 1 - 22 八千代高校総合学科についての見方（入学年別 / 1 年次）

	(%)		
	1 期生 (N=193)	2 期生 (N=176)	3 期生 (N=192)
1. 自分の学びたいことが学べる学校	76.7	64.2	70.3
2. 自分のペースで勉強のできる学校	53.4	35.8	43.2
3. 進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	65.3	64.8	66.7
4. 就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	77.2	75.0	76.0
5. いろいろな資格をとることができる学校	85.0	90.9	95.3
6. 進学するのに有利な学校	56.5	44.3	47.4
7. 就職するのに有利な学校	77.2	75.6	76.0
8. 入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校	65.3	56.8	60.9
9. のびのびと開放的な学校	21.8	16.5	20.3
10. 新しいことに挑戦する雰囲気がある学校	42.0	33.0	30.3
11. 伝統が感じられる学校	39.4	29.0	35.4
12. 「いじめ」などの問題がなく、平穏な学校	42.5	33.0	38.6
13. 部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校	58.5	49.4	57.8
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	14.0	10.2	18.2

注) 「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計

んどかわらない。入学年に関係なく、「進学してから役立つ知識や技術を身につけられる学校」であると思っている生徒が 6 割程度、「就職してから役立つ知識や技術を身につけられる学校」であると思っている生徒が 7 割程度となっている。つまり、進路に関連した知識や技術を習得できるという特徴は、少なくとも 1 年次において多くの生徒の中に定着する傾向にある。ただ、資格取得に関しては、「いろいろな資格を取ることができる学校」であるとする生徒の割合をみると、1 期生から 3 期生までで、85.0% 90.9% 95.3%と増加している。このことから、資格が取得できるという特徴は、生徒に非常に強く意識される傾向にあると言える。

総合学科の特徴のもう一つは、入学後に卒業後の進路が決められるというものである。この点に関しては、次のようである。表にみられるように、「入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校」であるとしてみている生徒の割合は、全体の 6 割である。1 期生から 2 期生では、「そう思う」と回答した生徒は 1 割ほど減っている。2 期生から 3 期生では、4%ほど増加している。現在のところ、卒業後の進路をゆっくりと選べるという見方が、入学生徒の間で強まってきているとは言い難い。

最後に、八千代高校総合学科が新設学科であるので、「新しいことに挑戦する雰囲気がある」かどうか

についても、生徒の見方をみておくことにする。1期生から3期生で、「挑戦する雰囲気がある」(42.0% 33.0% 30.3%)という見方をする生徒は、徐々に減っている。設置後3年間で、生徒が新設であることの雰囲気を感じなくなる傾向が窺える。

以上、1期生から3期生まで、各1年次における生徒の、総合学科の特徴についての受けとめ方の変化をみてきた。「総合学科」の「総合学科」であるゆえんは、選択科目制、進路決定、進路に関連した知識や技術の習得の3つが一つの組み合わせがあったところにある。しかし、設置後3年間の入学生徒の変化をみると、資格習得や進路に関連した知識や技術の習得といった実用的な部分のみが特化される傾向がみえてとれる。この点において、あくまでも1年次の時点についてはあるが、入学生徒に「総合学科」の意味が伝わりにくくなっているように思われる。

(3) 入学についての評価

八千代高校に入学したことをどのように思っているかに関して、1期生から3期生まで、各1年次における状況を比べてみよう。表1-23は、入学したことをよかったと思っているかどうかを回答してもらった結果である。全体的には、1期生から3期生まで、入学したことに肯定的な生徒と否定的な生徒が同じくらいである。細かく1期生から2期生の変

表1-23 八千代高校総合学科に入学したことについての評価
(入学年別/1年次)

	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. とてもよかったと思っている	7.8	5.7	5.7
2. まあ、よかったと思っている	27.5	21.0	28.6
3. どちらともいえない	31.6	34.1	31.8
4. あまり、よかったと思っていない	22.3	19.9	17.7
5. まったくよかったと思っていない	10.9	18.2	15.6
無回答	0.0	1.1	0.5

化をみると、「とても」と「まあ」をあわせた「よかったと思っている」生徒は、1割弱減っている。そして、2期生では、入学したことに否定的な生徒が肯定的な生徒よりも1割も多くなっている。しかし、2期生から3期生では、「よかったと思っている」生徒が26.7%から34.4%に増え、1期生と同じ傾向に戻っている。このように、1年次では、入学したことにに対する評価にはっきりとした傾向がみられない。ただ、これまでみてきた結果を合わせみると、2期生はあまり学校に馴染んでいない傾向が窺える。

4-4 資格の取得と進路希望

(1) 資格の取得

最後に、1期生から3期生で、1年次における資格の取得と進路希望がどのように変化しているのかをみていくことにする。

八千代高校総合学科では、資格のとりやすさが特徴のひとつになっており、また生徒の間にもそうした見方が浸透している。この点は、上にみてきたように、1期生よりも2期生、3期生の方が資格取得を強く意識していたことにも窺える。では、実際に資格や検定をとりたいと思っている生徒の割合はどのように変化しているのだろうか。表1-24は、高校生活を通じてとりたいと思っている資格や検定の有無を尋ねた結果である。1期生では、「ある」と回答した割合が79.8%である。この割合は、2期生では83.0%、3期生では87.5%と入学年度を追うごとに増加している。また、一人当たりの取得予定資格数の平均値を出すと、1期生から3期生までで、2.48 3.15 3.52と増加している(平均値は、表1-23におけるひとつの項目を1点とし、15項目を足し合わせた点数をもとに算出している)。このように、この3年間で、

表1 - 24 資格取得予定の有無およびその具体（入学年別 / 1年次）

(%)

	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. あり	79.8	83.0	87.5
2. なし	19.7	15.3	12.5
無回答	0.5	1.7	0.0

(%)

* 資格取得予定者 取得予定の資格	1期生 (N=154)	2期生 (N=146)	3期生 (N=168)
1. 介護福祉士国家試験受験資格	14.3	58.9	47.0
2. ホームヘルパー 2 級	14.9	48.6	41.1
3. ホームヘルパー 3 級	3.9	30.8	26.8
4. 3 級自動車整備士受験資格	18.2	14.4	14.9
5. 溶接(ガス・アーク)	5.8	6.2	8.9
6. 危険物取扱者	7.8	7.5	11.9
7. 簿記検定資格	22.7	11.6	19.0
8. 情報処理検定資格	34.4	13.7	21.4
9. ワープロ検定資格	33.1	30.1	34.5
10. 漢字検定資格	22.1	32.2	28.6
11. 英語検定資格	26.0	20.5	36.9
12. 硬筆検定資格	22.7	17.8	16.7
13. 毛筆検定資格	5.8	5.5	4.2
14. 数学検定資格	11.7	11.6	18.5
15. その他	4.5	3.4	19.0
無回答	0.0	0.7	0.6
一人当たりの取りたい資格の数(平均)	2.48	3.15	3.51

注) 「一人あたりの取りたい資格の数(平均)」は、各項目を1点とし、その数を足して平均を出したものである。

1年次における資格取得志向は強まる傾向を示しているのである。

それでは、どのような資格や検定をとりたいと思っているのか、その変化を追ってみることにする。1期生から2期生までの変化をみてみると、次のようである。ひとつは、社会福祉系の資格における変化である。「介護福祉士国家試験受験資格」(14.3% 58.9%)、「ホームヘルパー 2 級」(14.9% 48.6%)、「ホームヘルパー 3 級」(3.9% 30.8%)の3つともが1期生から2期生で著しく増加している。もう一つは、ビジネス系における変化である。「簿記検定資格」(22.7% 11.6%)、「情報処理検定資格」(34.4% 13.7%)、「ワープロ検定資格」(33.1% 30.1%)の3つともが1期生から2期生で減少している。つまり、1期生から2期生では、社会福祉系の資格取得を目指す傾向が現れる一方で、ビジネス系の資格に対する取得希望が後退する傾向がみられている。

こうした傾向は、3期生では、どのようになっているのだろうか。まず、社会福祉系の資格についてみると、2期生から3期生では、全体にやや減少する傾向がみてとれる。しかし、1期生の割合に比べれば、どれも依然、高い割合である。このことから、1年次生にとって、社会福祉系の資格は人気のある資格であると言える。ビジネス系の資格では、2期生から3期生で増加し、「情報処理検定資格」(13.7% 21.4%)を除き、1期生とほぼ同じ割合に戻っている。ビジネス系の資格も人気復活していると考えられる。また、3期生では、1期生や2期生に比べ、「英語検定資格」を取ろうとする傾向がみられている。

(2) 進路希望

1期生から3期生における、1年次の時点での進路希望の変化をみていくことにする。表1-25は、卒業後の進路希望を尋ねた結果である。1期生から2期生では、「就職」(40.4% 32.4%)を希望する生徒が減っている。そのかわりに、「進学」(18.7% 27.8%)を希望する生徒が増えている。2期生から3期生では、「就職」「進学」ほぼ同じ割合で推移し、変化はみられない。このことから、1年次における卒業後の進路では、1期生から3期生にかけて、就職よりも進学を望む生徒がやや多くなる傾向があると考えられる。

それでは、進学を望む生徒が多くなっているが、その進学先はどのような学校だろうか(表1-26)。大まかにみれば、希望する進学先に関しては、1期生から3期生まで変化はみられない。6割程度の生徒は「専門学校」を進学先として考えている。1期生から3期生でやや増減がみられるのは、「4年制大学」(15.5% 20.5% 16.5%)に関してである。

2期生においてその割合が一番高くなっている。しかし、1期生から3期生にかけて、4年制大学を目指す生徒が増えているとは言い難い。もう一つ変化をあげるとするならば、2期生から3期生で「まだはっきりしていない」(9.9% 9.1% 14.1%)とする生徒が増加していることである。進学先の決定がゆっくりとなる傾向がでてきているのかもしれない。

さらに、進学先で勉強してみたいことの有無をみてみると(表1-27)、次のような変化がみられる。1期生から2期生では、「ぜひ勉強してみたいことがある」生徒が1割程度減っている。3期生では、この割合が43.2%から51.8%に増加し、1期生と同じくらいに戻っている。しかし、全体的にみれば、ほとんどの生徒が勉強してみたいことがあると回答している。つまり、1期生も2期生も3期生も、1年次から具体的に勉強したいことを持って進学を望む傾向がみられている。

表1-25 卒業後の進路希望(入学年別/1年次)

	(%)		
	1期生 (N=193)	2期生 (N=176)	3期生 (N=192)
1. 就職	40.4	32.4	35.9
2. どちらかといえば就職	11.4	5.7	5.7
3. どちらともいえない	10.4	9.7	9.4
4. どちらかといえば進学	18.1	22.2	17.2
5. 進学	18.7	27.8	27.1
無回答	1.0	2.3	4.7

表1-26 進学希望先(入学年別/1年次進学希望者)

	(%)		
	1期生 (N=71)	2期生 (N=88)	3期生 (N=85)
1. 4年制の大学	15.5	20.5	16.5
2. 短期大学	8.5	8.0	4.7
3. 専門学校	66.2	61.4	63.5
4. その他	0.0	1.1	1.2
5. まだ、はっきりしていない	9.9	9.1	14.1
無回答	0.0	0.0	0.0

表1-27 進学先で勉強したいこと(入学年別/1年次/進学希望者)

	(%)		
	1期生 (N=71)	2期生 (N=88)	3期生 (N=85)
1. ぜひ勉強してみたいところがある	54.9	43.2	51.8
2. できれば勉強してみたいところがある	22.5	29.5	28.2
3. ない	19.7	25.0	20.0
無回答	2.8	2.3	0.0

第2章 1期生3年間の軌跡

八千代高校総合学科の発足とともに入学してきた1期生が、この春、卒業を迎える。彼らは、この3年間の高校生活をどのような構えで過ごしてきたのであろうか。また、高校生活のなかで、どのような変容を遂げてきたのであろうか。ここでは、1期生の3年間の軌跡を、各年次において実施した調査の結果に基づきつつ、追跡してみることにする。

1. 1期生のプロフィールと中学時代

1-1. 1期生のプロフィール

まずは、学科発足とともに入学してきた1期生が、どのような生徒たちであったのか。1年次における調査結果より、そのプロフィールをみておこう。

1期生は、性別では、男子58%、女子42%と、男子が多くなっている。出身中学は、地元八千代町が44.6%、そのまわりの市町村が52.3%であり、近在の中学の出身者がほとんどである。保護者の就業については、「会社、工場等勤務」が68.9%、「自営」が25.4%、（父不在：3.6%/無回答：2.1%）となっており、具体的な仕事という点では、「自動車の運転手や工員など技能・作業な仕事」に従事しているという者が約半数を占めている（48.2%）。次に「大工や左官など、職人的な技術を生かした仕事」（9.8%）や「農業や漁業」（8.3%）が続くが、いずれも1割未満である。

1-2. 1期生の中学時代

(1) 学業成績と役員経験

生徒の高校入学後を追跡するためには、彼らが中学時代にどのような生徒であったかも知っておく必要がある。調査では、彼らに中学時代の自分の成績が学年でどのくらいの位置にあったかを自己評価してもらっている。その結果（表2-1）では、「かなり上の方」（0.0%）であった生徒は皆無、「少し、上の方」（3.6%）であった生徒も、ごくわずかである。逆に「かなり下の方」（14.5%）であったという生徒もあまり多くない。総合学科1期生として入学してきた生徒の中学校時代の成績は、学年において「まん中ぐらい」（44.0%）から「少し、

表2-1 中学時代の学業成績

（1期生1年次調査/全体/N=193）

（%）

中学時代の成績（学年における位置）					
かなり上の方	まあ、上の方	まん中ぐらい	少し、下の方	かなり下の方	無回答
0.0	3.6	44.0	37.3	14.5	0.0

表2-2 中学時代の役員経験

（1期生1年次調査/全体/N=193）

（%）

中学時代の役員経験	
A. 生徒会執行部の役員や委員会の委員長、副委員長	25.9
B. クラスの役員（代表）	18.7
C. 部の役員	15.5

注）「あり」の割合

下の方」(37.3%)に位置していたのである。

では、中学時代における生徒会等の委員の経験はどうか(表2-2)。中学時代、「生徒会執行部の役員や委員会の委員長、副委員長」を務めたという生徒は全体の4分の1(25.9%)、「クラスの役員(代表)」(18.7%)や「部の役員」(15.5%)を務めたという生徒は2割弱である。ちなみに、このうちのどれか1つでも経験したことがある生徒は42.0%、ひとつも経験していないという生徒は58.0%となっている。

(2) 中学時代の自己像

表2-3は、いま少し詳しく、彼らに中学時代、どのような生徒であったかを自己評価してもらった結果である。これをみると「教科によって勉強の好き嫌いが大きかった」(81.9%)、「選択教科の授業が好きだった」(81.3%)、「教科によって勉強の出来・不出来が大きかった」(76.7%)という生徒の割合が高くなっている。また、「趣味に夢中になった」(72.5%)という生徒の割合も7割を超えている。むしろ、他の学科と比較してみないことには正確なことは言えないのであるが、1期生として総合学科に入学してきた生徒たちのなかには、概して中学校時代、自分の志向・選好を中心に生活を送ってきた者が多かったものと思われる。その点は、逆に、「日頃の授業に熱心に取り組んだ」あるいは「先生たちのウケがよかった」「受験勉強をがんばった」という項目に関して「すごくあてはまる」と答えた生徒の割合が1割程度であることにも示されている。コツコツと先生の言うままに勉強中心の中学生活を送るよりも、良きにつけ、悪きにつけ、自分を中心に据えて中學生活を送ってきた、というのが、1期生の中学時代のようなのである。

表2-3 中学時代の自己像(1期生1年次調査/全体/N=193)

(%)

* 中学時代、どのような生徒だったか	第1期生1年次		
	すごくあてはまる	まああてはまる	あてはまる
4. 教科によって勉強の好き嫌いが大きかった。	46.6	35.2	81.9
3. 選択教科の授業が好きだった。	37.8	43.5	81.3
5. 教科によって勉強の出来、不出来が大きかった。	35.2	41.5	76.7
12. 趣味に夢中になった	41.5	31.1	72.5
8. クラスの活動や生徒会活動に熱心だった	21.8	44.0	65.8
6. 運動関係の部(クラブ)活動をがんばった。	36.3	29.0	65.3
1. 日頃の授業に熱心に取り組んだ。	4.7	56.0	60.6
2. 受験勉強をがんばった。	12.4	39.9	52.3
13. 校外の遊び場でよく遊んだ。	16.1	26.9	43.0
14. 先生たちのウケがよかった。	9.8	33.2	43.0
10. 技能検定で級や段をとった。	19.2	20.2	39.4
7. 文化関係の部(クラブ)活動をがんばった。	12.4	22.3	34.7
9. 校外のコンクールや大会などで賞をとった。	15.5	18.1	33.7
11. ボランティアなど社会のために活動した。	8.3	18.7	26.9

注) 項目の数字は、質問紙上の項目番号。

「あてはまる」は、「すごく、あてはまる」と「まあ、あてはまる」の合計

1-3. 高校入試に対する対応

1期生の高校入試に対する対応についてもみておこう。言うまでもなく、1期生の場合、総合学科として改組再編されることになっていた八千代高校を受験校として選んだわけである。彼らは、八千代高校の改組再編を、どの程度、意識して高校を受験したのか。

(1) 受験の契機としての「総合学科」

表2-4は、八千代高校が「総合学科」であることが受験のきっかけになったかどうかを尋ねた結果である。これをみると4人に3人までが(74.6%)「きっかけとなった」と答えている。一方、表2-5は、八千代高校が「総合学科」であることにどの程度、魅力を感じて受験したかを尋ねた結果である。「たいへん魅力を感じていた」という生徒は少ないものの(17.6%)、約半数(50.8%)の生徒が「まあ、魅力を感じていた」と答えている。こうした結果を踏まえてみると、1期生は、それ相応に改組再編を意識して八千代高校を受験したと言えそうである。

では、八千代高校のどこにひかれて受験したのか。表2-6は、受験を決めた時に、八千代高校のどこにひかれたかを尋ねたものである。この結果において目立つのは、一つには、総合学科がその特徴として打ち出している「選択科目制」について、「ひかれた」とする生徒が多くなっている点である。6割を超える生徒が、「自分自身でつくる自分の時間割」(83.9%)、「選択科目の数の多さ」

表2-4 「総合学科」であることが受験のきっかけとなったか
(1期生1年次調査/全体/N=193)

(%)				
大きな きっかけと なった	まあ、 きっかけと なった	あまり、 きっかけと ならなかった	まったく、 きっかけと ならなかった	無回答
26.4	48.2	18.1	7.3	0.0

表2-5 「総合学科」であることに魅力を感じていたか
(1期生1年次調査/全体/N=193)

(%)				
たいへん 魅力を感じていた	まあ、 魅力を感じていた	あまり、 魅力を感じて いなかった	まったく、 魅力を感じて いなかった	無回答
17.6	50.8	24.4	6.7	0.5

表2-6 八千代高校にひかれたこと(1期生1年時調査/全体/N=193)

* 受験に際し、八千代高校の何にひかれたか	第1期生1年次		
	とても ひかれた	まあ ひかれた	ひかれた
3. 自分自身でつくる自分の時間割	53.4	30.6	83.9
11. とれそうな資格	40.9	41.5	82.4
4. 6つの系列から選べること	34.2	39.4	73.6
1. 選択科目の数の多さ	18.7	53.4	72.0
9. 就職における有利さ	31.6	38.3	69.9
2. 選択科目の内容	19.7	45.6	65.3
14. 通学の便利さ	26.4	27.5	53.9
8. 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	14.0	39.9	53.9
6. 体験的な学習を取り入れた授業	10.9	42.0	52.8
12. 施設や設備の充実度	13.0	35.2	48.2
15. 「地元の学校」としての身近さ	21.2	26.9	48.2
13. 推薦入試による生徒の募集	16.6	22.8	39.4
10. 大学進学における有利さ	7.8	23.8	31.6
5. 「産業社会と人間」など、総合学科独自の科目	2.6	16.1	18.7
7. 部活動の実績	5.2	13.0	18.1

注) 項目の数字は、質問紙上の項目番号。

「ひかれた」は、「とても、ひかれた」と「まあ、ひかれた」の合計

(72.0%)、「選択科目の内容」(65.3%)といった項目において「ひかれた」と答えている。いま一つには、「とれそうな資格」(82.4%)や「就職の有利さ」(69.9%)など、自身の進路形成にかかわるメリットに「ひかれた」とする生徒が多いことである。「進学」はともかく「就職」におけるメリットを考えて選択したという生徒がかなりの割合にのぼっている。

(2) 受験決定の主体と時期

さらに彼らの高校入試に対する対応として、八千代高校総合学科受験を決めた主体と決定の時期の問題がある。

まず、主体についていえば、表2-7に示した通り、「自分の判断」あるいは「どちらかといえば自分の判断」で決めたという生徒の割合が約3分の2となっている(63.7%)。逆に、「他の人の意見」あるいは「どちらかといえば他の人の意見」で決めたという生徒の割合は、1割程度である。この点から、多くの生徒は、自分自身で決断して八千代高校総合学科に受験したと言えそうである。

表2-7 受験決定の主体(1期生1年次調査/全体/N=193)

受験決定の主体					
自分の判断	どちらかといえば自分の判断	自分の判断と他の人の意見	どちらかといえば他の人の意見	他の人の意見	無回答
39.9	23.8	21.8	6.2	4.1	4.1

なお、「他の人の意見を考えに入れて決めた」という生徒に「最も重視したのは誰の考えか」を聞いたところ、「お母さん」(41.9%)と「中学の先生」(32.3%)に分かれていた。それ以外の回答としては、「友だち」9.7%、「お父さん」4.8%、「先輩」4.8%、「きょうだい」(3.2%)、「その他の人」(3.2%)であった。また、八千代高校受験についての父母の賛否は、表2-8に示した通りである。お父さんにおいて「どちらでもない」という回答が若干(17.6%)みられるものの、おおかたにおいて父親も母親も、八千代高校受験に「賛成」していたとみてよいものと思われる。調査では、賛否の理由についても尋ねているが、これに関しては、お父さんもお母さんも、第1位が「通学の便」、第2位が「資格の取得につながる点」であった。

表2-8 八千代高校受験 父母の賛否(1期生1年次調査/全体/N=193)

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無回答
父親	46.6	20.7	17.6	4.1	1.0	9.9
母親	53.4	20.2	8.3	5.7	1.6	10.9

時期についてはどうか。表2-9に示した通り、中心は、「受験校決定のための二者面談・三者面談が開かれた頃」である。この時期に4割の生徒が、受験を心に決めている。そしてそれ以前に決めていた者と合わせると、この時期までに8割以上(82.4%)の生徒が意思決定を行なっている。逆にみれば、決定が遅かった生徒は2割弱である。むろん、いつ頃までを「早い」というのかについては議論が分かれるであろうけれども、比較的“早い”時点で意志決定がなされているように思われる。

表2 - 9 受験決定の時期（1期生1年次調査/全体/N=193）

（％）

受験決定の時期				
中学3年 夏休み 終わり頃まで	中学3年 2学期以降 面談前まで	面談が 開かれた頃	面談が 終わってから	無回答
17.1	25.4	39.9	16.1	1.6

（3）学校説明会への参加状況

受験校決定に際して重要なのは、学校・学科について知悉することである。とりわけ、新たに「総合学科」がスタートするのであれば、それがどのようなものであるか、受験前によく知っている必要があっただろう。この点について八千代高校は、「オープン・スクール」と称して「学校説明会」を開いて周知に努めたのであるが、1期生のうち、この「オープン・スクール」に参加したのは44.1%であった。その他、「オープン・スクール」とは別に学校に見学に来た生徒が7.8%、両者を合わせると、約半数（51.9%）の生徒が何らかの形で事前に八千代高校に来て説明を受けていた。逆にいえば、残りの半数（47.7%）の生徒は、事前に八千代高校にアプローチすることなく受験したのであって、この点は、若干、心もとない状況であると思われる。

（4）八千代高校総合学科志望の状況

では、最終的に八千代高校は、1期生にとって、一番、入りたい学校だったのだろうか。表2 - 10は、この点について尋ねた結果である。これをみると「一番、入りたい学校だった」という生徒の割合は2割（20.2%）、「ほかに入りたい学校があった」という生徒の割合は6割（60.6%）と、不本意な思いでもって受験した生徒の方が多くなっている。ただ、「不本意」といっても、「高校ならばどこでもよかった」生徒（9.8%）や「高校には行きたくなかった」生徒（3.6%）は両方合わせて1割強であり、大抵が、高校に進学すること自体には肯定的だったとみてよからう。

表2 - 10 八千代高校への入学希望

（1期生1年次調査/全体/N=193）

（％）

一番、 入りたい 学校だった	ほかに、 入りたい 学校があった	高校ならば どこでも よかった	高校には 行きたく なかった	無回答
20.2	60.6	9.8	3.6	5.7

2. 1期生の3年間

2001年3月に卒業が予定される1期生は、3年の在学期間の間に、どのように変化したであろうか。総合学科1期生として高校生活を送るなかで、彼らの学校に対する構えや実際はどう変わったのか。また、総合学科、とりわけその特徴である科目の選択をどのように受けとめてきたのか。さらに、彼らは高校卒業後の進路として何を望んできたのか。ここでは、1期生に対して毎年実施してきた調査の結果を比べる形で、その3年間の追跡してみることにする。

なお、もし生徒の一人一人の変化をもとに1期生の3年間の追跡しようとするならば、調査は「パネル調査」の方法で行うべきところである。しかし、「パネル調査」では、事実上、調査を記名式で実施せざるを得なくなるため、ここではその方法を用いていない。つまり、各年次の調査は相互に独立して実施したものである。したがって、3年間の比較も、「1期生」という集団に焦点を当てての比較である。

2 - 1 . 高校生活に対する構えや実際

(1) 高校生活に対する構え

まずは、高校生活の過ごし方についてみてみよう(表2 - 11)。これをみると、1年次から2年次の変化で目立つのは、1年次で4割以上を占めていた「クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている」生徒(44.6% 27.3%)が2割台に減り、そのかわりに、「何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている」生徒(19.2% 25.0%)や「カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しもうとしている」生徒(8.8% 13.6%)が増えたことである。1年次から2年次にかけて、生徒たちは、学校から離脱したり、学校との関係を形式化する傾向をみせたのである。

表2 - 11 高校生活の過ごし方(1期生1～3年次調査/全体) (%)

	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. 学校で、より広く、より高度な知識や技術を身につけようとしている。	4.1	5.1	3.3
2. 学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている。	5.2	6.3	5.2
3. よい会社に就職したり、よい大学に進学しようとしている。	6.7	5.1	6.5
4. 何はともあれ、今よりも成績を上げようとしている。	8.3	5.7	0.7
5. 何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている。	19.2	25.0	22.9
6. クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている。	44.6	27.3	35.3
7. 校外でボランティアをしたり、地域活動をしたり、幅広い経験を得ようとしている。	1.6	2.3	2.0
8. カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しもうとしている。	8.8	13.6	15.7
9. その他	0.5	2.3	2.0
無回答	1.0	7.4	6.5

では、彼らのこの傾向は、そのまま3年次になっても続いたのか。2年次から3年次の変化をみると、「校外の生活を楽しもうとしている」生徒については、若干であるが増えている(13.6% 15.7%)。この点で、生徒の学校からの離脱は、2年次から3年次にかけて引き続き続いたようである。一方、いったん2年次で減った「学校生活を楽しもうとしている」生徒であるが、こちらの方は3年次でまた増えている(27.3% 35.3%)。そしてその分、「何はともあれ、今よりも成績をあげようとしている」生徒(5.7% 0.7%)や「何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている」生徒(25.0% 22.9%)が減っている。つまり、2年次から3年次にかけて生徒たちは、「成績」や「卒業」にこだわることなく、友人関係やクラブ活動において学校生活の実質を楽しもうという志向を強めたのである。2年次から3年次へ……1期生たちは、一方で学校からの離脱し続けた。その一方で、成績や卒業を差し置いて、友人関係やクラブ活動に楽しみを見出した。そのような変化がうかがえるのである。

表2 - 12は、1期生たちの「学校生活にかける割合」の変化をみたものである。これをみると、明らかに「2割」「2割～4割」という生徒たちが年次とともに増えていく。その点で、彼らの学校からの離脱

傾向が窺える。しかし、その一方で、1年次から2年次にかけて「6割～8割」に生徒が集中する。そしてその後、2年次から3年次にかけて、この集中した分が「8割以上」と「4割～6割」に分かれていく。2年次でもって「卒業」という形にこだわった彼らが、その後、一方で友人関係やクラブ活動に学校生活の実質を見出していく。その一方で、「卒業」という形にもこだわらなくなり、学校から距離をおいていく。そんな彼らの3年間の変化が、この結果にも窺えるのである。

表2 - 12 学校生活にかかる割合
(1期生1～3年次調査/全体)

	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. 8割以上をかけている。	3.1	1.7	6.5
2. 6割から8割くらいをかけている。	22.3	30.7	15.0
3. 4割から6割くらいをかけている。	49.7	43.2	48.4
4. 2割から4割くらいをかけている。	16.1	16.5	20.9
5. 2割もかけていない。	8.8	8.0	9.2
無回答	0.0	0.0	0.0

(2) 高校生活の実際

いま少し具体的に1期生の高校生活を辿ってみよう。ただ、本調査では、1年次の調査の重点を入学時の状況や1年次の課題である「科目選択」に置いたために、この点に関して3年間を通じて比較できるようなデータを集めていない。比較的、調査票のスペースを確保できた2,3年次で「高校生活の実際」について幾つかの質問をしているので、以下、その結果についてのみ見ておこう(表2 - 13)。

表2 - 13 高校生活の実際(1期生2・3年次調査/全体)

	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. 楽しく授業を受けている。	49.5	52.3
2. まじめに授業を受けている。	59.7	58.2
3. 授業についていけている。	58.5	66.6
4. 予習・復習をしたり、わからないところを自分で調べたり、積極的に勉強している。	10.3	13.7
5. 系列に関係する雑誌を読んだり、テレビ番組を見たりしている。	15.4	28.1
6. 資格を取ったり、検定を受けたりしている。	51.1	72.5
7. 学校の規則を守っている。	52.2	72.6
8. 先生から信頼される行動をとっている。	58.5	57.5
9. 部活動や学校行事に積極的に参加している。	68.7	56.9
10. 地域の行事やボランティアに参加している。	32.4	19.6
11. 将来の進路を決めるために、いろいろな情報を集めている。	27.9	55.5
12. 問題なく卒業できそうである。	47.7	90.2
13. 卒業後の進路に見通しがついている。	54.6	84.4
14. 他の学校では学べないことを学んでいる。	68.7	80.4
15. 系列に関係することを趣味にしている。	59.7	47.1
16. 自分らしい高校生活を送っている。	44.9	73.2
17. 八千代高校総合学科に愛着を感じている。	52.8	45.8

注) 「よく、あてはまる」と「まあ、あてはまる」の合計

結果からまず言えることは、2年次から3年次にかけて、若干ではあれ、「授業」をより肯定的に受けとめるようになってきたことである。「楽しく授業を受けている」生徒の割合(49.5% 52.3%)も、「授業についていけている」生徒の割合(58.5% 66.6%)も、わずかではあるが増加している。また、これも若干ではあるが、「予習・復習をしたり、わからないところを自分で調べたり、積極的に勉強して

いる」という生徒の割合（10.3% 13.7%）も増えている。そして何よりも、「他の学校では学べないことを学んでいる」という生徒（68.7% 80.4%）や、「系列に関係する雑誌を読んだり、テレビ番組を見たりしている」という生徒（15.4% 28.1%）など、総合学科における授業展開に肯定的に反応する生徒の割合も増えている。2年次から3年次にかけて、授業についての生徒の受けとめ方は、間違いなく改善されてきているのである。

結果から読み取れる二番目の点は、2年次から3年次にかけて生徒たちは、卒業後の進路決定に向けて動機づけられていっている点である。「資格をとったり、検定を受けたりしている」生徒の割合（51.1% 72.5%）は、2年次から3年次へと急増している。「将来の進路を決めるために、いろいろな情報を集めている」という生徒も、2年次では3割弱であったのが、3年次では5割を超えている（27.9% 55.5%）。このように生徒たちは、3年次になるとともに卒業後の進路を自らの問題として捉えるようになってきたのであり、その結果として、2年次では覚束ない状況にあった「卒業」も「進路」も、「問題なく卒業できそうである」（47.7% 90.2%）し、「卒業後の進路に見通しがついている」（54.6% 84.4%）といった具合に、確実なものとなってきたのである。

三番目に、総合学科にとってはその目的に照らして何よりも好ましい事実なのであるが、高校生活に「自分らしさ」が感じられるようになった点である。「自分らしい高校生活を送っている」という生徒の割合は2年次から3年次にかけて急増し（44.9% 73.2%）、4人に3人までがそのことを肯定するようになってきている。高校生活に自分を投企できるようになった分、学校への適応度も増したのであろう。「学校の規則を守っている」という生徒の割合も、2年次に比べて3年次で急増している（52.2% 72.6%）。

先に、1期生たちは1年次から2年次にかけて、学校からの離脱したり、学校生活を形式的に受けとめたりする傾向を強めたと指摘した。しかし、2年次から3年次では、むしろ一方では学校から離脱する傾向が続いたが、その一方で友人関係等を中心に学校生活に実質的な意味を見出そうという志向も強まったと指摘した。今みた結果は、2年次から3年次にかけて1期生たちの間に学校生活を実質において受けとめる姿勢が強まってきていることを示すものである。学校離れをしていく生徒もいるものの、その一方で徐々に学校生活に意味を見出していく生徒もいる。後で詳しくみるように、「八千代高校総合学科に入学してよかった」という生徒の割合は、2年次から3年次にかけて増加する。次第に学校生活に意味を見出していくこのような生徒の存在は、おそらくは八千代高校総合学科にとって心強いものであろう。また、同学科の教育の成果を示すものとして注目しておいてよいであろう。

ただ、とは言うものの、「八千代高校総合学科に愛着を感じている」という生徒の割合（52.8% 45.8%）が2年次から3年次にかけて減っている点は気がかりである。学校が自分にとって意味をもつことと学校に対して愛着を感じることは“別物”なのであろうか。

なお、「部活動や学校行事に積極的に参加している」生徒（68.7% 56.9%）や「地域の行事やボランティアに参加している」生徒（32.4% 19.6%）、「系列に関係することを趣味にしている」生徒（59.7% 47.1%）が3年次において減っていることは、3年次生の場合、就職・進学活動に力をかけざるを得ない状況にあるがゆえの結果であるものと思われる。

2 - 2 . 総合学科とその特徴に関する受けとめ方

先述のように、1期生においてはその4分の3が八千代高校が「総合学科」であることをきっかけに同校を受験していた。また、受験にあたり同校が「総合学科」であることに多少なりとも「魅力を感じてい

た」者は7割近くに及んでいた。このように、「総合学科」なるものを相応に意識して受験・入学した1期生たちは、その後、「総合学科」なるものをどのように受けとめて3年間を過ごしたのか。ここでは、「系列」と「総合学科で学んでいることを意識する度合い」、「総合学科」の特徴である「科目選択についての受けとめ方」に焦点をあてて、1期生と「総合学科」との関わり合いをみてることにする。

(1) 「系列」との関係

「系列」は、生徒たちの科目選択のガイドラインとして意味をもつ。八千代高校には、「人文科学」「自然科学」「健康体育」「社会福祉」「自動車工業」「流通経済」の6つの系列が設定されているのであるが、生徒たちは、どの系列に導かれて科目を選択しているのか。表2-14は、この点について1期生の3年間を追跡した結果である。2,3年次における科目の選択が実際には1年次においてなされることもあって、1年次から3年次まで結果にほとんど変化はない。「流通経済」が最も多く、全体のほぼ3分の1を占めている。次いで「自動車工業」であり、これについては2割強の生徒が該当している。その次が「人文科学」「社会福祉」「自然科学」であり、この3つの系列については該当する生徒が1割台である。該当する生徒が少ないのは「健康体育」であり、この系列に該当する生徒は2~3%にすぎない。なお、「系列を考えていない」という生徒も数%存在している。

表5-14 選択科目選択系列

(1期生1~3年次調査/全体)

(%)

	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. 人文科学系列	15.0	14.2	13.1
2. 自然科学系列	8.8	11.9	12.4
3. 健康体育系列	3.1	2.8	2.0
4. 社会福祉系列	13.0	12.5	12.4
5. 自動車工業系列	21.2	24.4	21.6
6. 流通経済系列	33.2	30.7	32.7
7. 系列を考えていない	5.7	2.8	5.9
無回答	0.0	0.6	0.0

1年次から3年次にかけての変化をみると、わずかながらも増加してくるのが「自然科学」である。逆に減少傾向なのが「人文科学」「健康体育」「社会福祉」である。「自動車工業」については、1年次から2年次にかけて増加するものの、3年次には1年次と同程度に戻っている。逆に2年次に減り、3年次に1年次と同水準に戻っているのが「流通経済」である。もっとも、こうした変化はごくわずかであり、1年次において決めた科目選択の方向は3年次までそのまま維持されていくのが通例のようである。

(2) 「総合学科」に学ぶことの意識

1期生たちは、入学前から少なからず八千代高校が「総合学科」であることを意識させられてきている。中学校の進路指導においても、十分とは言えないまでも、そのことの説明を受けてきているはずである。また入学後も、1期生ということで、ことあるごとに「総合学科」で学んでいることの自覚化が図られてきたはずである。果たして、彼らは3年間を通じて、どの程度、「総合学科」に学んでいることを意識しているのか。

表2-15 「総合学科」を意識する度合い

(1期生1~3年次調査/全体)

(%)

表2-15は、1期生について「総合学科」を意識する度合いが1年次から3年次まで、どのように変化してきたかをみたものである。これをみると、1年次から2年次にかけて、「意識している生徒」と「意識していない」生徒が分化する傾

	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. かなり意識している。	4.1	9.1	9.2
2. ある程度、意識している。	39.9	43.8	40.5
3. あまり、意識していない。	47.7	33.5	39.9
4. まったく意識していない。	7.8	13.6	10.5
無回答	0.5	0.0	0.0

向にあることがわかる。すなわち、1年次では「あまり意識していない」生徒が47.7%いたものが、2年次では33.5%に減ってしまう。そのかわりに「かなり意識している」「ある程度、意識している」生徒の割合がそれぞれ5ポイントくらいずつ増え、同時に「まったく意識していない」生徒の割合も約5ポイント増えている。1年次から2年次にかけては、科目の選択や「産業社会と人間」の授業等を通して生徒たちの間に、「総合学科」の生徒としてのアイデンティティが形作られていく時期である。この時期に、そうしたアイデンティティがもてる生徒ともてない生徒とに、1期生たちは分かれたのである。

では、2年次から3年次にかけての変化はどのようなであったのか。表に示されているように、一つには、「まったく意識していない」という生徒も「ある程度、意識している」という生徒も減り、結果的に「あまり、意識していない」とする生徒が再び増加している。「かなり意識している」生徒の割合に変化はない。2年次から3年次にかけては、選択科目中心の履修が中心になる時期である。しかし、生徒にしてみれば、総合学科で学ぶことは当たり前のことになってしまっている。自覚化が促される契機と常識化する動きと、そうした2つの相反するベクトルの作用で、このような結果になったものと思われる。

(3) 科目選択についての受けとめ方

総合学科の特徴のひとつは、言うまでもなく多く、かつ多様な選択科目のなかから自分で履修科目を選択して、自分で自分のカリキュラムをつくることにある。八千代高校の場合、何よりもこの点を重視しており、あらかじめ枠を決めてそのなかから生徒に履修科目を選ばせるといった方法ではなく、まずはじめに生徒の履修希望を調査し、その結果に基づいて最も多くの生徒の希望を実現できるカリキュラムを作成する方法がとられている。また、それだけに、生徒の科目選択にかかわる指導にも力が入っており、「産業社会と人間」の時間において、あるいは特別に設けられた「カウンセリング・ウィーク」において、積極的に指導が行われている。

それでは、生徒たちは、この「科目選択」をどのように受けとめているのか。表2-16は、1期生について、科目選択の途中である1年次の9月と、既に選択した科目の授業が一通り終わりつつある2年次の2月に、その受けとめ方を尋ねた結果である。

表を見ると、1年次においては、科目選択を肯定的に受けとめている生徒も否定的に受けとめている生徒も、ともにおよそ4割程度であったものと推測される。「取りたいと思う科目がたくさんあって困っている」「時間割をうめるためにいやいやと取る科目が多い」「どの科目をとったらいいのか、わからない」

表2-16 科目選択についての受けとめ方選択系列(1期生1~2年次調査/全体)
(%)

	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)
1. 取りたいと思う科目がたくさんあって、困った。	40.9	43.2
2. 時間割をうめるために、いやいや取る科目が多かった。	42.5	46.1
3. どの科目を取ったらいいのか、わからなかった。	46.1	68.7
4. 科目を選ぶのが、楽しく感じられた。	37.3	36.3
5. 科目を選ぶのが、めんどくさかった。	37.8	51.2
6. 担当する先生が誰かが気になった。	50.8	51.7
7. 科目の選択について、友だちと話をした。	66.8	76.7
8. 科目選択についてお父さん、お母さんと話をした。	35.2	29.0
9. 科目の選択について、先生に相談した。	24.9	45.5
10. 満足のいく科目選択ができた。		47.7

注) 「おおいに、あてはまる」と「まあ、あてはまる」の合計

「科目を選ぶのが、楽しく感じられる」「科目を選ぶのがめんどくさい」、いずれの項目をとっても、「あてはまる」という生徒の割合が、その程度になっていたのである。調査の結果から推測するに、おそらくは生徒一人一人を取り上げてみても、そこには科目選択に前向き取り組もうという気持ちと、困ったり面倒だったり、いま一つ、乗り切れない気持ちが混在していたことであろう。ともあれ、まずは友だち頼りと、「科目選択について友だちと、話をしている」生徒も7割近くに達していたのである。

2年次の調査の結果は、先にも示したように、既に選択科目の授業が一通り終わろうという時点のものである。この結果を1年次のものと比較してみると、困ったり、いやいやだったり、わからなかったり、面倒だったり、否定的な反応が強くなっている。とりわけ、「わからなかった」「めんどくさかった」という反応に関しては、1年次と比べてかなりの増加である。逆に「楽しく感じられた」という反応は、若干、減っている。2年次になって改めて思い起こしてみると、科目を選択し、自分のカリキュラムを自分でつくることが、結構、たいへんなことだったと気づかされている様子である。

その点で注目に値するのが、科目の選択について「友だちと話をした」「先生に相談した」という生徒が1年次と比べて2年次で大きく増加している点である。「友だち」については、1年次においても「相談した」生徒が7割近くにまで達していたのであるが、2年次ではそれをさらに上回って数値が8割近くにまでなっている。「先生」については、1年次では24.9%、2年次では45.5%と、倍増に近い増え方である。「わからなかった」「めんどくさかった」という生徒の反応は、それで終わってしまったのではない。わからなければ、めんどくさければこそ、友だちと話し、先生に相談するという行動を引き起こしたものである。その点で、八千代高校総合学科の科目選択についての指導は成功している。総合学科においては、科目の選択は単に受講する授業科目を選択することではない。それ自体、進路の形成であり、生き方の模索である。調査の結果は、その難しさに直面し、でありながら、友だちや先生の助けを借りてそれを乗り越えた生徒の存在を示唆しており、その点で科目選択をとりわけ重視する八千代高校の指導の手応えが見て取れるのである。

なお、授業がある程度、進んだ2年次の終わりの時点で「満足がいく科目選択ができた」とする生徒の割合は47.7%、およそ2分の1となっている。

(4) 選択科目の授業についての見方

選択科目の授業は、生徒自身がその責任において選んだものであるだけに、その授業を生徒たちがどのように受けとめるかは、学科にとっても彼らにとっても大きな問題である。表2-17は、1期生が2年次、3年次において、選択科目の授業をどのようにみていたかを調べたものである。

まず、2年次、3年次、それぞれの時点においてどのような受けとめ方がなされていたかについて概略を整理しておく。2年次では「資格をとるのに役立つ授業が多い」(91.5%)、「むずかしい授業が多い」(73.9%)、「将来の仕事に必要な知識・技術が身につく授業が多い」(67.1%)、「他の学校にはない特色ある内容の授業が多い」(65.9%)といった項目において「あてはまる」とする生徒の割合が6割を超えていた。3年次においては、これに加えて、「専門的な内容の授業が多い」(70.6%)、「仲のよい友だちといっしょに受ける授業が多い」(77.1%)といった項目が「あてはまる」とする生徒の割合が多い項目としてあがっていた。これをみると、1期生たちは2年次においても、3年次においても、選択科目の授業を「資格」「仕事」と関連させて捉えていたようである。また、選択科目の授業を八千代高校ならではの授業として意識もしていたようである。ただ、2年次と3年次では、3年次の方が授業をより専門に近いところに位置づける傾向にあったものと推測される。「仲のよい友だち・・・」の

項目が3年次において上位に位置してくる点に関しては、単に友だちも選択したからという理由で授業を履修したということだけでなく、逆に、より専門的な授業を選択することで、友人関係も2年次に比べて固定化したということも、その背景として考えられる。

表2 - 17 選択科目の授業についての見方（1期生2・3年次調査 / 全体）（%）

	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. むずかしい授業が多い。	73.9	69.3
2. やさしい授業が多い。	19.3	39.9
3. 興味・関心がもてる授業が多い。	47.2	56.9
4. 自分の適性を生かして勉強できる授業が多い。	52.3	56.2
5. 身近な内容の授業が多い。	51.2	47.1
6. 専門的な内容の授業が多い。	53.4	70.6
7. 生活に必要な知識や技術が身につく授業が多い。	56.9	58.8
8. 自分の趣味や楽しみに関係する授業が多い。	44.9	47.1
9. 大学や短大、専門学校の入試に役立ちそうな授業が多い。	42.1	45.1
10. 大学や短大、専門学校で勉強するのに、学んでおいた方がよさそうな授業が多い。	50.6	53.0
11. 就職（採用）試験に合格するのに役立ちそうな授業が多い。	45.5	38.6
12. 資格を取るのに役立ちそうな授業が多い。	91.5	79.1
13. 将来の仕事に必要な知識・技術が身につく授業が多い。	67.1	68.7
14. 好きな先生が担当する授業が多い。	35.2	28.1
15. それほど勉強しなくても単位がとれそうな授業が多い。	30.7	47.7
16. 仲のよい友だちといっしょに受ける授業が多い。	54.6	77.1
17. 他の学校にはない特色ある内容の授業が多い。	65.9	77.1

注) 「おおいに、あてはまる」と「まあ、あてはまる」の合計

いま少し詳しく、2年次から3年次にかけての変化を追ってみよう。その間の変化は、まず第一に、より選択授業が自身に近いものとして捉えられるようになった点である。「興味・関心がもてる授業が多い」「自分の適性を生かして勉強できる授業が多い」「生活に必要な知識・技術が身につく授業が多い」「自分の趣味や楽しみに関係する授業が多い」という生徒の割合は2年次から3年次にかけて増えている。逆に「むずかしい授業が多い」とする生徒の割合は減少傾向である。確かに「専門的な授業が多い」とする生徒も増えてはいるものの、それだからといって、授業を敬遠することにはなっていないようである。加えて授業内容の近しさだけでなく、「仲のよい友だちといっしょに受ける授業が多い」という意味での近しさを感じる生徒の割合も増えている。

第二には、授業に対して多少、楽観的な受けとめ方がなされるようになった点である。「むずかしい授業が多い」という生徒の反応が減少傾向にあることについては、既に指摘したところであるが、それと対になる形で「やさしい授業が多い」とする生徒の割合が、2年次から3年次にかけて増加している。「それほど勉強しなくても単位がとれそうな授業が多い」とする反応も同様である。

第三には、選択科目の授業が、直接、就職につながるようなものではないと認識し始めていることである。2年次から3年次にかけて、「就職試験に合格するのに役立ちそうな授業が多い」「資格を取るのに役立ちそうな授業が多い」といった見方がやや後退している。期待が大きければこそ多少の幻滅をもってこのように受けとめるようになったのか、それとも授業を打算的に受けとめなくなったからなのか、2年次から3年次にかけて、1期生たちは、就職・資格と授業との距離を認識しはじめていたのである。

2 - 3 . 資格の取得と進路の形成

生徒の進路形成は、総合学科ならずとも高校教育の大きな課題である。総合学科の場合、高校入学後にそこでの教育を通じて進路を決定していくことが生徒の取り得る道として用意されているだけに、このことがより課題性を帯びてくる。「産業社会と人間」の授業などで生徒の進路形成を援助することがより強く求められているのである。ちなみに、八千代高校の場合、「産業社会と人間」の授業に加えて生徒の進路を導く手段となっているのが「資格」である。生徒に資格の取得を奨励することで、生徒の進路形成を援助していくことがなされているのである。

果たして、1期生の資格取得状況はどのようであったのか。また、実際にどのような進路を選ぶことになったのか。以下、その概略を追跡してみることにする。

(1) 資格の取得

表2 - 18 は、1期生の資格取得状況を年次を追って調べたものである。まず、資格の取得を目指したか、あるいは実際に取得したかを尋ねた結果であるが、1年次において資格の取得を目指したのは約8割(79.8%)の生徒である。それが2年次では、約7割(71.0%)と若干減る。当初は取得を目指したものの「あきらめた」という生徒が1割程度いたものと思われる。だが、それが3年次では、また8割を超えている(83.0%)。つまり、1期生に関しては、2年次で若干落ち込んだ資格取得に向けての意欲が3年次でまた回復している。資格取得に向けての指導は、取得への意欲を最後まで継続させることが大切である。八千代高校の場合、資格取得に力を入れているだけに、このように2年次で落ち込んだ生徒の意欲を

表2 - 18 資格取得状況・予定(1期生1～3年次調査/全体)

〔資格取得状況・予定〕 (%)			
	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. あり	79.8	71.0	83.0
2. なし	19.7	26.1	15.7
無回答	0.5	2.8	1.3

〔取得(予定)資格〕 (%)			
	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. 介護福祉士国家試験受験資格	11.4	48.3	51.0
2. ホームヘルパー2級	11.9	34.1	30.1
3. ホームヘルパー3級	3.1	19.9	9.2
4. 3級自動車整備士受験資格	14.5	7.4	3.9
5. 溶接(ガス・アーク)	4.7	4.0	5.9
6. 危険物取扱者	6.2	4.0	4.6
7. 簿記検定資格	18.1	8.5	6.5
8. 情報処理検定資格	27.5	12.5	17.0
9. ワープロ検定資格	26.4	16.5	19.0
10. 漢字検定資格	17.6	15.3	13.1
11. 英語検定資格	20.7	8.0	6.5
12. 硬筆検定資格	18.1	13.6	22.2
13. 毛筆検定資格	4.7	3.4	2.6
14. 数学検定資格	9.3	4.5	2.6
15. その他	3.6	3.4	22.2

3年次で再び喚起できたものと思われる。

表2 - 18には、1期生がどのような種類の資格の取得を目指したかを年次を追いつつ示してある。これを見ると、1年次から第2年次にかけて福祉関連の資格に注目が集まった様子が見て取れる。取得・取得希望の生徒が、「介護福祉士国家試験受験資格」「ホームヘルパー2級」「ホームヘルパー3級」のいずれにおいても激増したのである。しかし、生徒のこのような希望はそのまま3年次まで持ち越されてはいない。3年次では「ホームヘルパー」に関しては、「取得あるいは取得希望」の割合が、数%、落ち込んでいる。何人かの生徒は、2年次から3年次にかけて、資格の取得を取り止めてしまっているのである。しかし、それでも最終的に、「介護福祉士国家試験受験資格」については51.0%、「ホームヘルパー2級」については30.1%、「ホームヘルパー3級」については9.2%の生徒が取得に励んでいる。福祉関係の資格は、他の資格に比べて生徒を惹きつけているし、実際に多くの生徒が取得の希望を現実のものとしているのである。

工業関係の資格については、1年次では「3級自動車整備士受験資格」が相対的に多くの生徒を惹きつけていた。しかし、その割合は、2年次、3年次と減っていく。資格は、総合学科の場合、一方で生徒たちの進路を導く意味をもっている。しかし、それと裏腹の関係で生徒の科目選択を縛るはたらきをしてしまう。「自動車整備士」の資格に関しては、この縛りが強いと聞いている。科目選択の過程でその縛りに出会ったとき、生徒のなかには、取得を放棄したり断念したりする者も出てこざるを得ないのである。なお、「溶接」「危険物取扱者」については、1年次から3年次まで取得あるいは取得希望の者の割合があまり変わらず、全体の数%となっている。

商業関係の資格をみると、福祉関係の資格とは反対に、1年次で取得希望の生徒が多かったものが、2年次でそれが半減してしまう。「簿記検定資格」「情報処理検定資格」「ワープロ検定資格」いずれをとっても同じような傾向である。この種の資格と関係の深い系列である「流通経済」を志向する生徒の割合は、1年次から3年次までさほど変わらない。にもかかわらず、このような動きが起こるのは何故なのか。実態として、1年次から2年次にかけて、幾人かの生徒が取得を放棄したり断念したりすることになっているのである。ただ、2年次から3年次にかけては、その動きは止まっている。逆に、「情報処理検定資格」と「ワープロ検定資格」に関しては、再び、取得・取得希望者が増えだしている。この間に、生徒たちはどのように資格に向けて動機づけられたのか。2年次から3年次にかけては生徒の卒業後の進路が具体化してくる時期であり、この動きについては、彼らの進路形成との関係でみる必要がある。

教養関係の資格に関しては、「硬筆」以外の資格では1年次から3年次にかけて、徐々に取得者・取得希望者が減っていく。特に「英語検定」では、1年次から2年次にかけての落ち込みが大きい。「硬筆」に関しては、1年次から2年次にかけて取得・取得希望者がいったんは減るものの、3年次で1年次の水準を超えるほどに回復している。このような変化が授業等における取り組みと関係したものかどうか、同学科の特徴の一つが「生徒の資格取得の重視」にあるだけに、今後、その確認をしつつ、同学科における「資格」の位置づけについて改めて考察することが課題である。

(2) 進路の形成

先にも示したように、総合学科は、高校に入学前に自分の進路を決定した生徒にも、入学してから後で自分の進路を考える生徒にも対応するように構想されている。八千代高校1期生の場合、3年次において回想的に自らの進路決定の過程を振り返ってもらった調査の結果では、高校入学前に卒業後の進路（就職/進学）の別）が決まっていた者は、全体の47.7%である。この割合は、結果的に就職することになった生

徒では 53.8%，進学することになった生徒では 44.9%となっている。約半数が，卒業後の進み道を決めて八千代高校に入学してきており，そうした生徒は就職志向の生徒に若干多くなっているのが現状である。

この点に関しては，総合学科が進路について前述のように構想されていることを考えると，八千代高校の場合，ある意味で総合学科として理想的な状況にあるように思われる。というのも，卒業後に進む道を決めて入学した者と入学後にそれを考えようという者と，両者に対応しつつ教育活動を続けていくことは，八千代高校総合学科が総合学科として厚みを増す契機となると考えるからである。一般に高等学校においては，卒業後の志望，特に進学の志望を固めて入学してくる生徒を確保したいという志向が強いと言われている。これまでは，「進学校」が高等学校のモデルであり，そこに自校をいかに近づけるかが各校の学校づくりであった。「進学校」がモデルであればこそ，各学校は，卒業後の進路が固まった生徒を入学させたがった。しかし，総合学科には，「進学校」ではない新たなモデルになることが期待されている。生徒の多様な進路に呼応しつつ，教育活動の厚みを増していくことが八千代高校には期待されるのである。

さて，その八千代高校における 1 期生の進路であるが，1 年次から 3 年次に至る動きを追ってみると（表 2 - 19），1 年次から 2 年次では「就職志向」の生徒が増えている。と同時に，「進学」という生徒の割合もわずかではあるが増えている。

表 2 - 19 卒業後の進路（希望）

（1 期生 1 ～ 3 年次調査 / 全体）

（%）

	1 年次 (N=193)	2 年次 (N=176)	3 年次 (N=153)
1 . 就職	40.4	43.8	51.0
2 . どちらかといえば就職	11.4	13.1	
3 . どちらともいえない (3 年次：予定なし)	10.4	8.5	3.9
4 . どちらかといえば進学	18.1	12.5	45.1
5 . 進学	18.7	21.0	
無回答	1.0	1.1	0.0

注) 3 年次調査の結果は，実際の進路

「どちらともいえない」あるいは「どちらかといえば進学」という生徒である。むろん本調査はパネル調査ではないので確定的なことは言えないのであるが，この結果から推測されるのは，1 年次から 2 年次にかけて「進学」しようという生徒ははっきりと進学の志望を固め，逆に，「何となく進学」と考えていた生徒は「就職」に傾いてきたことである。ただ，このような傾向はあるものの，その変化はさほど大きくない。これまた，本調査はパネル調査ではないので確定的なことは言えないのであるが，1 年次における志望はほぼそのまま 2 年次に持ち越されていると見た方がよさそうである。いったん決まった生徒の進路志望は，1 年次から 2 年次への学年進行ではあまり変わらなかったものと思われるのである。

では，2 年次から 3 年次にかけてはどうか。3 年次の調査を実施したのは生徒の進学・就職の別がほぼ決定した 12 月である。したがって，質問の方法も 1 年次，2 年次とは異なり，「志望」ではなく「実際」を尋ねる形になっている。その点で表に示した結果は，「志望」の変化というよりも，「志望」がどの程度，実現されたかを示すものである。言うまでもなく実際の進路は志望通りに決まるものではない。現実との関係のなかで，結果的にあるところに落ち着くのである。表をみると，2 年次から 3 年次にかけて，「就職」が 5.9%，「どちらともいえない (予定なし)」が 4.6% 減少し，その分，「進学」が増えている (33.5% 45.1%)。果たしてこれが何を意味するのか。折からの不況で就職難であるがゆえに，志望を「就職」から「進学」に変えたのか。それとも，より積極的に，総合学科で学んだことを背景に，引き続き学びたいと意図したのか。その背景は明らかではないが，結果的かつ現実に生徒の卒業後の進路は，「進学」が 1 年次，2 年次の志望を上回る形で決まることになったのである。

表2 - 20 は、進学者志望者について、1年次から3年次にかけて志望先の学校種別がどのように変化してきたかを示したものである。これをみると、1年次から3年次にかけて「専門学校」志望が減り、「4年制大学」志望が増えてきていることがわかる。「短期大学」については、1年次から2年次にかけて増加するものの、3年次では減少している。このことから推測されるのは、「専門学校」から「短期大学」へ、そして最終的には「4年制大学」へと志望を変えていく生徒の存在である。むろん、大方の生徒は当初の志望通りの学校に進学をしていくのであるが、なかにこのように志望を高めていく生徒がいることは、同学科において何らかの形でアスピレーションの加熱が行われていることを示している。4年制大学への進学が無条件によいという訳ではないが、同学科の教育成果の一端を示すものとして着目しておいてよいであろう。

表2 - 20 進学志望者：志望先学校種別

(1期生1～3年次調査/全体)

(%)

	1年次 (N= 71)	2年次 (N= 59)	3年次 (N=69)
1. 4年制の大学	15.5	18.6	34.8
2. 短期大学	8.5	18.6	11.6
3. 専門学校	66.2	61.0	50.7
4. その他	0.0	0.0	0.0
5. まだ、はっきりしていない	9.9	1.7	1.4
無回答	0.0	0.0	1.4

3. 1期生にとっての八千代高校総合学科

以上、1期生に対する3回の調査の結果より、彼らの3年間の軌跡を追跡してきた。では、彼らにとって八千代高校総合学科とは何だったのか。そのどこに魅力があったのか。また、どこに満足をし、どこに不満を抱いたのか。結果的に、八千代高校総合学科で学んだことをよかったと思っているのか。ここでは、1期生にとって八千代高校がどのような意味をもっていたかを素描してみたい。

3 - 1. 学校観とその変化

まず、1期生の八千代高校についての見方とその変化についてみてみよう。表2 - 21 は、総合学科の特色となるような項目も含めて高校の特色を示す15の項目をあげ、1期生にそれぞれの観点から八千代高校を評価してもらった結果である。数値は、「とてもそう思う」と「まあそう思う」とに答えた者の割合を足したものであり、1年次から3年次まで3回の調査の結果を示してある。

まず、全体に1期生たちが自らの学校をどのように見ていたかを概観しておこう。1年次において「そう思う」という生徒の割合が6割を超えていたのは、「いろいろな資格をとることができる学校」「就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校」「就職するのに有利な学校」「自分の学びたいことが学べる学校」「進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校」「入学後に、卒業後の進路を選ぶことができる学校」の6項目である。2年次では、このうちの「入学後に、卒業後の進路を選ぶことができる学校」を除く5項目である。3年次では、さらに「進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校」「就職するのに有利な学校」の2項目を除く残りの3項目である。このようにしてみると、年次によって評価の度合いが低下する傾向にあるものの、1期生の八千代高校についての見方の核には、一つには「資格」と「職業的な知識・技術」があるように思われる。資格をとって職業的な知識・技術を

表2 - 21 八千代高校についての見方（1期生1～3年次調査/全体）

	(%)		
	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. 自分の学びたいことが学べる学校	76.7	69.9	70.6
2. 自分のペースで勉強のできる学校	53.4	35.8	36.0
3. 進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	65.3	65.9	56.2
4. 就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	77.2	75.0	60.8
5. いろいろな資格をとることができる学校	85.0	92.7	85.0
6. 進学するのに有利な学校	56.5	43.7	38.6
7. 就職するのに有利な学校	77.2	77.6	51.6
8. 入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校	65.3	57.3	54.9
9. のびのびと開放的な学校	21.8	15.9	21.5
10. 新しいことに挑戦する雰囲気がある学校	42.0	39.7	36.0
11. 伝統が感じられる学校	39.4	35.8	39.2
12. 「いじめ」などの問題がなく、平穏な学校	42.5	36.9	23.5
13. 部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校	58.5	50.0	52.3
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	14.0	19.3	17.0

注)「とても、そう思う」「まあ、そう思う」の合計

身につけることができる点に、同学科の特徴をみる見方が広がっているのである。第二の核は、「自分なりの学習」である。選択科目によって自分の学びたいことが学べることにその特徴をみる見方も、ある程度の広がりをもっている。1年次においては、入学後に進路を選ぶことができることも特徴としてあげられている。十分ではないにしても、八千代高校に総合学科としての特色をみる見方も相応に生徒の間に共有されているのである。

では、1期生の八千代高校についての見方は、学年次が進むとともにどのように変わったであろうか。既に上にみたように、学年次が進むにしたがって、全体に「そう思う」とする生徒の割合が高い項目は減っている。1年次には、皆が八千代高校に同じ特徴をみていたものが、2年次、3年次になるとともに、その見方が徐々に共有されなくなってきているのである。

いま少し、具体的に年次を追った変化を見ておこう。まず、1年次から2年次にかけて薄らいでいくのが、八千代高校に総合学科としての特色をみる見方である。「自分の学びたいことが学べる」「自分のペースで勉強のできる」「入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる」といった総合学制的な特色を八千代高校に認める生徒の割合は1年次から2年次にかけて数ポイント減少している。確かに先にも述べたように、八千代高校に総合学科としての特色をみる見方は、生徒たちの間に広がっている。しかし、年次進行でみれば、それは1年次から2年次にかけて薄らいでいる。年次が進むとともに、学校から総合学制的な特徴が読み取りにくくなっているのである。

その他、1年次から2年次にかけて薄らいでいくのが、八千代高校を進学校としてみる見方である。「進学するのに有利な学校」とみる生徒の割合は、1年次から2年次にかけて1割以上、減少している。さらにその他の事項では、「『いじめ』などの問題がなく、平穏な学校」「部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校」「のびのびと開放的な学校」という見方も薄れている。学校を楽しく、のびやかな場としてみる見方も1年次から2年次にかけて後退したのである。

では、2年次から3年次にかけてはどうか。この時点で変化するのは、一つには、学校を「就職」との関係でみる見方である。「就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校」「就職するのに有利な学校」といった項目において「そう思う」という生徒の割合が減っている。二つには、「進学」との関

係でみる見方である。これについては、既に1年次から2年次にかけて「進学するのに有利な学校」とする見方が弱まっていた。それに加えて、2年次から3年次にかけては「進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校」という見方も弱まっているのである。「就職」にしても「進学」にしても、卒業後の進路に関わる事柄である。このようにしてみると、1期生の八千代高校についての見方は、特に進路との関係において否定的になっていく。八千代高校総合学科が、卒業後の進路を保証してくれるようなところなのかどうか、その点について楽観できなくなっているのである。

その他、2年次から3年次で見てとれる変化は、2年次で若干、落ち込んだ「のびのびと開放的な学校」という見方が1年次の水準まで回復している点である。しかし、その一方で、「『いじめ』などの問題がなく、平穏な学校」として見る見方は引き続き減少傾向である。生徒たちが、どのような点に「のびのびさ」を感じるようになったのか、そのあたりのことも含めて、この点については検討の課題だといってよかろう。

3 - 2 . 八千代高校総合学科の魅力と生徒の満足度

1期生は、今まさに、3年間の高校生活を終え、その大半が卒業へと向かっている。3年前のことを振り返ると、八千代高校総合学科が「一番、入りたい学校だった」生徒は2割、「他に入りたい学校があった」生徒は6割と、入学に関しては、生徒たちの間に不本意な思いが強かった。果たして、こうした思いは、卒業まで続いたのか。あるいは、入学後、同学科に惹かれるものを見出し、満足して学校生活を送ることになったのか。1期生3年次の調査では、3年間の経験を踏まえ、彼らに、いわば“八千代高校総合学科の評価”なるものを行なってもらった。

(1) 八千代高校総合学科の魅力

表2 - 22 は、八千代高校総合学科の特徴と目されるものをあげ、1期生にそのそれぞれにどのくらい「魅力を感じたか」を尋ねたものである。これをみると、15項目中7項目において「とても」と「まあ」を合わせた率が50%を超えている。今、これらを値の大きな方から並べてみると、「自分自身でつくる自分の時間割」(78.4%)、「いろいろな資格のとりやすさ」(71.2%)、「実験や実習など、体験を取り入れた授業」(62.0%)、「選択科目の数の多さ」(56.9%)、「選択科目の内容」(58.1%)、「人文科学、自然科学など6つの系列」(53.6%)、「施設や設備のよさ」(50.4%)といった順となる。「とても魅力を感じた」に3点、「まあ魅力を感じた」に2点、「あまり魅力を感じなかった」に1点、「まったく魅力を感じなかった」に0点を与え、加重平均をとっても、値の大きな項目はこの7つであり、順番は若干の入れ換えはあるものの、さほど変わらない。このように、1期生のみる八千代高校の魅力は、一つには「資格のとりやすさ」である。さらには、総合学科の特色である「系列」と「科目選択」、それに「体験型の授業」と「施設・設備」である。

では、生徒たちを惹きつけ得ていない点は何か。逆に、「魅力を感じた」という生徒の割合が少ないものをあげてみると、「『産業社会と人間』の授業」(13.1%)と「『課題研究』の授業」(23.5%)である。この2つの項目については、加重平均も低くなっている。

言うまでもなく、生徒を魅了するだけが学校のなすべきことではない。しかし、生徒を惹きつけないことには、学校は学校として機能しない。その点で学校の魅力は重要である。八千代高校の場合、総合学科として力をいれている「資格」や「科目選択」が生徒の目には魅力として映じている。総合学科であるがゆえに可能な「体験型の授業」も生徒を惹きつけている。この点で、八千代高校は総合学科として成果を

表5 - 22 八千代高校総合学科の魅力（1期生3年時調査 / 全体 / N=153）

(%)

	とても 魅力を 感じた	まあ 魅力を 感じた	あまり 魅力を 感じな かった	まったく 魅力を 感じな かった	無回答	加重平均	標準偏差
1. 選択科目の数の多さ	10.5	46.4	32.0	11.1	0.0	1.56	0.83
2. 選択科目の内容	7.8	50.3	30.1	11.8	0.0	1.54	0.80
3. 自分自身でつくる自分の時間割	35.9	42.5	13.1	8.5	0.0	2.06	0.91
4. 人文科学, 自然科学など6つの系列	16.3	37.3	35.9	10.5	0.0	1.59	0.88
5. 「産業社会と人間」の授業	2.0	11.1	51.6	35.3	0.0	0.80	0.71
6. 「課題研究」の授業	7.2	16.3	43.8	32.7	0.0	0.98	0.88
7. 実験や実習など, 体験を取り入れた授業	17.6	44.4	24.2	12.4	1.3	1.68	0.91
8. 部活動	15.0	31.4	26.8	26.8	0.0	1.35	1.03
9. 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	7.2	34.0	41.8	17.0	0.0	1.31	0.84
10. 卒業後の就職のしやすさ	10.5	28.8	43.8	17.0	0.0	1.33	0.88
11. 卒業後の進学のしやすさ	9.2	27.5	41.2	22.2	0.0	1.24	0.90
12. いろいろな資格の取りやすさ	32.0	39.2	20.9	7.8	0.0	1.95	0.92
13. 施設や設備のよさ	10.5	39.9	34.6	15.0	0.0	1.46	0.87
14. 学校についての地元の評判	5.9	28.8	44.4	20.9	0.0	1.20	0.84
15. 改革に取り組む学校の姿勢	4.6	22.9	45.1	27.5	0.0	1.05	0.83

注) 項目の数字は, 質問紙上の項目番号

加重平均: 「とても魅力を感じた」3点, 「まあ魅力を感じた」2点, 「あまり魅力を感じなかった」1点, 「まったく魅力を感じなかった」0点で算出

あげている。しかし, 「産業社会と人間」や「課題研究」の授業は, いま一つ, 生徒を惹きつけかねている。何事であれ改革には成果と課題がある。同学科の改革にも, その両面がある。両面があればこそ, 「改革に取り組む学校の姿勢」に魅力を感じている生徒が27.5%いることは重要である。こうした生徒の応援を背に, 同学科には, なお魅力ある学科づくりが期待されている。

(2) 生徒の満足度

1期生が高校生活3年間を通じて, 八千代高校総合学科の何に, どの程度, 満足したか, 逆に不満だったかについてもみておこう。

表2 - 23は, 1期生の学校生活に対する満足度である。これをみると, むろん, 項目によってかなりの違いはあるものの, おおよそ, 3割から4割の生徒が「満足」しているように推測される。「すごく満足」と「やや満足」の値を加えた数値でみていくと, 「選択科目の種類」40.6%, 「選択科目の数」40.5%, 「就職や進学についての指導」39.2%, 「先生との関係」37.2%, 「授業の内容」38.5%, 「選択科目の決め方」31.3%, 「授業のやり方」30.1%といった具合である。「学校の雰囲気」28.1%, 「学校についての地元の評判」25.5%も, 若干, 数値が低いものの, これに準じている。もし, 「満足した」生徒の割合を, 個々の生徒の満足度だと読み替えることが許されるならば, 3~4割という数値が, 同学科に対する満足度となっているのである。

では, この数値をどうみるか。これを「高い」とみる, 「低い」とみるか, おそらくは議論のあるところであろう。そこで逆に, 「不満」だったという生徒の割合をみてみよう。これも項目ごとによりかなりの違いはあるが, 強引に判断してしまえば, 「不満」の割合はほぼ2割である。具体的な数値で示せば, 「授業の内容」16.4%, 「授業のやり方・進め方」19.0%, 「選択科目の数」24.2%, 「選択科目の種類」

24.8%、「就職や進学についての指導」21.6%、「学校の雰囲気」26.1%といった具合である。

かくして、かなり強引に数値化してしまえば、八千代高校総合学科1期生の同学科に対する満足度は、3～4割が「満足」、2割が「不満」、残りの4～5割が「どちらともいえない」ということになる。この数値からみる限り、「満足」が「不満」を上回っている。その点において、同学科は、生徒たちに評価されている。しかし、「どちらともいえない」という生徒が多くを占めている。その点で、この評価には“いま一つ”の観がある。むろん、生徒に評価されるだけが価値のある教育実践ではない。しかし、生徒たちが満足いく学校生活を送ることができるように配慮するもの学校の責任である。その点で、この結果もやはり八千代高校の成果と課題を物語っている。

表2-23 勉強・生活についての満足度（1期生3年次調査/全体/N=153）

	(%)					加重平均	標準偏差
	すごく満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満		
1. 授業の内容	2.6	35.9	45.1	10.5	5.9	0.19	0.88
2. 授業のやり方, 進め方	2.6	27.5	51.0	11.8	7.2	0.07	0.89
3. 選択科目の数	8.5	32.0	35.3	13.7	10.5	0.14	1.10
4. 選択科目の種類	10.5	30.1	34.6	17.6	7.2	0.19	1.07
5. 選択科目の決め方	6.5	24.8	41.8	13.1	13.7	-0.03	1.09
6. 生活についての指導	2.6	9.2	30.7	24.2	33.3	-0.76	1.09
7. 就職や進学についての指導	14.4	24.8	39.2	13.1	8.5	0.24	1.12
8. 先生との関係	11.1	26.1	45.2	7.2	13.1	0.15	1.13
9. 友だちとの関係	34.6	40.5	18.3	3.3	3.3	1.00	0.98
10. 学校の雰囲気	4.6	23.5	45.8	12.4	13.7	-0.07	1.05
11. 学校についての地元の評判	5.2	20.3	61.4	4.6	8.5	0.09	0.89

注) 加重平均: 「とても満足」2点, 「やや満足」1点, 「どちらともいえない」0点, 「やや不満」-1点, 「とても不満」-2点で算出

以上は、かなり強引に生徒の満足度を数値化した結果である。いま少し、「成果と課題」がわかるように、満足度の内実を踏み込んで結果を分析しておこう。表には各項目についての加重平均を示しておいた。これは、「とても満足」を2点、「やや満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「とても不満」を-2点とした時のものである。言うまでもなく加重平均は、「とても満足」から「とても不満」まで、生徒たちの回答すべてを集約した数値である。ここでは、この値を用いて、1期生が八千代高校総合学科の何に満足し、何に不満かを抱いていたかをみてみよう。

とりわけ満足度の高いのは、「友だちとの関係」(1.0)である。友人関係を中心に学校生活を楽しんでいるという生徒の割合が高いことは先にも示したところであるが、友人関係を取り結ぶ場として学科が機能していることを示している。次に高いのは、「就職や進学についての指導」(0.24)である。調査の結果では、進路の見通しがついている生徒の割合が8割を超えていたが、折からの不況にもかかわらずこのような進路実績をあげた点が評価されていると言えよう。次が「選択科目の種類」(0.19)と「授業の内容」(0.19)である。この点に関しては、その値が「選択科目の数」(0.15)や「授業のやり方, 進め方」(0.07)よりも高くなっている点が着目されよう。つまり、生徒たちは、学習の「形式」よりも「内容」を評価しているのである。1期生は、同学科を実質的に学んだことによって評価した。逆にいえば、同学科は形式よりもその内容によって生徒を惹きつけた。この点も同学科の成果としてよいであろう。

では同学科の課題とも言える生徒の不満は何か。「生活についての指導」(-0.76)については、おおかたの高等学校において生徒の不満が噴出している部分である。学校の規範的文化と学校外の消費的文化

がぶつかりあう現状にあっては、この点に生徒の不満が集中して不思議はなからう。おそらくは次に不満の高い「学校の雰囲気」(-0.07)についても同様である。総合学科の場合、生徒の個性を重視する立場から、選択の原理を基軸に学科が構成されている。そのことは、ともすると、生徒たちに“身勝手の許される自由”として観念されてしまう。“身勝手の許される自由”の立場からみれば、学校なるもの、特にそこでの「生活の指導」は余計に“不自由”に見えてくる。その点で、総合学科では、余計に生徒の「不満」を喚起する恐れがある。しかし、総合学科が依拠している本来の自由は「選択の自由」であり、「身勝手のゆるされる自由」ではない。それは「自己責任」と対になった「自由」である。「生活の指導」について生徒の不満が高いことの背景に、総合学科に対する生徒の“誤解”があるとすれば、その“誤解”をとくことが同学科の課題となつてこよう。総合学科が依拠する思想・理念を生徒たちに伝えることに同学科のこれからがあるように思われるのである。

次いで「不満」が強いのが、「選択科目の決め方」である。八千代高校総合学科の場合、できる限り生徒の希望を生かす方法でもって、科目選択を実施していた。にもかかわらず、比較的不満が高くなっているのは何故なのか。決定のシステムの問題なのか、生徒の受けとめ方の問題なのか、検討が必要であろう。

3-3 八千代高校総合学科に学んで

最後に、八千代高校総合学科の3年間で1期生が総合的にどのように評価しているかについてみておきたい。

(1) 入学についての評価

表2-24は、1年次から第3年次まで3回にわたって1期生に、八千代高校総合学科に入学してよかったかと思うかどうかを尋ねた結果である。最終的な判断である3年次についてみると、「とてもよかった」が9.2%、「まあよかった」が35.9%と、45.1%の生徒が「よかった」と判断していることがわかる。1期生1年次の調査では、高校受験時に同学科が

表2-24 八千代高校総合学科入学についての評価
(1期生3年次調査/全体/N=153)

	(%)		
	1年次 (N=193)	2年次 (N=176)	3年次 (N=153)
1. とてもよかったと思っている	7.8	8.0	9.2
2. まあ、よかったと思っている	27.5	24.4	35.9
3. どちらともいえない	31.6	34.7	28.1
4. あまり、よかったと思っていない	22.3	18.2	13.7
5. まったくよかったと思っていない	10.9	14.2	12.4
無回答	0.0	0.6	0.7

「一番、入りたい学校だった」という生徒の割合は約2割であった。入学した生徒のなかには、不本意入学に近い生徒も混ざっていた。しかし、3年次では状況は好転している。3年間、学校生活を送ってきて最終的に入学して「よかった」という生徒は、「一番、入りたい学校だった」という生徒の2倍を超えている。ちなみに、「よかったと思っていない」という生徒の割合は、「あまり」と「まったく」を合わせて26.1%である。これは、受験時に不本意意味であった生徒の割合、74%をはるかに下回っている。こうしてみると、1期生の八千代高校総合学科についての評価は、3年間の高校生活のなかで、間違いなく上昇している。

この点については、1年次から第3年次にかけての変化にも現れている。表の年次別の推移をみると、「よかったと思っている」生徒の割合は、1年次35.3%、2年次32.4%、3年次45.1%と、2年次で若干、下がるものの3年次では急増している。逆に、「よかったと思わない」生徒の割合は、1年次33.2%、2年次32.4%、3年次26.1%と減少している。1期生たちは、3年間の高校生活を通じて、八千代高校

総合学科を肯定的に捉えるようになってきたのである。

むろん、とはいっても、1期生の4分の1は3年間同学科で過ごしてみて、なお、入学を「よかった」とは認められずにいることも確かである。表2-25は、1期生に、3年間を通じて退学・転校したことがあるかどうかを尋ねた結果である。これをみると、20.3%の生徒が「たびたび思ってきた」と答えている。この結果と上記の結果と併せてみると、2割から2割半というのが八千代高校総合学科において高校生活を肯定的に受けとめられなかった生徒の割合である。言うまでもなく、すべての生徒が高校生活を肯定的に受けとめている高校などあり得ない。しかし、この数字は少なければ少ないほど、いいことは確かである。なお、この数字を下げるができるかどうか。この点に、八千代高校総合学科の今後がかかっている。

先に、45.1%の生徒が八千代高校に「入学してよかった」と思っていると指摘した。退学・転校の希望の有無を尋ねた結果（表2-25）でも、ほぼ、同程度（42.5%）の生徒が、「思わなかった」と答えている。こうしてみると、八千代高校総合学科を肯定的に評価している生徒の割合は約4割である。否定的な評価を解消するとともに、こうした肯定的な評価をますます高めることも、言うまでもなく同学科に課せられた課題であろう。

（2）学んだことの意義

表2-26は、1期生に、八千代高校で学んだことが就職後の仕事や進学後の勉強に役立ちそうかどうかを尋ねた結果である。これをみると「とても役に立ちそう」という生徒は15.0%とあまり多くはないが、「まあ役に立ちそう」という生徒（45.8%）を加えれば、60.8%の生徒は、学んだことの意義を認めている。

同じく、表2-27は、学んだことを今後の人生に活かしていきたいかどうかを尋ねた結果である。これについては、「ぜひ」が11.8%、「できれば」が66.0%と、両方合わせれば77.8%の生徒が、「活かしていきたい」と考えている。

このように、八千代高校総合学科1期生については、6割の生徒が3年間の学習に意義を認め、8割近くの生徒がそれを意義あるものしたいと念じている。裏返して言えば、八千代高校総合学科は、6割の生徒に対し意義ある教育を提供し、8割の生徒を将来に向けて動機づけている。

表2-25 退学・転校希望の有無

（1期生3年次調査 / 全体 / N=153）

退学・転校希望の有無 (%)			
たびたび思ってきた	たまに思ってきた	思わなかった	無回答
20.3	37.3	42.5	0.0

表2-26 八千代高校総合学科で学んだことの意義

- 就職・進学後に役立ちそうか -

（1期生3年次調査 / 全体 / N=153）

学んだことが就職・進学後に・・・ (%)			
とても役に立ちそう	まあ役に立ちそう	あまり役に立ちそうもない	まったく役に立ちそうもない
15.0	45.8	27.5	11.8

表2-27 八千代高校総合学科で学んだことの意義

- これからの人生に活かしていきたいか -

（1期生3年次調査 / 全体 / N=153）

学んだことをこれからの人生に・・・ (%)			
ぜひ活かしていきたい	できれば活かしていきたい	あまり活かしていきたいと考えない	まったく活かしていきたいと考えない
11.8	66.0	14.4	7.8

むろん、この点に関しても、「もっと多くの生徒に」という期待はあろう。しかし、この数字は、難問を解決しつつ改革を重ねてきた八千代高校の教育の成果として評価し得る数字とあってよいのではあるまいか。今後の教育の自信につながるものとして受けとめてよいのではないだろうか。

「自信」と言えば、生徒たちも3年間の高校生活を通じて「自信」をつけていっている。表2-28は、1期生に、中学時代の自分の成績が学年でどのくらいの位置にあったかを自己評価してもらった結果を、年次ごとに示したものである。これをみると、年次が進むごとに、中学時代「上の方だった」という生徒の割合が増えていっている。何人かの生徒であるが、中学時代の自分の評価を好転させていっているのである。これは学業成績についてのみ尋ねたものである。多分、他のことについて尋ねれば、高校に入学後、自分の評価を好転させた生徒は、これに加えてまだいることであろう。

総合学科は、生徒一人一人に対応した教育を提供することをねらいとして設置されている。生徒が「自分なりの学び」のなかで、「自分らしさ」を育てていってくれることを期して作られている。そうした学科において、生徒に自信をもたせるような教育を展開し得ているとしたら、それは総合学科にとっての「自信」でもある。

本章では、1期生に対する1年次から3年次までの調査の結果をもとに、彼らの3年間の軌跡を追ってきた。既に随所で触れてきたように、軌跡を示す結果のなかには、同学科の試みが必ずしも成功ばかりではないことを示す結果も混ざっていた。改革は一朝一夕になし遂げられるものではない。成果が上がったとしても、その成果は徐々に現れてくるものである。失敗を自覚しそれを正すことはむろん大切である。しかし、失敗にばかり目を向けていては、改革はその勢いを失ってしまう。であればこそ、失敗と同時に成果にも目をむけていなくてはならない。

人数こそ少ないが、八千代高校総合学科には3年間の学校生活で自らに自信をつける生徒がいた。そうした生徒の存在を「自信」としつつ、同学科が総合学科としてますます充実してくることを念じたい。

第3章 設置3年目の生徒の現状

八千代高校は、総合学科として再編されて3年になる。1年次から3年次までの生徒が揃ったことで、総合学科としての基盤が出来あがってきたところである。今後、同校の教育がどのような方向で展開されていくかを考えるためには、この時期における生徒の現状をみておくこと大切である。

本章では、在校生が、現在、学校生活をどのように過ごしているのか、また総合学科であることの特色をどのように捉え、活用しているのかという点に着目しつつ、八千代高校の生徒の現状を素描してみたい。素描に際しては、学校全体の傾向を捉えると同時に、学年ごとの状況をみていくことにする。ちなみに、ここで用いるデータは、第3回調査（2000年12月実施）によるものである。

1. 生徒のプロフィール

学校生活の実際や意識についてみる前に、八千代高校には、どのような生徒が在籍しているのか、生徒の性別と部活動やアルバイト、保護者の職業を取りあげてみてみよう（表3-1）。なお、調査対象の生徒の数は、1年次生が192名、2年次生が178名、3年次生が153名、全体で523名である。

まず、現在の八千代高校における男女の割合は、男子が51.1%、女子が47.8%である。男女比は、男子が若干多いが、ほぼ半々であると言える。このことを学年次別にみると、次のようである。3年次生、2年次生では男子の割合（3年次生：54.2%、2年次生：56.2%）が女子の割合（3年次生：43.8% / 2年次生：43.8%）よりも10%ほど高くなっている。しかし、1年次生では、女子の割合が、2、3年次生に比べ10%ほど高く、女子54.7%、男子43.8%となっている。

「部への所属」に関しては、在校生の半数強（53.3%）が「所属している」と回答している。そのうち、

表3-1 生徒のプロフィール（学年次別）

		1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=523)	
本人	性別	男子	43.8	56.2	54.2	51.1
		女子	54.7	43.8	43.8	47.8
		無回答	1.6	0.0	2.0	1.1
	部活	運動部	41.1	30.9	20.9	31.7
		文化部	24.5	20.8	19.0	21.6
		所属していない	32.8	48.3	58.8	45.7
		無回答	1.6	0.0	1.3	1.0
	通塾	通っている	3.1	1.1	2.0	2.1
		通っていない	95.3	98.9	97.4	97.1
		無回答	1.6	0.0	0.7	0.8
	アルバイト	している	34.9	43.3	41.2	39.6
		していない	63.5	56.7	57.5	59.5
無回答		1.6	0.0	1.3	1.0	
保護者	就業形態	会社等への勤め	71.4	72.5	72.5	72.1
		自営業	26.6	27.5	24.8	26.4
		無回答	2.1	0.0	2.6	1.5
	職種	事務	8.9	9.0	6.5	8.2
		管理職	9.4	4.5	9.8	7.8
		技能・労務職	37.0	36.0	43.1	38.4
		専門技術職	3.1	5.1	5.9	4.6
		職人・技能	16.7	15.7	13.7	15.5
		販売・営業職	5.7	9.0	2.0	5.7
		サービス職	2.1	1.1	1.3	1.5
		専門職	1.6	1.7	0.0	1.1
		農業・林業	9.9	7.3	9.8	9.0
その他	1.6	3.9	2.0	2.5		
無回答	4.2	6.7	5.9	5.5		

運動部に所属している割合が 31.7%であり、文化部に所属している割合が 21.6%である。このように、八千代高校では、運動部に所属する生徒の方が多い。学年次ごとにみると、部活に所属する生徒の割合が3年次生(39.9%)、2年次生(51.7%)、1年次生(65.6%)の順で多くなっている。運動部と文化部の内訳をみると、文化部への所属の割合は、1年次生で若干高くはなっているものの、3学年ともほぼ同じである。それに対して、運動部への所属の割合は、1年次生が41.1%、3年次生20.9%と、3年次生では1年次生の2倍に及んでいる。この理由のひとつとして、運動部では、12月の調査時期にすでに部活動を“引退”していた可能性があげられる。しかし、2年次生と比べても、1年次生の方が10%ほど多く運動部に所属している。

次に、校外活動についてみていく。「今、学習塾や予備校(習い事やおけいこごとは除く)に通っていますか」という質問に対して、「通っている」と答えた生徒は、2.1%である。ほとんどの生徒が通塾していないことがわかる。このことは、学年次別にみてもほぼ同じである。

アルバイトに関しては、現在「している」と回答した生徒は、約4割である。学年次別にみると、3年次生、2年次生が約4割、1年次生が約3.5割である。2、3年次生に比べ、1年次生でアルバイトをしている生徒の割合が少なくなっている。

在校生のプロフィールとして最後に、在校生の保護者の職業について取りあげていくことにする。八千代高校の生徒には、どのような職業に就いている保護者が多いのだろうか。「あなたの保護者の方は、会社や役所などに働きに行っているのですか。それとも自分で店や会社、農業などを経営しているのですか」という質問に対して、「会社、工場、役所、事務所、商店などに働きに行っている(会社等への勤務)」と回答した生徒が71.4%、「自分で会社、工場、事務所、商店、農業などを経営している(自営)」と回答した生徒が26.6%である。つまり、生徒の保護者には、会社等へ勤務している人が多いと言える。この割合は、どの学年次でもほぼ同じである。

職種でみていくと、次のことが言える。保護者の職種では、労務職(自動車の運転手・整備士、工員・作業員など)が38.4%と一番高い割合になっている。次いで、技能職(大工や左官、調理師、理容師や美容師など)が15.5%と高くなっている。3番目が農業や林業(9.0%)である。この上位3つの職種で全体の約6割を占めている。このことから、どちらかといえば、保護者には、“手に職を持っている人”が多いと言える。

ちなみに、学年次別でみると、3年次生の保護者は、4割強が労務職に就いている。また、2年次生に比べ、管理職(9.8%)、農業・林業(9.8%)に就いている人が多くなっている。2年次生の保護者の場合には、3年次生に比べ、事務職(9.0%)や販売職(9.0%)に就く保護者が多い。1年次生では、保護者の職種構成がほぼ3年次生と同じである。

2. 生徒の学校生活

総合学科としてスタートして3年、八千代高校の生徒たちはどのような学校生活を過ごしているのだろうか。ここでは、在校生の学校生活の現状を把握するために、学校生活への構えと態様、選択授業の受けとめ方、資格取得の実際の3側面を取りあげる。そして、その中で、生徒が総合学科の特色を活かした学校生活を送っているかを探っていくことにする。

2-1. 学校生活に対する構えとその過ごし方の現状

(1) 学校生活に対する構え

まず、学校生活への構えとして、生徒が、自身の生活のどのくらいを学校生活にかけているかをみ

ていくことにする(表3-2)。「学校生活に、あなた自身の生活のどのくらいの割合をかけていますか」という質問に対して、「4割から6割」と回答している生徒が44.7%である。学校生活にかかる割合の平均を概算すると、4.9割となる。つまり、生徒たちの学校生活への力の入れようは、“ほどほど”である。

学年次別にみると、学校生活の比重に若干ばらつきがみられる。1年次生は「6割から8割」と回答する生徒が30.2%と、この割合が2、3年次生の倍に及んでいる。つまり、1年次生は比較的、学校生活に重点をおいた生活をしていると言える。それに比べ2、3年次生では、全体的に学校生活にかかる割合が低くなる傾向がある。この点については、「4割以下」という生徒の割合が1年次生と比べて2年次生では12%ほど、3年次生では9%ほど高いこ

表3-2 自分の生活のうち「学校生活」にかかる割合(学年次別)

	1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=523)
8割以上	4.7	3.9	6.5	5.0
6割から8割	30.2	16.3	15.0	21.0
4割から6割	41.7	44.9	48.4	44.7
2割から4割	14.6	23.6	20.9	19.5
2割以下	7.3	11.2	9.2	9.2
無回答	1.6	0.0	0.0	0.6

と示されている。特に2年次生は、3学年の中で一番、学校生活にかかる割合が低くなっている。

さて、上記のことから生徒たちの学校に対する力の入れようは、“ほどほど”であることがわかった。では、その中でどのようなことに力を入れているのだろうか。

「あなたは、日頃、どのように過ごしていますか。あなたの過ごし方に最も近いものをひとつ選びなさい」という質問を生徒にした結果(表3-3)、次の3つの項目に答えた生徒が目立っていた。その3つとは、「クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている」(35.0%)、「何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている」(20.8%)、「カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しもうとしている」(14.7%)である。このように、全体的にみた場合、生徒たちの学校生活に対する力のかけ方は、友人関係や部活動を楽しむこと、卒業できるかどうかにか力点がおかれたものである。

表3-3 学校生活の過ごし方-生活上の力点-(学年次別)

	1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=523)
1. 高度な知識や技術の獲得	5.7	5.1	3.3	4.8
2. 実生活に役立つ知識や技術の獲得	6.3	5.1	5.2	5.5
3. よい就職,よい進学を志望	7.8	8.4	6.5	7.6
4. 何はともあれ,成績の向上	5.7	5.6	0.7	4.2
5. 何はともあれ,卒業だけは	19.8	20.2	22.9	20.8
6. 学校生活を楽しむ	41.1	28.1	35.3	35.0
7. 幅広い経験の獲得	1.0	0.0	2.0	1.0
8. 校外の生活を楽しむ	8.9	20.1	15.7	14.7
9. その他	2.6	1.7	2.0	2.1
無回答	1.0	5.6	6.5	4.2

このことを学年次別にみていくと、次のような傾向が見てとれる。それは、2、3年次生では、「・・・,校外生活を楽しもうとしている」と回答する生徒が、1年次生に比べて著しく多い(1年次生:8.9%/2年次生:20.1%/3年次生:15.7%)ことである。先にみたように、2、3年次生の場合には、学校生活への力のかけかたも弱かった。この点を併せてみると、彼らには、校外生活に

重きを置く傾向がありそうである。これに対して、1年次生では、「・・・、学校生活を楽しもうとしている」と回答する生徒が41.1%と、2,3年次生(2年次生:28.1%/3年次生:35.3%)に比べて多い。このことから、1年次生の場合には、校内生活を重視する傾向があると言えそうである。

なお、学校生活への力のかけ方について尋ねたこの質問で、「知識・技術の獲得」にかかわる項目に着目すると、八千代高校の生徒に共通するもう一つの特徴がみえてくる。それは、どの学年次においても、知識・技術の獲得に対するアスピレーションがあまり高くないことである。実際、「高度な知識や技術の獲得」に回答した生徒と「実生活に役立つ知識や技術の獲得」に回答した生徒を合わせても1割前後である。八千代高校では、選択科目制により学びたいことが学べる仕組みをつくり、知識や技術の獲得へのアスピレーションを高めている。しかし、実際にそれが効果をあげるためには、まだ、課題がありそうである。

(2) 学校生活の過ごし方

次に、学校生活の過ごし方をみていこう。2,3年次生に、学校生活をどのように過ごしているかを尋ねた結果が、表3-4である。数値は、それぞれの項目について「よく、あてはまる」あるいは「まあ、あてはまる」に答えた生徒の割合を示している。これをみると、2,3年次生を合わせた全体で、「あてはまる」と回答した生徒の割合が6割を越えた項目は次の6つである。「間違いなく卒業できそうである」(82.2%)、「他の学校で学べないことを学べている」(68.9%)、「資格や検定をとっている」(68.0%)、「学校の規則を守っている」(66.8%)、「自分らしい高校生活を送っている」(63.4%)、「授業についていけている」(63.1%)である。このことから、生徒たちは、一つには、ともあれ「卒業」を目指して学校生活を過ごす傾向にあることが窺える。また、「他では学べないことが学べている」ことや「資格や検定をとっている」ことについて、「あてはまる」とする割合が高いことから、八千代高校の特色を活かして学校生活を過ごす傾向にあると言えそうである。特に、資格を取ることは、八千代高校の生徒にとって学校生活の過ごし方の重要な部分を占めているように思われる。

さらに、学年ごとに過ごし方を見ていくことにする。表にみられるように、2年次生に比べ、3年次生の方がどの項目についても「あてはまる」と回答する割合が高くなっている。3年次生の方が学

表3-4 学校生活の過ごし方(学年次別)

(%)

	2年生 (N=178)	3年生 (N=153)	全体 (N=331)
1. 楽しく授業を受けている	37.0	52.3	44.1
2. まじめに授業を受けている	55.7	58.2	56.8
3. 授業についていけている	60.1	66.7	63.1
4. 予習・復習など、積極的に勉強している	7.8	13.7	10.6
5. 系列に関係する雑誌等を読んでいる	18.6	28.1	23.0
6. 資格や検定をとっている	64.0	72.5	68.0
7. 学校の規則を守っている	61.8	72.5	66.8
8. 先生から信頼される行動をとっている	47.2	57.5	52.0
9. 部活動や学校行事に積極的に参加している	41.0	56.9	48.3
10. 地域の行事やボランティアに参加している	6.2	19.6	12.4
11. 進路情報を集めている	28.1	55.6	40.8
12. 間違いなく卒業できそうである	75.2	90.2	82.2
13. 進路に見通しがついている	38.7	84.3	59.8
14. 他の学校で学べないことを学べている	59.0	80.4	68.9
15. 系列に関係することを趣味にしている	25.3	47.1	35.3
16. 自分らしい高校生活を送っている	55.1	73.2	63.4
17. 八千代高校総合学科に愛着を感じている	22.4	45.8	33.2

注) 「よく、あてはまる」「まあ、あてはまる」の合計

校生活を積極的に過ごす傾向にあると言える。特に、「他の学校で学べないことを学べている」(80.4%)、「系列に関係することを趣味にしている」(47.1%)、「八千代高校総合学科に愛着を感じている」(45.8%)の3つの項目では、「あてはまる」と答えた3年次生は、2年次生でそう答えた生徒よりも20%以上も多くなっている。このことから、3年次生は、2年次生に比べ、八千代高校の特色を活かした学校生活を送っていると見ることができそうである。

では、2年次生はどのように過ごしているのだろうか。2年次生について、「あてはまる」の割合が5割以上のものみでいくと、次のようなことが言えそうである。2年次生は、3年次生に比べて、どちらかと言えば、学校の規則を守り(61.8%)、授業についていける(60.1%)ようにまじめに授業を受け(55.7%)ている。しかし、それは、学校生活に実質を求めているというよりも、形の上で卒業をしていける(75.2%)ことを大事にしているがためのものである。2年次生は、学校生活への構えでみてきたように、校外生活に重きを置いている。このことを考えると、2年次生の学校とのかかわり方には、形式的な関与に留まる傾向があるように思われるのである。

2 - 2 . 科目選択の現状

(1) 系列

以上、学校生活全般についてみてきたが、今度は科目選択の現状、および選択科目の授業についての受けとめ方を取りあげていくことにする。科目選択および選択科目の授業は、八千代高校総合学科の特色の一つである。このことを生徒たちは、どのように捉えているのだろうか。まずは、科目を選択するとき、どの系列から主に選択をしているかについて見ていくことにする。

表3 - 5は、「あなたは主にどの系列から科目を選択していますか」の質問に対する回答の結果である。これをみると、「流通経済系列」(37.7%)が一番高い割合を示している。次いで、「自動車工業系列」の18.5%である。3番目が「人文科学系列」の14.9%である。反対に一番割合が低かったのは、「健康福祉系列」(2.5%)である。このように、生徒たちのなかには、流通経済系列の科目を多く選択する傾向が見てとれる。

これを学年次別にみると、学年次によって主たる系列に違いがありそうである。3年次生では、1, 2年次生に比べ、「自動車工業系列」(21.6%)と「自然科学系列」(12.4%)が多いことが特徴的である。2年次生では、「人文科学系列」(18.5%)が多い点に特徴がある。また、3年次生に比べて「流通経済系列」が多くなっている(2年次生:39.9%/3年次生:32.7%)。1年次生の傾向は、「人文科学系列」を除き、2年次生とほぼ同様である。このことを前提にすると、「流通経済系列」に関しては、今後も4割程度の生徒が主たる系列にしていくものと思われる。また、「社会福祉系列」が3年次生(12.4%)よりも2年次生(14.6%)において、そしてそれよりも1年次生(15.1%)において多くなっている。この系列に関しては、社会的ニーズの高まりとともに、生徒の注目を集めていくものと思われる。

これを学年次別にみると、学年次によって主たる系列に違いがありそうである。3年次生では、1, 2年次生に比べ、「自動車工業系列」(21.6%)と「自然科学系列」(12.4%)が多いことが特徴的である。2年次生では、「人文科学系列」(18.5%)が多い点に特徴がある。また、3年次生に比べて「流通経済系列」が多くなっている(2年次生:39.9%/3年次生:32.7%)。1年次生の傾向は、「人文科学系列」を除き、2年次生とほぼ同様である。このことを前提にすると、「流通経済系列」に関しては、今後も4割程度の生徒が主たる系列にしていくものと思われる。また、「社会福祉系列」が3年次生(12.4%)よりも2年次生(14.6%)において、そしてそれよりも1年次生(15.1%)において多くなっている。この系列に関しては、社会的ニーズの高まりとともに、生徒の注目を集めていくものと思われる。

(2) 選択科目の授業についての見方

次に、選択科目の授業を、生徒たちがどのようにみているのかを検討する。表3 - 6は、2, 3年次生に対して、「自分がとっている選択科目の授業について、どのような印象をもっていますか」と

表3 - 5 主に科目を選択している系列(学年次)
(%)

	1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=523)
1. 人文科学系列	13.0	18.5	13.1	14.9
2. 自然科学系列	7.3	7.9	12.4	9.0
3. 健康福祉系列	3.6	1.7	2.0	2.5
4. 社会福祉系列	15.1	14.6	12.4	14.1
5. 自動車工業系列	16.1	14.6	21.6	17.2
6. 流通経済系列	39.6	39.9	32.7	37.7
7. 系列考えず	5.2	2.8	5.9	4.6

問うた結果である。値は、「おおいに、あてはまる」と「まあ、あてはまる」に答えた生徒の割合の合計を示している。

まず、2、3年次生全体をみると、「あてはまる」と回答した生徒の割合が6割以上である項目は、次の6つである。すなわち、「資格取得に役立つような授業が多い」(75.8%)、「むずかしい授業が多い」(67.4%)、「仲のよい友だちと一緒に授業が多い」(67.1%)、「専門的な内容の授業が多い」(66.8%)、「特色のある内容の授業が多い」(66.5%)、「仕事に必要な知識・技術が身につく授業が多い」(64.4%)といった項目である。これら上位6項目からみるに、生徒たちは、選択科目の授業を、資格や将来の仕事に結びつく専門的な授業であるとみているものと思われる。

表3-6 選択科目の授業についての見方(学年次別)

(%)

選択科目の授業には.....	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=331)
1. むずかしい授業が多い	65.7	69.3	67.4
2. やさしい授業が多い	30.3	39.9	34.7
3. 興味・関心がもてる授業が多い	38.8	56.9	47.1
4. 自分の適性を生かせる授業が多い	30.3	56.2	42.3
5. 身近な内容の授業が多い	28.7	47.1	37.2
6. 専門的な内容の授業が多い	63.5	70.6	66.8
7. 生活に必要な知識・技術が身につく授業が多い	46.1	58.8	52.0
8. 自分の趣味・楽しみに関係する授業が多い	24.7	47.1	35.0
9. 大学等の入試に役立つような授業が多い	41.6	45.1	43.2
10. 大学等で勉強するのに必要な授業が多い	48.9	52.9	50.8
11. 就職試験合格に役立つような授業が多い	46.6	38.6	42.9
12. 資格取得に役立つような授業が多い	73.0	79.1	75.8
13. 仕事に必要な知識・技術が身につく授業が多い	60.7	68.6	64.4
14. 好きな先生が担当する授業が多い	10.1	28.1	18.4
15. 勉強しなくて単位がとれる授業が多い	39.9	47.7	43.5
16. 仲のよい友だちと一緒に授業が多い	58.4	77.1	67.1
17. 特色のある内容の授業が多い	57.3	77.1	66.5

注)「おおいに、あてはまる」「まあ、あてはまる」の合計

次に、学年ごとの特徴をみていくことにする。2年次生では、進路と関連した項目において、「あてはまる」と答えた生徒の割合が比較的高くなっている。例えば、「仕事に必要な知識・技術が身につく授業が多い」が60.7%、「大学等で勉強するのに必要な授業が多い」が48.9%、「就職試験合格に役立つような授業が多い」が46.6%、「大学等の入試に役に立ちそうな授業が多い」が41.6%である。それに対して、「興味・関心が持てる授業が多い」は38.8%、「自分の適性を生かせる授業が多い」は30.3%、「自分の趣味・楽しみに関係する授業が多い」は24.7%となっている。ここに見られるように、2年次生では、選択科目の授業を、自分の興味・関心など身近に感じる授業であるというよりは、進路に役立つような授業であると捉える傾向があることが窺える。3年次生では、「興味・関心が持てる授業が多い」が56.9%、「自分の適性を生かせる授業が多い」が56.2%、「自分の趣味・楽しみに関係する授業が多い」が47.1%と、2年次生に比べて20%前後高くなっている。このことから、3年次生は、選択科目の授業を、自分の興味・関心にあった授業として捉える傾向が強いとみることができる。このように見ていくと、2年次生よりも3年次生の方が、自分にあった授業を選択できる総合学科の特色をうまく活用していると考えられる。

2 - 3 . 資格取得

八千代高校のもう一つの特徴として、資格のとりやすさがあげられる。上で見てきたように、八千代高校の生徒は、学校での資格取得をかなり強く意識していると言える。また、選択科目の授業についての見方でも、それを資格取得に役立ちそうであるとみる生徒が多く、そのことから、彼らの資格取得に対するアスピレーションの強さが読み取れる。そこで、ここでは生徒の資格取得状況に関して、その実際をみていくことにする。

表3 - 7に示したように、「あなたには、高校生活を通じて取りたいと思っている資格や検定がありますか。既に、高校入学後に取得した資格・検定も含めて、教えてください」という質問に対して、「ある（既にある）」と回答した生徒は、全体で84.5%である。つまり、ほとんどの生徒が何らかの資格を高校在学期間を取ることを考えていることがわかる。この回答の割合には、学年次における大きな差は見られない。小さな差ではあるが、あえて触れておけば、1年次生（87.5%）における割合が、2，3年次生（82.6%，83.0%）のそれよりもやや高い程度である。1年次生では資格取得志向がやや強いということであろう。

表3 - 7 資格取得の状況（学年次別）

(%)

と り た い 資 格		1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=523)
	ある（既にある）		87.5	82.6	83.0
ない		12.5	16.9	15.7	14.9
無回答		0.0	0.6	1.3	0.6
と り た い （ と つ た ） 資 格		1年次生 (N=168)	2年次生 (N=147)	3年次生 (N=127)	全体 (N=442)
	介護福祉士国家試験受験資格	47.0	58.5	61.4	55.0
	ホームヘルパー2級	41.1	36.7	36.2	38.2
	ホームヘルパー3級	26.8	17.0	11.0	19.0
	3級自動車整備士受験資格	14.9	10.2	4.7	10.4
	溶接(ガス・アーク)	8.9	5.4	7.1	7.2
	危険物取扱者	11.9	6.1	5.5	8.1
	簿記検定資格	19.0	13.6	7.9	14.0
	情報処理検定資格	21.4	8.8	20.5	17.0
	ワープロ検定資格	34.5	33.3	22.8	30.8
	漢字検定資格	28.6	22.4	15.7	22.9
	英語検定資格	36.9	14.3	7.9	21.0
	硬筆検定資格	16.7	17.7	26.8	19.9
	毛筆検定資格	4.2	2.0	3.1	3.2
	数学検定資格	18.5	9.5	3.1	11.1
その他	19.0	13.6	26.8	19.5	
無回答		0.6	0.0	0.0	0.0

それでは、生徒たちは、具体的にどのような資格や検定を取得しようとしている（取得した）のだろうか。取りたい（取った）資格・検定の上位5つは、「介護福祉士国家試験受験資格」（55.0%）、「ホームヘルパー2級」（38.2%）、「ワープロ検定資格」（30.8%）、「漢字検定資格」（22.9%）、「英語検定資格」（21.0%）である。生徒たちの間では、社会福祉に関する資格に対する関心が強いものと思われる。また、後3者のような一般的で、汎用性のある資格に関しても、その取得を目指す傾向が見てとれる。このことをさらに学年次別にみていこう。1年次生では、2，3年次生に比べ、「英語検定資格」（36.9%）、「漢字検定資格」（28.6%）、「数学検定資格」（18.5%）を取りたい（取った）と

いう生徒が多くなっている。1年次生におけるもう一つの特徴は、ビジネス系の資格を取ろうとする傾向である。このことは、「簿記検定資格」(1年次生：19.0% / 2年次生：13.6% / 3年次生：7.9%)、「情報処理検定資格」(1年次生：21.4% / 2年次生：8.8% / 3年次生：20.5%)、「ワープロ検定資格」(1年次生：34.5% / 2年次生：33.3% / 3年次生：22.8%)の3つの項目すべてにおいて、1年次生の値が2，3年次生のそれよりも高いことに表れている。なお，3年次生では、「硬筆検定資格」を取ろうとする(取った)生徒(26.8%)が1，2年に比べ10%ほど多い。また，3年次生の場合には，自動車工業系列を主たる系列とする生徒(21.6%)が比較的多いことを考えると，自動車工業系の資格の取得が目立つものと思われるのであるが，逆にそれが少なくなっている。「3級自動車整備士受験資格」が4.7%、「溶接」が7.1%、「危険物取扱者」が5.5%といった程度である。その点で，3年次生の自動車工業系列では，資格取得への志向があまり見られないようである。

このように，八千代高校の生徒には，高校3年間を通じて何らかの資格を取ろうとする傾向がある。ちなみに，取りたい資格について一人当たりの平均個数を算出したところ「3つ」であった。この数は他の高校生に比べれば，多いのではないだろうか。

3．八千代高校総合学科についての生徒の見方

3 - 1．「総合学科であること」についての意識

「生徒の学校生活」でみてきたように，生徒の学校生活の中には八千代高等学校が「総合学科であること」の特色がある程度反映されているように思われる。それでは，生徒たちは，日頃，自分が学ぶ学校が「総合学科であること」をどの程度意識しているのだろうか。

表3 - 8は，「あなたは，日頃，新しい学科である『総合学科』で勉強していることをどの程度意識していますか」という質問についての回答の結果である。「あまり意識していない」と回答する生徒は41.1%、「まったく意識していない」と回答する生徒が18.7%であることから，約6割の生徒が「総合学科であること」を，日頃，ほとんど意識していないことになる。学校の中には総合学科の特色が多々組み込まれているが，生徒たちはそれらを学校の特色として意識しているわけではないようである。

表3 - 8 「総合学科」で学んでいることの意識(学年次別)
(%)

日頃、「総合学科」で学んでいることを・・・	1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=523)
かなり意識している	3.1	4.5	9.2	5.4
ある程度、意識している	35.4	29.2	40.5	34.8
あまり意識していない	38.0	45.5	39.9	41.1
まったく意識していない	23.4	20.8	10.5	18.7

このことをさらに学年別にみていくことにする。3年次生では，1，2年次生に比べ，総合学科であることを意識している生徒の割合が10%も高くなっている。このことから，3年次生の場合には，1，2年次生よりも「総合学科であること」を意識する傾向にあると言える。おそらくこれには，3年次生が総合学科における1期生であることが関係していそうである。それに対して，1年次生では，「まったく意識していない」が23.4%と，2，3年次生(20.8%，10.5%)に比べ一番高くなっている。また，2年次生の場合にも，「あまり意識してない」と「全く意識していない」を合わせると全体の3分の2に及んでいる。つまり，1，2年次生では，総合学科であることを日頃意識せずに過ごす傾向が見てとれる。このようにしてみると，生徒の間からは，「総合学科であること」に対する意識が徐々に薄れていきそうである。

3 - 2 . 八千代高校総合学科についての見方

それでは、生徒たちは、八千代高校をどのような学校と捉えているのだろうか。選択科目制の特色、学ぶことの将来における有用性、進路形成における有利さ、学校の雰囲気等の項目をあげ、それぞれの程度「そう思う」かを聞いてみた。表3 - 9はその結果であるが、「そう思う」という生徒の割合が6割以上のものをあげると次の5つである。「資格がとれる学校」(89.5%)、「就職して役立つ知識・技術が身につく学校」(70.2%)、「就職に有利な学校」(66.7%)、「学びたいことが学べる学校」(65.0%)、「進学して役立つ知識・技術が身につく学校」(60.8%)である。これらを見ていくと、生徒たちは八千代高校のことを、今後の進路に照らして役に立つ実用的な学校として捉える傾向にあることが窺える。ただ、気になるのは、「開放的な学校」(18.2%)や「挑戦する雰囲気がある学校」(28.7%)の「そう思う」の割合が低いことである。新しく立ち上げた学科であることを考えると、生徒に、いま少し、自由な雰囲気を感じとってもらいたいところである。

表3 - 9 八千代高校についての見方(学年次別)

八千代高校についての見方	(%)			
	1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=523)
1. 学びたいことが学べる学校	70.3	54.5	70.6	65.0
2. 自分のペースで勉強できる学校	43.2	27.5	35.9	35.8
3. 進学して役立つ知識・技術が身につく学校	66.7	58.4	56.2	60.8
4. 就職して役立つ知識・技術が身につく学校	76.0	71.9	60.8	70.2
5. 資格がとれる学校	95.3	87.1	85.0	89.5
6. 進学に有利な学校	47.4	42.7	38.6	43.2
7. 就職に有利な学校	76.0	69.7	51.6	66.7
8. 入学後に、卒業後の進路を選べる学校	60.9	50.0	54.9	55.4
9. 開放的な学校	20.3	12.9	21.6	18.2
10. 挑戦する雰囲気がある学校	30.3	20.8	35.9	28.7
11. 伝統が感じられる学校	35.4	27.0	39.2	33.7
12. 「いじめ」がなく平穏な学校	38.6	26.4	23.5	30.0
13. 楽しく過ごせる学校	57.8	40.4	52.3	50.3
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	18.2	10.7	17.0	15.3

注)「とても、そう思う」と「まあ、そう思う」の合計

学年別にみると、次のようである。1年次生の場合には、「学びたいことが学べる学校」が70.3%、「自分のペースで勉強できる学校」が43.2%、「入学後に、卒業後の進路を選べる学校」が60.9%と、2,3年次生に比べて選択科目制による特色を学校の特色として認める傾向にある。3年次生では、「就職に有利な学校」(1年次生:76.0%/2年次生:69.7%/3年次生:51.6%)や「進学に有利な学校」(1年次生:47.4%/2年次生:42.7%/3年次生:38.6%)について「そう思う」と答えた生徒の割合が、1,2年次生に比べて大幅に低くなっている。つまり、3年次生の場合には、八千代高校を進路形成上、有利な学校としてみない傾向が現れている。逆に言えば、1,2年次生の方が、進路形成に有利という見方でもって、学校を見ているということである。

3 - 3 . 入学したことについての評価

上にみたように、総じて八千代高校総合学科の生徒たちは、自らの学校を、今後の進路形成において有用であるとみる傾向にあった。では、自分がこうした学校に入学したことを、生徒たちはどう評価しているのだろうか。このことを、「今、八千代高校に入学してよかったと思っっていますか」と言う質問に対する回答からみてみると(表3 - 10)、「入学してよかった」と回答する割合は、全体では33.6%であり、全体の3分の1の生徒が八千代高校への入学を肯定的に評価していることがわかる。

このことを学年別に見ると、3年次生では、「とても」と「まあ」を合わせて45.1%の生徒が「入学してよかった」と回答している。これに対して、2年次生では、その割合が23%だけである。逆に、26.4%の生徒が入学したことを「まったくよかったと思っていない」に回答している。これに

「あまりよかったと思っていない」と合わせると、半数近くの生徒がこの学校への入学を否定的に評価していることになる。このことから、2年次生の場合には、学校に馴染めない生徒が多いことが予想される。1年次生では、「よかったと思う」、「どちらともいえない」、「よかったと思わない」がそれぞれ3分の1ずつにわかれている。1年次生全体をみた場合、まだ、この学校に入学したことに對する評価が定まっていない状態にあると考えられる。

4. 生徒の進路意識

最後に、生徒の高校卒業後の進路希望をみていくことにする。ただし、12月に行われた調査データであるため、3年次生の何割かは既に進路が決定しており、その点で3年次生に関しては、「希望」ではなく「実際」に近い結果の分析である。

4-1. 卒業後の進路

まず、卒業後、就職を希望しているのか、それとも進学を希望しているのかを見ていくことにする(表3-11)。生徒の進路希望は、全体としてはやや就職に傾斜している。これを学年別に見ると、1年次生では、進学を希望する人(44.3%)の方が就職を希望する人(41.6%)よりも若干多くなっ

ている。2年次生では、1、3年次生に比べ、進路未決定者の割合(20.2%)が高くなっている。3年次生では、就職(51.0%)が1、2年次生に比べ10%ほど多い。昨今フリーターを希望する生徒が増えてきていると言われているが、八千代高校の3年次生では、その割合が3.9%とかなり低い。

次に、進路決定時期についてみていこう(表3-12)。これに関するデータは、2、3年次生についてのみである。就職希望の場合、その決定時期は、2年次生も3年次生もどちらも、「高校に入学する前」と回答する生徒が5割強である。進学希望の場合の決定時期に関しては、2年次生では「高校に入学する前」(56.7%)の方が多く、3年次生では「高校入学してから後」と回答する割合の方(55.1%)が高くなっているが、全体で見れば、半数近くの生徒が高校入学後に進路を決定している。

表3-10 八千代高校総合学科に入学したことについての評価
(学年次別)

八千代高校総合学科に入学したこと	(%)			
	1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	3年次生 (N=153)	全体 (N=523)
とてもよかったと思っている	5.7	2.2	9.2	5.5
まあよかったと思っている	28.6	20.8	35.9	28.1
どちらともいえない	31.8	32.0	28.1	30.8
あまりよかったと思っていない	17.7	18.5	13.7	16.8
まったくよかったと思っていない	15.6	26.4	12.4	18.4
無回答	0.5	0.0	0.7	0.4

表3-11 卒業後の進路(学年次別)
(%)

	1年次生 (N=193)	2年次生 (N=178)	1、2年次生 全体(N=371)	3年次生 (N=153)
就職	35.9	33.1	34.6	51.0
どちらかと言えば就職	5.7	8.4	7.0	
どちらとも言えない	9.4	20.2	14.6	3.9
どちらかと言えば進学	17.2	14.6	15.9	45.1
進学	27.1	23.0	25.1	
無回答	4.7	0.6	2.7	0.0

注) 3年生は「就職」、「進学」、「就職も進学もしない」の3つから選択/
調査の時期より、進路の実際に近い数値

4 - 2 . 進学希望者の希望進学先

進学希望の生徒に限り、希望の進学先と進学先で勉強したいことを尋ねた結果が表3 - 13, 表3 - 14 である。進学先に関しては、5割強の生徒が「専門学校」を希望している。次に希望が多いのは、「4年制大学」(28.1%)である。学年別で見ると、1年次生では、「専門学校」を希望する生徒が63.5%である。2年次生では、「専門学校」(38.8%)と「4年制大学」(35.8%)を希望する生徒がほぼ同じくらいになっている。3年次生では、5割の生徒が「専門学校」を希望している。また、3年次生では、1, 2年次生に比べ、「短期大学」を希望する生徒が増えている。

進学先で勉強したいことの上位3つは、全体では、「専門学校・サービス関連」(13.9%),「専門学校・美術デザイン関連」(10.3%),「大学・社会科学関連」(9.8%)である。上位3つを見ると、系列に直接つながる分野を選ぶ生徒が少ないように思われる。学年別でみると、3年次生では、「大学・福祉関連」が10.1%と、1, 2年次生に比べ割合が高いことが特徴的である。また、系列と関連した「専門学校・工業関連」(8.7%)や「専門学校・商業実務関連」(7.2%)も1, 2年よりも多い。2年次生では、1, 3年次生に比べ、「専門学校・美術デザイン関連」(14.0%)と「大学教育・心理関連」(8.8%)が多くなっている。1年次生では、「専門学校・サービス関連」(20.6%)と「専門学校・医療関連」(8.8%)が2, 3年次生に比べ多いことが特徴的である。このように見ていくと、3年次生では、1, 2年次生に比べ、高校で学んだことを進学先で発展させていこうとする傾向が見てとれる。

表3 - 12 進路決定時期(学年次別)

		(%)		
		2年次生 (N=74)	3年次生 (N=78)	全体 (N=152)
就職 希望者	高校に入学する前	55.4	53.8	54.6
	高校に入学してから後	40.5	46.2	43.4
	無回答	4.1	0.0	2.0
		2年次生 (N=67)	3年次生 (N=69)	全体 (N=136)
進学 希望者	高校に入学する前	56.7	44.9	50.7
	高校に入学してから後	43.3	55.1	49.3

表3 - 13 進学希望者、希望進学先(学年次別)

(%)				
*進学希望者 進学希望先	1年次生 (N=85)	2年次生 (N=67)	3年次生 (N=69)	全体 (N=221)
4年生大学	16.5	35.8	34.8	28.1
短期大学	4.7	7.5	11.6	7.7
専門学校	63.5	38.8	50.7	52.0
その他	1.2	0.0	0.0	0.5
はっきりしていない	14.1	17.9	1.4	11.3
無回答	0.0	0.0	1.4	0.5

表3 - 14 進学希望者、進学先で学びたいこと

(学年次別)

(%)				
*進学希望者 進学先で学びたいこと	1年次生 (N=68)	2年次生 (N=57)	3年次生 (N=69)	全体 (N=194)
大学・文学関連	5.9	1.8	4.3	4.1
大学・語学関連	2.9	1.8	2.9	2.6
大学・社会関連	2.9	14.0	13.0	9.8
大学・教育・心理関連	2.9	8.8	0.0	3.6
大学・福祉関連	1.5	7.0	10.1	6.2
大学・医療関連	1.5	0.0	2.9	1.5
大学・家政関連	0.0	0.0	2.9	1.0
大学・自然科学関連	4.4	1.8	0.0	2.1
大学・工学関連	0.0	3.5	2.9	2.1
文科系複合学際領域	1.5	0.0	0.0	0.5
理科系複合学際領域	0.0	3.5	7.2	3.6
大学・美術関連	1.5	0.0	0.0	0.5
大学・その他	0.0	1.8	0.0	0.5
専門学校・商業実務関連	1.5	3.5	7.2	4.1
専門学校・情報関連	4.4	3.5	4.3	4.1
専門学校・サービス関連	20.6	10.5	10.1	13.9
専門学校・教育福祉関連	4.4	5.3	1.4	3.6
専門学校・医療関連	8.8	3.5	2.9	5.2
専門学校・工業関連	7.4	5.3	8.7	7.2
専門学校・音楽演劇関連	1.5	0.0	1.4	1.0
専門学校・美術デザイン関連	11.8	14.0	5.8	10.3
専門学校・家政関連	1.5	0.0	2.9	1.5
専門学校・スポーツ関連	2.9	0.0	1.4	1.5
その他	1.5	0.0	0.0	0.5
無回答	8.8	10.5	7.2	8.8

以上、2000年12月現在の八千代高校生の現状を把握してきた。最後に、八千代高校が今後総合学科としてどのような方向で形成されていくのかを考えるために、生徒の中に「総合学科」がどのように位置づいているのかという観点から、この調査の結果をまとめてみることにする。

まず、指摘できるのは、八千代高校では、生徒の中で「総合学科」であることが徐々に意識化されなくなってきたことである。これは、学校生活の中に、総合学科の特色が徐々に根づいてきているとも言える。特に、資格がとれることに関してはその傾向が顕著である。

選択科目制は、全体で見れば生徒に比較的上手に活用されていると言えるだろう。ただ、学年により、選択科目を自分にあつたかたちで選んでいるかどうかには差がでている。選択科目制と進路の関係では、生徒が自分の興味・関心等に合わせて科目を取った結果、進路が決まるというよりは、先にいくつかの進路類型があり、科目の選択時に、その類型に自分を合わせるということもありうることである。その場合、進路類型に自分が合わなければ、形式的に学校に関わるだけになるおそれがある。調査の結果からみるに、特に、2年次生にその傾向があるように思われる。このことがすすめば、総合学科本来の特色が消え、学科そのものが形骸化される可能性もあり得よう。

進路に関しては、現在のところまだ、総合学科で学んだことがそれと結びついているとは言い難い。ただし、この点について見ていくためには、もう2、3年待つ必要があるだろう。このことも含めて、総合学科のこれからの方向性を考えるには、生徒が行う科目選択と進路決定との関係を注視していく必要があると言えよう。

第4章 中学生から見た八千代高校総合学科

ここでは、高校に入学する前の段階、すなわち中学生から見た八千代高校総合学科について考察していく。

八千代高校の最も近くに位置する八千代町立八千代第一中学校では、八千代高校見学会（「高校体験学習」）を毎年行っており、平成11年度のそれは、立志関連行事の一環として平成12年1月31日に2年生を対象に行なわれた。八千代高校の見学会に参加した中学生たちは、八千代高校総合学科についてどのようなことを学び、感じとり、あるいはどのような「特色」にひかれたのだろうか。また、見学会に参加して同学科を受験したい（進学したい）と思った生徒はどのような生徒であったのか。ここでは、見学会に参加した八千代町立八千代第一中学校2年生に対して見学会終了後に行った質問紙調査の結果から、八千代高校の魅力とその程度、八千代高校を志望する生徒の生徒像などを分析する。

なお、調査は、見学会終了後の平成12年2月に、見学会に参加した中学2年生に対し、質問紙を配布して行ったものである。回収回答数は204であった。

1. 「見学会」を通して見た八千代高校総合学科

まずは単純集計結果から、「見学会」の評価とそれを通して中学生がみた「八千代高校総合学科」を明らかにしていこう。

はじめに、見学会が行われる前の時点で八千代高校の見学会をどの程度楽しみにしていたかについてであるが（表4-1）、「とても楽しみにしていた」と「まあ楽しみにしていた」の両方を合わせると66.2%と、過半数の生徒が八千代高校の見学会を楽しみにしていた。しかし「とても楽しみにしていた」という生徒に限れば15.7%と決して高い割合ではない。このことは、中学2年生の3学期という時期では、まだ高校受験を具体的に考えることができないこと、また、自分の進路の目標が定まっていない段階での見学会であるためにそれが「楽しみ」に結びつきにくいこともあってのことと思われる。その点で、この割合は、それ相応の割合であるといえるだろう。中学の側でも、生徒に将来の進路について具体的な目標を持たせることを期待して、この見学会を実施しているのである。

表4-1 「見学会」を楽しみにしていたかどうか（全体/N=204） (%)

とても楽しみにしていた	まあ楽しみにしていた	あまり楽しみにしていなかった	まったく楽しみにしていなかった	無回答
15.7	50.5	23.0	6.9	3.9

見学会を終えた後、会が「ためになったかどうか」については（表4-2）、「とても、ためになった」と「まあ、ためになった」を合わせた割合が87.2%と、ほとんどの生徒が「ためになった」と回答している。「ためになった」とする内容は個々人で異なることは当然であるが、中学2年生の3学期という時期に行われた高校見学会が、十分にその役割を果たしたということができよう。実際、

表4 - 2 「見学会」はためになったか(全体/N=204)

(%)				
とても、 ためになった	まあ、 ためになった	あまり、ために ならなかった	まったく、ために ならなかった	無回答
29.4	57.8	8.8	3.4	0.5

「その他、八千代高校を見学して思ったことや考えたことを自由に書いてください」という自由記述欄(以下、「自由記述」)には、「あと少しで、私も受験生だとじっかんした。早く高校へ行きたいと思った」などといった感想があり、その点にも、見学会が、まだ1年も先の受験や進学を生徒に身近に感じさせるよい機会であったことが示されている。

それでは生徒たちは、この見学会にどのような意味があったと感じているのだろうか(表4 - 3)。調査の結果では、生徒たちのほとんどが、見学会を終えてみて「自分もがんばって、高等学校に進学したくなった」(86.8%)と回答している。また「高等学校では、どのような勉強をするのかがわかった」(81.4%)り、「高等学校が、どのようなふんいきのところかがわかった」(80.4%)とも回答している。ほぼ全員の中学生が高校へ進学するようになったとは言え、ただ何となく、高校がどのようなところかを知らないまま高校へ進学する中学生は未だ少なくない。高校進学への意欲がかきたてられ、高校がどのようなところかがわかったという点で、彼らは、このような見学会の意味を認めているのである。

表4 - 3 「見学会」に感じた意味(全体/N=204)

(%)			
	あてはまる	あてはまらない	無回答
自分もがんばって、高等学校に進学したくなった。	86.8	12.8	0.5
高等学校では、どのような勉強をするかがわかった。	81.4	18.7	
高等学校が、どのようなふんいきのところかがわかった。	80.4	18.6	1.0
「総合学科」がどのような学科かがわかった。	77.4	22.6	
八千代高校総合学科の他に、高等学校にはどんな学校や学科があるのかを知りたくなった。	71.1	28.4	0.5
八千代高校総合学科の他に、もっと、いろいろな学校や学科を見学してみたくなった。	71.0	28.0	1.0
高校生の学校生活が、どのようなものであるかがわかった。	67.1	32.4	0.5
高等学校が、身近に思われるようになった。	64.7	35.3	

注)「あてはまる」は「すごくあてはまる」と「まああてはまる」の合計。
「あてはまらない」は「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」の合計。

一方、「『総合学科』がどのような学科かがわかった」という問いに対しては、「あてはまる」とする生徒が77.4%と、上に示した高校一般についての質問の結果よりもその割合が若干低くなっている。高校一般についての理解に比べれば、総合学科の理解という点での意味は、やや下がるようである。しかし、見学会当日の約2時間の説明および授業参観で、まだ高校進学を現実的に考えられない中学2年生の約四分の三が、複雑なシステムである総合学科について「わかった」としているのであるから、その点では、こうした見学会の意味が確と認められよう。

表4 - 4は、見学会で印象に残っていることである。これを見ると、「部活動体験および見学」(52.0%)と「総合学科についての説明」(45.1%)の率が高く、それらは「授業参観」(39.2%)や「八千代高校についての説明」(34.3%)、あるいは「八千代高校の施設や設備」(14.2%)よりも上回っている。高校側としては実際の授業を見てもらって「八千代高校」を知ってもらいたいという期

待があったのであろうが、中学生はその意図から若干外れた部活動のほうに関心があり、またそのことに強く印象づけられたようである。この時期、中学校の部活動ではおそらく彼ら2年生が活動の中心であったのであろう。そのため、高校の部活動への関心も高く、見学会でもそれに興味が向いたのであろう。

表4-4 「見学会」で印象に残っていること(2項目回答/全体/N=204) (%)

部活動体験および見学	総合学科についての説明	授業参観	八千代高校についての説明	八千代高校の施設や設備	八千代高校の生徒や先生
52.0	45.1	39.2	34.3	14.2	8.3

この結果において、「総合学科についての説明」が印象に残ったとする生徒が「部活動体験および見学」に次いで多く、半数近くいたことは興味深い。自由記述欄には、八千代高校が茨城県内で唯一の総合学科を持つ高校であることの評価がなされていた。この点、見学会における総合学科についてのPRはますますだったと思われるのである。

表4-5は、「八千代高校のどのようなところに魅力を感じたか」についての質問への回答を整理した結果である。ここでいう「八千代高校の魅力」は、当然ながら「総合学科の魅力」と重なっている。中学生は、八千代高校そして総合学科のどのようなところに魅力を感じていたのであろうか。

八千代高校の魅力としてあげた項目のうち、「自分自身で作る時間割」(87.2%)、「選択科目の数の多さ」(79.9%)、「『落第』のない『単位制』という仕組み」(77.5%)などは、それ自体が「総合学科」の特色である。このような自由性や多様性を大きくアピールしているのが「総合学科」であり、こうした項目において「魅力を感じた」とする生徒の割合が高かったことは、中学生が「総合学科」の自由性、多様性を「魅力」ととらえたことを示している。また、調査の結果では、上記の特色に伴う、「さまざまな施設や設備」(79.4%)、「将来の進路を入学後に考えられるゆとり」(73.0%)などにも、7割以上の生徒が魅力を感じている。全体に、単位制で総合学科という八千代高校の新しい仕組みを、中学生は好意的にとらえているとみてよいだろう。

表4-5 八千代高校に感じた魅力(全体/N=204) (%)

	魅力を感じた	魅力を感じなかった	無回答
自分自身でつくる自分の時間割	87.2	12.3	0.5
いろいろな資格のとりやすさ	85.3	14.2	0.5
選択科目の数の多さ	79.9	19.1	1.0
さまざまな施設や設備	79.4	19.6	1.0
通学のしやすさ	78.0	21.5	0.5
「落第」のない「単位制」という仕組み	77.5	21.6	1.0
実習や実験など、体験的な学習を取り入れた授業	76.5	23.1	0.5
卒業後の就職のしやすさ	75.0	24.6	0.5
将来の進路を入学後に考えられるゆとり	73.0	26.4	0.5
選択科目の内容	72.5	26.4	1.0
卒業後の進学のしやすさ	71.6	27.9	0.5
部活動	71.1	28.4	0.5
小人数の授業	68.6	30.8	0.5
推薦入試による生徒の募集	63.2	36.3	0.5
学校内の雰囲気	56.4	43.2	0.5

注)「魅力を感じた」は、「とても魅力を感じた」と「まあ魅力を感じた」の合計。
「魅力を感じなかった」は、「まったく魅力を感じなかった」と「あまり魅力を感じなかった」の合計。

「少人数の授業」や「推薦入試による募集」も、総合学科の特色と言えれば特色である。しかし、上記にあげた特色に比べると、これらの事柄に「魅力を感じた」とする中学生は、わずかではあるが、少なくなっている（「少人数の授業」：68.6% / 「推薦入試による募集」：63.2%）。「少人数の授業」については、八千代高校としてもその魅力として強調している点であり、いまだ少し、「魅力」とする中学生が多くなることが望まれよう。

注目したいのは、「通学のしやすさ」に魅力を感じた生徒が 78.0%もいたことである。調査を行った八千代第一中学校は八千代高校が最も近い高校である。「地元の高校」ということで心理的な距離もさることながら、物理的な距離による通いやすさが、同校の魅力ともなっているのである。なお、1998 年度の八千代第一中学校から八千代高校への進学率は 22.4%であり、また八千代高校への 1999 年度の入学者のうち、八千代第一中学校の出身者の割合は 15.5%となっている。

この見学会では授業参観も行われていたが、調査では、参観した授業のなかでもっとも興味をもった授業が何かについても尋ねている。その結果（表 4 - 6）をみると、「自動車整備」（31.4%）や「文書処理」（20.6%）、「社会福祉基礎」（13.7%）について「興味を持った」とする生徒が多くなっている。これらは中学校の教科にはない、「総合学科」らしい授業科目である。また、実習を伴っていたりして、実践的な授業である。そうした点で、生徒の興味をひいたのであろう。実際、当日の授業では、八千代高校の生徒が“つなぎ”を着て車両のそばで説明を受けたり、実習室で熱心にワークブックを打ち込んだりしていた。そうした姿が、中学生たちの関心をひきつけたのである。

表 4 - 6 授業参観でもっとも興味をもった授業（全体 / N=204）

							(%)
自動車整備	文書処理	社会福祉基礎	国語表現	英語	簿記	生物	無回答
31.4	20.6	13.7	7.8	7.4	6.9	6.4	5.9

以上、八千代高校見学会についての中学生の感想を調査の結果に基づきつつ、整理してきた。では、全体的に判断して、中学生にとって八千代高校は魅力のある高校であったのかどうか。また、受験しなくなるような高校であったのかどうか。

これについては、表 4 - 7 に示す通り、「魅力のある学校」と回答した生徒は 54.9%と過半数を超え、「魅力のない学校」と答えた 12.2%を大きく上回っていた。また、「八千代高校を受験したいと思うか」については（表 4 - 8）、「受験したい」が 29.9%、「受験したくない」が 29.4%とほぼ同率

表 4 - 7 八千代高校に感じる魅力の度合い（全体 / N=204）

			(%)
魅力のある学校	魅力のない学校	どちらともいえない	
「とても、魅力のある学校」と 「まあ、魅力のある学校」の合計	「あまり、魅力のない学校」と 「まったく、魅力のない学校」の合計		
54.9	12.2	32.8	

表 4 - 8 八千代高校への受験希望（全体 / N=204）

			(%)
受験したい	受験したくない	どちらともいえない	
「ぜひ、受験したい」と 「まあ、受験したい」の合計	「あまり、受験したくない」と 「まったく、受験したくない」の合計		
29.9	29.4	39.7	

であり、「どちらともいえない」は39.7%であった。

先述したように、この見学会が行われたのは、中学2年生の3学期である。そのことを考えると、この時点では、八千代高校に少なからぬ魅力を感じていても、まだ、「受験したい」と思うに至らないのは当然のことだろう。しかし、ともかく「魅力ある学校」と答えている生徒は半数以上である。この時点で、魅力は感じているものの受験するかとなると「どちらともいえない」と回答している生徒を、どれだけ「受験したい」と思わせることができるかが、八千代高校の課題であると言えよう。

2. 八千代高校総合学科を志望する生徒

それでは、どのような中学生が八千代高校総合学科への進学を希望しているのだろうか。表4-9は、学校外での活動を含む「中学校生活について」の質問で、各項目に「あてはまる」と答えた生徒と、「あてはまらない」と答えた生徒とで、八千代高校への受験を希望する生徒の割合が、どのように異なっているかをみたものである。この表をみると、両者の間で「八千代高校を受験したい」という生徒の割合に大きな差が出ているのは、「学校でやっている活動以外に、個人でボランティアなど社会のための活動をしている」という項目と、「選択科目の授業が好き」という項目である。また、それほどではないものの、「楽しく授業を受けている」「学校の規則を守っている」という項目である。これらの項目においては、それが「あてはまる」という生徒の方が、「あてはまらない」という生徒よりも、より、八千代高校総合学科の受験を希望しているのである。

表4-9 中学校生活の過ごし方と八千代高校受験希望の関係(全体)

(%)

	八千代高校受験を希望する生徒の割合		
	下の各項目について「あてはまる」に答えた生徒	下の各項目について「あてはまらない」に答えた生徒	差
楽しく授業を受けている	34.0	19.6	14.4
授業の内容がよくわかる	33.9	25.0	8.9
予習・復習をしたり、わからないところを自分で調べたり、積極的に勉強している	36.0	27.5	8.5
学校の授業の予習・復習の他に、高校受験のために特別の勉強をしている	34.0	28.7	5.3
選択の授業が好き	32.4	8.7	23.7
教科によって勉強の好き嫌いが大きい	32.0	25.0	7.0
教科によって勉強の出来、不出来が大きい	29.2	31.8	-2.6
運動関係の部(クラブ)活動でがんばっている	31.4	22.8	8.6
文化関係の部(クラブ)活動でがんばっている	35.8	27.9	7.9
学校の委員会活動に熱心に取り組んでいる	31.5	26.8	4.7
学校の規則を守っている	32.9	20.5	12.4
英語検定や珠算の検定など技能検定で級や段をとっている	21.5	37.7	-16.2
個人で校外のコンクールや大会などに参加している	33.3	29.8	3.5
学校でやっている活動以外に、個人でボランティアなど社会のための活動をしている	56.5	26.6	29.9
イラストやマンガ、アニメ、ゲーム、釣りなど、趣味の活動に夢中になっている	32.1	25.0	7.1
ゲームセンターなど校外の遊び場でよく遊んでいる	32.6	27.9	4.7

注) 数値は、八千代高校総合学科受験を希望する生徒の割合

「学校でやっている活動以外に、個人でボランティアなど社会のための活動をしている」という生徒にしても、「選択科目の授業が好き」という生徒にしても、そこからイメージできるのは、既成の枠のなかにとどまるのではなく、積極的に自分なりの課題を見つけようという生徒である。また、「楽しく授業を受けている」生徒、「学校の規則を守っている」生徒からイメージできるのは、比較的、まじめな生徒である。調査の結果では、こうした特性が「あてはまる」か「あてはまらない」かによって、八千代高校への受験を希望するかどうかが大きく異なっている。言い方を換えれば、こうした特性をもつ生徒において、より、八千代高校を希望する傾向が強く現れている。自分なりを大事にしなが、まじめに中学生を送ろうという生徒が、より、八千代高校に惹かれる傾向を示しているのである。

なお、同じく大きな差がでている項目に、「英語検定や珠算の検定など技能検定で級や段をとっている」という項目がある。ただし、こちらの方は、「あてはまる」という生徒に八千代高校受験希望者が少なくなっている。先に、ボランティアなど社会活動に力を入れている生徒に、八千代高校受験希望がより顕著であることを指摘したが、同じような社会的活動でも、「検定の取得」となると、事情が異なるようである。「検定の取得」に力を入れるような生徒の場合には、それが八千代高校を目指すことにつながってこないようなのである。

勉強についての自信との関連ではどうか。表4-10は、「あなたは、学校の勉強に、どのくらい自信をもっていますか。」と聞いた質問と八千代高校受験志望との関係をみたものである。これをみると、勉強に対する自信の有無と、八千代高校受験希望との間には、はっきりした関係はないようである。八千代高校総合学科では、生徒の多様な進路や目標に対応できるよう、多種多様な科目を用意しており、学力の点で幅広い生徒への対応が目指されている。その点に照らしたとき、勉強に自信がある生徒も、そうでない生徒も、ともに同じように同学科を希望しているというこの事実は、同学科にとってプラスの意味をもつものであろう。勉強についての自信の有無によっては、八千代高校への受験希望は決まらない。むしろこの点に、同学科の特徴があると言えるようである。

将来の希望進路との関係もみておこう。高校卒業後の希望進路と八千代高校受験希望との関係をみたのが表4-11である。この表をみると、高校卒業後、就職や専門学校へ進学を考えている生徒において、八千代高校を受験したいとする生徒の割合が高くなっている。逆に、大学進学をめざす生徒

表4-10 勉強についての自信と
八千代高校総合学科受験希望との関係(全体)

		(%)
		「受験したい」 生徒の割合
勉強に自信をもっている		25.7
どちらともいえない		32.9
勉強に自信をもっていない		29.6

表4-11 高校卒業後の希望進路と八千代高校総合学科受験希望との関係(全体)

		(%)			
		八千代高校受験希望			
		受験したい	受験したくない	どちらともいえない	計
高校卒業後の 希望進路	大学・短大進学	15.9	52.3	31.8	100.0
	専門学校進学	30.6	19.4	50.0	100.0
	就職	48.9	14.9	36.2	100.0
	まだわからない	17.4	34.8	47.8	100.0
	無回答	42.1	21.1	36.8	100.0

には受験希望者が少ない。八千代高校総合学科を受験したいと考える生徒は、高校卒業後に大学進学よりも就職あるいは専門学校への進学をめざす生徒である。幅広い進路志望に対応することに総合学科の特徴があるとすれば、いまま少し、大学進学を目指す生徒の同学科受験を喚起したいところであろう。

次に、八千代高校見学会において、どのような特色に魅力を感じた生徒が同校を受験したいと思っているかをみておこう。このことは、逆に「受験」につながるような同校の魅力は何かを問うことでもある。表4-12は、八千代高校の特色を示す15の項目について、それにどの程度、魅力を感じたかによって、八千代高校受験の希望がどのように異なるかをみたものである。これをみると、当然ながら、全体に「魅力を感じた」という生徒の方が「魅力を感じなかった」という生徒よりも、受験を希望していることがわかる。では、どこに魅力を感じたことが、受験の希望により強くつながったと考えられるのか。「とても魅力を感じた」生徒と「魅力を感じなかった」生徒との間で、受験希望者の比率に大きな違いがある項目をみると、それは一つには、「学校の雰囲気」である。「雰囲気」というとあまりに漠然としてしまうが、そうした漠然としたものに惹かれるか惹かれなかが受験を希望するか、しないかに強く関わっているのである。逆に言えば、八千代高校の雰囲気こそが、中学生を「受験」に向かわせる第一の魅力となっている。まさに、学校の「雰囲気づくり」が重視されるゆえんである。

違いのある項目の第二は、「推薦入試による生徒の募集」や「自分でつくる自分の時間割」である。この二つは、ともに、「総合学科」であるがゆえの特色を示している。「総合学科」としての特色も、中学生を八千代高校受験に向かわせる要因になりそうである。しかし、同じ総合学科としての特色でも、「選択科目の数の多さ」や「『落第』のない『単位制』という仕組み」は、それに感じる魅力がそれほど「受験」の希望につながっていない。中学生の総合学科に対する理解が十分でないということもあろうが、総体として「総合学科だから」・・・という程、「総合学科であること」は、中学生を八千代高校「受験」に向かわせる魅力とはなっていないようである。むしろ、「推薦入試による生徒の募集」などは、受験競争を避けることができるという点で、八千代高校受験の希望に関係していたと

表4-12 八千代高校に感じた魅力と同校受験希望との関係（全体）

(%)

	八千代高校受験を希望する生徒の割合			差 (A)-(B)
	下の各項目について			
	「魅力を感じた」という生徒(A)	「まあ魅力を感じた」という生徒	「魅力を感じなかった」という生徒(B)	
学校内の雰囲気	60.7	29.1	21.8	38.9
推薦入試による生徒の募集	47.5	36.4	13.7	33.8
自分でつくる自分の時間割	35.9	30.5	4.0	31.9
いろいろな資格のとりやすさ	39.1	27.5	10.3	28.8
卒業後の就職のしやすさ	40.7	33.7	12.2	28.5
部活動	39.2	36.2	12.1	27.1
通学のしやすさ	38.6	32.0	11.6	27.0
卒業後の進学のしやすさ	46.3	29.8	19.6	26.7
将来の進路を入学後に進路を考えられるゆとり	44.1	28.4	18.5	25.6
選択科目の内容	43.6	30.6	18.9	24.7
実習や実験など、体験的な学習を取り入れた授業	37.1	33.3	14.9	22.2
「落第」のない「単位制」という仕組み	40.0	26.4	18.6	21.4
選択科目の数の多さ	33.3	33.0	16.2	17.1
さまざまな施設や設備	36.1	28.2	23.1	13.0
小人数の授業	36.2	27.1	27.4	8.8

注)数値は、「八千代高校を受験したい」という生徒の割合

みることも可能である。

第三は、「いろいろな資格のとりやすさ」「卒業後の就職のしやすさ」である。大きく括ってしまえば「進路保証」といってよい点である。この点に惹かれるか惹かれないかでもって、八千代高校への受験を希望するか、しないかが決まってくる。「総合学科」といえども、否、「総合学科」であればこそ、「進路保証」は重要である。それが「魅力」であればそこ、中学生たちは八千代高校総合学科を目指すことにもなってくるのである。

以上、八千代第一中学校 2 年生を対象にして実施した「八千代高校見学会」についての調査結果を分析・紹介してきた。ここで、その結果から示唆されることを示しておく、第一には、八千代高校の見学会は、中学校への高校のPRになるだけではなく、中学生にとっても高校進学を意識し、自分の問題として捉えることのできるよい機会になる、ということである。しかもそのきっかけとなる高校が県内唯一の「総合学科」であるということは、高校そのものをまだよく知らない中学生にとっては、「ほかにどんな高校があるのだろう」「高校ではどんな勉強ができるのだろう」と想像をふくらませることにつながるものと考えられる。中学生のほとんどが高校へ進学するのが当たり前になるなか、ややもすると1回も高校へ行くことなしにそれを受験することも起こってくる。高校とはどのようなところかを知らなくても、高校へ入学できてしまうのが現状である。その点からしても、このような高校の見学会や説明会は、中・高の両方にとって重要だと言えよう。

第二に、総合学科の特色には、中学生にとって魅力に感じるところが多い、ということである。自分でつくる自分だけの時間割、単位制、選択科目の数の多さやその内容といった、総合学科であるがゆえの特色は、中学生にとって目新しいものであり、興味をひくものである。そしてその魅力は、八千代高校の魅力にも重なり、ひいては受験の動機にもなりうるものである。ただ、むろん、その魅力は、それだけでもって「受験決め手」になるようなものではない。「総合学科」としての特色を生かしつつ、より幅の広い、かつ奥行きのある「魅力ある学校づくり」が求められていると言えよう。

以上、八千代第一中学校 2 年生を対象に実施した調査の結果を分析してきたが、この調査は中学 2 年生を対象とし、時期も 3 学期という、高校受験をまだ十分に自覚できていないと思われる段階で行ったものである。したがってこの時期における中学生の回答、つまり八千代高校に対する見方や受験の希望は、この先、まだ変わる可能性を大いに含んでいる。その後の変化において、彼らの見方や希望を学校が望む方向に導くことができるかどうか、それは今後の八千代高校の実践やPRにかかっていると見えよう。

付 録

. 八千代高校生徒調査 単純集計結果

「総合学科生徒の学校に対する意識についての調査」

1 . 第 1 回調査 1 期生 1 年次

2 . 第 2 回調査 2 期生 1 年次

3 . 同 1 期生 2 年次

4 . 第 3 回調査 3 期生 1 年次

5 . 同 2 期生 2 年次

6 . 同 1 期生 3 年次

. 八千代高校生徒調査質問項目対照表

. 八千代第一中学校生徒調査 単純集計結果

「八千代高等学校見学会に参加して」

数値は, %
「N = 」は回答者数

総合学科生徒の学校に対する意識についての調査

< お 願 い >

夏休みも終わり、順調に2学期の生活を送っていらっしゃるかと思います。

さて、このたび、私たち筑波大学教育社会学研究室では、八千代高校の生徒の皆さんに対して「総合学科生徒の学校に対する意識についての調査」をお願いすることになりました。

この調査は、今年、八千代高校総合学科に入学した生徒の皆さんが、どのような経緯でこの学校に入学するようになったかということや、どういった意識で学校生活を送っているかを調べて、総合学科の今後のあり方を検討する資料を得ようというものです。たいせつな時間を使わせてしまって申し訳ありませんが、どうぞ、調査にご協力ください。

なお、回答はすべて数字になおして、コンピュータで処理しますので、だれがどのように答えたかはまったくわからないようになっていきます。また、調査の結果を研究以外の目的に使うことは決してありません。テストのようなものではありませんので、安心して、事実や思っていること、考えていることをありのままに教えてください。

高校を受験した時のことなど、少し前のことを聞く質問もあつたりして答えにくいかも知れませんが、その点、許していただき、どうぞよろしくご協力ください。お願いします。

1998年秋

筑波大学教育学系教育社会学研究室

担当：助教授 飯田浩之

連絡先：〒305-8572

つくば市天王台1丁目1-1
TEL/FAX 0298-53-4599

まず、あなたの中学時代のことについてうかがいます。

- Q1. あなたの出身中学の所在地はどこですか。あてはまるところの番号に をつけてください。
1. 八千代町 44.6
 2. 八千代町のまわりの市町村(猿島, 石下, 千代川, 下妻, 閑城, 結城, 三和) 52.3
 3. 上の1と2を除く, 第5学区の市町村 3.1
 [岩瀬, 大和, 真壁, 協和, 明野, 下館, つくば, 荳崎, 伊奈, 谷和原, 守谷,]
 4. 第5学区以外の市町村 -
- N・A -
- Q2. 中学時代のあなたは、どのような生徒でしたか。次にあげることがらが、中学時代のあなたに、どの程度、あてはまるかを教えてください。

中学時代, あなたは.....	すあてく あてはまる	まああてはまる	あてはまらない	あてはまらない	N・A
1. 日頃の授業に熱心に取り組んだ。	4.7	56.0	34.2	5.2	-
2. 受験勉強をがんばった。	12.4	39.9	33.7	13.5	0.5
3. 選択教科の授業が好きだった。	37.8	43.5	17.1	1.6	-
4. 教科によって勉強の好き嫌いが大きかった。	46.6	35.2	15.5	2.6	-
5. 教科によって勉強の出来, 不出来が大きかった。	35.2	41.5	20.7	2.1	0.5
6. 運動関係の部(クラブ)活動をがんばった。	36.3	29.0	15.5	18.1	1.0
7. 文化関係の部(クラブ)活動をがんばった。	12.4	22.3	17.1	41.5	6.7
8. クラス対抗の大会や文化祭など, クラスの活動や生徒会活動に熱心だった。	21.8	44.0	24.4	9.3	0.5
9. 校外のコンクールや大会などで賞をとった。	15.5	18.1	19.7	46.1	0.5
10. 英語検定や珠算の検定など, 技能検定で級や段をとった。	19.2	20.2	14.5	45.1	1.0
11. ボランティアなど社会のために活動した。	8.3	18.7	39.4	33.2	0.5
12. イラストやマンガ, アニメ, ロック, ゲーム, 釣りなど, 趣味に夢中になった。	41.5	31.1	21.2	5.7	0.5
13. ゲームセンターなど校外の遊び場でよく遊んだ。	16.1	26.9	37.8	19.2	-
14. 先生たちのウケがよかった。	9.8	33.2	42.0	13.5	1.6

- Q3. あなたは、中学時代、クラスや生徒会、部の役員をしたことがありますか。それぞれについて教えてください。

中学時代, 次の役員をしたことが.....

- A. 生徒会執行部の役員や委員会の委員長, 副委員長・ (1. ある 25.9 2. ない 73.6)
 [会長, 副会長, 書記, 保健委員長,]
 [文化祭実行委員会副委員長など]
 N・A 0.5
- B. クラスの役員(代表)・ (1. ある 18.7 2. ない 80.8)
 [学級委員, 評議員, クラス代表など]
 N・A 0.5
- C. 部の役員・ (1. ある 15.5 2. ない 84.5)
 [部長, 副部長, 主将など]
 N・A -

- Q 4 . 中学校 3 年生のころのあなたの成績は、学年で、どのくらいでしたか。
- 学年で・・・1 . かなり上の方だった。 - 4 . 少し、下の方だった。 37.3
 2 . 少し、上の方だった。 3.6 5 . かなり下の方だった。 14.5
 3 . まん中くらいだった。 44.0 N・A 0.5

次に、高校受験のことについてうかがいます。

- Q 5 . あなたは、志望校を決めるにあたって八千代高校に見学に来ましたか。八千代高校が開いた「オープン・スクール(学校説明会)」に参加したかどうかも含めて、教えてください。
- 1 . 八千代高校が開いた「オープン・スクール」に参加した。 36.3
 2 . 「オープン・スクール」とは別に、学校に見学に来た。 7.8
 3 . 「オープン・スクール」にも参加したし、それ以外にも学校に見学に来た。 7.8
 4 . 「オープン・スクール」にも参加しなかったし、見学にも来なかった。 47.7
 N・A 0.5

- Q 6 . あなた自身、八千代高校へ受験しようとして心に決めたのは、いつ頃でしたか。
- 1 . 中学 3 年生の夏休みの終わり頃まで 17.1
 2 . 中学 3 年生の 2 学期以降、志望校決定のための二者面談や三者面談の前まで 25.4
 3 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が開かれた頃 39.9
 4 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が終わってから 16.1
 N・A 1.6

- Q 7 . あなたが八千代高校への受験を決めたのは、この学校のどこにひかれてですか。次にあげるそれぞれについて、どの程度、ひかれたかを教えてください。

八千代高校へ受験を決めた時、次のことに・・	とてもひかれた	まあひかれた	あまりひかれなかった	まったくひかれなかった	N・A
1 . 選択科目の数の多さ	18.7	53.4	19.2	8.8	-
2 . 選択科目の内容	19.7	45.6	27.5	7.3	-
3 . 自分自身でつくる自分の時間割	53.4	30.6	11.4	4.7	-
4 . 6 つの系列から選べること	34.2	39.4	18.7	7.8	-
5 . 「産業社会と人間」など、総合学科独自の科目	2.6	16.1	53.9	27.5	-
6 . 体験的な学習を取り入れた授業	10.9	42.0	37.8	9.3	-
7 . 部活動の実績	5.2	13.0	46.6	35.2	-
8 . 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	14.0	39.9	33.7	11.9	0.5
9 . 就職における有利さ	31.6	38.3	21.2	8.8	-
10 . 大学進学における有利さ	7.8	23.8	43.0	24.9	0.5
11 . とれそうな資格	40.9	41.5	11.9	5.7	-
12 . 施設や設備の充実度	13.0	35.2	40.4	11.4	-
13 . 推薦入試による生徒の募集	16.6	22.8	33.2	27.5	-
14 . 通学の便利さ	26.4	27.5	23.8	22.3	-
15 . 「地元の学校」としての身近さ	21.2	26.9	26.9	24.9	-

- Q 8 . 八千代高校への受験は、あなた自身の判断で決めましたか。それとも、他の人の意見で決めましたか。

- 1 . 自分の判断で決めた。 39.9
 2 . どちらかと言えば、自分の判断で決めた。 23.8
 3 . 自分の判断と他の人の意見と、両方を同じくらいに重視して決めた。 21.8 Q 9 へ
 4 . どちらかと言えば、他の人の意見で決めた。 6.2
 5 . 他の人の意見で決めた。 4.1
 N・A 4.1

前の質問(Q 8)で「3」「4」「5」のどれかに答えた人(他の人の意見を考えに入れて決めた人)にうかがいます。

- S Q 1 . もっとも重視したのは誰の意見ですか。次のなかから、ひとつだけ選んで、その番号にをつけてください。(N=62)
- 1 . お父さん 4.8 6 . 先輩 4.8
 2 . お母さん 41.9 7 . 塾や家庭教師の先生 -
 3 . きょうだい(兄弟姉妹) 3.2 8 . その他の人 3.2
 4 . 中学の先生 32.3 どういうひとですか []
 5 . 友だち 9.7 N・A -

- Q 9 . あなたが八千代高校を受験することに、お父さんとお母さんは賛成でしたか。それとも反対でしたか。また、どのような点で「賛成」あるいは「反対」だったのですか。もっともあてはまるものをひとつだけ選んで、その番号にをつけてください。(ひとつだけ)

- A) お父さんは・・・・・・ B) お母さんは
- 1 . 賛成だった。 46.6 1 . 賛成だった。 53.4
 2 . どちらかと言えば、賛成だった。 20.7 2 . どちらかと言えば、賛成だった。 20.2
 3 . どちらでもなかった。 → Q 10 へ 17.6 3 . どちらでもなかった。 → Q 10 へ 8.3
 4 . どちらかと言えば、反対だった。 4.1 4 . どちらかと言えば、反対だった。 5.7
 5 . 反対だった。 1.0 5 . 反対だった。 1.6
 6 . お父さんはいない → Q 10 へ 2.1 6 . お母さんはいない。 → Q 10 へ 2.6
 NA 7.8 NA 8.3

「1」「2」「4」「5」に をつけた人にうかがいます。
 S Q { どのような点で「賛成」あるいは「反対」
 だったのですか。次のなかから、もっとも
 大きな理由をひとつだけ選んでください。 } (N=156)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 . 系列や科目など、勉強内容の点で 12.1 | 1 . 系列や科目など、勉強内容の点で 10.3 |
| 2 . 生徒が自分の時間割を決める点で 8.6 | 2 . 生徒が自分の時間割を決める点で 10.9 |
| 3 . 選択科目が多い点で 2.1 | 3 . 選択科目が多い点で 1.3 |
| 4 . 入学後に卒業後の進路を決めてよい点で 4.3 | 4 . 入学後に卒業後の進路を決めてよい点で 3.8 |
| 5 . 資格の取得につながる点で 15.7 | 5 . 資格の取得につながる点で 17.9 |
| 6 . 卒業生の就職・進学実績の点で 5.7 | 6 . 卒業生の就職・進学実績の点で 5.8 |
| 7 . 新しくスタートした点で 1.4 | 7 . 新しくスタートした点で 3.2 |
| 8 . 生徒の学力水準の点で 7.1 | 8 . 生徒の学力水準の点で 6.4 |
| 9 . 校内の雰囲気、という点で 2.1 | 9 . 校内の雰囲気、という点で 2.6 |
| 10 . 世間の評判、という点で 3.6 | 10 . 世間の評判、という点で 1.9 |
| 11 . 通学の便、という点で 24.3 | 11 . 通学の便、という点で 20.5 |
| 12 . その他 (6.4 / N・A 6.4 | 12 . その他 (7.1 / N・A 8.3 |

Q10. 八千代高校は、あなたにとって、一番、入りたい学校でしたか。それとも別に、入りたい学校がありましたか。

- 1. 一番、入りたい学校だった。 20.2
 - 2. ほかに、入りたい学校があった。 60.6
 - 3. 高校ならばどこでもよかった。 9.8
 - 4. 高校には、来なくなかった。 3.6
- N・A 5.7

Q11. 八千代高校が「総合学科」であることは、あなたがこの学校を受験するきっかけになりましたか。なりませんでしたが。

- 1. 大きなきっかけとなった。 26.4
 - 2. まあ、きっかけとなった。 48.2
 - 3. あまり、きっかけにならなかった。 18.1
 - 4. まったく、きっかけにならなかった。 7.3
- N・A -

Q12. 八千代高校を受験した時、この高校が「総合学科」であることに、あなたはどの程度、魅力（みりよく）を感じていましたか。

- 1. たいへん、魅力を感じていた。 17.6
 - 2. まあ、魅力を感じていた。 50.8
 - 3. あまり、魅力を感じていなかった。 24.4
 - 4. まったく、魅力を感じていなかった。 6.7
- N・A 0.5

Q13. あなたが八千代高校に入学したのは、推薦入試によってですか。それとも一般入試によってですか。

- 1. 推薦入試によって入学した。 40.9
 - 2. 一般入試によって入学した。 59.1
- N・A -

次に、あなたの今の学校生活についてうかがいます。

Q14. あなたは、日頃、どのように過ごしていますか。あなたの過ごし方にもっとも近いものをひとつ選び、その番号に つけてください。（ひとつだけ）

- 1. 学校で、より広く、より高度な知識や技術を身につけようとしている。 4.1
 - 2. 学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている。 5.2
 - 3. よい会社に就職したり、よい大学に進学しようとしている。 6.7
 - 4. 何はともあれ、今よりも成績を上げようとしている。 8.3
 - 5. 何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている。 19.2
 - 6. クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている。 44.6
 - 7. 校外でボランティアをしたり、地域活動をしたり、幅広い経験を得意ようとしている。 1.6
 - 8. カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しもうとしている。 8.8
 - 9. その他（どういう過ごし方ですか） 0.5
- N・A 1.0

Q15. あなたは、日頃、新しい学科である「総合学科」で勉強しているということを、どの程度、意識していますか。

- 1. かなり意識している。 4.1
 - 2. ある程度、意識している。 39.9
 - 3. あまり、意識していない。 47.7
 - 4. まったく意識していない。 7.8
- N・A 0.5

Q16. 2年生になると「選択科目」が多くなりますが、選択科目を選ぶにあたって、あなたは主にごどの系列から科目を選択しようと考えていますか。また、その系列の選択科目にあなたは満足していますか。

A) 主にごどの系列から科目を選択しようと思っていますか。

- | | | | |
|-----------|------|-------------|-------|
| 1. 人文科学系列 | 15.0 | 5. 自動車工業系列 | 21.2 |
| 2. 自然科学系列 | 8.8 | 6. 流通経済系列 | 33.2 |
| 3. 健康体育系列 | 3.1 | 7. まだ、わからない | 5.7 |
| 4. 社会福祉系列 | 13.0 | | N・A - |

B) その系列の選択科目について、満足していますか。「もっといろいろあってもいい」と思うか、「ちょうどよい」か、それとも「もっと少なくてもいい」と思うかを教えてください。

あなたが選択しようと思っている系列に、選択科目が・・・

- 1. もっといろいろあってもいい 34.2
 - 2. ちょうどよい 56.5
 - 3. もっと少なくてもいい 7.3
 - 4. まだ、系列を決めていない 1.6
- N・A 0.5

Q17. あなたは選択科目を選ぶときに、次のことを、どの程度、重視しますか。それぞれ、どの程度、重視するかを教えてください。

選択科目を決める時 あなたの選択しようとする科目が……	す重 ご視 くす る	ま重 あ視 する	あ重 ま視 りし ない	ま重 っ視 たし くない	N ・ A
1. 興味をもって楽しく勉強できる科目かどうか	51.8	37.8	8.6	1.6	-
2. 自分自身の適性を生かして勉強できる科目かどうか	48.7	38.3	11.4	1.6	-
3. 生活に必要な知識や技術を身につけられる科目かどうか	29.5	53.4	14.5	2.1	0.5
4. 自分の趣味や楽しみに関係する科目かどうか	45.6	38.9	12.4	3.1	-
5. 大学や短大、専門学校の入試に役立つ科目かどうか	27.5	23.8	29.5	18.1	1.0
6. 大学や短大、専門学校で勉強するのに学んでおいた方がよい科目かどうか	21.2	29.0	30.1	18.7	1.0
7. 就職試験（採用試験）に合格するのに必要な科目かどうか	29.0	47.7	18.1	5.2	-
8. 何らかの資格をとるために役立つ科目かどうか	50.8	29.0	16.6	3.6	-
9. 将来、仕事をするのに必要な知識や技術を身につけることができる科目かどうか	48.2	37.3	11.9	1.6	1.0
10. 好きな先生の担当の授業かどうか（にがてな先生の担当の授業でないかどうか）	3.6	26.4	43.0	25.9	1.0
11. それほど勉強しなくても単位がとれそうな科目かどうか	8.3	25.4	49.7	16.6	-
12. 仲のよい友だちといっしょに授業を受けられるかどうか	20.7	36.8	31.6	10.4	0.5

Q18. 選択科目を選ぶことについてのあなたの受け止め方をうかがいます。次のそれぞれのことが、あなたにどの程度、あてはまるかを答えてください。

選択科目を選ぶことについて あなたには、次のことが……	おあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N・A
1. 取りたいと思う科目がたくさんあって、困っている。	10.4	30.6	47.7	11.4	-
2. 時間割をうめるために、いやいや取る科目が多くなりそう。	9.3	33.2	42.0	15.5	-
3. どの科目を取ったらいいのか、わからなくなっている。	8.8	37.3	42.0	11.9	-
4. 科目を選ぶのが、楽しく感じられる。	10.4	26.9	48.2	14.5	-
5. 科目を選ぶのが、めんどうくさい。	8.8	29.0	46.6	15.5	-
6. 担当する先生が誰かが気になる。	18.7	32.1	36.8	12.4	-
7. 科目の選択について、友だちと話をすることがある。	22.3	44.6	24.4	8.8	-
8. 科目選択についてお父さん、お母さんと話をすることがある。	6.7	28.5	40.4	24.4	-
9. 科目の選択について、先生に相談することがある。	3.6	21.2	49.7	25.4	-

Q19. あなたからみて、八千代高校に「もっとこんな系列があったらいいのに」あるいは「もっとこんな科目があったらいいのに」というものがありますか。ありましたら、下の欄に自由に書いてください。

回答あり 18.1

Q20. あなたは、八千代高校を、どのような学校だと思っていますか。次にあげることについて、それぞれ、どの程度「そう思う」かを答えてください。

八千代高校が、次のような学校だと……	とそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない	N・A
1. 自分の学びたいことが学べる学校	22.3	54.4	18.1	5.2	-
2. 自分のペースで勉強のできる学校	11.9	41.5	38.3	8.3	-
3. 進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	20.7	44.6	27.5	7.3	-
4. 就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	28.5	48.7	19.2	3.6	-
5. いろいろな資格をとることができる学校	46.1	38.9	12.4	2.6	-
6. 進学するのに有利な学校	17.6	38.9	31.1	12.4	-

次のページにつづきます。

前のページからの続きです。八千代高校をどのような学校だと思っているかを答えてください。

八千代高校が、次のような学校だと……	とそう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	N・A
7. 就職するのに有利な学校	25.9	51.3	17.6	5.2	-
8. 入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校	13.5	51.8	29.0	5.2	0.5
9. のびのびと開放的な学校	4.1	17.6	39.4	38.9	-
10. 新しいことに挑戦する雰囲気がある学校	9.8	32.1	40.9	17.1	-
11. 伝統が感じられる学校	9.8	29.5	43.5	17.1	-
12. 「いじめ」などの問題がなく、平穏な学校	8.3	34.3	42.0	15.5	-
13. 部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校	15.0	43.5	30.1	11.4	-
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	2.6	11.4	57.0	27.5	1.6

Q21. あなたは、今、八千代高校に入学してよかったと思っていますか。いませんか。

- 1. とてもよかったと思っている。 7.8
- 2. まあ、よかったと思っている。 27.5
- 3. どちらともいえない。 31.6
- 4. あまり、よかったと思っていない。 22.3
- 5. まったくよかったと思っていない。 10.9

* 「よかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 47.7

* 「よくなかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 53.4

Q22. あなたは、学校生活に、あなた自身の生活のどのくらいの割合をかけていますか。

学校生活に、あなた自身の生活の……

- 1. 8割以上をかけている。 3.1
- 2. 6割から8割くらいをかけている。 22.3
- 3. 4割から6割くらいをかけている。 49.7
- 4. 2割から4割くらいをかけている。 16.1
- 5. 2割もかけていない。 8.8

N・A -
もう少し、質問があります。続けて答えてください。

Q23. あなたには、今、取りたいと思っている資格がありますか。ありませんか。

1. ある 79.8 2. ない 19.7 N・A 0.5

「ある」という人だけ教えてください。(N=154) Q24へ

SQ1. それは、どのような資格ですか。取りたいと思っている資格すべてに をつけてください。(いくつでも)

- | | | | |
|------------------|------|---------------|-------|
| 1. 介護福祉士国家試験受験資格 | 14.3 | 10. 漢字検定資格 | 22.1 |
| 2. ホームヘルパー2級 | 14.9 | 11. 英語検定資格 | 26.0 |
| 3. ホームヘルパー3級 | 3.9 | 12. 硬筆検定資格 | 22.7 |
| 4. 3級自動車整備士受験資格 | 18.2 | 13. 毛筆検定資格 | 5.8 |
| 5. 溶接(ガス・アーク) | 5.8 | 14. 数学検定資格 | 11.7 |
| 6. 危険物取扱者 | 7.8 | 15. その他(何ですか) | 4.5 |
| 7. 簿記検定資格 | 22.7 | | |
| 8. 情報処理検定資格 | 34.4 | | |
| 9. ワープロ検定資格 | 33.1 | | N・A - |

SQ2. あなたが、今、資格を取りたいと思っているのはなぜですか。次にあげる理由のうち、あなたにあてはまるものすべてに をつけてください。(いくつでも)

- | | |
|------------------------------------|------|
| 1. 自分のやりたい仕事をするのに必要だから | 55.8 |
| 2. 資格をとって専門家として仕事をしていきたいから | 14.9 |
| 3. 資格をとることで生活に役立つ教養を身につけたいから | 24.7 |
| 4. 資格があれば就職や進学に有利だから | 61.7 |
| 5. 資格をとっておけば、もしかの時に仕事に困らないから | 47.4 |
| 6. 自分の力を試すため | 26.0 |
| 7. 他の人と違うところを示すため | 5.2 |
| 8. 何となく、取れる資格はとっておいた方がよいと思うから | 28.6 |
| 9. 資格をもっていないと能力がないように見なされそうだから | 5.2 |
| 10. 資格を取るという目標があった方が有意義な高校生活が送れるから | 16.9 |
| 11. その他() | 1.3 |

SQ3. 上にあげた理由のうち、もっとも大きな理由は何ですか。その番号を下の欄に書いてください。

資格をとりた最も大きな理由は・・・SQ2の 別表1 番

Q24. あなたは、次にあげる人から、どのくらい強く「資格をとることを勧められていますか。それぞれについて、教えてください。

次の人から、資格をとるよう ・・・	強く勧め られている	多少勧め られている	勧められて いない	N・A
お父さん	16.1	31.6	46.6	5.7
お母さん	23.8	35.2	34.2	6.7
学校の先生	17.1	39.9	37.8	5.2
学校の先輩	3.1	17.1	73.6	6.2
同学年の友だち	8.3	25.9	59.6	6.2
その他の人 { どういった人ですか }	5.7	3.6	6.2	84.5

Q25. あなたは、高校を卒業した後、就職しようと思っていますか。それとも進学しようと思っていますか。進学しようと思っている人は、どういったところに進学したいか、そこでどんなことを勉強したいかも教えてください。

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 就職しようと思っている。 | 40.4 |
| 2. どちらかといえば、就職しようと思っている。 | 11.4 |
| 3. どちらとも言えない、わからない。 | 10.4 |
| 4. どちらかといえば、進学しようと思っている。 | 18.1 |
| 5. 進学しようと思っている。 | 18.7 |
| 「4」「5」に をつけた人だけ、教えてください。(N=71) | |
- Q26へ

SQ1. 希望している進学先は

- | | | | |
|-----------|------|-------------------|-------|
| 1. 4年制の大学 | 15.5 | 4. その他(どういう学校ですか) | - |
| 2. 短期大学 | 8.5 | 5. まだ、はっきりしていない。 | 9.9 |
| 3. 専門学校 | 66.2 | | N・A - |

SQ2. 進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。

- | | | |
|----------------------|---------|-----------------|
| 1. ぜひ勉強してみたいことがある。 | 54.9 | それは、どういったことですか。 |
| 2. できれば勉強してみたいことがある。 | 22.5 | |
| 3. ない | 19.7 | 別表2 |
| | N・A 2.8 | |

全員がお答えください。

Q26. あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。

- | | | |
|----------------|---------|-----------------|
| 1. 具体的に考えている。 | 37.3 | それは、どういった職業ですか。 |
| 2. ぼんやりと考えている。 | 36.8 | |
| 3. 考えていない。 | 24.9 | 別表3 |
| | N・A 1.0 | |

最後に、あなた自身のことをうかがいます。

F1. あなたの性別は

- | | |
|------|-------|
| 1. 男 | 58.0 |
| 2. 女 | 42.0 |
| | N・A - |

F2. あなたは、今、学習塾や予備校(習い事やおけいごとは除く)に通っていますか。

- | | |
|------------|-------|
| 1. 通っている。 | 2.6 |
| 2. 通っていない。 | 97.4 |
| | N・A - |

F3. あなたは、今、アルバイトをしていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. している | 19.7 |
| 2. していない | 79.8 |
| | N・A 0.5 |

F 4 . あなたのお父さんは、会社や役所などにはたらきに行っているのですか。それとも、自分で店や会社、農業などを経営しているのですか。

- 1 . 会社、工場、役所、事務所、商店などにはたらきに行っている。 68.9
 - 2 . 自分で会社、工場、事務所、商店、農業などを経営している。 25.4
 - 3 . おとうさんはいない。 3.6
- N・A 2.1

F 5 . それではおとうさんは、具体的にどんな仕事をしているのですか。

- 1 . 事務をとる仕事 6.2
 - 2 . 管理的な仕事（会社・役所などの課長以上） 4.7
 - 3 . 自動車の運転手・整備士，工員・作業員，郵便配達など，技能・作業的な仕事 48.2
 - 4 . 設計やプログラマー，製品開発など技術を生かした仕事 5.2
 - 5 . 大工や左官，調理師，理容師や美容師など，職人的な技術を生かした仕事 9.8
 - 6 . デパートや商店の店員，セールスマンなど，販売の仕事 3.6
 - 7 . ウエイターやホテルマンなど，人にサービスをする仕事 1.0
 - 8 . 医師や弁護士，会計士や教師のような仕事 -
 - 9 . 農業や漁業に携わっている。 8.3
 - 10 . その他（ ） 6.7
 - 11 . おとうさんはいない。 3.6
- N・A 2.6

長い間，ありがとうございました。

〔別表 1〕

Q23SQ3 上にあげた理由のうち、もっとも大きな理由は何ですか。その番号を下の欄に書いてください。
(N=154)

資格を取りたいと思っている理由	%
1 . 自分のやりたい仕事をするのに必要だから	33.8
2 . 資格をとって専門家として仕事をしていきたいから	6.5
3 . 資格をとることで生活に役立つ教養を身につけたいから	5.2
4 . 資格があれば就職や進学に有利だから	20.8
5 . 資格をとっておけば、もしかの時には仕事に困らないから	14.3
6 . 自分の力を試すため	5.2
7 . 他の人と違うところを示すため	-
8 . 何となく、取れる資格はとっておいた方がよいと思うから	5.2
9 . 資格をもっていないと能力がないように見なされそうだから	1.3
10 . 資格を取るという目標があった方が有意義な高校生活が送れるから	1.3
11 . その他	0.6
無回答	5.8

〔別表 2〕

Q25SQ2 進学先で勉強したいと思っいることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。
(N= 55)

進学先で勉強したいこと	%
1 . 福祉	5.5
2 . 医療関連	14.5
3 . コンピュータ・情報処理・数学	10.9
4 . 土木・建築	3.6
5 . デザイン	12.7
6 . 工業技術	7.3
7 . 芸能・音楽	3.6
8 . 理容・美容	16.4
9 . 栄養 / 調理	7.3
10 . 人文科学	12.7
11 . 社会科学	1.8
12 . その他	1.8
無回答	1.8

〔別表3〕

Q26 あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。(N=143)

将来の職業	%
1. 医療関連	4.2
2. 福祉・教育関連	14.0
3. コンピュータ関連	7.7
4. デザイン関連	1.4
5. ゲームクリエイター	4.2
6. 理容・美容	5.6
7. 調理・料理	3.5
8. 自動車整備	9.8
9. 建築(大工)	2.8
10. 芸能・スポーツ	8.4
11. 運送業	2.1
12. 営業・販売職・サービス業	4.9
13. 製造業・事務職	9.1
14. 公務員	4.2
15. その他	10.5
無回答	7.7

数値は, %
「N = 」は回答者数

総合学科生徒の学校に対する意識についての調査

< お 願 い >

新しい年を迎え, 順調に高校生活を送っていらっしゃると思います。

さて, このたび, 私たち筑波大学教育社会学研究室では, 八千代高校の生徒の皆さんに対して「総合学科生徒の学校に対する意識についての調査」をお願いすることになりました。

この調査は, 八千代高校総合学科の生徒の皆さんが, どのような経緯でこの学校に入学するようになったかということや, どういった意識で学校生活を送っているかを調べて, 総合学科の今後のあり方を検討する資料を得ようというものです。たいせつな時間を使わせてしまって申し訳ありませんが, どうぞ, 調査にご協力ください。

なお, 回答はすべて数字になおして, コンピュータで処理しますので, だれがどのように答えたかはまったくわからないようになっていきます。また, 調査の結果を研究以外の目的に使うことは行ってありません。テストのようなものではありませんので, 安心して, 事実や思っていること, 考えていることをありのままに答えてください。

高校を受験した時のことなど, 少し前のことを聞く質問もあつたりして答えにくいかもしれませんが, その点, 許していただき, どうぞよろしくご協力ください。お願いします。

2000年冬

筑波大学教育学系教育社会学研究室

担当: 助教授 飯田 浩之

連絡先: 〒305-8572
つくば市天王台1丁目1-1
TEL/FAX 0298-53-4599

まず, あなたの中学時代のことについてうかがいます。

- Q1. あなたの出身中学の所在地はどこですか。あてはまるところの番号に をつけてください。
1. 八千代町 43.8
 2. 八千代町のまわりの市町村(猿島, 石下, 千代川, 下妻, 閑城, 結城, 三和) 52.8
 3. 上の1と2を除く, 第5学区の市町村 1.1
〔岩瀬, 大和, 真壁, 協和, 明野, 下館, つくば, 荳崎, 伊奈, 谷和原, 守谷, 〕
〔水海道, 岩井, 境, 五霞, 古河, 総和〕
 4. 第5学区以外の市町村 1.1
- N・A 1.1
- Q2. 中学時代のあなたは, どのような生徒でしたか。次にあげることがらが, 中学時代のあなたに, どの程度, あてはまるかを答えてください。

	す あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り は ま ら な い	あ ま り は ま ら な い	N ・ A
* 中学時代, あなたは……					
1. 日頃の授業に熱心に取り組んだ。	10.8	47.2	35.2	6.8	-
2. 受験勉強をがんばった。	13.6	37.5	31.3	17.6	-
3. 選択教科の授業が好きだった。	48.9	30.1	17.6	3.4	-
4. 教科によって勉強の好き嫌いが大きかった。	51.5	33.0	14.2	1.1	0.6
5. 教科によって勉強の出来, 不出来が大きかった。	40.9	44.9	12.5	1.7	-
6. 運動関係の部(クラブ)活動をがんばった。	44.3	26.1	9.7	17.0	2.8
7. 文化関係の部(クラブ)活動をがんばった。	9.7	11.4	14.8	39.8	24.4
8. クラス対抗の大会や文化祭など, クラスの活動や生徒会活動に熱心だった。	25.6	40.3	23.9	10.2	-
9. 校外のコンクールや大会などで賞をとった。	22.7	21.0	25.0	31.3	-
10. 英語検定や珠算の検定など, 技能検定で級や段をとった。	31.8	18.2	13.1	36.9	-
11. ボランティアなど社会のために活動した。	10.2	22.2	42.6	22.7	2.3
12. イラストやマンガ, アニメ, ロック, ゲーム, 釣りなど, 趣味に夢中になった。	50.0	23.9	16.5	9.7	-
13. ゲームセンターなど校外の遊び場でよく遊んだ。	19.3	32.4	34.7	13.1	0.6
14. 先生たちのウケがよかった。	8.5	39.8	38.1	13.6	-

- Q3. あなたは, 中学時代, クラスや生徒会, 部の役員をしたことがありますか。それぞれについて答えてください。

中学時代, 次の役員をしたことが……

- A. 生徒会執行部の役員や委員会の委員長, 副委員長・・・ (1. ある 25.0 2. ない 75.0)
〔会長, 副会長, 書記, 保健委員長, 〕
〔文化祭実行委員会副委員長など〕
N・A -
- B. クラスの役員(代表)・・・・・ (1. ある 19.9 2. ない 79.5)
〔学級委員, 評議員, クラス代表など〕
N・A 0.6
- C. 部の役員・・・・・ (1. ある 22.7 2. ない 76.7)
〔部長, 副部長, 主将など〕
N・A 0.6

- Q 4 . 中学校 3 年生のころのあなたの成績は、学年で、どのくらいでしたか。
- 学年で・ 1 . かなり上の方だった。 0.6 4 . 少し、下の方だった。 31.3
 2 . 少し、上の方だった。18.8 5 . かなり下の方だった。 6.8
 3 . まん中くらいだった。42.6 N・A -

次に、高校受験のことについてうかがいます。

- Q 5 . あなたは、志望校を決めるにあたって八千代高校に見学に来ましたか。八千代高校が開いた「オープン・スクール(学校説明会)」に参加したかどうかも含めて、教えてください。
- 1 . 八千代高校が開いた「オープン・スクール」に参加した。 34.7
 2 . 「オープン・スクール」とは別に、学校に見学に来た。 15.9
 3 . 「オープン・スクール」にも参加したし、それ以外にも学校に見学に来た。 5.1
 4 . 「オープン・スクール」にも参加しなかったし、見学にも来なかった。 44.3
 N・A -

- Q 6 . あなた自身、八千代高校へ受験しようとして心に決めたのは、いつ頃でしたか。
- 1 . 中学 3 年生の夏休みの終わり頃まで 25.6
 2 . 中学 3 年生の 2 学期以降、志望校決定のための二者面談や三者面談の前まで 28.4
 3 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が開かれた頃 28.4
 4 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が終わってから 17.0
 N・A 0.6

- Q 7 . あなたが八千代高校への受験を決めたのは、この学校のどこにひかれてですか。次にあげるそれぞれについて、どの程度、ひかれたかを教えてください。

* 八千代高校へ受験を決めた時、次のことに・・	とても ひかれた	ま あ ひ か れ た	あ ま り ひ か れ な か つ た	ま つ た く ひ か れ な か つ た	N ・ A
1 . 選択科目の数の多さ	26.7	41.5	19.3	12.5	-
2 . 選択科目の内容	18.2	47.7	22.7	11.4	-
3 . 自分自身でつくる自分の時間割	54.5	30.1	7.4	8.0	-
4 . 6 つの系列から選べること	33.0	36.4	18.8	11.9	-
5 . 「産業社会と人間」など、総合学科独自の科目	3.4	15.3	46.6	34.7	-
6 . 体験的な学習を取り入れた授業	14.2	34.1	32.4	18.8	0.6
7 . 部活動の実績	3.4	9.1	39.2	47.7	0.6
8 . 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	15.9	29.0	32.4	22.2	0.6
9 . 就職における有利さ	31.3	36.9	17.6	14.2	-
10 . 大学進学における有利さ	8.5	21.0	31.8	36.4	2.3
11 . とれそな資格	50.0	29.5	12.5	8.0	-
12 . 施設や設備の充実度	26.1	33.5	25.6	14.8	-
13 . 推薦入試による生徒の募集	15.3	21.6	24.4	36.9	1.7
14 . 通学の便利さ	30.7	23.9	21.0	23.9	0.6
15 . 「地元の学校」としての身近さ	23.3	20.5	28.4	27.3	0.6

- Q 8 . 八千代高校への受験は、あなた自身の判断で決めましたか。それとも、他の人の意見で決めましたか。

- 1 . 自分の判断で決めた。 46.0
 2 . どちらかと言えば、自分の判断で決めた。 22.7
 3 . 自分の判断と他の人の意見と、両方を同じくらいに重視して決めた。 21.0 Q 9 へ
 4 . どちらかと言えば、他の人の意見で決めた。 3.4
 5 . 他の人の意見で決めた。 2.3
 N・A 4.5

前の質問(Q 8)で「3」「4」「5」のどれかに答えた人(他の人の意見を考えに入れて決めた人)にうかがいます。

- S Q 1 . もっとも重視したのは誰の意見ですか。次のなかから、ひとつだけ選んで、その番号にをつけてください。(N= 47)
- 1 . お父さん 12.8 6 . 先輩 -
 2 . お母さん 25.5 7 . 塾や家庭教師の先生 -
 3 . きょうだい(兄弟姉妹) 4.3 8 . その他の人 2.1
 4 . 中学の先生 42.6 どういうひとですか()
 5 . 友だち 10.6 N・A 2.1

- Q 9 . あなたが八千代高校を受験することに、お父さんとお母さんは賛成でしたか。それとも反対でしたか。また、どのような点で「賛成」あるいは「反対」だったのですか。お父さんとお母さんのそれぞれについて、もっともあてはまるものをひとつだけ選んで、その番号にをつけてください。(ひとつだけ)

- A) お父さんは・・・・・ B) お母さんは・・・・・
- 1 . 賛成だった。 54.5 1 . 賛成だった。 55.1
 2 . どちらかと言えば、賛成だった。 15.3 2 . どちらかと言えば、賛成だった。 19.9
 3 . どちらでもなかった。 15.9 → Q10 へ 3 . どちらでもなかった。 6.3 → Q10 へ
 4 . どちらかと言えば、反対だった。 7.4 4 . どちらかと言えば、反対だった。 9.7
 5 . 反対だった。 - 5 . 反対だった。 1.7
 6 . お父さんはいない 3.4 → Q10 へ 6 . お母さんはいない。 3.4 → Q10 へ
 N・A 3.4 N・A 4.0

- 「1」「2」「4」「5」にをつけた人にうかがいます。
- S Q { }
 (N=136) { }
 「どのようなか点で「賛成」あるいは「反対」
 だったのですか。次のなかから、もっとも
 大きな理由をひとつだけ選んでください。」 (N=152)
- 1 . 系列や科目など、勉強内容の点で 2.9 1 . 系列や科目など、勉強内容の点で 8.6
 2 . 生徒が自分の時間割を決める点で 2.2 2 . 生徒が自分の時間割を決める点で 7.9
 3 . 選択科目が多い点で 2.2 3 . 選択科目が多い点で 2.0
 4 . 入学後に卒業後の進路を決めてよい点で 3.7 4 . 入学後に卒業後の進路を決めてよい点で 3.3
 5 . 資格の取得につながる点で 14.0 5 . 資格の取得につながる点で 10.5
 6 . 卒業生の就職・進学実績の点で 5.9 6 . 卒業生の就職・進学実績の点で 7.9
 7 . 新しくスタートした点で 5.1 7 . 新しくスタートした点で 2.6
 8 . 生徒の学力水準の点で 7.4 8 . 生徒の学力水準の点で 9.2
 9 . 校内の雰囲気、という点で 0.7 9 . 校内の雰囲気、という点で 0.7
 10 . 世間の評判、という点で 2.9 10 . 世間の評判、という点で 4.6
 11 . 通学の便、という点で 29.4 11 . 通学の便、という点で 25.7
 12 . その他() 16.9 N・A 6.6 12 . その他() 8.6 N・A 8.6

Q10. 八代高校は、あなたにとって、一番、入りたい学校でしたか。それとも別に、入りたい学校がありましたか。

- 1. 一番、入りたい学校だった。 25.0
 - 2. ほかに、入りたい学校があった。 55.1
 - 3. 高校ならばどこでもよかった。 15.3
 - 4. 高校には、行きたくなかった。 2.8
- N・A 1.7

Q11. 八千代高校が「総合学科」であることは、あなたがこの学校を受験するきっかけになりましたか。なりませんでしたが。

- 1. 大きなきっかけとなった。 24.4
 - 2. まあ、きっかけとなった。 46.0
 - 3. あまり、きっかけにならなかった。 15.3
 - 4. まったく、きっかけにならなかった。 14.2
- N・A -

Q12. 八千代高校を受験した時、この高校が「総合学科」であることに、あなたはどの程度、魅力（みりょく）を感じていましたか。

- 1. たいへん、魅力を感じていた。 19.9
 - 2. まあ、魅力を感じていた。 49.4
 - 3. あまり、魅力を感じていなかった。 19.9
 - 4. まったく、魅力を感じていなかった。 10.8
- N・A -

Q13. あなたが八千代高校に入学したのは、推薦入試によってですか。それとも一般入試によってですか。

- 1. 推薦入試によって入学した。 43.2
 - 2. 一般入試によって入学した。 56.8
- N・A -

次に、あなたの今の学校生活についてうかがいます。

Q14. あなたは、日頃、どのように過ごしていますか。あなたの過ごし方にもっとも近いものをひとつ選び、その番号に をつけてください。（ひとつだけ）

- 1. 学校で、より広く、より高度な知識や技術を身につけようとしている。 4.5
 - 2. 学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている。 9.1
 - 3. よい会社に就職したり、よい大学に進学しようとしている。 6.3
 - 4. 何はともあれ、今よりも成績を上げようとしている。 14.2
 - 5. 何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている。 17.0
 - 6. クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しくしている。 36.9
 - 7. 校外でボランティアをしたり、地域活動をしたり、幅広い経験をしようとしている。 0.6
 - 8. カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しくしている。 9.1
 - 9. その他（どのような過ごし方ですか？） 2.3
- N・A -

Q15. あなたは、日頃、新しい学科である「総合学科」で勉強しているということを、どの程度、意識していますか。

- 1. かなり意識している。 3.4
 - 2. ある程度、意識している。 31.8
 - 3. あまり、意識していない。 41.5
 - 4. まったく意識していない。 23.3
- N・A -

Q16. 2年生になると「選択科目」が多くなりますが、選択科目を選んだ時、あなたは主にどの系から科目を選択しましたか。また、その系列の選択科目にあなたは満足していますか。

A) 主にどの系列から科目を選択しましたか。

- 1. 人文科学系列 21.6
 - 2. 自然科学系列 8.5
 - 3. 健康体育系列 1.7
 - 4. 社会福祉系列 12.5
 - 5. 自動車工業系列 16.5
 - 6. 流通経済系列 36.4
 - 7. 系列を考えて選択していない 2.8
- N・A -

B) その系列の選択科目について、満足していますか。「もっといろいろあってもいい」と思うか、「ちょうどよい」か、それとも「もっと少なくてもいい」と思うかを答えてください。

あなたが選択しようと思っている系列に、選択科目が・・・

- 1. もっといろいろあってもいい 46.6
 - 2. ちょうどよい 44.3
 - 3. もっと少なくてもいい 9.1
 - 4. まだ、系列を決めていない -
- N・A -

Q17. あなたは選択科目を選ぶときに、次のことを、どの程度、重視しましたか。それぞれ、どの程度、重視したかを答えてください。

* 選択科目を決める時 あなたの選択した科目が……	す 重 視 し た	ま あ 重 視 し た	あ ま 重 視 し な か つ た	ま つ た く な か つ た	N ・ A
1. 興味をもって楽しく勉強できる科目かどうか	46.0	42.6	6.8	4.5	-
2. 自分自身の適性を生かして勉強できる科目かどうか	36.9	45.5	14.2	3.4	-
3. 専門的なことが勉強できる科目かどうか	34.1	46.6	14.2	4.0	1.1
4. 生活に必要な知識や技術を身につけられる科目かどうか	30.1	41.5	21.6	6.3	0.6
5. 自分の趣味や楽しみに関係する科目かどうか	36.9	38.6	19.3	5.1	-
6. 大学や短大、専門学校の入試に役立つ科目かどうか	26.7	24.4	21.6	25.6	1.7
7. 大学や短大、専門学校で勉強するのに学んでおいた方がよい科目かどうか	26.1	23.3	22.7	26.7	1.1
8. 就職試験（採用試験）に合格するのに必要な科目かどうか	25.6	32.4	22.7	17.6	1.7
9. 何らかの資格をとるために役立つ科目かどうか	52.3	25.0	17.0	5.7	-
10. 将来、仕事をするのに必要な知識や技術を身につけることができる科目かどうか	48.3	36.4	9.7	5.1	0.6
11. 実習や実験など、様々な体験ができる授業であるかどうか	17.6	33.5	34.1	14.2	0.6
12. 好きな先生の担当の授業かどうか（にがてな先生の担当の授業でないかどうか）	4.5	10.2	38.6	46.6	-
13. それほど勉強しなくても単位がとれそうな科目かどうか	5.7	15.3	46.0	33.0	-
14. 仲のよい友だちといっしょに授業を受けられるかどうか	10.8	26.1	36.4	26.1	0.6
15. 先輩たちの評判がよいかどうか。	2.3	8.5	39.2	50.0	-

Q18. 選択科目を選んだ時のことについてのあなたの受け止め方をうかがいます。次のそれぞれのことがあなたにどの程度、あてはまるかを答えてください。

	おあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N・A
* 選択科目を選んだ時 あなたには、次のことが……					
1. 取りたいと思う科目がたくさんあって、困った。	13.6	29.5	40.3	16.5	-
2. 時間割をうめるために、いやいや取る科目が多かった。	19.3	25.6	38.6	16.5	-
3. どの科目を取ったらいいのか、わからなかった。	19.9	38.1	29.0	12.5	0.6
4. 科目を選ぶのが、楽しく感じられた。	12.5	25.0	40.9	21.6	-
5. 科目を選ぶのが、めんどうくさかった。	21.0	26.1	37.5	15.3	-
6. 担当する先生が誰かが気になった。	11.9	22.2	32.4	33.5	-
7. 科目の選択について、友だちと話をした。	42.0	36.4	13.6	8.0	-
8. 選択科目について、先輩から話を聞いた。	8.0	13.6	25.0	53.4	-
9. 科目選択についてお父さん、お母さんと話をした。	10.8	23.3	23.9	42.0	-
10. 科目の選択について、先生に相談した。	12.5	29.0	34.1	24.4	-
11. 満足のいく科目選択ができた。	15.9	43.8	32.4	8.0	-

Q19. あなたからみて、八千代高校に「もっとこんな系列があったらいいのに」あるいは「もっとこんな科目があったらいいのに」というものがありますか。ありましたら、下の欄に自由に書いてください。

回答あり 17.6

Q20. これまでに受けた「産業社会と人間」の授業についてうかがいます。この授業を通じて、あなたが学んだり考えたりしたことは何ですか。次のことがあなたに、どの程度、あてはまるかで答えてください。

	おあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N・A
* 「産業社会と人間」の授業を通じて……					
1. 自分の興味・関心や性格がわかった。	6.3	26.1	43.2	24.4	-
2. 自分がどのような職業に向いているかがわかった。	6.3	33.0	42.6	17.6	0.6
3. 働くことの意味や大切さがわかった。	18.8	42.6	28.4	10.2	-
4. 自分も社会に出て働いてみたくなった。	14.2	33.0	35.2	17.6	-

次のページにつづきます。

前のページからの続きです。「産業社会と人間」の授業について答えてください。

	おあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N・A
* 「産業社会と人間」の授業を通じて……					
5. 産業や職業のことについてくわしくなった。	5.1	36.9	44.9	13.1	-
6. 職業を選ぶ時に、何が大切かがわかった。	12.5	43.2	35.2	9.1	-
7. 自分が将来、どういった職業につきたいかがはっきりした。	21.6	31.8	32.4	14.2	-
8. 希望する職業につくために、今すべきことがわかった。	17.0	32.4	38.6	11.4	0.6
9. 大学や短大、専門学校がどのようなところかわかった。	10.8	38.6	29.5	19.9	1.1
10. 今勉強していることの意味や大切さがわかった。	7.4	27.3	44.3	19.3	1.7
11. 系列や開設科目の内容がわかった。	15.9	36.9	37.5	9.1	0.6
12. 2年生になってから学ぶことに興味や関心がもてた。	11.4	39.2	36.9	11.9	0.6
13. 2年生以降の学習計画がきちんと作成できた。	19.3	31.3	33.5	15.3	0.6

Q21. あなたは、八千代高校を、どのような学校だと思っていますか。次にあげることについて、それぞれ、どの程度「そう思う」かを答えてください。

	とそうも思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	N・A
* 八千代高校が、次のような学校だと……					
1. 自分の学びたいことが学べる学校	22.7	41.5	24.4	11.4	-
2. 自分のペースで勉強のできる学校	8.0	27.8	39.2	25.0	-
3. 進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	23.9	40.9	26.1	8.5	0.6
4. 就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	29.5	45.5	17.6	7.4	-
5. いろいろな資格をとることができる学校	52.3	38.6	5.7	3.4	-
6. 進学するのに有利な学校	12.5	31.8	38.1	16.5	1.1
7. 就職するのに有利な学校	29.0	46.6	14.8	9.1	0.6
8. 入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校	15.9	40.9	30.1	13.1	-
9. のびのびと開放的な学校	3.4	13.1	33.5	50.0	-
10. 新しいことに挑戦する雰囲気がある学校	6.8	26.1	33.0	34.1	-
11. 伝統が感じられる学校	10.8	18.2	35.8	34.7	0.6
12. 「いじめ」などの問題がなく、平穏な学校	6.8	26.1	38.6	28.4	-
13. 部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校	12.5	36.9	29.5	21.0	-
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	1.7	8.5	46.6	43.2	-

Q22. 学校の授業について、あなたがどのように見ているかをお聞きます。次のそれぞれについて、どの程度、そう思うかを答えてください。

	とても思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	まったく思わない	N・A
* 八千代高校では……*						
1. むずかしい授業が多い。	11.4	16.5	48.3	14.2	9.7	-
2. やさしい授業が多い。	8.5	14.8	51.1	12.5	13.1	-
3. 興味・関心がもてる授業が多い。	4.0	13.6	40.3	25.6	16.5	-
4. 身近な内容の授業が多い。	3.4	13.1	48.3	22.2	12.5	0.6
5. 専門的な内容の授業が多い。	13.1	22.7	38.1	14.2	11.9	-
6. 将来、役立ちそうな内容の授業が多い。	11.9	24.4	31.8	14.8	16.5	0.6
7. 他の学校にはない特色のある内容の授業が多い。	18.2	33.0	22.2	14.8	11.9	-
8. 就職者向けの授業が多い。	11.4	20.5	38.1	14.8	14.8	0.6
9. 大学・専門学校への進学者向けの授業が多い。	4.5	17.6	49.4	15.9	11.9	0.6
10. 実習や実験、研修、見学など体験的な授業が多い。	10.2	24.4	42.0	11.9	11.4	-

Q23. あなたは、今、八千代高校に入学してよかったと思っていますか。いませんか。

- 1. とてもよかったと思っている。 5.7
 - 2. まあ、よかったと思っている。 21.0
 - 3. どちらともいえない。 34.1
 - 4. あまり、よかったと思っていない。 19.9
 - 5. まったくよかったと思っていない。 18.2
- N・A 1.1

*「よかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 39.2

*「よくなかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 55.7

Q24. あなたは、学校生活に、あなた自身の生活のどのくらいの割合をかけていますか。

学校生活に、あなた自身の生活の……

- 1. 8割以上をかけている。 5.1
 - 2. 6割から8割くらいをかけている。 23.3
 - 3. 4割から6割くらいをかけている。 45.5
 - 4. 2割から4割くらいをかけている。 16.5
 - 5. 2割もかけていない。 9.1
- N・A 0.6

Q25. あなたには、高校生活を通じて取りたいと思っている資格や検定がありますか。既に、高校入学後に取得した資格・検定も含めて、答えてください。

- 1. ある(既にある) 83.0
- 2. ない 15.3
- N・A 1.7 —

「ある(既にある)」という人だけ答えてください。 Q26へ

S Q 1. それは、どのような資格や検定ですか。取りたいと思っている資格や検定(既に取得している資格や検定)すべてに をつけてください。(いくつでも)

- 1. 介護福祉士国家試験受験資格 58.9
- 2. ホームヘルパー2級 48.6
- 3. ホームヘルパー3級 30.8
- 4. 3級自動車整備士受験資格 14.4
- 5. 溶接(ガス・アーク) 6.2
- 6. 危険物取扱者 7.5
- 7. 簿記検定資格 11.6
- 8. 情報処理検定資格 13.7
- 9. ワープロ検定資格 30.1
- 10. 漢字検定資格 32.2 (N=146)
- 11. 英語検定資格 20.5
- 12. 硬筆検定資格 17.8
- 13. 毛筆検定資格 5.5
- 14. 数学検定資格 11.6
- 15. その他 何ですか: 3.4

N・A 0.7

Q26. あなたは、高校を卒業した後、就職しようと思っていますか。それとも進学しようと思っていますか。進学しようと思っている人は、どういったところに進学したいか、そこでどんなことを勉強したいかも答えてください。

- 1. 就職しようと思っている。 32.4
 - 2. どちらかといえば、就職しようと思っている。 5.7
 - 3. どちらとも言えない、わからない。 9.7
 - 4. どちらかといえば、進学しようと思っている。 22.2
 - 5. 進学しようと思っている。 27.8
- N・A 2.3
- 「4」「5」に をつけた人だけ、答えてください。(N= 88)

S Q 1. 希望している進学先は

- 1. 4年制の大学 20.5
 - 2. 短期大学 8.0
 - 3. 専門学校 61.4
 - 4. その他(どのような学校ですか: 1.1)
 - 5. まだ、はっきりしていない。 9.1
- N・A -

S Q 2. 進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。

- 1. ぜひ勉強してみたいことがある。 43.2
 - 2. できれば勉強してみたいことがある。 29.5
 - 3. ない 25.0
- N・A 2.3
- それは、どういったことですか。
- 別表 1

全員がお答えください。

Q27. あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。

- 1. 具体的に考えている。 34.1
 - 2. ぼんやりと考えている。 48.3
 - 3. 考えていない。 17.0
- N・A 0.6
- それは、どういった職業ですか。
- 別表 2

次のページ(裏表紙)にも質問があります。続けて答えてください。

最後に、あなた自身のことをうかがいます。

F 1 . あなたの性別は

- 1 . 男 55.7
- 2 . 女 43.8
- N・A 0.6

F 2 . あなたは、現在、何かの部に所属していますか。

- 1 . 運動部に所属している。 36.9
- 2 . 文化部に所属している。 19.3
- 3 . 所属していない。 43.2
- N・A 0.6

F 3 . あなたは、今、学習塾や予備校（習い事やおけいごことは除く）に通っていますか。

- 1 . 通っている。 0.6
- 2 . 通っていない。 98.3
- N・A 1.1

F 4 . あなたは、今、アルバイトをしていますか。

- 1 . している 37.5
- 2 . していない 61.9
- N・A 0.6

F 5 . あなたの保護者の方は、会社や役所などにはたらきに行っているのですか。それとも、自分で店や会社、農業などを経営しているのですか。

- 1 . 会社、工場、役所、事務所、商店などにはたらきに行っている。 71.6
- 2 . 自分で会社、工場、事務所、商店、農業などを経営している。 26.7
- N・A 1.7

F 6 . それでは、保護者の方は具体的にどんな仕事をしているのですか。

- 1 . 事務をとる仕事 10.2
- 2 . 管理的な仕事（会社・役所などの課長以上） 2.3
- 3 . 自動車の運転手・整備士、工員・作業員、郵便配達など、技能・作業的な仕事 39.8
- 4 . 設計やプログラマー、製品開発など技術を生かした仕事 5.7
- 5 . 大工や左官、調理師、理容師や美容師など、職人的な技術を生かした仕事 10.2
- 6 . デパートや商店の店員、セールスマンなど、販売の仕事 5.7
- 7 . ウエーターやホテルマンなど、人にサービスをする仕事 3.4
- 8 . 医師や弁護士、会計士や教師のような仕事 1.1
- 9 . 農業や漁業に携わっている。 8.5
- 10 . その他（ ） 1.7
- N・A 11.4

長い間、ありがとうございました。

〔別表 1〕

Q26SQ2 進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。（N= 65）

コード	進学先	分野	例	%
0 1	大 学	文学関連	文学、歴史・哲学・倫理学など	-
0 2	"	語学関連	英語、フランス語、ドイツ語、中国語など	4.6
0 3	"	社会関連	法律・経済・経営・商学・社会学・国際など	4.6
0 4	"	教育・心理関連	教育学、心理学、幼児教育、教員養成など	6.2
0 5	"	福祉関連	社会福祉、保育養成（保育）など	4.6
0 6	"	医療関連	医歯薬学、看護など	4.6
0 7	"	家政関連	被服、食物、生活科学など	-
0 8	"	自然科学関連	数学、物理学、化学、地学、生物学など	4.6
0 9	"	工学関連	機械、建築、土木、電気、電子、化学工学など	1.5
1 0	"	農学関連	農業、水産、園芸、獣医学など	-
1 1	"	文科系複合領域	人間科学、国際など	-
1 2	"	理科系複合領域	情報、バイオ、環境科学など	-
1 3	"	音楽演劇関連	音楽、映画、演劇など	-
1 4	"	美術関連	美術、デザインなど	-
1 5	"	体育関連	体育、スポーツなど	1.5
1 6	"	その他		-
2 1	専門学校	商業実務関連	簿記、経理、ビジネス、秘書など	3.1
2 2	"	情報関連分野	プログラミング、ワープロ、情報処理など	7.7
2 3	"	語学関連分野	英会話／外国語など	-
2 4	"	サービス関連分	調理、理美容、トリマー、観光関連など	15.4
2 5	"	教育福祉関連分	保育、社会福祉など	10.8
2 6	"	医療関連分野	看護、臨床検査技師、歯科技工士、医療事務など	3.1
2 7	"	工業関連	建築、設計、自動車整備、航空、電子、テレビ技術、コンピュータ〔ハード〕など	6.2
2 8	"	音楽演劇関連	演劇、音楽、声優、映画制作など	1.5
2 9	"	美術デザイン関連	美術、写真、CG、服飾デザイン、アニメなど	12.3
3 0	"	家政関連	洋裁、編物など	-
3 1	"	スポーツ関連	体育、スポーツなど	-
3 2	"	その他		-
999	"	無回答		7.7

〔別表2〕

Q27 あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。(N=145)

コード	分類	例	%
0 1	会社事務職	事務員, オペレーターなど.....「会社員」「サラリーマン」のみの記載を含む	6.2
0 2	公務事務職	事務など.....「公務員」のみの記載を含む/「事務」とのみ記載の場合には, 「1」にコーディング	3.4
0 3	販売営業職	デパート・スーパー・小売店・卸売店の店員, セールスマン, 保険外交員, 新聞配達員, タレントのマネージャーなど	2.1
0 4	サービス職	旅行添乗員, 喫茶店の店員やレストランのウエイター, ホテルフロント, ソムリエ, トリマー, 遊園地グラウンドホステスなど	0.7
0 5	技能職	自動車整備士, 大工, 理美容師, 調理師, 菓子職人, 植木職人など	20.7
0 6	労務職	工員, 作業員など	1.4
0 7	専門技術職	一般技術者, プログラマー, システムエンジニア, システムアドミニストレーター, テレビ局カメラマン, 裁判官, 弁護士, 会計士, アナウンサー, 栄養士, 建築士, 図書館司書など	10.3
0 8	福祉職	介護福祉士, 手話通訳, ホームヘルパー, ケースワーカー, カウンセラー, 保母(保育士)など	15.2
0 9	医療職	医師 看護婦, 薬剤師, 臨床検査技師, 理学療法士など	4.8
1 0	教育職	教員(幼稚園教諭を含む)	0.7
1 1	スポーツ関連	プロスポーツ選手, スポーツ・インストラクター, コーチ, 指導員など	2.1
1 2	運輸・通信職	運転手, 運転士, 車掌, 駅員, 郵便局員, パイロット, スチュワーデスなど	-
1 3	保安職	警察官, 消防署員, 自衛官, 海上保安官, ガードマンなど	2.8
1 4	農林漁業関連	農業, 漁業, 林業など	-
1 5	音楽芸能関連	俳優, 声優, タレント, 歌手, 女優, レポーターなど	2.8
1 6	芸術関連	画家, イラストレーター, マンガ家, デザイナー, カメラマン, ファッション・アドバイザー, インテリア・コーディネーターなど	7.6
1 7	その他	自営, 作家, ~ ~関係と記載の回答など	0.7
999	無回答		18.6

総合学科生徒の学校に対する意識についての調査

< お 願 い >

新年を迎え、新たな気持ちで高校生活を送っていらっしゃると思います。

さて、一昨年の秋、皆さんが1年生だった時に引き続き、私たち筑波大学教育社会学研究室では、八千代高校総合学科の生徒の皆さんに対して「総合学科生徒の学校に対する意識についての調査」をお願いすることになりました。

この調査は、八千代高校総合学科に入学した生徒の皆さんが、どのような経緯でこの学校に入学し、その後、どのような意識で学校生活を続けているかを調べて、総合学科の今後のあり方を検討する資料を得ようというものです。たいせつな時間を使わせてしまって申し訳ありませんが、どうぞ、調査にご協力ください。

なお、回答はすべて数字になおして、コンピュータで処理しますので、だれがどのように答えたかはまったくわからないようになっていきます。また、調査の結果を研究以外の目的に使うことは許してありません。テストのようなものではありませんので、安心して、事実や思っていること、考えていることをありのままに教えてください。

2回目の調査でやっかいに思われるかもしれませんが、どうぞよろしくご協力ください。お願いします。

2000年冬

筑波大学教育学系教育社会学研究室

担当：助教授 飯田 浩之

連絡先：〒305-8572

つくば市天王台1丁目1-1

TEL/FAX 0298-53-4599

まず、あなたの今の学校生活についてうかがいます。

Q1. 次にあげることは、あなたに当てはまりますか。当てはまりませんか。それぞれについて、どの程度、当てはまるかを答えてください。

	よ く あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り よ ま ら な い	あ ま り た く ま ら な い	N ・ A
* 八千代高校総合学科で、あなたは……					
1. 楽しく授業を受けている。	8.0	41.5	38.6	11.9	-
2. まじめに授業を受けている。	9.1	50.6	30.7	8.5	1.1
3. 授業についていけている。	6.8	51.7	32.4	8.0	1.1
4. 予習・復習をしたり、わからないところを自分で調べたり、積極的に勉強している。	2.3	8.0	42.6	46.6	0.6
5. 系列に関係する雑誌を読んだり、テレビ番組を見たりしている。	7.4	22.7	31.3	38.1	0.6
6. 資格を取ったり、検定を受けたりしている。	28.4	35.2	13.6	22.2	0.6
7. 学校の規則を守っている。	17.0	49.4	23.3	9.1	1.1
8. 先生から信頼される行動をとっている。	9.1	44.3	34.7	11.9	-
9. 部活動や学校行事に積極的に参加している。	24.4	26.7	34.1	14.2	0.6
10. 地域の行事やボランティアに参加している。	5.7	11.4	27.8	55.1	-
11. 将来の進路を決めるために、いろいろな情報を集めている。	16.5	23.3	34.1	23.9	2.3
12. 問題なく卒業できそうである。	24.4	43.8	20.5	11.4	-
13. 卒業後の進路に見通しがついている。	10.8	39.2	34.1	15.9	-
14. 他の学校では学べないことを学んでいる。	29.5	43.2	15.3	11.9	-
15. 系列に関係することを趣味にしている。	16.5	20.5	39.8	23.3	-
16. 自分らしい高校生活を送っている。	24.4	44.3	21.0	9.7	0.6
17. 八千代高校総合学科に愛着を感じている。	8.5	28.4	39.2	23.9	-

Q2. あなたは、日頃、どのように過ごしていますか。あなたの過ごし方にもっとも近いものをひとつ選び、その番号に をつけてください。(ひとつだけ)

1. 学校で、より広く、より高度な知識や技術を身につけようとしている。 5.1
2. 学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている。 6.3
3. よい会社に就職したり、よい大学に進学しようとしている。 5.1
4. 何はともあれ、今よりも成績を上げようとしている。 5.7
5. 何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている。 25.0
6. クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている。 27.3
7. 校外でボランティアをしたり、地域活動をしたり、幅広い経験を得ようとしている。 2.3
8. カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しもうとしている。 13.6
9. その他(どういう過ごし方ですか) 2.3 N・A 7.4

Q 3 . あなたは、学校生活に、あなた自身の生活のどのくらいの割合をかけていますか。

学校生活に、あなた自身の生活の……

- 1 . 8 割以上をかけている。 1.7
- 2 . 6 割から 8 割くらいをかけている。 30.7
- 3 . 4 割から 6 割くらいをかけている。 43.2
- 4 . 2 割から 4 割くらいをかけている。 16.5
- 5 . 2 割もかけていない。 8.0

N・A -

次に、あなたが高校を受験した頃のことをお聞きします。だいぶ前のことになりますが、思い出して答えてください。

Q 4 . あなたは、志望校を決めるにあたって八千代高校に見学に来ましたか。八千代高校が開いた「オープン・スクール（学校説明会）」に参加したかどうかも含めて、答えてください。

- 1 . 八千代高校が開いた「オープン・スクール」に参加した。 37.5
- 2 . 「オープン・スクール」とは別に、学校に見学に来た。 4.5
- 3 . 「オープン・スクール」にも参加したし、それ以外にも学校に見学に来た。 13.1
- 4 . 「オープン・スクール」にも参加しなかったし、見学にも来なかった。 44.9

N・A -

Q 5 . あなた自身、八千代高校へ受験しようとして心に決めたのは、いつ頃でしたか。

- 1 . 中学 3 年生の夏休みの終わり頃まで 16.5
- 2 . 中学 3 年生の 2 学期以降、志望校決定のための二者面談や三者面談の前まで 31.3
- 3 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が開かれた頃 30.7
- 4 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が終わってから 21.0

N・A 0.6

Q 6 . 八千代高校への受験は、あなた自身の判断で決めましたか。それとも、他の人の意見で決めましたか。

- 1 . 自分の判断で決めた。 41.5
- 2 . どちらかと言えば、自分の判断で決めた。 25.0
- 3 . 自分の判断と他の人の意見と、両方を同じくらいに重視して決めた。 22.7
- 4 . どちらかと言えば、他の人の意見で決めた。 6.3
- 5 . 他の人の意見で決めた。 4.5

N・A -

Q 7 . 八千代高校は、あなたにとって、一番、入りたい学校でしたか。それとも別に、入りたい学校がありましたか。

- 1 . 一番、入りたい学校だった。 23.9
- 2 . ほかに、入りたい学校があった。 54.0
- 3 . 高校ならばどこでもよかった。 13.6
- 4 . 高校には、行きたくなかった。 8.5

N・A -

Q 8 . 八千代高校が「総合学科」であることは、あなたがこの学校を受験するきっかけになりましたか。ありませんでしたか。

- 1 . 大きなきっかけとなった。 29.5
- 2 . まあ、きっかけとなった。 37.5
- 3 . あまり、きっかけにならなかった。 21.0
- 4 . まったく、きっかけにならなかった。 11.9

N・A -

Q 9 . 八千代高校を受験した時、この高校が「総合学科」であることに、あなたはどの程度、魅力（みりょく）を感じていましたか。

- 1 . たいへん、魅力を感じていた。 21.0
- 2 . まあ、魅力を感じていた。 43.2
- 3 . あまり、魅力を感じていなかった。 24.4
- 4 . まったく、魅力を感じていなかった。 11.4

N・A -

Q 10 . あなたが八千代高校に入学したのは、推薦入試によってですか。一般入試によってですか。

- 1 . 推薦入試によって入学した。 41.5
- 2 . 一般入試によって入学した。 58.0

N・A 0.6

次に、あなたが「総合学科」で学んでいることについて、お聞きします。

Q 11 . あなたは、日頃、新しい学科である「総合学科」で勉強しているということをして、どの程度、意識していますか。

- 1 . かなり意識している。 9.1
- 2 . ある程度、意識している。 43.8
- 3 . あまり、意識していない。 33.5
- 4 . まったく意識していない。 13.6

N・A -

Q 12 . あなたは主にどの系列から科目を選択していますか。

- 1 . 人文科学系列 14.2
- 2 . 自然科学系列 11.9
- 3 . 健康体育系列 2.8
- 4 . 社会福祉系列 12.5
- 5 . 自動車工業系列 24.4
- 6 . 流通経済系列 30.7
- 7 . 系列を考えて選択していない 2.8

N・A 0.6

Q 13 . 1 年生で選択科目を選んだ時のことを思い出してください。当時、あなたは選択科目を選ぶことを、どのように受け止めていましたか。少し前のことで答えにくいかもしれませんが、次のことがどの程度、あてはまるかを答えてください。

	おあ おて いは に ま る	ま あ て は ま る	あ あ て は ま ら な い	ま あ て は ま ら な い	N ・ A
* 選択科目を選んだ時、次のことが……					
1 . 取りたいと思う科目がたくさんあって、困った。	10.8	32.4	43.8	13.1	-
2 . 時間割をうめるために、いやいや取る科目が多かった。	13.1	33.0	39.2	14.8	-
3 . どの科目を取ったらいいのか、わからなかった。	24.4	44.3	22.2	9.1	-
4 . 科目を選ぶのが、楽しく感じられた。	6.8	29.5	44.3	19.3	-
5 . 科目を選ぶのが、めんどうくさかった。	18.8	32.4	30.7	18.2	-
6 . 担当する先生が誰かが気になった。	24.4	27.3	29.5	18.8	-
7 . 科目の選択について、友だちと話をした。	37.5	39.2	15.9	7.4	-
8 . 科目選択についてお父さん、お母さんと話をした。	8.5	20.5	34.7	36.4	-
9 . 科目の選択について、先生に相談した。	10.8	34.7	30.1	24.4	-
10 . 満足のいく科目選択ができた。	8.5	39.2	35.8	16.5	-

Q14. 2年生になって選択科目の授業が増えていると思います。あなたは、自分がとっている選択科目の授業について、どのような印象をもっていますか。次のことが、どの程度、あなたの場合に「あてはまる」かを答えてください。

	おあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N・A
*あなたがとっている選択科目について……					
1. むずかしい授業が多い。	27.3	46.6	21.0	5.1	-
2. やさしい授業が多い。	2.3	17.0	57.4	23.3	-
3. 興味・関心もてる授業が多い。	11.4	35.8	40.9	11.4	0.6
4. 自分の適性を生かして勉強できる授業が多い。	9.1	43.2	36.9	10.8	-
5. 身近な内容の授業が多い。	8.0	28.4	55.1	8.5	-
6. 専門的な内容の授業が多い。	25.0	43.8	26.1	5.1	-
7. 生活に必要な知識や技術が身につく授業が多い。	13.1	31.3	43.8	11.9	-
8. 自分の趣味や楽しみに関係する授業が多い。	13.6	27.3	42.0	17.0	-
9. 大学や短大、専門学校の入試に役立つような授業が多い。	14.8	31.3	33.0	21.0	-
10. 大学や短大、専門学校で勉強するのに、学んでおいた方がよさそうな授業が多い。	19.3	31.3	31.3	17.6	0.6
11. 就職（採用）試験に合格するのに役立つような授業が多い。	14.2	46.0	30.7	9.1	-
12. 資格を取るのに役に立ちそうな授業が多い。	45.5	33.0	13.6	8.0	-
13. 将来の仕事に必要な知識や技術が身につく授業が多い。	34.1	33.5	21.0	10.8	0.6
14. 好きな先生が担当する授業が多い。	1.7	23.9	43.8	30.7	-
15. それほど勉強しなくても単位がとれそうな授業が多い。	6.8	23.3	52.8	16.5	0.6
16. 仲のよい友だちといっしょに受ける授業が多い。	31.3	36.4	23.3	9.1	-
17. 他の学校にはない特色ある内容の授業が多い。	29.5	42.6	19.3	8.5	-

Q15. あなたは、八千代高校に用意されている系列と選択科目について、どう思っていますか。

A) 系列は……	B) 選択科目は……
1. もっとたくさんあっていい。 51.7	1. もっとたくさんあっていい。 55.7
2. この位でいい。 43.8	2. この位でいい。 35.2
3. もっと少なくてもいい。 3.4	3. もっと少なくてもいい。 6.3
N・A 1.1	N・A 2.8

Q16. あなたからみて、八千代高校に「もっとこんな系列があったらいいのに」あるいは「もっとこんな科目があったらいいのに」というものがありますか。ありましたら、下の欄に自由に書いてください。

[回答あり 28.4]

Q17. あなたは、八千代高校を、どのような学校だと思っていますか。次にあげることについて、それぞれ、どの程度「そう思う」かを答えてください。

	とても思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	N・A
* 八千代高校が、次のような学校だと……					
1. 自分の学びたいことが学べる学校	19.9	50.0	20.5	9.7	-
2. 自分のペースで勉強のできる学校	6.3	29.5	47.7	16.5	-
3. 進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	22.7	43.2	25.0	9.1	-
4. 就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	23.9	51.1	17.0	8.0	-
5. いろいろな資格をとることができる学校	45.5	47.2	3.4	4.0	-
6. 進学するのに有利な学校	15.3	28.4	40.9	15.3	-
7. 就職するのに有利な学校	33.3	44.3	23.3	9.1	-
8. 入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校	17.0	40.3	36.9	5.7	-
9. のびのびと開放的な学校	2.8	13.1	30.1	54.0	-
10. 新しいことに挑戦する雰囲気がある学校	10.2	29.5	38.1	22.2	-
11. 伝統が感じられる学校	9.7	26.1	40.3	23.9	-
12. 「いじめ」などの問題がなく、平穏な学校	5.1	31.8	38.1	25.0	-
13. 部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校	11.4	38.6	33.5	15.9	0.6
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	1.7	17.6	48.9	31.8	-

Q18. あなたは、今、八千代高校総合学科に入学してよかったと思っていますか。いませんか。

- 1. とてもよかったと思っている。 8.0
 - 2. まあ、よかったと思っている。 24.4
 - 3. どちらともいえない。 34.7
 - 4. あまり、よかったと思っていない。 18.2
 - 5. まったくよかったと思っていない。 14.2
- N・A 0.6

* 「よかった」と思う点を自由に書いてください。

[回答あり 50.6]

* 「よくなかった」と思う点を自由に書いてください。

[回答あり 58.5]

Q19. あなたには、高校生活を通じて取りたいと思っている資格や検定がありますか。すでに高校入学後に取得した資格・検定も含めて、教えてください。

1. ある(すでにある) 71.0 2. ない 26.1 N・A 2.8

「ある(既にある)」という人だけ教えてください。(N=125) Q20へ

S Q 1. それは、どのような資格ですか。取りたいと思っている資格や検定(すでに取得している資格や検定)すべてにつけてください。(いくつでも)

- | | | | |
|------------------|------|---------------|-------|
| 1. 介護福祉士国家試験受験資格 | 68.0 | 10. 漢字検定資格 | 21.6 |
| 2. ホームヘルパー2級 | 48.0 | 11. 英語検定資格 | 11.2 |
| 3. ホームヘルパー3級 | 28.0 | 12. 硬筆検定資格 | 19.2 |
| 4. 3級自動車整備士受験資格 | 10.4 | 13. 毛筆検定資格 | 4.8 |
| 5. 溶接(ガス・アーク) | 5.6 | 14. 数学検定資格 | 6.4 |
| 6. 危険物取扱者 | 5.6 | 15. その他 何ですか: | } 4.8 |
| 7. 簿記検定資格 | 12.0 | | |
| 8. 情報処理検定資格 | 17.6 | | |
| 9. ワープロ検定資格 | 23.2 | | |
| | | | |

N・A -

Q20. あなたは、高校を卒業した後、就職しようと思っていますか。それとも進学しようと思っていますか。

- | | | |
|--------------------------|------|--------|
| 1. 就職しようと思っている。 | 43.8 | |
| 2. どちらかといえば、就職しようと思っている。 | 13.1 | |
| 3. どちらとも言えない、わからない。 | 8.5 | → Q27へ |
| 4. どちらかといえば、進学しようと思っている。 | 12.5 | |
| 5. 進学しようと思っている。 | 21.0 | → Q23へ |

N・A 1.1

以下、Q21とQ22は、Q20で「1. 就職しようと思っている」「2. どちらかといえば、就職しようと思っている」と答えた人にだけうかがいます。「4. どちらかといえば、進学しようと思っている」「5. 進学しようと思っている」と答えた人はQ23に、「3. どちらとも言えない」と答えた人はQ27に進んでください。

(N=100)

Q21. 高校を卒業した後、就職しようと思うようになったのは、今の高校に入学する前ですか、それとも後ですか。「入学してから後」という場合には、それがいつ頃かを教えてください。

- | | | |
|---------------|------|---------|
| 1. 高校に入学する前 | 57.0 | |
| 2. 高校に入学してから後 | 40.0 | N・A 3.0 |
- 思うようになったのは、 (N= 40)
- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| 1年春 | 12.5 | 2年春 | 10.0 |
| 1年夏 | 15.0 | 2年夏 | 22.5 |
| 1年秋 | 7.5 | 2年秋 | 12.5 |
| 1年冬 | 10.0 | 2年冬 | 5.0 |

N・A 5.0

Q22. あなたには、今、この時点で、就職したいと思っている会社や役所(就職先)がありますか。あてはまる場所の番号につけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------|
| 1. ぜひと就職したいと思っている会社や役所がある。 | - |
| 2. できれば、就職したいと思っている会社や役所がある。 | 20.0 |
| 3. 何となく、就職したいと思っている会社や役所がある。 | 24.0 |
| 4. 就職したいと思っている会社や役所はない。 | 53.0 N・A 3.0 |

以下、Q23までは、Q20で「4. どちらかといえば、進学しようと思っている」「5. 進学しようと思っている」と答えた人にだけうかがいます。

(N= 59)

Q23. 高校卒業後、進学しようと思うようになったのは、今の高校に入学する前ですか、それとも後ですか。「入学してから後」という場合には、それがいつ頃かを教えてください。

- | | | |
|---------------|------|-------|
| 1. 高校に入学する前 | 59.3 | |
| 2. 高校に入学してから後 | 40.7 | N・A - |
- 思うようになったのは、 (N= 24)
- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| 1年春 | 12.5 | 2年春 | 16.7 |
| 1年夏 | 16.7 | 2年夏 | 8.3 |
| 1年秋 | 20.8 | 2年秋 | 12.5 |
| 1年冬 | 4.2 | 2年冬 | 8.3 |

N・A -

Q24. 希望している進学先は、どこですか。あてはまる場所の番号につけてください。

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 大学 | 18.6 |
| 2. 短大 | 18.6 |
| 3. 専門学校 | 61.0 |
| 4. その他(どういう学校ですか:) | - |
| 5. まだ、はっきりしていない。 | 1.7 |

N・A -

Q25. あなたには、進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。

- | | | |
|----------------------|------|-------------------|
| 1. ぜひ勉強してみたいことがある。 | 64.4 | → それは、どういったことですか。 |
| 2. できれば勉強してみたいことがある。 | 20.3 | } 別表 1 |
| 3. ない | 11.9 | |

N・A 3.4

Q26. あなたには、今、この時点で、行きたいと思っている学校がありますか。あてはまる場所の番号につけてください。

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. ぜひと行きたいと思っている学校がある。 | 16.9 |
| 2. できれば、行きたいと思っている学校がある。 | 28.8 |
| 3. 何となく、行きたいと思っている学校がある。 | 30.5 |
| 4. 行きたいと思っている学校はない。 | 22.0 |

N・A 1.7

全員がお答えください。

Q27. あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。

- | | | |
|----------------|------|-------------------|
| 1. 具体的に考えている。 | 31.3 | → それは、どういった職業ですか。 |
| 2. ぼんやりと考えている。 | 39.8 | } 別表 2 |
| 3. 考えていない。 | 25.0 | |

N・A 4.0

最後に、あなた自身のことをうかがいます。

F 1 . あなたの性別は

- 1 . 男 56.8
- 2 . 女 42.6
- N・A 0.6

F 2 . あなたは、現在、何かの部に所属していますか。

- 1 . 運動部に所属している。 41.5
- 2 . 文化部に所属している。 23.3
- 3 . 所属していない。 35.2

N・A -

F 3 . あなたは、今、学習塾や予備校（習い事やおけいごとは除く）に通っていますか。

- 1 . 通っている。 0.6
- 2 . 通っていない。 99.4

N・A -

F 4 . あなたは、今、アルバイトをしていますか。

- 1 . している 44.3
- 2 . していない 55.7

N・A -

F 5 . あなたの出身中学の所在地はどこですか。あてはまるところの番号に をつけてください。

- 1 . 八千代町 43.8
- 2 . 八千代町のまわりの市町村（猿島，石下，千代川，下妻，関城，結城，三和） 51.1
- 3 . 上の1と2を除く，第5学区の市町村 4.5
〔 岩瀬，大和，真壁，協和，明野，下館，つくば，莖崎，伊奈，谷和原，守谷，
水海道，岩井，境，五霞，古河，総和 〕
- 4 . 第5学区以外の市町村 -

N・A 0.6

F 6 . あなたは、中学時代、クラスや生徒会、部の役員をしたことがありますか。それぞれについて答えてください。

中学時代、次の役員をしたことが.....

- A . 生徒会執行部の役員や委員会の委員長，副委員長・（ 1 . ある 21.6 2 . ない 76.7 ）
〔 会長，副会長，書記，保健委員長，
文化祭実行委員会副委員長など N・A 1.7 〕
- B . クラスの役員（代表）.....（ 1 . ある 14.8 2 . ない 81.8 ）
〔 学級委員，評議員，クラス代表など N・A 3.4 〕
- C . 部の役員.....（ 1 . ある 14.8 2 . ない 81.8 ）
〔 部長，副部長，主将など N・A 3.4 〕

F 7 . 中学校3年生のころのあなたの成績は、学年で、どのくらいでしたか。

- 学年で・・1 . かなり上の方だった。 1.7 4 . 少し，下の方だった。 31.8
- 2 . 少し，上の方だった。 8.5 5 . かなり下の方だった。 19.9
- 3 . まん中くらいだった。 38.1 N・A -

F 8 . あなたの保護者の方は、会社や役所などにはたらきに行っているのですか。それとも、自分で店や会社、農業などを経営しているのですか。

- 1 . 会社，工場，役所，事務所，商店などにはたらきに行っている。 73.3
- 2 . 自分で会社，工場，事務所，商店，農業などを経営している。 25.6

N・A 1.1

F 9 . それでは保護者の方は、具体的にどんな仕事をしているのですか。

- 1 . 事務をとる仕事 5.1
- 2 . 管理的な仕事（会社・役所などの課長以上） 5.1
- 3 . 自動車の運転手・整備士，工員・作業員，郵便配達など，技能・作業的な仕事 48.9
- 4 . 設計やプログラマー，製品開発など技術を生かした仕事 4.5
- 5 . 大工や左官，調理師，理容師や美容師など，職人的な技術を生かした仕事 10.8
- 6 . デパートや商店の店員，セールスマンなど，販売の仕事 4.0
- 7 . ウエイターやホテルマンなど，人にサービスをする仕事 1.1
- 8 . 医師や弁護士，会計士や教師のような仕事 -
- 9 . 農業や漁業に携わっている。 9.7
- 10 . その他（ ） 5.1

N・A 5.7

長い間、ありがとうございました。

〔別表1〕

Q25 あなたには、進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。(N= 50)

コード	進学先	分野	例	%
0 1	大 学	文学関連	文学，歴史・哲学・倫理学など	6.0
0 2	"	語学関連	英語，フランス語，ドイツ語，中国語など	2.0
0 3	"	社会関連	法律・経済・経営・商学・社会学・国際など	2.0
0 4	"	教育・心理関連	教育学，心理学，幼児教育，教員養成など	4.0
0 5	"	福祉関連	社会福祉，保母養成（保育）など	8.0
0 6	"	医療関連	医歯薬学，看護など	4.0
0 7	"	家政関連	被服，食物，生活科学など	4.0
0 8	"	自然科学関連	数学，物理学，化学，地学，生物学など	2.0
0 9	"	工学関連	機械，建築，土木，電気，電子，化学工学など	-
1 0	"	農学関連	農業，水産，園芸，獣医学など	2.0
1 1	"	文科系複合領域	人間科学，国際など	-
1 2	"	理科学系複合領域	情報，バイオ，環境科学など	2.0
1 3	"	音楽演劇関連	音楽，映画，演劇など	-
1 4	"	美術関連	美術，デザインなど	-
1 5	"	体育関連	体育，スポーツなど	-
1 6	"	その他		-
2 1	専門学校	商業実務関連	簿記，経理，ビジネス，秘書など	-
2 2	"	情報関連分野	プログラミング，ワープロ，情報処理など	10.0
2 3	"	語学関連分野	英会話／外国語など	-
2 4	"	サービス関連分	調理，理美容，トリマー，観光関連など	16.0
2 5	"	教育福祉関連分	保母，社会福祉など	2.0
2 6	"	医療関連分野	看護，臨床検査技師，歯科技工士，医療事務など	6.0
2 7	"	工業関連	建築，設計，自動車整備，航空，電子，テレビ技術，コンピュータ〔ハード〕など	6.0
2 8	"	音楽演劇関連	演劇，音楽，声優，映画制作など	6.0
2 9	"	美術デザイン関連	美術，写真，CG，服飾デザイン，アニメなど	16.0
3 0	"	家政関連	洋裁，編物など	-
3 1	"	スポーツ関連	体育，スポーツなど	-
3 2	"	その他		2.0
999	"	無回答		-

〔別表2〕

Q27 あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。(N=125)

コード	分類	例	%
0 1	会社事務職	事務員，オペレーターなど.....「会社員」「サラリーマン」のみの記載を含む	5.6
0 2	公務事務職	事務など.....「公務員」のみの記載を含む／「事務」とのみ記載の場合には、「1」にコーディング	0.8
0 3	販売営業職	デパート・スーパー・小売店・卸売店の店員，セールスマン，保険外交員，新聞配達員，タレントのマネージャーなど	5.6
0 4	サービス職	旅行添乗員，喫茶店の店員やレストランのウェイター，ホテルフロント，ソムリエ，トリマー，遊園地グランドホステスなど	5.6
0 5	技能職	自動車整備士，大工，理美容師，調理師，菓子職人，植木職人など	20.0
0 6	労務職	工員，作業員など	3.2
0 7	専門技術職	一般技術者，プログラマー，システムエンジニア，システムアドミニストレーター，テレビ局カメラマン，裁判官，弁護士，会計士，アナウンサー，栄養士，建築士，図書館司書など	9.6
0 8	福祉職	介護福祉士，手話通訳，ホームヘルパー，ケースワーカー，カウンセラー，保母（保育士）など	10.4
0 9	医療職	医師 看護婦，薬剤師，臨床検査技師，理学療法士など	4.0
1 0	教育職	教員（幼稚園教諭を含む）	1.6
1 1	スポーツ関連	プロスポーツ選手，スポーツ・インストラクター，コーチ，指導員など	-
1 2	運輸・通信職	運転手，運転士，車掌，駅員，郵便局員，パイロット，スチュワーデスなど	0.8
1 3	保安職	警察官，消防署員，自衛官，海上保安官，ガードマンなど	1.6
1 4	農林漁業関連	農業，漁業，林業など	-
1 5	音楽芸能関連	俳優，声優，タレント，歌手，女優，レポーターなど	6.4
1 6	芸術関連	画家，イラストレーター，マンガ家，デザイナー，カメラマン，ファッション・アドバイザー，インテリア・コーディネーターなど	6.4
1 7	その他	自営，作家，～～関係と記載の回答など	4.0
999	無回答		14.4

数値は, %
「N = 」は回答者数

総合学科生徒の学校に対する意識についての調査

< お 願 い >

本格的な冬の到来に寒さも一段と増してきましたが、順調に高校生活を送っていらっしゃると思います。

さて、このたび、私たち筑波大学教育社会学研究室では、八千代高校の生徒の皆さんに対して「総合学科生徒の学校に対する意識についての調査」をお願いすることになりました。

この調査は、八千代高校総合学科の生徒の皆さんが、どのような経緯でこの学校に入学するようになったかということや、どういった意識で学校生活を送っているかを調べて、総合学科の今後のあり方を検討する資料を得ようというものです。たいせつな時間を使わせてしまって申し訳ありませんが、どうぞ、調査にご協力ください。

なお、回答はすべて数字におおして、コンピュータで処理しますので、だれがどのように答えたかはまったくわからないようになっていきます。また、調査の結果を研究以外の目的に使うことは決してありません。テストのようなものではありませんので、安心して、事実や思っていること、考えていることをありのままに答えてください。

高校を受験した時のことなど、少し前のことを聞く質問もあったりして答えにくいかもしれませんが、その点、許していただき、どうぞよろしくご協力ください。お願いします。

2000年冬

筑波大学教育学系教育社会学研究室

担当：助教授 飯田 浩之

連絡先：〒305-8572

つくば市天王台1丁目1-1
TEL/FAX 0298-53-4599

まず、あなたの中学時代のことについてうかがいます。

- Q1. あなたの出身中学の所在地はどこですか。あてはまるところの番号に をつけてください。
- 1. 八千代町 37.0
 - 2. 八千代町のまわりの市町村(猿島, 石下, 千代川, 下妻, 閑城, 結城, 三和) 57.3
 - 3. 上の1と2を除く, 第5学区の市町村 0.5
 [岩瀬, 大和, 真壁, 協和, 明野, 下館, つくば, 荳崎, 伊奈, 谷和原, 守谷,]
 - 4. 第5学区以外の市町村 0.5
- N・A 4.7
- Q2. 中学時代のあなたは、どのような生徒でしたか。次にあげることがらが、中学時代のあなたに、どの程度、あてはまるかを答えてください。

	す あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り は ま ら な い	あ ま り は ま ら な い	N ・ A
* 中学時代、あなたは……					
1. 日頃の授業に熱心に取り組んだ。	12.5	55.7	24.0	7.8	-
2. 受験勉強をがんばった。	13.5	34.4	32.8	18.8	0.5
3. 選択教科の授業が好きだった。	47.4	29.2	18.2	4.2	1.0
4. 教科によって勉強の好き嫌いが大きかった。	54.7	29.2	13.0	3.1	-
5. 教科によって勉強の出来、不出来が大きかった。	52.6	27.1	16.1	3.6	0.5
6. 運動関係の部(クラブ)活動をがんばった。	44.3	19.3	11.5	19.3	5.7
7. 文化関係の部(クラブ)活動をがんばった。	13.5	14.1	15.1	39.1	18.2
8. クラス対抗の大会や文化祭など、クラスの活動や生徒会活動に熱心だった。	35.9	34.9	23.4	5.7	-
9. 校外のコンクールや大会などで賞をとった。	32.8	22.9	13.5	30.2	0.5
10. 英語検定や珠算の検定など、技能検定で級や段をとった。	30.2	23.4	8.3	37.5	0.5
11. ボランティアなど社会のために活動した。	13.5	26.6	37.0	22.9	-
12. イラストやマンガ、アニメ、ロック、ゲーム、釣りなど、趣味に夢中になった。	47.9	22.9	19.3	9.9	-
13. ゲームセンターなど校外の遊び場でよく遊んだ。	25.0	29.2	28.6	17.2	-
14. 先生たちのウケがよかった。	13.5	39.6	37.0	9.4	0.5

- Q3. あなたは、中学時代、クラスや生徒会、部の役員をしたことがありますか。それぞれについて答えてください。

中学時代、次の役員をしたことが……

- A. 生徒会執行部の役員や委員会の委員長、副委員長・(1. ある 30.2 2. ない 67.2)
 [会長, 副会長, 書記, 保健委員長,]
 [文化祭実行委員会副委員長など]
 N・A 2.6
- B. クラスの役員(代表)・(1. ある 30.7 2. ない 67.2)
 [学級委員, 評議員, クラス代表など]
 N・A 2.1
- C. 部の役員・(1. ある 23.4 2. ない 74.0)
 [部長, 副部長, 主将など]
 N・A 2.6

- Q 4 . 中学校 3 年生のころのあなたの成績は、学年で、どのくらいでしたか。
- 学年で・ 1 . かなり上の方だった。 3.6 4 . 少し、下の方だった。 32.8
 2 . 少し、上の方だった。 9.4 5 . かなり下の方だった。 6.3
 3 . まん中くらいだった。 47.4 N・A 0.5

次に、高校受験のことについてうかがいます。

- Q 5 . あなたは、志望校を決めるにあたって八千代高校に見学に来ましたか。八千代高校が開いた「オープン・スクール(学校説明会)」に参加したかどうかも含めて、教えてください。
- 1 . 八千代高校が開いた「オープン・スクール」に参加した。 41.7
 2 . 「オープン・スクール」とは別に、学校に見学に来た。 8.9
 3 . 「オープン・スクール」にも参加したし、それ以外にも学校に見学に来た。 6.3
 4 . 「オープン・スクール」にも参加しなかったし、見学にも来なかった。 42.7
 N・A 0.5

- Q 6 . あなた自身、八千代高校へ受験しようとして心に決めたのは、いつ頃でしたか。
- 1 . 中学 3 年生の夏休みの終わり頃まで 27.6
 2 . 中学 3 年生の 2 学期以降、志望校決定のための二者面談や三者面談の前まで 23.4
 3 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が開かれた頃 29.2
 4 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が終わってから 19.3
 N・A 0.5

- Q 7 . あなたが八千代高校への受験を決めたのは、この学校のどこにひかれてですか。次にあげるそれぞれについて、どの程度、ひかれたかを教えてください。

* 八千代高校へ受験を決めた時、次のことに・・	とても ひかれた	ま あ ひ か れ た	あ ま り ひ か れ な か つ た	ま つ た く ひ か れ な か つ た	N ・ A
1 . 選択科目の数の多さ	30.2	41.1	17.7	10.9	-
2 . 選択科目の内容	27.6	40.6	22.9	8.9	-
3 . 自分自身でつくる自分の時間割	55.7	28.6	9.9	5.7	-
4 . 6 つの系列から選べること	32.8	35.4	17.2	13.5	1.0
5 . 「産業社会と人間」など、総合学科独自の科目	3.1	18.2	43.8	34.9	-
6 . 体験的な学習を取り入れた授業	15.6	35.9	32.3	16.1	-
7 . 部活動の実績	4.2	16.1	36.5	43.2	-
8 . 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	24.5	28.6	29.7	17.2	-
9 . 就職における有利さ	35.9	34.4	16.1	13.5	-
10 . 大学進学における有利さ	9.9	19.8	34.9	34.4	1.0
11 . とれそな資格	53.6	31.3	8.9	6.3	-
12 . 施設や設備の充実度	22.9	34.4	27.1	14.1	1.6
13 . 推薦入試による生徒の募集	18.2	26.0	25.5	29.7	0.5
14 . 通学の便利さ	33.3	18.2	19.3	28.6	0.5
15 . 「地元の学校」としての身近さ	26.6	21.4	21.4	30.2	0.5

- Q 8 . 八千代高校への受験は、あなた自身の判断で決めましたか。それとも、他の人の意見で決めましたか。

- 1 . 自分の判断で決めた。 44.3
 2 . どちらかと言えば、自分の判断で決めた。 22.4
 3 . 自分の判断と他の人の意見と、両方を同じくらいに重視して決めた。 15.1 Q 9 へ
 4 . どちらかと言えば、他の人の意見で決めた。 12.0
 5 . 他の人の意見で決めた。 4.2
 N・A 2.1

前の質問(Q 8)で「3」「4」「5」のどれかに答えた人(他の人の意見を考えに入れて決めた人)にうかがいます。

- S Q 1 . もっとも重視したのは誰の意見ですか。次のなかから、ひとつだけ選んで、その番号にをつけてください。(N= 60)
- 1 . お父さん 3.3 6 . 先輩 -
 2 . お母さん 31.7 7 . 塾や家庭教師の先生 5.0
 3 . きょうだい(兄弟姉妹) 3.3 8 . その他の人 -
 4 . 中学の先生 36.7 どういうひとですか()
 5 . 友だち 15.0 N・A 5.0

- Q 9 . あなたが八千代高校を受験することに、お父さんとお母さんは賛成でしたか。それとも反対でしたか。また、どのような点で「賛成」あるいは「反対」だったのですか。お父さんとお母さんのそれぞれについて、もっともあてはまるものをひとつだけ選んで、その番号にをつけてください。(ひとつだけ)

- A) お父さんは・・・・・ B) お母さんは・・・・・
- 1 . 賛成だった。 48.4 1 . 賛成だった。 59.4
 2 . どちらかと言えば、賛成だった。 8.9 2 . どちらかと言えば、賛成だった。 9.9
 3 . どちらでもなかった。 21.4 → Q10 へ 3 . どちらでもなかった。 12.0 → Q10 へ
 4 . どちらかと言えば、反対だった。 4.7 4 . どちらかと言えば、反対だった。 5.7
 5 . 反対だった。 1.6 5 . 反対だった。 3.6
 6 . お父さんはいない 6.8 → Q10 へ 6 . お母さんはいない。 1.0 → Q10 へ
 N・A 8.3 N・A 8.3

「1」「2」「4」「5」に をつけた人にうかがいます。

- S Q (N=122) { } S Q (N=151)
- 「どのようなかで「賛成」あるいは「反対」だったのですか。次のなかから、もっとも大きな理由をひとつだけ選んでください。」
- 1 . 系列や科目など、勉強内容の点で 6.6 1 . 系列や科目など、勉強内容の点で 7.3
 2 . 生徒が自分の時間割を決める点で 6.6 2 . 生徒が自分の時間割を決める点で 9.9
 3 . 選択科目が多い点で 1.6 3 . 選択科目が多い点で 1.3
 4 . 入学後に卒業後の進路を決めてよい点で 0.8 4 . 入学後に卒業後の進路を決めてよい点で 3.3
 5 . 資格の取得につながる点で 12.3 5 . 資格の取得につながる点で 16.6
 6 . 卒業生の就職・進学実績の点で 1.6 6 . 卒業生の就職・進学実績の点で 4.6
 7 . 新しくスタートした点で 1.6 7 . 新しくスタートした点で 1.3
 8 . 生徒の学力水準の点で 7.4 8 . 生徒の学力水準の点で 9.9
 9 . 校内の雰囲気、という点で 2.5 9 . 校内の雰囲気、という点で 1.3
 10 . 世間の評判、という点で 3.3 10 . 世間の評判、という点で 3.3
 11 . 通学の便、という点で 32.0 11 . 通学の便、という点で 20.5
 12 . その他() 13.9 N・A 9.8 12 . その他() 7.9 N・A 12.6

Q10. 八代高校は、あなたにとって、一番、入り たい学校でしたか。それとも別に、入りたい学 校がありましたか。

- 1. 一番、入りたい学校だった。 21.4
 - 2. ほかに、入りたい学校があった。 57.8
 - 3. 高校ならばどこでもよかった。 16.1
 - 4. 高校には、行きたくなかった。 2.1
- N・A 2.6

Q11. 八千代高校が「総合学科」であることは、あなたがこの学校を受験するきっかけになりまし たか。なりませんでしたが。

- 1. 大きなきっかけとなった。 25.0
 - 2. まあ、きっかけとなった。 41.1
 - 3. あまり、きっかけにならなかった。 22.4
 - 4. まったく、きっかけにならなかった。 11.5
- N・A -

Q12. 八千代高校を受験した時、この高校が「総合学科」であることに、あなたはどの程度、魅力 (みりよく)を感じていましたか。

- 1. たいへん、魅力を感じていた。 20.3
 - 2. まあ、魅力を感じていた。 45.3
 - 3. あまり、魅力を感じていなかった。 24.5
 - 4. まったく、魅力を感じていなかった。 9.9
- N・A -

Q13. あなたが八千代高校に入学したのは、推薦入試によってですか。それとも一般入試によっ てですか。

- 1. 推薦入試によって入学した。 45.3
 - 2. 一般入試によって入学した。 54.7
- N・A -

次に、あなたの今の学校生活についてうかがいます。

Q14. あなたは、日頃、どのように過ごしていますか。あなたの過ごし方にもっとも近いものをひ とつ選び、その番号に をつけてください。(ひとつだけ)

- 1. 学校で、より広く、より高度な知識や技術を身につけようとしている。 5.7
 - 2. 学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている。 6.3
 - 3. よい会社に就職したり、よい大学に進学しようとしている。 7.8
 - 4. 何はともあれ、今よりも成績を上げようとしている。 5.7
 - 5. 何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている。 19.8
 - 6. クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しくしている。 41.1
 - 7. 校外でボランティアをしたり、地域活動をしたり、幅広い経験をしようとしている。 1.0
 - 8. カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しくしている。 8.9
 - 9. その他(どのような過ごし方ですか) 2.6
- N・A 1.0

Q15. あなたは、日頃、新しい学科である「総合学科」で勉強しているということを、どの程度、 意識していますか。

- 1. かなり意識している。 3.1
 - 2. ある程度、意識している。 35.4
 - 3. あまり、意識していない。 38.0
 - 4. まったく意識していない。 23.4
- N・A -

Q16. 2年生になると「選択科目」が多くなりますが、選択科目を選んだ時、あなたは主にどの系 列から科目を選択しましたか。また、その系列の選択科目にあなたは満足していますか。

A)主にどの系列から科目を選択しましたか。

- 1. 人文科学系列 13.0
 - 2. 自然科学系列 7.3
 - 3. 健康体育系列 3.6
 - 4. 社会福祉系列 15.1
 - 5. 自動車工業系列 16.1
 - 6. 流通経済系列 39.6
 - 7. 系列を考えて選択していない 5.2
- N・A -

B) その系列の選択科目について、満足していますか。「もっといろいろあってもいい」と 思うか、「ちょうどよい」か、それとも「もっと少なくてもいい」と思うかを答えてくだ さい。

あなたが選択しようと思っている系列に、選択科目が・・・

- 1. もっといろいろあってもいい 42.2
 - 2. ちょうどよい 46.9
 - 3. もっと少なくてもいい 9.9
 - 4. まだ、系列を決めていない 1.0
- N・A -

Q17. あなたは選択科目を選ぶときに、次のことを、どの程度、重視しましたか。それぞれ、どの 程度、重視したかを答えてください。

* 選択科目を決める時 あなたの選択した科目が……	す 重 視 し た	ま あ 重 視 し た	あ ま 重 視 し な か つ た	ま 重 視 し な か つ た	N ・ A
1. 興味をもって楽しく勉強できる科目かどうか	50.5	41.7	5.7	2.1	-
2. 自分自身の適性を生かして勉強できる科目かどうか	40.1	41.1	15.6	3.1	-
3. 専門的なことが勉強できる科目かどうか	49.5	38.0	8.3	4.2	-
4. 生活に必要な知識や技術を身につけられる科目かどうか	34.4	40.6	19.3	5.7	-
5. 自分の趣味や楽しみに関係する科目かどうか	37.0	40.1	18.8	4.2	-
6. 大学や短大、専門学校の入試に役立つ科目かどうか	25.5	20.3	27.6	26.6	-
7. 大学や短大、専門学校で勉強するのに学んでおいた方がよい 科目かどうか	25.5	20.8	26.0	27.1	0.5
8. 就職試験(採用試験)に合格するのに必要な科目かどうか	30.2	33.3	25.0	11.5	-
9. 何らかの資格をとるために役立つ科目かどうか	62.5	27.6	5.7	4.2	-
10. 将来、仕事をするのに必要な知識や技術を身につけることが できる科目かどうか	53.6	31.3	10.4	4.2	0.5
11. 実習や実験など、様々な体験ができる授業であるかどうか	20.3	31.8	35.4	12.5	-
12. 好きな先生の担当の授業かどうか(にがてな先生の担当の授 業でないかどうか)	7.3	8.9	34.9	49.0	-
13. それほど勉強しなくても単位がとれそうな科目かどうか	9.4	17.7	39.6	33.3	-
14. 仲のよい友だちといっしょに授業を受けられるかどうか	7.3	32.3	32.3	28.1	-
15. 先輩たちの評判がよいかどうか。	7.3	20.3	34.9	37.5	-

Q18. 選択科目を選んだ時のことについてのあなたの受け止め方をうかがいます。次のそれぞれのことがあなたにどの程度、あてはまるかを答えてください。

	お あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り あ て は ま ら な い	ま あ て は ま ら な い	N ・ A
* 選択科目を選んだ時 あなたには、次のことが……					
1. 取りたいと思う科目がたくさんあって、困った。	18.8	33.9	33.9	13.0	0.5
2. 時間割をうめるために、いやいや取る科目が多かった。	12.5	24.0	38.0	24.5	1.0
3. どの科目を取ったらいいのか、わからなかった。	15.1	31.8	33.9	18.8	0.5
4. 科目を選ぶのが、楽しく感じられた。	12.5	35.4	33.3	17.7	1.0
5. 科目を選ぶのが、めんどくさかった。	15.6	21.4	43.8	18.8	0.5
6. 担当する先生が誰かが気になった。	12.5	18.8	34.4	33.9	0.5
7. 科目の選択について、友だちと話をした。	43.2	34.9	14.6	6.3	1.0
8. 選択科目について、先輩から話を聞いた。	12.5	22.9	27.6	36.5	0.5
9. 科目選択についてお父さん、お母さんと話をした。	9.9	18.2	34.4	37.0	0.5
10. 科目の選択について、先生に相談した。	17.2	32.8	30.2	19.3	0.5
11. 満足のいく科目選択ができた。	18.8	46.9	24.0	9.9	0.5

Q19. あなたからみて、八千代高校に「もっとこんな系列があったらいいのに」あるいは「もっとこんな科目があったらいいのに」というものがありますか。ありましたら、下の欄に自由に書いてください。

回答あり 29.7

Q20. これまでに受けた「産業社会と人間」の授業についてうかがいます。この授業を通じて、あなたが学んだり考えたりしたことは何ですか。次のことがあなたに、どの程度、あてはまるかで答えてください。

	お あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り あ て は ま ら な い	ま あ て は ま ら な い	N ・ A
* 「産業社会と人間」の授業を通じて……					
1. 自分の興味・関心や性格がわかった。	6.3	28.6	41.7	22.9	0.5
2. 自分がどのような職業に向いているかがわかった。	8.9	30.7	39.1	20.8	0.5
3. 働くことの意味や大切さがわかった。	23.4	46.9	16.7	12.5	0.5
4. 自分も社会に出て働いてみたくなった。	15.6	31.8	30.2	21.4	1.0

次のページにつづきます。

前のページからの続きです。「産業社会と人間」の授業について答えてください。

	お あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り あ て は ま ら な い	ま あ て は ま ら な い	N ・ A
* 「産業社会と人間」の授業を通じて……					
5. 産業や職業のことについてくわしくなった。	8.9	36.5	41.1	13.0	0.5
6. 職業を選ぶ時に、何が大切かがわかった。	19.3	46.4	25.0	8.9	0.5
7. 自分が将来、どういった職業につきたいかがはっきりした。	24.0	30.7	30.2	14.6	0.5
8. 希望する職業につくために、今すべきことがわかった。	19.3	35.9	33.3	10.9	0.5
9. 大学や短大、専門学校がどのようなところかわかった。	13.0	31.8	38.5	16.1	0.5
10. 今勉強していることの意味や大切さがわかった。	9.4	38.5	35.9	15.6	0.5
11. 系列や開設科目の内容がわかった。	25.5	40.6	21.9	10.4	1.6
12. 2年生になってから学ぶことに興味や関心がもてた。	19.3	40.1	29.2	10.9	0.5
13. 2年生以降の学習計画がきちんと作成できた。	22.4	37.0	27.1	13.0	0.5

Q21. あなたは、八千代高校を、どのような学校だと思っていますか。次にあげることについて、それぞれ、どの程度「そう思う」かを答えてください。

	と そ う も 思 う	ま あ う 思 う	あ ま り 思 わ な い	ま あ う 思 わ な い	N ・ A
* 八千代高校が、次のような学校だと……					
1. 自分の学びたいことが学べる学校	30.7	39.6	18.2	10.9	0.5
2. 自分のペースで勉強のできる学校	9.9	33.3	39.6	16.7	0.5
3. 進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	24.0	42.7	22.9	9.9	0.5
4. 就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	33.3	42.7	17.7	5.2	1.0
5. いろいろな資格をとることができる学校	62.0	33.3	2.1	1.6	1.0
6. 進学するのに有利な学校	11.5	35.9	33.3	18.2	1.0
7. 就職するのに有利な学校	30.7	45.3	17.2	6.3	0.5
8. 入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校	22.9	38.0	28.1	10.4	0.5
9. のびのびと開放的な学校	4.7	15.6	28.1	51.0	0.5
10. 新しいことに挑戦する雰囲気がある学校	8.9	21.4	38.0	31.3	0.5
11. 伝統が感じられる学校	12.5	22.9	34.4	29.2	1.0
12. 「いじめ」などの問題がなく、平穏な学校	9.4	29.2	38.5	21.9	1.0
13. 部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校	19.8	38.0	28.6	13.0	0.5
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	3.1	15.1	43.8	37.5	0.5

Q22. 学校の授業について、あなたがどのように見ているかをお聞きます。次のそれぞれについて、どの程度、そう思うかを答えてください。

	とても思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	まったく思わない	N・A
* 八千代高校では……*						
1. むずかしい授業が多い。	10.4	16.7	44.8	18.2	9.9	-
2. やさしい授業が多い。	5.7	17.2	47.9	20.3	8.9	-
3. 興味・関心がもてる授業が多い。	4.7	18.2	42.2	19.8	15.1	-
4. 身近な内容の授業が多い。	3.6	17.2	46.4	20.3	12.5	-
5. 専門的な内容の授業が多い。	9.9	29.7	34.4	15.1	10.9	-
6. 将来、役立ちそうな内容の授業が多い。	12.5	31.3	29.2	13.5	13.5	-
7. 他の学校にはない特色のある内容の授業が多い。	27.1	40.6	12.5	11.5	7.8	0.5
8. 就職者向けの授業が多い。	14.6	28.1	38.5	11.5	6.8	0.5
9. 大学・専門学校への進学者向けの授業が多い。	4.7	22.9	42.2	17.2	12.5	0.5
10. 実習や実験、研修、見学など体験的な授業が多い。	15.1	29.7	33.9	13.0	7.8	0.5

Q23. あなたは、今、八千代高校に入学してよかったと思っていますか。いませんか。

- 1. とてもよかったと思っている。 5.7
- 2. まあ、よかったと思っている。 28.6
- 3. どちらともいえない。 31.8
- 4. あまり、よかったと思っていない。 17.7
- 5. まったくよかったと思っていない。 15.6

N・A 0.5

* 「よかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 50.5

* 「よくなかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 61.5

Q24. あなたは、学校生活に、あなた自身の生活のどのくらいの割合をかけていますか。

学校生活に、あなた自身の生活の……

- 1. 8割以上をかけている。 4.7
- 2. 6割から8割くらいをかけている。 30.2
- 3. 4割から6割くらいをかけている。 41.7
- 4. 2割から4割くらいをかけている。 14.6
- 5. 2割もかけていない。 7.3

N・A 1.6

Q25. あなたには、高校生活を通じて取りたいと思っている資格や検定がありますか。既に、高校入学後に取得した資格・検定も含めて、答えてください。

- 1. ある(既にある) 87.5
- 2. ない 12.5
- N・A -

「ある(既にある)」という人だけ答えてください。 Q26へ

SQ1. それは、どのような資格や検定ですか。取りたいと思っている資格や検定(既に取得している資格や検定)すべてにをつけてください。(いくつでも)

- 1. 介護福祉士国家試験受験資格 47.0
- 2. ホームヘルパー2級 41.1
- 3. ホームヘルパー3級 26.8
- 4. 3級自動車整備士受験資格 14.9
- 5. 溶接(ガス・アーク) 8.9
- 6. 危険物取扱者 11.9
- 7. 簿記検定資格 19.0
- 8. 情報処理検定資格 21.4
- 9. ワープロ検定資格 34.5
- 10. 漢字検定資格 28.6 (N=168)
- 11. 英語検定資格 36.9
- 12. 硬筆検定資格 16.7
- 13. 毛筆検定資格 4.2
- 14. 数学検定資格 18.5
- 15. その他 何ですか: 19.0

N・A 0.6

Q26. あなたは、高校を卒業した後、就職しようと思っていますか。それとも進学しようと思っていますか。進学しようと思っている人は、どういったところに進学したいか、そこでどんなことを勉強したいかも答えてください。

- 1. 就職しようと思っている。 35.9
- 2. どちらかといえば、就職しようと思っている。 5.7
- 3. どちらとも言えない、わからない。 9.4
- 4. どちらかといえば、進学しようと思っている。 17.2
- 5. 進学しようと思っている。 27.1

Q27へ

「4」「5」に をつけた人だけ、答えてください。(N= 85)

SQ1. 希望している進学先は

- 1. 4年制の大学 16.5
- 2. 短期大学 4.7
- 3. 専門学校 63.5
- 4. その他(どのような学校ですか: 1.2
- 5. まだ、はっきりしていない。 14.1
- N・A -

SQ2. 進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。

- 1. ぜひ勉強してみたいことがある。 51.8
 - 2. できれば勉強してみたいことがある。 28.2
 - 3. ない 20.0
 - N・A -
- それは、どういったことですか。
- 別表 1

全員がお答えください。

Q27. あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。

- 1. 具体的に考えている。 37.5
 - 2. ぼんやりと考えている。 40.1
 - 3. 考えていない。 21.4
 - N・A 1.0
- それは、どういった職業ですか。
- 別表 2

次のページ(裏表紙)にも質問があります。続けて答えてください。

最後に、あなた自身のことをうかがいます。

F 1 . あなたの性別は

- 1 . 男 43.8
 - 2 . 女 54.7
- N・A 1.6

F 2 . あなたは、現在、何かの部に所属していますか。

- 1 . 運動部に所属している。 41.1
 - 2 . 文化部に所属している。 24.5
 - 3 . 所属していない。 32.8
- N・A 1.6

F 3 . あなたは、今、学習塾や予備校（習い事やおけいごことは除く）に通っていますか。

- 1 . 通っている。 3.1
 - 2 . 通っていない。 95.3
- N・A 1.6

F 4 . あなたは、今、アルバイトをしていますか。

- 1 . している 34.9
 - 2 . していない 63.5
- N・A 1.6

F 5 . あなたの保護者の方は、会社や役所などにはたらきに行っているのですか。それとも、自分で店や会社、農業などを経営しているのですか。

- 1 . 会社、工場、役所、事務所、商店などにはたらきに行っている。 71.4
 - 2 . 自分で会社、工場、事務所、商店、農業などを経営している。 26.6
- N・A 2.1

F 6 . それでは、保護者の方は具体的にどんな仕事をしているのですか。

- 1 . 事務をとる仕事 8.9
 - 2 . 管理的な仕事（会社・役所などの課長以上） 9.4
 - 3 . 自動車の運転手・整備士、工員・作業員、郵便配達など、技能・作業的な仕事 37.0
 - 4 . 設計やプログラマー、製品開発など技術を生かした仕事 3.1
 - 5 . 大工や左官、調理師、理容師や美容師など、職人的な技術を生かした仕事 16.7
 - 6 . デパートや商店の店員、セールスマンなど、販売の仕事 5.7
 - 7 . ウエーターやホテルマンなど、人にサービスをする仕事 2.1
 - 8 . 医師や弁護士、会計士や教師のような仕事 1.6
 - 9 . 農業や漁業に携わっている。 9.9
 - 10 . その他（ ） 1.6
- N・A 4.2

長い間、ありがとうございました。

〔別表1〕

Q26SQ2 進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。 (N= 68)

コード	進学先	分野	例	%
0 1	大 学	文学関連	文学、歴史・哲学・倫理学など	5.9
0 2	"	語学関連	英語、フランス語、ドイツ語、中国語など	2.9
0 3	"	社会関連	法律・経済・経営・商学・社会学・国際など	2.9
0 4	"	教育・心理関連	教育学、心理学、幼児教育、教員養成など	2.9
0 5	"	福祉関連	社会福祉、保育養成（保育）など	1.5
0 6	"	医療関連	医歯薬学、看護など	1.5
0 7	"	家政関連	被服、食物、生活科学など	-
0 8	"	自然科学関連	数学、物理学、化学、地学、生物学など	4.4
0 9	"	工学関連	機械、建築、土木、電気、電子、化学工学など	-
1 0	"	農学関連	農業、水産、園芸、獣医学など	-
1 1	"	文科系複合領域	人間科学、国際など	1.5
1 2	"	理科系複合領域	情報、バイオ、環境科学など	-
1 3	"	音楽演劇関連	音楽、映画、演劇など	-
1 4	"	美術関連	美術、デザインなど	1.5
1 5	"	体育関連	体育、スポーツなど	-
1 6	"	その他		-
2 1	専門学校	商業実務関連	簿記、経理、ビジネス、秘書など	1.5
2 2	"	情報関連分野	プログラミング、ワープロ、情報処理など	4.4
2 3	"	語学関連分野	英会話／外国語など	-
2 4	"	サービス関連分野	調理、理美容、トリマー、観光関連など	20.6
2 5	"	教育福祉関連分野	保育、社会福祉など	4.4
2 6	"	医療関連分野	看護、臨床検査技師、歯科技工士、医療事務など	8.8
2 7	"	工業関連	建築、設計、自動車整備、航空、電子、テレビ技術、コンピュータ〔ハード〕など	7.4
2 8	"	音楽演劇関連	演劇、音楽、声優、映画制作など	1.5
2 9	"	美術デザイン関連	美術、写真、CG、服飾デザイン、アニメなど	11.8
3 0	"	家政関連	洋裁、編物など	1.5
3 1	"	スポーツ関連	体育、スポーツなど	2.9
3 2	"	その他		1.5
999	"	無回答		8.8

〔別表2〕

Q27 あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。(N=149)

コード	分類	例	%
0 1	会社事務職	事務員, オペレーターなど.....「会社員」「サラリーマン」のみの記載を含む	6.0
0 2	公務事務職	事務など.....「公務員」のみの記載を含む/「事務」とのみ記載の場合には, 「1」にコーディング	2.7
0 3	販売営業職	デパート・スーパー・小売店・卸売店の店員, セールスマン, 保険外交員, 新聞配達員, タレントのマネージャーなど	0.7
0 4	サービス職	旅行添乗員, 喫茶店の店員やレストランのウエイター, ホテルフロント, ソムリエ, トリマー, 遊園地グラウンドホステスなど	2.7
0 5	技能職	自動車整備士, 大工, 理美容師, 調理師, 菓子職人, 植木職人など	20.1
0 6	労務職	工員, 作業員など	-
0 7	専門技術職	一般技術者, プログラマー, システムエンジニア, システムアドミニストレーター, テレビ局カメラマン, 裁判官, 弁護士, 会計士, アナウンサー, 栄養士, 建築士, 図書館司書など	2.0
0 8	福祉職	介護福祉士, 手話通訳, ホームヘルパー, ケースワーカー, カウンセラー, 保母(保育士)など	14.8
0 9	医療職	医師 看護婦, 薬剤師, 臨床検査技師, 理学療法士など	4.0
1 0	教育職	教員(幼稚園教諭を含む)	2.0
1 1	スポーツ関連	プロスポーツ選手, スポーツ・インストラクター, コーチ, 指導員など	3.4
1 2	運輸・通信職	運転手, 運転士, 車掌, 駅員, 郵便局員, パイロット, スチュワーデスなど	-
1 3	保安職	警察官, 消防署員, 自衛官, 海上保安官, ガードマンなど	-
1 4	農林漁業関連	農業, 漁業, 林業など	0.7
1 5	音楽芸能関連	俳優, 声優, タレント, 歌手, 女優, レポーターなど	0.7
1 6	芸術関連	画家, イラストレーター, マンガ家, デザイナー, カメラマン, ファッション・アドバイザー, インテリア・コーディネーターなど	4.7
1 7	その他	自営, 作家, ~ ~関係と記載の回答など	22.1
999	無回答		13.4

総合学科生徒の学校に対する意識についての調査

< お 願 い >

本格的な冬の到来に寒さも一段と増してきましたが、順調に高校生活を送っていらっしゃると思います。

さて、昨年度の冬、皆さんが1年次だった時に引き続き、私たち筑波大学教育社会学研究室では、八千代高校総合学科の生徒の皆さんに対して「総合学科生徒の学校に対する意識についての調査」をお願いすることになりました。

この調査は、八千代高校総合学科に入学した生徒の皆さんが、どのような経緯でこの学校に入学し、その後、どのような意識で学校生活を続けているかを調べて、総合学科の今後のあり方を検討する資料を得ようというものです。たいせつな時間を使わせてしまって申し訳ありませんが、どうぞ、調査にご協力ください。

なお、回答はすべて数字におおして、コンピュータで処理しますので、だれがどのように答えたかはまったくわからないようになっています。また、調査の結果を研究以外の目的に使うことはありません。テストのようなものではありませんので、安心して、事実や思っていること、考えていることをありのままに答えてください。

2回目の調査でやっかいに思われるかもしれませんが、どうぞよろしくご協力ください。お願いします。

2000年冬

筑波大学教育学系教育社会学研究室

担当：助教授 飯田 浩之

連絡先：〒305-8572

つくば市天王台1丁目1-1

TEL/FAX 0298-53-4599

まず、あなたの今の学校生活についてうかがいます。

Q1. 次にあげることがらは、あなたにあてはまりますか。あてはまりませんか。それぞれについて、どの程度、あてはまるかを答えてください。

	よ く あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り よ ま ら な い	あ ま り た く ま ら な い	N ・ A
* 八千代高校総合学科で、あなたは……					
1. 楽しく授業を受けている。	2.2	34.8	45.5	17.4	-
2. まじめに授業を受けている。	7.9	47.8	33.7	10.7	-
3. 授業についていけている。	11.2	48.9	29.2	9.0	1.7
4. 予習・復習をしたり、わからないところを自分で調べたり、積極的に勉強している。	2.2	5.6	36.5	55.1	0.6
5. 系列に関係する雑誌を読んだり、テレビ番組を見たりしている。	3.4	15.2	33.1	47.8	0.6
6. 資格を取ったり、検定を受けたりしている。	30.9	33.1	15.7	19.1	1.1
7. 学校の規則を守っている。	20.2	41.6	30.3	7.3	0.6
8. 先生から信頼される行動をとっている。	9.0	38.2	43.8	9.0	-
9. 部活動や学校行事に積極的に参加している。	19.7	21.3	32.6	25.8	0.6
10. 地域の行事やボランティアに参加している。	2.8	3.4	39.3	54.5	-
11. 将来の進路を決めるために、いろいろな情報を集めている。	10.1	18.0	43.3	28.7	-
12. 問題なく卒業できそうである。	42.1	33.1	20.2	4.5	-
13. 卒業後の進路に見通しがついている。	12.9	25.8	42.7	18.0	0.6
14. 他の学校では学べないことを学んでいる。	23.0	36.0	27.5	13.5	-
15. 系列に関係することを趣味にしている。	5.6	19.7	41.0	33.1	0.6
16. 自分らしい高校生活を送っている。	20.8	34.3	27.0	18.0	-
17. 八千代高校総合学科に愛着を感じている。	2.2	20.2	33.1	44.4	-

Q2. あなたは、日頃、どのように過ごしていますか。あなたの過ごし方にもっとも近いものをひとつ選び、その番号に をつけてください。(ひとつだけ)

- | | |
|---|-------------|
| 1. 学校で、より広く、より高度な知識や技術を身につけようとしている。 | 5.1 |
| 2. 学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている。 | 5.1 |
| 3. よい会社に就職したり、よい大学に進学しようとしている。 | 8.4 |
| 4. 何はともあれ、今よりも成績を上げようとしている。 | 5.6 |
| 5. 何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている。 | 20.2 |
| 6. クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている。 | 28.1 |
| 7. 校外でボランティアをしたり、地域活動をしたり、幅広い経験を得ようとしている。 | - |
| 8. カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しもうとしている。 | 20.2 |
| 9. その他(どういう過ごし方ですか) | 1.7 N・A 5.6 |

Q 3 . あなたは、学校生活に、あなた自身の生活のどのくらいの割合をかけていますか。

学校生活に、あなた自身の生活の……

- 1 . 8 割以上をかけている。 3.9
- 2 . 6 割から 8 割くらいをかけている。 16.3
- 3 . 4 割から 6 割くらいをかけている。 44.9
- 4 . 2 割から 4 割くらいをかけている。 23.6
- 5 . 2 割もかけていない。 11.2

N・A -

次に、あなたが高校を受験した頃のことをお聞きします。だいぶ前のことになりましたが、思い出して答えてください。

Q 4 . あなたは、志望校を決めるにあたって八千代高校に見学に来ましたか。八千代高校が開いた

「オープン・スクール(学校説明会)」に参加したかどうかも含めて、答えてください。

- 1 . 八千代高校が開いた「オープン・スクール」に参加した。 34.8
- 2 . 「オープン・スクール」とは別に、学校に見学に来た。 15.7
- 3 . 「オープン・スクール」にも参加したし、それ以外にも学校に見学に来た。 7.9
- 4 . 「オープン・スクール」にも参加しなかったし、見学にも来なかった。 41.6

N・A -

Q 5 . あなた自身、八千代高校へ受験しようとして心に決めたのは、いつ頃でしたか。

- 1 . 中学 3 年生の夏休みの終わり頃まで 23.0
- 2 . 中学 3 年生の 2 学期以降、志望校決定のための二者面談や三者面談の前まで 28.7
- 3 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が開かれた頃 28.7
- 4 . 受験校決定のための二者面談・三者面談が終わってから 19.7

N・A -

Q 6 . 八千代高校への受験は、あなた自身の判断で決めましたか。それとも、他の人の意見で決めましたか。

- 1 . 自分の判断で決めた。 46.6
- 2 . どちらかと言えば、自分の判断で決めた。 22.5
- 3 . 自分の判断と他の人の意見と、両方を同じくらいに重視して決めた。 19.7
- 4 . どちらかと言えば、他の人の意見で決めた。 7.9
- 5 . 他の人の意見で決めた。 3.4

N・A -

Q 7 . 八千代高校は、あなたにとって、一番、入りたい学校でしたか。それとも別に、入りたい学校がありましたか。

- 1 . 一番、入りたい学校だった。 24.2
- 2 . ほかに、入りたい学校があった。 59.6
- 3 . 高校ならばどこでもよかった。 12.4
- 4 . 高校には、行きたくなかった。 3.9

N・A -

Q 8 . 八千代高校が「総合学科」であることは、あなたがこの学校を受験するきっかけになりましたか。なりませんでしたか。

- 1 . 大きなきっかけとなった。 26.4
- 2 . まあ、きっかけとなった。 41.6
- 3 . あまり、きっかけにならなかった。 20.2
- 4 . まったく、きっかけにならなかった。 11.8

N・A -

Q 9 . 八千代高校を受験した時、この高校が「総合学科」であることに、あなたはどの程度、魅力(みりょく)を感じていましたか。

- 1 . たいへん、魅力を感じていた。 16.9
- 2 . まあ、魅力を感じていた。 49.4
- 3 . あまり、魅力を感じていなかった。 21.3
- 4 . まったく、魅力を感じていなかった。 12.4

N・A -

Q 10 . あなたが八千代高校に入学したのは、推薦入試によってですか。一般入試によってですか。

- 1 . 推薦入試によって入学した。 44.4
- 2 . 一般入試によって入学した。 55.6

N・A -

次に、あなたが「総合学科」で学んでいることについて、お聞きします。

Q 11 . あなたは、日頃、新しい学科である「総合学科」で勉強しているということをして、どの程度、意識していますか。

- 1 . かなり意識している。 4.5
- 2 . ある程度、意識している。 29.2
- 3 . あまり、意識していない。 45.5
- 4 . まったく意識していない。 20.8

N・A -

Q 12 . あなたは主にどの系列から科目を選択していますか。

- 1 . 人文科学系列 18.5
- 2 . 自然科学系列 7.9
- 3 . 健康体育系列 1.7
- 4 . 社会福祉系列 14.6
- 5 . 自動車工業系列 14.6
- 6 . 流通経済系列 39.9
- 7 . 系列を考えて選択していない 2.8

N・A -

Q 13 . 1 年生で選択科目を選んだ時のことを思い出してください。当時、あなたは選択科目を選ぶことを、どのように受け止めていましたか。少し前のことで答えにくいかもしれませんが、次のことがどの程度、あてはまるかを答えてください。

	おあていはまる	まあてはまる	あてはまらない	まあてはまらない	N・A
* 選択科目を選んだ時、次のことが……					
1 . 取りたいと思う科目がたくさんあって、困った。	14.0	29.2	42.1	14.6	-
2 . 時間割をうめるために、いやいや取る科目が多かった。	16.9	25.8	41.0	16.3	-
3 . どの科目を取ったらいいのか、わからなかった。	25.8	38.2	22.5	13.5	-
4 . 科目を選ぶのが、楽しく感じられた。	7.9	22.5	46.6	22.5	0.6
5 . 科目を選ぶのが、めんどくさかった。	21.9	29.8	37.1	11.2	-
6 . 担当する先生が誰かが気になった。	26.4	27.5	28.1	17.4	0.6
7 . 科目の選択について、友だちと話をした。	45.5	32.0	12.9	8.4	1.1
8 . 科目選択についてお父さん、お母さんと話をした。	9.0	20.2	27.5	43.3	-
9 . 科目の選択について、先生に相談した。	17.4	29.2	33.1	19.7	0.6
10 . 満足のいく科目選択ができた。	4.5	31.5	42.7	21.3	-

Q14. 2年生になって選択科目の授業が増えていると思います。あなたは、自分がとっている選択科目の授業について、どのような印象をもっていますか。次のことが、どの程度、あなたの場合に「あてはまる」かを答えてください。

	おあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N・A
*あなたがとっている選択科目について……					
1. むずかしい授業が多い。	27.0	38.8	29.2	4.5	0.6
2. やさしい授業が多い。	5.1	25.3	50.0	19.1	0.6
3. 興味・関心もてる授業が多い。	5.1	33.7	41.6	18.0	1.7
4. 自分の適性を生かして勉強できる授業が多い。	4.5	25.8	50.0	19.1	0.6
5. 身近な内容の授業が多い。	1.1	27.5	50.6	20.2	0.6
6. 専門的な内容の授業が多い。	23.0	40.4	24.7	11.2	0.6
7. 生活に必要な知識や技術が身につく授業が多い。	9.6	36.5	38.2	15.2	0.6
8. 自分の趣味や楽しみに関係する授業が多い。	5.6	19.1	47.8	26.4	1.1
9. 大学や短大、専門学校の入試に役立つような授業が多い。	14.6	27.0	37.6	20.2	0.6
10. 大学や短大、専門学校で勉強するのに、学んでおいた方がよさそうな授業が多い。	16.3	32.6	32.6	18.0	0.6
11. 就職（採用）試験に合格するのに役立つような授業が多い。	11.2	35.4	38.2	14.0	1.1
12. 資格を取るのに役に立ちそうな授業が多い。	35.4	37.6	18.5	7.9	0.6
13. 将来の仕事に必要な知識や技術が身につく授業が多い。	23.0	37.6	26.4	11.8	1.1
14. 好きな先生が担当する授業が多い。	0.6	9.6	49.4	39.3	1.1
15. それほど勉強しなくても単位がとれそうな授業が多い。	15.2	24.7	45.5	12.9	1.7
16. 仲のよい友だちといっしょに受ける授業が多い。	19.7	38.8	25.8	14.6	1.1
17. 他の学校にはない特色ある内容の授業が多い。	20.2	37.1	26.4	15.7	0.6

Q15. あなたは、八千代高校に用意されている系列と選択科目について、どう思っていますか。

A) 系列は……	B) 選択科目は……
1. もっとたくさんあってほしい。 48.9	1. もっとたくさんあってほしい。 52.8
2. この位でいい。 44.9	2. この位でいい。 33.7
3. もっと少なくてもいい。 4.5	3. もっと少なくてもいい。 11.2
N・A 1.7	N・A 2.2

Q16. あなたからみて、八千代高校に「もっとこんな系列があったらいいのに」あるいは「もっとこんな科目があったらいいのに」というものがありますか。ありましたら、下の欄に自由に書いてください。

回答あり 22.5

Q17. あなたは、八千代高校を、どのような学校だと思っていますか。次にあげることについて、それぞれ、どの程度「そう思う」かを答えてください。

	とても思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	N・A
* 八千代高校が、次のような学校だと……					
1. 自分の学びたいことが学べる学校	14.6	39.9	33.7	11.2	0.6
2. 自分のペースで勉強のできる学校	2.2	25.3	51.7	20.2	0.6
3. 進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	14.6	43.8	29.2	11.8	0.6
4. 就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	20.2	51.7	17.4	10.1	0.6
5. いろいろな資格をとることができる学校	45.5	41.6	6.7	5.6	0.6
6. 進学するのに有利な学校	11.8	30.9	38.8	18.0	0.6
7. 就職するのに有利な学校	23.0	46.6	17.4	12.4	0.6
8. 入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校	14.0	36.0	34.8	14.6	0.6
9. のびのびと開放的な学校	3.9	9.0	26.4	60.1	0.6
10. 新しいことに挑戦する雰囲気がある学校	4.5	16.3	43.3	35.4	0.6
11. 伝統が感じられる学校	10.7	16.3	33.7	38.8	0.6
12. 「いじめ」などの問題がなく、平穏な学校	5.1	21.3	39.3	33.7	0.6
13. 部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校	10.7	29.8	31.5	27.5	0.6
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	2.8	7.9	43.3	45.5	0.6

Q18. あなたは、今、八千代高校総合学科に入学してよかったと思っていますか。いませんか。

- 1. とてもよかったと思っている。 2.2
- 2. まあ、よかったと思っている。 20.8
- 3. どちらともいえない。 32.0
- 4. あまり、よかったと思っていない。 18.5
- 5. まったくよかったと思っていない。 26.4

N・A -

* 「よかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 36.5

* 「よくなかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 57.9

Q19. あなたには、高校生活を通じて取りたいと思っている資格や検定がありますか。すでに高校入学後に取得した資格・検定も含めて、教えてください。

1. ある(すでにある) 82.6 2. ない 16.9 N・A 0.6

「ある(既にある)」という人だけ教えてください。(N=147) Q20へ

S Q 1. それは、どのような資格ですか。取りたいと思っている資格や検定(すでに取得している資格や検定)すべてにをつけてください。(いくつでも)

- | | | | |
|------------------|------|---------------|------|
| 1. 介護福祉士国家試験受験資格 | 58.5 | 10. 漢字検定資格 | 22.4 |
| 2. ホームヘルパー2級 | 36.7 | 11. 英語検定資格 | 14.3 |
| 3. ホームヘルパー3級 | 17.0 | 12. 硬筆検定資格 | 17.7 |
| 4. 3級自動車整備士受験資格 | 10.2 | 13. 毛筆検定資格 | 2.0 |
| 5. 溶接(ガス・アーク) | 5.4 | 14. 数学検定資格 | 9.5 |
| 6. 危険物取扱者 | 6.1 | 15. その他 何ですか: | |
| 7. 簿記検定資格 | 13.6 | | 13.6 |
| 8. 情報処理検定資格 | 8.8 | | |
| 9. ワープロ検定資格 | 33.3 | | |

N・A -

Q20. あなたは、高校を卒業した後、就職しようと思っていますか。それとも進学しようと思っていますか。

- | | | |
|--------------------------|------|--------|
| 1. 就職しようと思っている。 | 33.1 | |
| 2. どちらかといえば、就職しようと思っている。 | 8.4 | |
| 3. どちらとも言えない、わからない。 | 20.2 | → Q27へ |
| 4. どちらかといえば、進学しようと思っている。 | 14.6 | |
| 5. 進学しようと思っている。 | 23.0 | → Q23へ |
- N・A 0.6

以下、Q21とQ22は、Q20で「1. 就職しようと思っている」「2. どちらかといえば、就職しようと思っている」と答えた人にだけうかがいます。「4. どちらかといえば、進学しようと思っている」「5. 進学しようと思っている」と答えた人はQ23に、「3. どちらとも言えない」と答えた人はQ27に進んでください。

(N= 74)

Q21. 高校を卒業した後、就職しようと思うようになったのは、今の高校に入学する前ですか、それとも後ですか。「入学してから後」という場合には、それがいつ頃かを教えてください。

- | | | |
|---------------|------|---------|
| 1. 高校に入学する前 | 55.4 | |
| 2. 高校に入学してから後 | 40.5 | N・A 4.1 |
- 思うようになったのは、 (N= 30)
- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| 1年春 | 13.3 | 2年春 | 20.0 |
| 1年夏 | 10.0 | 2年夏 | 26.7 |
| 1年秋 | 10.0 | 2年秋 | 3.3 |
| 1年冬 | 13.3 | 2年冬 | - |
- N・A 3.3

Q22. あなたには、今、この時点で、就職したいと思っている会社や役所(就職先)がありますか。あてはまるところの番号にをつけてください。

- | | |
|------------------------------|------|
| 1. ぜひとも就職したいと思っている会社や役所がある。 | 6.8 |
| 2. できれば、就職したいと思っている会社や役所がある。 | 17.6 |
| 3. 何となく、就職したいと思っている会社や役所がある。 | 18.9 |
| 4. 就職したいと思っている会社や役所はない。 | 52.7 |
- N・A 4.1

以下、Q26までは、Q20で「4. どちらかといえば、進学しようと思っている」「5. 進学しようと思っている」と答えた人にだけうかがいます。

(N= 67)

Q23. 高校卒業後、進学しようと思うようになったのは、今の高校に入学する前ですか、それとも後ですか。「入学してから後」という場合には、それがいつ頃かを教えてください。

- | | | |
|---------------|------|-------|
| 1. 高校に入学する前 | 56.7 | |
| 2. 高校に入学してから後 | 43.3 | N・A - |
- 思うようになったのは、 (N= 29)
- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| 1年春 | 6.9 | 2年春 | 10.3 |
| 1年夏 | 6.9 | 2年夏 | 20.7 |
| 1年秋 | 20.7 | 2年秋 | 10.3 |
| 1年冬 | 13.8 | 2年冬 | - |
- N・A 10.3

Q24. 希望している進学先は、どこですか。あてはまるところの番号にをつけてください。

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 大学 | 35.8 |
| 2. 短大 | 7.5 |
| 3. 専門学校 | 38.8 |
| 4. その他(どの学校ですか:) | - |
| 5. まだ、はっきりしていない。 | 17.9 |
- N・A -

Q25. あなたには、進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。

- | | | |
|----------------------|------|-------------------|
| 1. ぜひ勉強してみたいことがある。 | 53.7 | → それは、どういったことですか。 |
| 2. できれば勉強してみたいことがある。 | 31.3 | |
| 3. ない | 14.9 | |
- N・A -
- 別表 1

Q26. あなたには、今、この時点で、行きたいと思っている学校がありますか。あてはまるところの番号にをつけてください。

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. ぜひとも行きたいと思っている学校がある。 | 17.9 |
| 2. できれば、行きたいと思っている学校がある。 | 22.4 |
| 3. 何となく、行きたいと思っている学校がある。 | 29.9 |
| 4. 行きたいと思っている学校はない。 | 29.9 |
- N・A -

全員がお答えください。

Q27. あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。

- | | | |
|----------------|------|-------------------|
| 1. 具体的に考えている。 | 21.9 | → それは、どういった職業ですか。 |
| 2. ぼんやりと考えている。 | 41.6 | |
| 3. 考えていない。 | 32.6 | |
- N・A 3.9
- 別表 2

最後に、あなた自身のことをうかがいます。

F 1 . あなたの性別は

- 1 . 男 56.2
 - 2 . 女 43.8
- N・A -

F 2 . あなたは、現在、何かの部に所属していますか。

- 1 . 運動部に所属している。 30.9
 - 2 . 文化部に所属している。 20.8
 - 3 . 所属していない。 48.3
- N・A -

F 3 . あなたは、今、学習塾や予備校（習い事やおけいごとは除く）に通っていますか。

- 1 . 通っている。 1.1
 - 2 . 通っていない。 98.9
- N・A -

F 4 . あなたは、今、アルバイトをしていますか。

- 1 . している 43.3
 - 2 . していない 56.7
- N・A -

F 5 . あなたの出身中学の所在地はどこですか。あてはまるところの番号に をつけてください。

- 1 . 八千代町 47.8
 - 2 . 八千代町のまわりの市町村（猿島，石下，千代川，下妻，関城，結城，三和） 49.4
 - 3 . 上の 1 と 2 を除く，第 5 学区の市町村 1.7
〔 岩瀬，大和，真壁，協和，明野，下館，つくば，茎崎，伊奈，谷和原，守谷，
水海道，岩井，境，五霞，古河，総和 〕
 - 4 . 第 5 学区以外の市町村 1.1
- N・A -

F 6 . あなたは、中学時代、クラスや生徒会、部の役員をしたことがありますか。それぞれについて答えてください。

中学時代、次の役員をしたことが.....

- A . 生徒会執行部の役員や委員会の委員長，副委員長・（ 1 . ある 25.8 2 . ない 69.7 ）
〔 会長，副会長，書記，保健委員長，
文化祭実行委員会副委員長など 〕 N・A 4.5
- B . クラスの役員（代表）.....（ 1 . ある 19.7 2 . ない 75.3 ）
〔 学級委員，評議員，クラス代表など 〕 N・A 5.1
- C . 部の役員.....（ 1 . ある 24.7 2 . ない 70.8 ）
〔 部長，副部長，主将など 〕 N・A 4.5

F 7 . 中学校 3 年生のころのあなたの成績は、学年で、どのくらいでしたか。

- 学年で・ 1 . かなり上の方だった。 0.6 4 . 少し，下の方だった。 18.5
- 2 . 少し，上の方だった。 17.4 5 . かなり下の方だった。 9.6
- 3 . まん中くらいだった。 53.9 N・A -

F 8 . あなたの保護者の方は、会社や役所などにはたらきに行っているのですか。それとも、自分で店や会社、農業などを経営しているのですか。

- 1 . 会社，工場，役所，事務所，商店などにはたらきに行っている。 72.5
- 2 . 自分で会社，工場，事務所，商店，農業などを経営している。 27.5

N・A -

F 9 . それでは保護者の方は、具体的にどんな仕事をしているのですか。

- 1 . 事務をとる仕事 9.0
- 2 . 管理的な仕事（会社・役所などの課長以上） 4.5
- 3 . 自動車の運転手・整備士，工員・作業員，郵便配達など，技能・作業的な仕事 36.0
- 4 . 設計やプログラマー，製品開発など技術を生かした仕事 5.1
- 5 . 大工や左官，調理師，理容師や美容師など，職人的な技術を生かした仕事 15.7
- 6 . デパートや商店の店員，セールスマンなど，販売の仕事 9.0
- 7 . ウエイターやホテルマンなど，人にサービスをする仕事 1.1
- 8 . 医師や弁護士，会計士や教師のような仕事 1.7
- 9 . 農業や漁業に携わっている。 7.3
- 10 . その他（ ） 3.9

N・A 6.7

長い間、ありがとうございました。

〔別表1〕

Q25 あなたには、進学先で勉強したいと思っていることがありますか。ある場合には、それはどのようなことですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。(N= 57)

コード	進学先	分野	例	%
0 1	大 学	文学関連	文学、歴史・哲学・倫理学など	1.8
0 2	"	語学関連	英語、フランス語、ドイツ語、中国語など	1.8
0 3	"	社会関連	法律・経済・経営・商学・社会学・国際など	14.0
0 4	"	教育・心理関連	教育学、心理学、幼児教育、教員養成など	8.8
0 5	"	福祉関連	社会福祉、保育養成（保育）など	7.0
0 6	"	医療関連	医歯薬学、看護など	-
0 7	"	家政関連	被服、食物、生活科学など	-
0 8	"	自然科学関連	数学、物理学、化学、地学、生物学など	1.8
0 9	"	工学関連	機械、建築、土木、電気、電子、化学工学など	3.5
1 0	"	農学関連	農業、水産、園芸、獣医学など	-
1 1	"	文科系複合領域	人間科学、国際など	-
1 2	"	理科系複合領域	情報、バイオ、環境科学など	3.5
1 3	"	音楽演劇関連	音楽、映画、演劇など	-
1 4	"	美術関連	美術、デザインなど	-
1 5	"	体育関連	体育、スポーツなど	-
1 6	"	その他		1.8
2 1	専門学校	商業実務関連	簿記、経理、ビジネス、秘書など	3.5
2 2	"	情報関連分野	プログラミング、ワープロ、情報処理など	3.5
2 3	"	語学関連分野	英会話 / 外国語など	-
2 4	"	サービス関連分	調理、理美容、トリマー、観光関連など	10.5
2 5	"	教育福祉関連分	保育、社会福祉など	5.3
2 6	"	医療関連分野	看護、臨床検査技師、歯科技工士、医療事務など	3.5
2 7	"	工業関連	建築、設計、自動車整備、航空、電子、テレビ技術、コンピュータ〔ハード〕など	5.3
2 8	"	音楽演劇関連	演劇、音楽、声優、映画制作など	-
2 9	"	美術デザイン関連	美術、写真、CG、服飾デザイン、アニメなど	14.0
3 0	"	家政関連	洋裁、編物など	-
3 1	"	スポーツ関連	体育、スポーツなど	-
3 2	"	その他		-
999	"	無回答		10.5

〔別表2〕

Q27 あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどのような職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。(N=113)

コード	分類	例	%
0 1	会社事務職	事務員、オペレーターなど.....「会社員」「サラリーマン」のみの記載を含む	3.5
0 2	公務事務職	事務など.....「公務員」のみの記載を含む / 「事務」とのみ記載の場合には、「1」にコーディング	4.4
0 3	販売営業職	デパート・スーパー・小売店・卸売店の店員、セールスマン、保険外交員、新聞配達員、タレントのマネージャーなど	6.2
0 4	サービス職	旅行添乗員、喫茶店の店員やレストランのウェイター、ホテルフロント、ソムリエ、トリマー、遊園地グランドホステスなど	0.9
0 5	技能職	自動車整備士、大工、理美容師、調理師、菓子職人、植木職人など	8.8
0 6	労務職	工員、作業員など	-
0 7	専門技術職	一般技術者、プログラマー、システムエンジニア、システムアドミニストレーター、テレビ局カメラマン、裁判官、弁護士、会計士、アナウンサー、栄養士、建築士、図書館司書など	5.3
0 8	福祉職	介護福祉士、手話通訳、ホームヘルパー、ケースワーカー、カウンセラー、保育（保育士）など	9.7
0 9	医療職	医師 看護婦、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士など	0.9
1 0	教育職	教員（幼稚園教諭を含む）	2.7
1 1	スポーツ関連	プロスポーツ選手、スポーツ・インストラクター、コーチ、指導員など	0.9
1 2	運輸・通信職	運転手、運転士、車掌、駅員、郵便局員、パイロット、スチュワーデスなど	2.7
1 3	保安職	警察官、消防署員、自衛官、海上保安官、ガードマンなど	2.7
1 4	農林漁業関連	農業、漁業、林業など	-
1 5	音楽芸能関連	俳優、声優、タレント、歌手、女優、レポーターなど	5.3
1 6	芸術関連	画家、イラストレーター、マンガ家、デザイナー、カメラマン、ファッション・アドバイザー、インテリア・コーディネーターなど	5.3
1 7	その他	自営、作家、～～関係と記載の回答など	8.8
999	無回答		31.9

総合学科生徒の学校に対する意識についての調査

< お 願 い >

本格的な冬の到来に寒さも一段と増してきましたが、順調に高校生活を送っていらっしゃると思います。

さて、一昨年の秋、皆さんが1年次だった時と、今年の冬、皆さんが2年次だった時に引き続き、私たち筑波大学教育社会学研究室では、八千代高校総合学科の皆さんに対して「総合学科生徒の学校に対する意識についての調査」をお願いすることになりました。

この調査は、八千代高校総合学科に入学した生徒の皆さんが、どのような経緯でこの学校に入学し、その後、どのような意識で学校生活を続けているかを調べて、総合学科の今後のあり方を検討する資料を得ようというものです。たいせつな時間を使わせてしまって申し訳ありませんが、どうぞ、調査にご協力ください。

なお、回答はすべて数字におおして、コンピュータで処理しますので、だれがどのように答えたかはまったくわからないようになっています。また、調査の結果を研究以外の目的に使うことはありません。テストのようなものではありませんので、安心して、事実や思っていること、考えていることをありのままに答えてください。

3回目の調査で、「またか」と思われるかもしれませんが、どうぞよろしくご協力ください。お願いします。

2000年冬

筑波大学教育学系教育社会学研究室

担当：助教授 飯田 浩之

連絡先：〒305-8572

つくば市天王台1丁目1-1

TEL/FAX 0298-53-4599

まず、あなたの今の学校生活についてうかがいます。

Q1. 次にあげることがらは、あなたにあてはまりますか。あてはまりませんか。それぞれについて、どの程度、あてはまるかを答えてください。

	よ あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い	N ・ A
* 八千代高校総合学科で、あなたは……					
1. 楽しく授業を受けている。	10.5	41.8	34.0	13.7	-
2. まじめに授業を受けている。	9.2	49.0	32.0	9.8	-
3. 授業についていけている。	16.3	50.3	23.5	9.8	-
4. 予習・復習をしたり、わからないところを自分で調べたり、積極的に勉強している。	1.3	12.4	39.2	46.4	0.7
5. 系列に関係する雑誌を読んだり、テレビ番組を見たりしている。	7.8	20.3	39.9	31.4	0.7
6. 資格を取ったり、検定を受けたりしている。	32.0	40.5	18.3	7.8	1.3
7. 学校の規則を守っている。	22.9	49.7	20.3	7.2	-
8. 先生から信頼される行動をとっている。	11.1	46.4	34.6	7.2	0.7
9. 部活動や学校行事に積極的に参加している。	28.8	28.1	27.5	15.7	-
10. 地域の行事やボランティアに参加している。	5.2	14.4	36.6	43.8	-
11. 将来の進路を決めるために、いろいろな情報を集めている。	15.0	40.5	27.5	17.0	-
12. 問題なく卒業できそうである。	57.5	32.7	7.8	2.0	-
13. 卒業後の進路に見通しがついている。	65.4	19.0	11.1	4.6	-
14. 他の学校では学べないことを学んでいる。	40.5	39.9	13.7	5.9	-
15. 系列に関係することを趣味にしている。	15.7	31.4	34.0	19.0	-
16. 自分らしい高校生活を送っている。	30.1	43.1	19.0	7.8	-
17. 八千代高校総合学科に愛着を感じている。	11.8	34.0	30.1	24.2	-

Q2. あなたは、日頃、どのように過ごしていますか。あなたの過ごし方にもっとも近いものをひとつ選び、その番号に をつけてください。(ひとつだけ)

1. 学校で、より広く、より高度な知識や技術を身につけようとしている。 3.3
2. 学校で、実際の生活にすぐ役立つ知識や技術を身につけようとしている。 5.2
3. よい会社に就職したり、よい大学に進学しようとしている。 6.5
4. 何はともあれ、今よりも成績を上げようとしている。 0.7
5. 何はともあれ、高卒の卒業証書だけはもらおうとしている。 22.9
6. クラスの友だちと会ったり、クラブ活動をしたり、学校生活を楽しもうとしている。 35.3
7. 校外でボランティアをしたり、地域活動をしたり、幅広い経験を得ようとしている。 2.0
8. カラオケをしたり、ゲームセンターに行ったり、校外の生活を楽しもうとしている。 15.7
9. その他(どういう過ごし方ですか) 2.0 N・A 6.5

Q 3 . あなたは、学校生活に、あなた自身の生活のどのくらいの割合をかけていますか。

学校生活に、あなた自身の生活の……

- 1 . 8 割以上をかけている。 6.5
- 2 . 6 割から 8 割くらいをかけている。 15.0
- 3 . 4 割から 6 割くらいをかけている。 48.4
- 4 . 2 割から 4 割くらいをかけている。 20.9
- 5 . 2 割もかけていない。 9.2

N・A -

次に、あなたが高校を受験した頃のことをお聞きします。だいぶ前のことになりませんが、思い出して答えてください。

Q 4 . 八千代高校は、あなたにとって、一番、入りたい学校でしたか。それとも別に、入りたい学校がありましたか。

- 1 . 一番、入りたい学校だった。 21.6
- 2 . ほかに、入りたい学校があった。 54.2
- 3 . 高校ならばどこでもよかった。 19.0
- 4 . 高校には、行きたくなかった。 5.2

N・A -

Q 5 . 八千代高校が「総合学科」であることは、あなたがこの高校を受験するきっかけになりましたか。ありませんでしたか。

- 1 . 大きなきっかけとなった。 30.7
- 2 . まあ、きっかけとなった。 39.2
- 3 . あまり、きっかけにならなかった。 16.3
- 4 . まったく、きっかけにならなかった。 13.7

N・A -

Q 6 . 八千代高校を受験した時、この高校が「総合学科」であることに、あなたはどの程度、魅力（みりょく）を感じていましたか。

- 1 . たいへん、魅力を感じていた。 22.2
- 2 . まあ、魅力を感じていた。 47.7
- 3 . あまり、魅力を感じていなかった。 19.6
- 4 . まったく、魅力を感じていなかった。 10.5

N・A -

Q 7 . あなたが八千代高校に入学したのは、推薦入試によってですか。一般入試によってですか。

- 1 . 推薦入試によって入学した。 43.1
- 2 . 一般入試によって入学した。 56.2

N・A 0.7

次に、あなたが「総合学科」で学んでいることについて、お聞きします。

Q 8 . あなたは、日頃、新しい学科である「総合学科」で勉強しているということをして、どの程度、意識していますか。

- 1 . かなり意識している。 9.2
- 2 . ある程度、意識している。 40.5
- 3 . あまり、意識していない。 39.9
- 4 . まったく意識していない。 10.5

N・A -

Q 9 . あなたは主にどの系列から科目を選択していますか。

- 1 . 人文科学系列 13.1
- 2 . 自然科学系列 12.4
- 3 . 健康体育系列 2.0
- 4 . 社会福祉系列 12.4
- 5 . 自動車工業系列 21.6
- 6 . 流通経済系列 32.7
- 7 . 系列を考えて選択していない 5.9

N・A -

Q10 . 3年生になって選択科目の授業が多くなっていることと思います。あなたは、自分がとっている選択科目の授業について、どのような印象をもっていますか。次のことが、どの程度、あなたの場合に「あてはまる」かを答えてください。

*あなたがとっている選択科目について……	おあていはまる	まあてはまる	あてはまらない	まあてはまらない	N・A
1 . むずかしい授業が多い。	20.3	49.0	25.5	5.2	-
2 . やさしい授業が多い。	9.8	30.1	41.8	18.3	-
3 . 興味・関心もてる授業が多い。	11.1	45.8	32.0	10.5	0.7
4 . 自分の適性を生かして勉強できる授業が多い。	14.4	41.8	30.1	13.7	-
5 . 身近な内容の授業が多い。	8.5	38.6	41.2	11.8	-
6 . 専門的な内容の授業が多い。	35.3	35.3	20.9	7.2	1.3
7 . 生活に必要な知識や技術が身につく授業が多い。	8.5	50.3	32.7	8.5	-
8 . 自分の趣味や楽しみに関係する授業が多い。	13.1	34.0	35.9	17.0	-
9 . 大学や短大、専門学校の入試に役立ちそうな授業が多い。	14.4	30.7	35.3	19.0	0.7
10 . 大学や短大、専門学校で勉強するのに、学んでおいた方がよさそうな授業が多い。	15.7	37.3	28.1	19.0	-
11 . 就職（採用）試験に合格するのに役立ちそうな授業が多い。	9.2	29.4	41.2	19.6	0.7
12 . 資格を取るのに役に立ちそうな授業が多い。	42.5	36.6	13.7	7.2	-
13 . 将来の仕事に必要な知識や技術が身につく授業が多い。	22.9	45.8	21.6	9.8	-
14 . 好きな先生が担当する授業が多い。	5.9	22.2	48.4	23.5	-
15 . それほど勉強しなくても単位がとれそうな授業が多い。	17.6	30.1	43.8	8.5	-
16 . 仲のよい友だちといっしょに受ける授業が多い。	32.0	45.1	17.0	5.9	-
17 . 他の学校にはない特色ある内容の授業が多い。	32.0	45.1	17.6	5.2	-

Q11 . これまで受けてきた選択科目の授業のうちで、あなた自身、「選択してよかった」という授業は、全体のどのくらいの割合になりますか。おおよその割合を答えてください。

- 1 . 8 割以上 4.6
- 2 . 6 割から 8 割程度 26.8
- 3 . 4 割から 6 割程度 34.0
- 4 . 2 割から 4 割程度 19.6
- 5 . 2 割以下 13.1

N・A 2.0

Q12. あなたには、高校生活を通じて取得した資格や検定がありますか。今、取ろうとしている資格・検定も含めて、答えてください。

1. ある(すでにある) 83.0 2. ない 15.7 N・A 1.3

「ある」という人だけ答えてください。(N=127)

SQ1. それは、どのような資格ですか。今、取ろうとしている資格や検定も含めて、すべてにをつけてください。(いくつでも)

- | | | | |
|------------------|------|------------|---------------|
| 1. 介護福祉士国家試験受験資格 | 61.4 | 10. 漢字検定資格 | 15.7 |
| 2. ホームヘルパー2級 | 36.2 | 11. 英語検定資格 | 7.9 |
| 3. ホームヘルパー3級 | 11.0 | 12. 硬筆検定資格 | 26.8 |
| 4. 3級自動車整備士受験資格 | 4.7 | 13. 毛筆検定資格 | 3.1 |
| 5. 溶接(ガス・アーク) | 7.1 | 14. 数学検定資格 | 3.1 |
| 6. 危険物取扱者 | 5.5 | 15. その他 | 何ですか:
26.8 |
| 7. 簿記検定資格 | 7.9 | | |
| 8. 情報処理検定資格 | 20.5 | | |
| 9. ワープロ検定資格 | 22.8 | | |

N・A -

次に、これまで八千代高校総合学科で勉強したり、生活したりしてきたことについて、あなたが、どのように思ったり感じたりしているかについてうかがいます。

Q13. あなたは、八千代高校でのこれまでの勉強や生活に満足していますか。それとも不満ですか。

次のそれぞれについて、あてはまるものの番号にをつけてください。

* 八千代高校の次のことに、あなたは.....	すごく満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満	N A
1. 授業の内容	2.6	35.9	45.1	10.5	5.9	-
2. 授業のやり方、進め方	2.6	27.5	51.0	11.8	7.2	-
3. 選択科目の数	8.5	32.0	35.3	13.7	10.5	-
4. 選択科目の種類	10.5	30.1	34.6	17.6	7.2	-
5. 選択科目の決め方	6.5	24.8	41.8	13.1	13.7	-
6. 生活についての指導	2.6	9.2	30.7	24.2	33.3	-
7. 就職や進学についての指導	14.4	24.8	39.2	13.1	8.5	-
8. 先生との関係	11.1	26.1	45.2	7.2	13.1	-
9. 友だちとの関係	34.6	40.5	18.3	3.3	3.3	-
10. 学校の雰囲気	4.6	23.5	45.8	12.4	13.7	-
11. 学校についての地元の評判	5.2	20.3	61.4	4.6	8.5	-

Q14. あなたは、これまでの高校生活のなかで、学校を退学したり別の学校に転校したいと思ったことが、どの程度ありますか。あてはまるものの番号にをつけてください。

- | | |
|----------------|-------|
| 1. たびたび、思ってきた。 | 20.3 |
| 2. たまに、思ってきた。 | 37.3 |
| 3. 思わなかった。 | 42.5 |
| | N・A - |

「退学したり別の学校に転校したいと思ったことがある人」(Q14で1, 2に答えた人)にお聞きします。(N= 88)

SQ. 退学したり別の学校に転校したいと思ったのはどうしてですか。その時のこととしてあてはまるものすべてにをつけてください。(いくつでも)

- | | |
|----------------------------------|------|
| 1. 勉強がむずかしくて、ついていけなくなった。 | 65.9 |
| 2. 授業に興味・関心をもてなくなった。 | 27.3 |
| 3. 選択した科目をなぜ学んでいるのか、意味がわからなくなった。 | 17.0 |
| 4. 卒業後の進路の見通しが立たなくなった。 | 4.5 |
| 5. 友だちとの関係がうまくいかなかった。 | 15.9 |
| 6. 先生との関係が悪くなった。 | 13.6 |
| 7. 学校の勉強以外に、やりたいことが出てきた。 | 12.5 |
| 8. 学校に対する地元の評判を聞いて嫌になった。 | 3.4 |
| 9. その他 | 11.4 |

N・A 1.1

Q15. あなたは、これまで高校生活を送ってきて、八千代高校総合学科のどこに魅力(みりょく)を感じましたか。次にあげるそれぞれについて、どの程度、魅力を感じたかを答えてください。

* これまで高校生活を送ってきて、八千代高校総合学科の次の点に.....	とても魅力を感じた	まあ魅力を感じた	あまり魅力を感じなかった	まったく魅力を感じなかった	N A
1. 選択科目の数の多さ	10.5	46.4	32.0	11.1	-
2. 選択科目の内容	7.8	50.3	30.1	11.8	-
3. 自分自身でつくる自分の時間割	35.9	42.5	13.1	8.5	-
4. 人文科学、自然科学など6つの系列	16.3	37.3	35.9	10.5	-
5. 「産業社会と人間」の授業	2.0	11.1	51.6	35.3	-
6. 「課題研究」の授業	7.2	16.3	43.8	32.7	-
7. 実験や実習など、体験を取り入れた授業	17.6	44.4	24.2	12.4	1.3
8. 部活動	15.0	31.4	26.8	26.8	-
9. 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	7.2	34.0	41.8	17.0	-
10. 卒業後の就職のしやすさ	10.5	28.8	43.8	17.0	-
11. 卒業後の進学のしやすさ	9.2	27.5	41.2	22.2	-
12. いろいろな資格の取りやすさ	32.0	39.2	20.9	7.8	-
13. 施設や設備のよさ	10.5	39.9	34.6	15.0	-
14. 学校についての地元の評判	5.9	28.8	44.4	20.9	-
15. 改革に取り組む学校の姿勢	4.6	22.9	45.1	27.5	-

Q16. 前の質問(Q15)にあげた1~15のうちで、特に魅力的だったことは何ですか。魅力的だったことから順に3つ選び、その番号を回答欄に書いてください。

回答欄	一番、魅力的だったこと	次に、魅力的だったこと	その次に魅力的だったこと
Q15の項目番号		(別表1)	

Q17. あなたは、今、八千代高校総合学科に入学してよかったと思っていますか。いませんか。

- 1. とてもよかったと思っている。 9.2
- 2. まあ、よかったと思っている。 35.9
- 3. どちらともいえない。 28.1
- 4. あまり、よかったと思っていない。 13.7
- 5. まったくよかったと思っていない。 12.4

N・A 0.7

*「よかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 51.0

*「よくなかった」と思う点を自由に書いてください。

回答あり 52.9

Q18. 八千代高校で学んだことは、就職した後の仕事や進学した後の勉強に役に立ちそうですか。

- 1. とても役に立ちそう。 15.0
- 2. まあ役に立ちそう。 45.8
- 3. あまり役に立ちそうもない。 27.5
- 4. まったく役に立ちそうもない。 11.8

N・A -

Q19. あなた自身、八千代高校で学んだことを、就職や進学に限らずこれからの人生に生かしていきたいと考えていますか。

- 1. ぜひ生かしていきたいと考えている。 11.8
- 2. できれば生かしていきたいと考えている。 66.0
- 3. あまり生かしていきたいと考えていない。 14.4
- 4. まったく生かしていきたいと考えていない。 7.8

N・A -

次に、あなたの高校卒業後の進路についてお聞きします。

Q20. あなたは、高校を卒業した後、就職する予定でいますか。それとも進学する予定でいますか。

- 1. 就職する予定でいる。 51.0
- 2. 進学する予定でいる。 45.1 → ページ下のQ24へ
- 3. 就職する予定も進学する予定もない(フリーターをするつもり)。 一次のページ 3.9 Q28へ

N・A -

以下、Q21からQ23は、Q20で「1. 就職する予定でいる」と答えた人にだけうかがいます。

「2. 進学する予定でいる」と答えた人はQ24に、「3. 就職する予定も進学する予定もない」と答えた人はQ28に進んでください。 (N= 78)

↓

Q21. 高校を卒業した後、就職しようと思うようになったのは、今の高校に入学する前ですか、それとも後ですか。「入学してから後」という場合には、それがいつ頃かを答えてください。

- 1. 高校に入学する前 53.8
 - 2. 高校に入学してから後 46.2 N・A -
- ↓ 思うようになったのは、 (N= 36)
- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1年春 2.8 | 2年春 5.6 | 3年春 5.6 |
| 1年夏 5.6 | 2年夏 2.8 | 3年夏 36.1 |
| 1年秋 2.8 | 2年秋 5.6 | 3年秋 8.3 |
| 1年冬 - | 2年冬 16.7 | 3年冬 - |
- N・A 8.3

Q22. 今、この時点で、具体的に就職先が決まっていますか。

- 1. 決まっている。 84.6
- 2. 決まっていない。 14.1

N・A 1.3

Q23. 高校卒業後、どのような仕事をするようになるのか、あるいはしたいのかをお聞きします。

*既に就職先が決まっている人については、決定している就職先の業種、およびそこでどのような仕事をするようになるのかを具体的に答えてください。

*まだ就職先が決まっていない人については、希望している業種と、そこでどのような仕事をしたいかを具体的に答えてください。

別表 2

以下、Q27までは、Q20で「2. 進学する予定でいる」と答えた人にだけうかがいます。

Q24. 高校卒業後、進学しようと思うようになったのは、今の高校に入学する前ですか、それとも後ですか。「入学してから後」という場合には、それがいつ頃かを答えてください。

- 1. 高校に入学する前 44.9
 - 2. 高校に入学してから後 55.1 N・A -
- ↓ 思うようになったのは、 (N= 38)
- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1年春 5.3 | 2年春 2.6 | 3年春 7.9 |
| 1年夏 5.3 | 2年夏 15.8 | 3年夏 28.9 |
| 1年秋 2.6 | 2年秋 7.9 | 3年秋 10.5 |
| 1年冬 2.6 | 2年冬 10.5 | 3年冬 - |
- N・A -

Q25. 希望している進学先は、どこですか。あてはまるところの番号に をつけてください。

- 1. 大学 34.8
 - 2. 短大 11.6
 - 3. 専門学校 50.7
 - 4. その他(どういう学校ですか: -)
 - 5. まだ、はっきりしていない。 1.4
- N・A 1.4

Q26. あなたが、進学先で勉強したいと思っていることは何ですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。

別 表 3

Q27. あなたは、将来、どのような仕事をしたいと考えていますか。「自動車整備の仕事」「自衛官」「幼稚園の先生」「システム・エンジニア」「美容師」「看護婦」「会社の事務員」など、できるだけ具体的に教えてください。

別 表 4

Q28とQ29は、Q20で「3. 就職する予定も進学する予定もない(フリーターをするつもり)」と答えた人だけにうかがいます。その他の人は、Q30に進んでください。

(N= 6)

Q28. 「就職する予定も進学する予定もない」のは、自分から選んでそう決めているのですか。それとも、就職活動をしたけれども決まらなかつたりして、結果的にそのようになったのですか。

- 1. 自分から選んでそう決めている。 66.7
 - 2. 結果的にそのようになった。 33.3
 - 3. その他(-)
- N・A -

Q29. あなたは、将来、もし仕事をするとしたら、どのような仕事がしたいですか。「自動車整備の仕事」「自衛官」「幼稚園の先生」「システム・エンジニア」「美容師」「看護婦」「会社の事務員」など、できるだけ具体的に教えてください。

別 表 5

次の質問からは、また、全員が答えてください。

Q30. あなたは、八千代高校を、どのような学校だと思っていますか。次にあげることについて、それぞれ、どの程度「そう思う」かを答えてください。

	と そ う も 思 う	ま あ う 思 う	あ ま り 思 わ な い	ま あ ま り 思 わ な い	N ・ A
* 八千代高校が、次のような学校だと……					
1. 自分の学びたいことが学べる学校	22.9	47.7	20.3	8.5	0.7
2. 自分のペースで勉強のできる学校	5.9	30.1	47.7	15.0	1.3
3. 進学してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	11.1	45.1	30.7	11.8	1.3
4. 就職してから役に立つ知識や技術を身につけられる学校	11.8	49.0	28.8	9.8	0.7
5. いろいろな資格をとることができる学校	37.3	47.7	11.1	3.3	0.7
6. 進学するのに有利な学校	10.5	28.1	44.4	16.3	0.7
7. 就職するのに有利な学校	11.1	40.5	33.3	14.4	0.7
8. 入学後に、卒業後の進路を選ぶことのできる学校	11.1	43.8	34.6	9.8	0.7
9. のびのびと開放的な学校	5.2	16.3	36.6	41.2	0.7
10. 新しいことに挑戦する雰囲気がある学校	5.9	30.1	35.9	27.5	0.7
11. 伝統が感じられる学校	11.1	28.1	38.6	21.6	0.7
12. 「いじめ」などの問題がなく、平穏な学校	5.9	17.6	50.3	25.5	0.7
13. 部活をしたり、友だちと遊んだり、楽しく過ごせる学校	14.4	37.9	33.3	13.7	0.7
14. 学力レベルの高い生徒が多い学校	1.3	15.7	51.0	31.4	0.7

最後に、あなた自身のことをうかがいます。

F1. あなたの性別は

- 1. 男 54.2
 - 2. 女 43.8
- N・A 2.0

F2. あなたは、現在、何かの部に所属していますか。

- 1. 運動部に所属している。 20.9
 - 2. 文化部に所属している。 19.0
 - 3. 所属していない。 58.8
- N・A 1.3

F3. あなたは、今、学習塾や予備校(習い事やおけいごとは除く)に通っていますか。

- 1. 通っている。 2.0
 - 2. 通っていない。 97.4
- N・A 0.7

次のページ(裏表紙)にも質問があります。忘れずにお答えください。

F 4 . あなたは、今、アルバイトをしていますか。

- 1 . している 41.2
- 2 . していない 57.5

N・A 1.3

F 5 . あなたの出身中学の所在地はどこですか。あてはまるところの番号に をつけてください。

- 1 . 八千代町 47.7
- 2 . 八千代町のまわりの市町村（猿島，石下，千代川，下妻，関城，結城，三和） 47.7
- 3 . 上の1と2を除く，第5学区の市町村 2.6
 { 岩瀬，大和，真壁，協和，明野，下館，つくば，笠崎，伊奈，谷和原，守谷， }
 水海道，岩井，境，五霞，古河，総和
- 4 . 第5学区以外の市町村 -

N・A 2.0

F 6 . あなたは、中学時代，クラスや生徒会，部の役員をしたことがありますか。それぞれについて答えてください。

中学時代，次の役員をしたことが.....

- A . 生徒会執行部の役員や委員会の委員長，副委員長・（ 1 . ある 22.9 2 . ない 73.9 ）
 { 会長，副会長，書記，保健委員長， } N・A 3.3
 文化祭実行委員会副委員長など
- B . クラスの役員（代表）.....（ 1 . ある 20.3 2 . ない 76.5 ）
 { 学級委員，評議員，クラス代表など } N・A 3.3
- C . 部の役員.....（ 1 . ある 17.6 2 . ない 77.1 ）
 { 部長，副部長，主将など } N・A 5.2

F 7 . 中学校3年生のころのあなたの成績は，学年で，どのくらいでしたか。

- 学年で・ ・ ・ 1 . かなり上の方だった。 2.0 4 . 少し，下の方だった。 33.3
- 2 . 少し，上の方だった。 9.8 5 . かなり下の方だった。 16.3
- 3 . まん中くらいだった。 35.9 N・A 2.6

F 8 . あなたの保護者の方は，会社や役所などにはたらきに行っているのですか。それとも，自分で店や会社，農業などを経営しているのですか。

- 1 . 会社，工場，役所，事務所，商店などにはたらきに行っている。 72.5
- 2 . 自分で会社，工場，事務所，商店，農業などを経営している。 24.8

N・A 2.6

F 9 . それでは保護者の方は，具体的にどんな仕事をしているのですか。

- 1 . 事務をとる仕事 6.5
- 2 . 管理的な仕事（会社・役所などの課長以上） 9.8
- 3 . 自動車の運転手・整備士，工員・作業員，郵便配達など，技能・作業的な仕事 43.1
- 4 . 設計やプログラマー，製品開発など技術を生かした仕事 5.9
- 5 . 大工や左官，調理師，理容師や美容師など，職人的な技術を生かした仕事 13.7
- 6 . デパートや商店の店員，セールスマンなど，販売の仕事 2.0
- 7 . ウエイターやホテルマンなど，人にサービスをする仕事 1.3
- 8 . 医師や弁護士，会計士や教師のような仕事 -
- 9 . 農業や漁業に携わっている。 9.8
- 10 . その他（ ） 2.0

N・A 5.9

長い間，ありがとうございました。

〔別表1〕

Q16 . 前の質問（Q15）にあげた1～15のうちで，特に魅力的だったことは何ですか。魅力的だったことから順に3つ選び，その番号を回答欄に書いてください。 (N=153)

	一番， 魅力的 だったこと	次に， 魅力的 だったこと	その次に， 魅力的 だったこと
1 . 選択科目の数の多さ	6.5	7.2	7.2
2 . 選択科目の内容	4.6	3.3	7.8
3 . 自分自身でつくる自分の時間割	28.8	19.0	7.8
4 . 人文科学，自然科学など6つの系列	2.0	4.6	4.6
5 . 「産業社会と人間」の授業	-	1.3	0.7
6 . 「課題研究」の授業	1.3	2.0	2.6
7 . 実験や実習など，体験を取り入れた授業	9.8	9.2	7.2
8 . 部活動	12.4	8.5	4.6
9 . 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	1.3	1.3	3.9
10 . 卒業後の就職のしやすさ	2.6	6.5	5.2
11 . 卒業後の進学 of しやすさ	-	1.3	2.0
12 . いろいろな資格の取りやすさ	15.7	11.8	13.7
13 . 施設や設備のよさ	0.7	4.6	9.8
14 . 学校についての地元の評判	-	0.7	2.0
15 . 改革に取り組む学校の姿勢	-	0.7	2.0
無回答	14.4	18.3	19.0

〔別表2〕

Q23. 高校卒業後、どのような仕事をするようになるのか、あるいはしたいのかをお聞きます。

* 既に就職先が決まっている人については、決定している就職先の業種、およびそこでどのような仕事をするようになるのかを具体的に教えてください。

* まだ就職先が決まっていない人については、希望している業種と、そこでどのような仕事をしたいかを具体的に教えてください。

(N= 78)

コード	分類	例	%
0 1	会社事務職	事務員、オペレーターなど……「会社員」「サラリーマン」のみの記載を含む	2.6
0 2	公務事務職	事務など……「公務員」のみの記載を含む/「事務」とのみ記載の場合には、「1」にコーディング	-
0 3	販売営業職	デパート・スーパー・小売店・卸売店の店員、セールスマン、保険外交員、新聞配達員、タレントのマネージャーなど	-
0 4	サービス職	旅行添乗員、喫茶店の店員やレストランのウェイター、ホテルフロント、ソムリエ、トリマー、遊園地グラウンドホステスなど	5.1
0 5	技能職	自動車整備士、大工、理美容師、調理師、菓子職人、植木職人など	9.0
0 6	労務職	工員、作業員など	41.0
0 7	専門技術職	一般技術者、プログラマー、システムエンジニア、システムアドミニストレーター、テレビ局カメラマン、裁判官、弁護士、会計士、アナウンサー、栄養士、建築士、図書館司書など	-
0 8	福祉職	介護福祉士、手話通訳、ホームヘルパー、ケースワーカー、カウンセラー、保育（保育士）など	2.6
0 9	医療職	医師 看護婦、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士など	2.6
1 0	教育職	教員（幼稚園教諭を含む）	-
1 1	スポーツ関連	プロスポーツ選手、スポーツ・インストラクター、コーチ、指導員など	1.3
1 2	運輸・通信職	運転手、運転士、車掌、駅員、郵便局員、パイロット、スチュワーデスなど	-
1 3	保安職	警察官、消防署員、自衛官、海上保安官、ガードマンなど	-
1 4	農林漁業関連	農業、漁業、林業など	-
1 5	音楽芸能関連	俳優、声優、タレント、歌手、女優、レポーターなど	-
1 6	芸術関連	画家、イラストレーター、マンガ家、デザイナー、カメラマン、ファッション・アドバイザー、インテリア・コーディネーターなど	-
1 7	その他	自営、作家、～～関係と記載の回答など	1.3
999	無回答		34.6

〔別表3〕

Q26. あなたが、進学先で勉強したいと思っていることは何ですか。〔 〕の中に、法律、数学、デザイン、調理、理容、看護、福祉など、できるだけ具体的に書いてください。 (N= 69)

コード	進学先	分野	例	%
0 1	大 学	文学関連	文学、歴史・哲学・倫理学など	4.3
0 2	"	語学関連	英語、フランス語、ドイツ語、中国語など	2.9
0 3	"	社会関連	法律・経済・経営・商学・社会学・国際など	13.0
0 4	"	教育・心理関連	教育学、心理学、幼児教育、教員養成など	-
0 5	"	福祉関連	社会福祉、保育養成（保育）など	10.1
0 6	"	医療関連	医歯薬学、看護など	2.9
0 7	"	家政関連	被服、食物、生活科学など	2.9
0 8	"	自然科学関連	数学、物理学、化学、地学、生物学など	-
0 9	"	工学関連	機械、建築、土木、電気、電子、化学工学など	2.9
1 0	"	農学関連	農業、水産、園芸、獣医学など	-
1 1	"	文科系複合領域	人間科学、国際など	-
1 2	"	理科系複合領域	情報、バイオ、環境科学など	7.2
1 3	"	音楽演劇関連	音楽、映画、演劇など	-
1 4	"	美術関連	美術、デザインなど	-
1 5	"	体育関連	体育、スポーツなど	-
1 6	"	その他		-
2 1	専門学校	商業実務関連	簿記、経理、ビジネス、秘書など	7.2
2 2	"	情報関連分野	プログラミング、ワープロ、情報処理など	4.3
2 3	"	語学関連分野	英会話/外国語など	-
2 4	"	サービス関連分	調理、理美容、トリマー、観光関連など	10.1
2 5	"	教育福祉関連分	保育、社会福祉など	1.4
2 6	"	医療関連分野	看護、臨床検査技師、歯科技工士、医療事務など	2.9
2 7	"	工業関連	建築、設計、自動車整備、航空、電子、テレビ技術、コンピュータ〔ハード〕など	8.7
2 8	"	音楽演劇関連	演劇、音楽、声優、映画制作など	1.4
2 9	"	美術デザイン関連	美術、写真、CG、服飾デザイン、アニメなど	5.8
3 0	"	家政関連	洋裁、編物など	2.9
3 1	"	スポーツ関連	体育、スポーツなど	1.4
3 2	"	その他		-
999	"	無回答		7.2

〔別表４〕

Q27. あなたは、将来、どのような仕事をしたいと考えていますか。「自動車整備の仕事」「自衛官」「幼稚園の先生」「システム・エンジニア」「美容師」「看護婦」「会社の事務員」など、できるだけ具体的に答えてください。
(N= 69)

コード	分類	例	%
0 1	会社事務職	事務員, オペレーターなど.....「会社員」「サラリーマン」のみの記載を含む	5.8
0 2	公務事務職	事務など.....「公務員」のみの記載を含む/「事務」とのみ記載の場合には, 「1」にコーディング	2.9
0 3	販売営業職	デパート・スーパー・小売店・卸売店の店員, セールスマン, 保険外交員, 新聞配達員, タレントのマネージャーなど	5.8
0 4	サービス職	旅行添乗員, 喫茶店の店員やレストランのウェイター, ホテルフロント, ソムリエ, トリマー, 遊園地グラウンドホステスなど	2.9
0 5	技能職	自動車整備士, 大工, 理美容師, 調理師, 菓子職人, 植木職人など	15.9
0 6	労務職	工員, 作業員など	-
0 7	専門技術職	一般技術者, プログラマー, システムエンジニア, システムアドミニストレーター, テレビ局カメラマン, 裁判官, 弁護士, 会計士, アナウンサー, 栄養士, 建築士, 図書館司書など	7.2
0 8	福祉職	介護福祉士, 手話通訳, ホームヘルパー, ケースワーカー, カウンセラー, 保母(保育士)など	7.2
0 9	医療職	医師 看護婦, 薬剤師, 臨床検査技師, 理学療法士など	4.3
1 0	教育職	教員(幼稚園教諭を含む)	10.1
1 1	スポーツ関連	プロスポーツ選手, スポーツ・インストラクター, コーチ, 指導員など	1.4
1 2	運輸・通信職	運転手, 運転士, 車掌, 駅員, 郵便局員, パイロット, スチュワーデスなど	-
1 3	保安職	警察官, 消防署員, 自衛官, 海上保安官, ガードマンなど	-
1 4	農林漁業関連	農業, 漁業, 林業など	-
1 5	音楽芸能関連	俳優, 声優, タレント, 歌手, 女優, レポーターなど	2.9
1 6	芸術関連	画家, イラストレーター, マンガ家, デザイナー, カメラマン, ファッション・アドバイザー, インテリア・コーディネーターなど	8.7
1 7	その他	自営, 作家, ~ ~関係と記載の回答など	4.3
999	無回答		20.3

〔別表５〕

Q29. あなたは、将来、もし仕事をするとしたら、どのような仕事がしたいですか。「自動車整備の仕事」「自衛官」「幼稚園の先生」「システム・エンジニア」「美容師」「看護婦」「会社の事務員」など、できるだけ具体的に答えてください。
(N= 6)

コード	分類	例	%
0 1	会社事務職	事務員, オペレーターなど.....「会社員」「サラリーマン」のみの記載を含む	-
0 2	公務事務職	事務など.....「公務員」のみの記載を含む/「事務」とのみ記載の場合には, 「1」にコーディング	-
0 3	販売営業職	デパート・スーパー・小売店・卸売店の店員, セールスマン, 保険外交員, 新聞配達員, タレントのマネージャーなど	-
0 4	サービス職	旅行添乗員, 喫茶店の店員やレストランのウェイター, ホテルフロント, ソムリエ, トリマー, 遊園地グラウンドホステスなど	-
0 5	技能職	自動車整備士, 大工, 理美容師, 調理師, 菓子職人, 植木職人など	50.0
0 6	労務職	工員, 作業員など	16.7
0 7	専門技術職	一般技術者, プログラマー, システムエンジニア, システムアドミニストレーター, テレビ局カメラマン, 裁判官, 弁護士, 会計士, アナウンサー, 栄養士, 建築士, 図書館司書など	-
0 8	福祉職	介護福祉士, 手話通訳, ホームヘルパー, ケースワーカー, カウンセラー, 保母(保育士)など	-
0 9	医療職	医師 看護婦, 薬剤師, 臨床検査技師, 理学療法士など	-
1 0	教育職	教員(幼稚園教諭を含む)	-
1 1	スポーツ関連	プロスポーツ選手, スポーツ・インストラクター, コーチ, 指導員など	-
1 2	運輸・通信職	運転手, 運転士, 車掌, 駅員, 郵便局員, パイロット, スチュワーデスなど	-
1 3	保安職	警察官, 消防署員, 自衛官, 海上保安官, ガードマンなど	-
1 4	農林漁業関連	農業, 漁業, 林業など	-
1 5	音楽芸能関連	俳優, 声優, タレント, 歌手, 女優, レポーターなど	-
1 6	芸術関連	画家, イラストレーター, マンガ家, デザイナー, カメラマン, ファッション・アドバイザー, インテリア・コーディネーターなど	-
1 7	その他	自営, 作家, ~ ~関係と記載の回答など	-
999	無回答		33.3

付録 八千代高校生徒調査質問項目対照表

		各回 質問 異同	第1回調査	第2回調査		第3回調査			備考
			1998年9月	2000年1月		2000年12月			
			1期生1年次	2期生1年次	1期生2年次	3期生1年次	2期生2年次	1期生3年次	
中学時代	出身中学所在地		Q1	Q1	F5	Q1	F5	F5	
	中学生活への取り組み		Q2	Q2		Q2			
	中学での役員経験		Q3	Q3	F6	Q3	F6	F6	
	中学時代の成績		Q4	Q4	F7	Q4	F7	F7	
高校受験に際して	高校説明会参加の有無		Q5	Q5	Q4	Q5	Q4		
	八千代高校受験決定時期		Q6	Q6	Q5	Q6	Q5		
	受験決定時、八千代高校にひかれたこと		Q7	Q7		Q7			
	八千代高校受験決定主体		Q8	Q8	Q6	Q8	Q6		
	参考にした意見		Q8 - SQ	Q8 - SQ		Q8 - SQ			
	父母の賛否とその理由		Q9	Q9		Q9			
	入学についての希望の度合い		Q10	Q10	Q7	Q10	Q7	Q4	
	総合学科が受験の契機となった度合い		Q11	Q11	Q8	Q11	Q8	Q5	
	総合学科であることを魅力に感じた度合い		Q12	Q12	Q9	Q12	Q9	Q6	
推薦 一般入試の別		Q13	Q13	Q10	Q13	Q10	Q7		
高校生活全般	高校生活の過ごし方		Q14	Q14	Q2	Q14	Q2	Q2	
	学校生活にける割合		Q22	Q24	Q3	Q24	Q3	Q3	
	高校生活の実際				Q1		Q1	Q1	
	資格取得の状況		Q23	Q25	Q19	Q25	Q19	Q12	
	資格取得勧誘状況	×	Q24						
総合学科であることについて	日常、「総合学科」を意識する度合い		Q15	Q15	Q11	Q15	Q11	Q8	
	主として科目を選択している系列		Q16	Q16	Q12	Q16	Q12	Q9	
	系列と選択科目数への満足度		Q16S (a)	Q16S (a)	Q15 (b)	Q16S (b)	Q15 (a)		a~ b- 2タイプの質問あり
	科目選択時に重視すること(したこと)		Q17 (a)	Q17 (b)		Q17 (b)			a~ b- 2タイプの質問あり
	選択科目についての受けとめ方		Q18 (a)	Q18 (b)	Q13 (c)	Q18 (b)	Q13 (c)		a~ c- 3タイプの質問あり
	選択してよかったと思う「選択科目」の割合	×						Q11	3年のみ
	設置 設定が望まれるその他の系列 科目		Q19	Q19	Q16	Q19	Q16		
「産業社会と人間」について			Q20		Q20				

付録 八千代高校生徒調査質問項目対照表

		各回 質問 異同	第1回調査	第2回調査		第3回調査			備考
			1998年9月	2000年1月		2000年12月			
			1期生1年次	2期生1年次	1期生2年次	3期生1年次	2期生2年次	1期生3年次	
八千代高校 総合学科に 関する認識・ 評価	八千代高校についての認識		Q20	Q21	Q17	Q21	Q17	Q30	2000年調査削除項目あり
	授業に関する認識			Q22 (a)	Q14 (b)	Q22 (a)	Q14 (b)	Q10 (b)	a~b - 2タイプの質問あり
	入学したことについての評価 / 長所 短所		Q21	Q23	Q18	Q23	Q18	Q17	
	高校生活に対する満足度	×						Q13	3年のみ
	退学を考えたことの有無とその理由	×						Q14	3年のみ
	八千代高校総合学科で魅力的だったこと	×						Q15 / Q16	3年のみ
	学んだことの意義	×						Q18	3年のみ
学んだことを生かす意志	×						Q19	3年のみ	
卒業後の進路	卒業後の進路		Q25	Q26	Q20	Q26	Q20	Q20	
	就職志望者 就職志望決定時期				Q21		Q21	Q21	
	就職志望者 就職内定状況	×						Q22	3年のみ
	就職志望者 内定就職先	×						Q23	3年のみ
	就職志望者 希望就職先の有無				Q22		Q22		
	進学志望者 進学志望決定時期				Q23		Q23	Q24	
	進学志望者 希望進学先		Q25 S 1	Q26 S 1	Q24	Q26 S 1	Q24	Q25	
	進学志望者 進学先で勉強してみたいこと		Q25 S 2	Q26 S 2	Q25	Q26 S 2	Q25	Q26	
	進学志望者 希望進学先の有無				Q26		Q26		
	進学志望者 将来の職業	×						Q27	3年のみ
	フリーター志望者 :フリーター志望の背景	×						Q28	3年のみ
フリーター志望者 将来の職業	×						Q29	3年のみ	
将来の職業についての見通し / その具体		Q26	Q27	Q27	Q27	Q27			
フェイス項目	性別		F1	F1	F1	F1	F1	F1	
	部活動所属			F2	F2	F2	F2	F2	
	学習塾 予備校通学状況		F2	F3	F3	F3	F3	F3	
	アルバイト実施の有無		F3	F4	F4	F4	F4	F4	
	父親 (保護者) 就業形態		F4	F5	F8	F5	F8	F8	
	父親 (保護者) 職種		F5	F6	F9	F6	F9	F9	

八千代高等学校見学会に参加して

< お 願 い >

寒い毎日が続きますが、元気に中学生生活をおくっていらっしやることと思います。

さて、このたび、私たち筑波大学教育社会学研究室では、1月31日(月)に八千代高校を見学された八千代一中の2年生の生徒の皆さんに対して、見学会に参加した感想などをうかがう調査をお願いすることになりました。

この調査は、八千代高校を見学した生徒の皆さんが、見学会でどのような感想をもったかということや、自分の進路についてどのように考えているかを調べて、八千代高校をはじめ、高等学校の今後のあり方を考えていこうというものです。たいせつな時間を使わせてしまって申し訳ありませんが、どうぞ、調査にご協力ください。

なお、回答はすべて数字になおして、コンピュータで処理しますので、だれがどのように答えたかはまったくわからないようになっていきます。また、調査の結果を研究以外の目的に使うことはありません。テストのようなものではありませんので、安心して、事実や思っていること、考えていることをありのままに教えてください。

細かな質問もあって答えにくいかもしれませんが、どうぞよろしくご協力ください。お願いします。

2000年冬

筑波大学教育学系教育社会学研究室

担当：助教授 飯田 浩之

連絡先：〒305-8572

つくば市天王台1丁目1-1

TEL/FAX 0298-53-4599

まず、1月31日(月)に行われた八千代高校見学会についての感想をお聞きます。

Q1. あなたは、八千代高校の見学会を、どの程度、楽しみにしていましたか。あてはまるところの番号に をつけてください。

- 1. とても楽しみにしていた。 15.7
- 2. まあ楽しみにしていた。 50.5
- 3. あまり楽しみにしていなかった。 23.0
- 4. まったく楽しみにしていなかった。 6.9

N・A 3.9

Q2. 八千代高校の見学会は、あなたにとってどんな意味がありましたか。次のそれぞれのことが、あなたにどの程度、あてはまるかを答えてください。

	す あ て は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り あ て は ま ら な い	ま あ て は ま ら な い	N A
*つぎのことがらは、あなたに・・・					
1. 高等学校では、どのような勉強をするかがわかった。	17.2	64.2	17.2	1.5	-
2. 高等学校が、どのようなふんいきのところがわかった。	29.9	50.5	17.6	1.0	1.0
3. 高校生の学校生活が、どのようなものであるかがわかった。	13.7	53.4	29.9	2.5	0.5
4. 高等学校が、身近に思われるようになった。	23.0	41.7	32.8	2.5	-
5. 自分もがんばって、高等学校に進学したくなった。	55.4	31.4	11.8	1.0	0.5
6. 八千代高校総合学科の他に、高等学校にはどんな学校や学科があるのかを知りたくなった。	29.4	41.7	19.1	9.3	0.5
7. 八千代高校総合学科の他に、もっと、いろいろな学校や学科を見学してみたくなった。	38.2	32.8	21.6	6.4	1.0
8. 「総合学科」がどのような学科かがわかった。	32.8	44.6	21.1	1.5	-

Q3. 見学会から帰った後、見学会のことや高校のこと、進学や受験のことを、(A)お父さんやお母さんと話しましたか。また、(B)友だちと話しましたか。

(A) お父さんやお母さんと・・・

- 1. たくさん、話した。 14.7
- 2. まあ、話した。 42.2
- 3. あまり、話さなかった。 29.4
- 4. まったく、話さなかった。 13.2

N・A 0.5

(B) 友だちと・・・

- 1. たくさん、話した。 14.7
- 2. まあ、話した。 36.8
- 3. あまり、話さなかった。 37.7
- 4. まったく、話さなかった。 9.3

N・A 1.5

Q4. 八千代高校の見学会は、あなたにとって、ためになりましたか。なりませんでしたが。

- 1. とても、ためになった。 29.4
- 2. まあ、ためになった。 57.8
- 3. あまり、ためにならなかった。 8.8
- 4. まったく、ためにならなかった。 3.4

N・A 0.5

Q 5 . 見学会で印象に残っているのは何ですか。次のなかから二つ選び、その番号に をつけてください。 (二つに)

- | | | | |
|------------------|------|-----------------|------|
| 1 . 八千代高校についての説明 | 34.3 | 5 . 部活動体験および見学 | 52.0 |
| 2 . 総合学科についての説明 | 45.1 | 6 . 八千代高校の施設や設備 | 14.2 |
| 3 . 授業参観 | 39.2 | 7 . 八千代高校の生徒や先生 | 8.3 |
| 4 . 質疑応答 | - | 8 . その他 { 何ですか | - |

次に、見学会に参加した感想を、もう少し詳しくお聞きします。

Q 6 . 八千代高校を見学してみて、八千代高校のどこに魅力(みりょく)を感じましたか。次にあげるそれぞれについて、どの程度、魅力を感じたかを答えてください。

* 八千代高校を見学してみて次のことに……	とても魅力を感じた	まあ魅力を感じた	あまり魅力を感じなかった	まったく魅力を感じなかった	N A
1 . 選択科目の数の多さ	36.8	43.1	18.1	1.0	1.0
2 . 選択科目の内容	19.1	53.4	23.5	2.9	1.0
3 . 自分自身でつくる自分の時間割	57.8	29.4	9.8	2.5	0.5
4 . 少人数の授業	33.8	34.8	22.5	8.3	0.5
5 . 実習や実験など、体験的な学習を取り入れた授業	34.3	42.2	20.6	2.5	0.5
6 . 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	28.9	44.1	23.0	3.4	0.5
7 . 卒業後の就職のしやすさ	26.5	48.5	22.1	2.5	0.5
8 . 卒業後の進学のしやすさ	20.1	51.5	23.5	4.4	0.5
9 . いろいろな資格のとりやすさ	45.6	39.7	13.7	0.5	0.5
10 . 「落第(らくだい)」のない「単位制(たんいせい)」という仕組み	41.7	35.8	16.2	5.4	1.0
11 . さまざまな施設や設備	41.2	38.2	16.7	2.9	1.0
12 . 学校内の雰囲気	14.2	42.2	36.3	6.9	0.5
13 . 部活動	36.8	34.3	23.5	4.9	0.5
14 . 推薦入試による生徒の募集	19.6	43.6	31.9	4.4	0.5
15 . 通学のしやすさ	40.7	37.3	18.6	2.9	0.5

Q 7 . 前の質問にあげた 1 ~ 15のうちで、特に魅力的(みりょくてき)だったことは何ですか。魅力的だったことから順に3つ選び、その番号を回答欄(かいとうらん)に書いてください。

回 答 欄	一番、魅力的だったこと	次に、魅力的だったこと	その次に魅力的だったこと
Q 6 の項目番号	別 表 1		

Q 8 . 全体的に判断して、八千代高校は、あなたにとって魅力(みりょく)のある学校ですか。それとも魅力のない学校ですか。

- | | |
|------------------|------|
| 1 . とても、魅力のある学校 | 16.2 |
| 2 . まあ、魅力のある学校 | 38.7 |
| 3 . どちらともいえない | 32.8 |
| 4 . あまり、魅力のない学校 | 8.8 |
| 5 . まったく、魅力のない学校 | 3.4 |

N・A -

Q 9 . 見学会で授業を参観しましたが、参観した授業のなかで、あなたが、一番、興味(きょうみ)をもったのは、どの授業ですか。一つだけ選んで番号に をつけてください。 (一つだけ)

- | | | | |
|-----------|------|------------|---------|
| 1 . 国語表現 | 7.8 | 5 . 英語 | 7.4 |
| 2 . 自動車整備 | 31.4 | 6 . 社会福祉基礎 | 13.7 |
| 3 . 文書処理 | 20.6 | 7 . 簿記 | 6.9 |
| 4 . 生物 | 6.4 | | N・A 5.9 |

Q 10 . 八千代高校が「総合学科」の高校だということを、あなたは、いつ、知りましたか。

- | | |
|------------------------|------|
| 1 . 学校で見学が決まる前に知っていた。 | 77.9 |
| 2 . 学校で見学が決まった時に知った。 | 12.7 |
| 3 . 見学にきて説明を聞いて始めて知った。 | 8.3 |

N・A 1.0

Q 11 . あなたからみて、八千代高校で「もっとこんなことが学べたらいいのに」あるいは「もっとこんな科目があったらいいのに」というものがありますか。ありましたら、下の欄に自由に書いてください。

回答あり 21.1	
-----------	--

Q 12 . あなたは、今の時点で、八千代高校を受験したいと思いますか。思いませんか。

- | | |
|-------------------|------|
| 1 . ぜひ、受験したい。 | 9.8 |
| 2 . まあ、受験したい。 | 20.1 |
| 3 . どちらともいえない。 | 39.7 |
| 4 . あまり、受験したくない。 | 12.7 |
| 5 . まったく、受験したくない。 | 16.7 |

N・A 1.0

Q 13 . その他、八千代高校を見学して思ったことや考えたことを、下の欄に自由に書いてください。

回答あり 64.7	
-----------	--

次に、あなたの学校生活や中学卒業後の進路について、お聞きします。

Q14. 次のことは、あなたにどの程度、あてはまりますか。

	す ご く は ま る	ま あ て は ま る	あ ま り は ま ら な い	ま あ て は ま ら な い	N A
* 次のことは、今のあなたに……					
1. 楽しく授業を受けている。	15.7	55.4	23.5	4.4	1.0
2. 授業の内容がよくわかる。	7.8	47.1	36.8	7.4	1.0
3. 予習・復習をしたり、わからないところを自分で調べたり、積極的に勉強している。	3.4	21.1	49.5	24.5	1.5
4. 学校の授業の予習・復習の他に、高校受験のために特別の勉強をしている。	5.4	19.6	38.2	35.8	1.0
5. 選択の授業が好き。	63.7	23.5	9.3	2.0	1.5
6. 教科によって勉強の好き嫌いが大きい。	43.1	29.9	21.1	4.4	1.5
7. 教科によって勉強の出来、不出来が大きい。	40.7	35.8	19.1	2.5	2.0
8. 運動関係の部(クラブ)活動でがんばっている。	47.1	21.1	7.4	20.6	3.9
9. 文化関係の部(クラブ)活動でがんばっている。	18.1	7.8	8.3	52.5	13.2
10. 学校の委員会活動に熱心に取り組んでいる。	27.9	42.6	24.0	3.9	1.5
11. 学校の規則を守っている。	34.8	41.7	20.1	2.0	1.5
12. 英語検定や珠算の検定など技能検定で級や段をとっている。	30.9	14.7	9.3	43.6	1.5
13. 個人で校外のコンクールや大会などに参加している。	6.9	6.9	14.2	70.1	2.0
14. 学校でやっている活動以外に、個人でボランティアなど社会のための活動をしている。	3.4	7.8	21.1	66.7	1.0
15. イラストやマンガ、アニメ、ゲーム、釣りなど、趣味の活動に夢中になっている。	44.6	24.5	15.7	14.2	1.0
16. ゲームセンターなど校外の遊び場でよく遊んでいる。	16.7	27.9	36.3	18.1	1.0

Q15. あなたは、中学卒業後、どのような進路に進みたいと考えていますか。

1. 高校(高等専門学校を含む)に進学する。 94.6
 2. 就職する。 3.9
 3. その他 { どのような進路ですか } 1.0
- 次の質問(Q16)へ
- N・A 0.5

次のSQ1～SQ2には、上の質問(Q15)で「1」に をつけた人だけが答えてください。

SQ1. 進学したいと思っている学科は、どういった学科ですか。(N=193)

1. 普通科 44.6 6. その他の専門学科 2.1
 2. 商業関係の学科 3.1 { どのような学科ですか }
 3. 工業関係の学科 10.4
 4. 農業関係の学科 1.0 7. 総合学科 10.4
 5. 福祉関係の学科 3.1 8. まだ、わからない 19.7 N・A 5.7

前のページからの続きです。

SQ2. 高校を卒業した後、どのような進路に進みたいと考えていますか。(N=193)

1. 大学や短大に進学したいと思っている。 22.8
 2. 専門学校に進学したいと思っている。 19.2
 3. 就職したいと思っている。 24.9
 4. まだ、わからない。 23.8

N・A 9.3

Q16. あなたは、自分の「将来の職業」のことを、どの程度に考えていますか。考えている場合、それはどういった職業ですか。〔 〕の中に、できるだけ具体的に書いてください。

1. 具体的に考えている。 — 24.5
 2. ぼんやりと考えている。 — 32.4
 3. 考えていない。 36.3
- 別表 2

N・A 6.9

最後に、あなた自身のことをうかがいます。

F1. あなたの性別は

1. 男 52.9 2. 女 47.1 N・A -

F2. あなたは、今、学習塾(習い事やおけいごとは除く)に通っていますか。

1. 通っている。 38.2 2. 通っていない。 61.8 N・A -

F3. あなたは、今、通信添削の勉強をしていますか。

1. している。 27.5 2. していない。 71.6 N・A 1.0

F4. あなたは、学校の勉強に、どのくらい自信をもっていますか。

1. とても自信をもっている。 2.5
 2. まあ自信をもっている。 14.7
 3. どちらともいえない。 41.7
 4. あまり自信をもっていない。 28.9
 5. まったく自信をもっていない。 11.8

N・A 0.5

F5. あなたは、中学に入ってから、クラスや生徒会、部などの役員をしたところがありますか。それぞれについて答えてください。

中学に入学してからこれまでに、次の役員をしたことが……

- A. 生徒会執行部の役員や委員会の委員長、副委員長・(1. ある 4.9 2. ない 95.1)
 { 会長、副会長、書記、保健委員長など } N・A -
- B. クラスの役員(代表)……(1. ある 27.5 2. ない 72.5)
 { 学級委員、評議員、クラス代表など } N・A -
- C. 部の役員……(1. ある 23.0 2. ない 76.0)
 { 部長、副部长、主将など } N・A 1.0
- D. 立志、文化祭、合唱、宿泊学習などの実行委員……(1. ある 36.8 2. ない 63.2)
 N・A -

長い間、ありがとうございました。

〔別表1〕

Q7. 前の質問にあげた1～15のうちで、特に魅力的（みりょくてき）だったことは何ですか。魅力的だったことを順に3つ選び、その番号を回答欄（かいとうらん）に書いてください。（N=204）

	一番，魅力的 だったこと・%	次に，魅力的 だったこと・%	その次に魅力的 だったこと・%
1. 選択科目の数の多さ	8.8	10.8	5.9
2. 選択科目の内容	1.5	3.4	3.9
3. 自分自身でつくる自分の時間割	23.0	14.2	10.8
4. 少人数の授業	6.4	11.8	7.4
5. 実習や実験など，体験的な学習を取り入れた授業	2.0	3.9	8.3
6. 将来の進路を入学後に考えられるゆとり	2.9	2.9	2.0
7. 卒業後の就職のしやすさ	3.9	6.4	3.9
8. 卒業後の進学のしやすさ	1.5	1.5	2.9
9. いろいろな資格のとりやすさ	6.9	12.3	11.3
10. 「落第（らくだい）」のない「単位制（たんいせい）」という仕組み	4.9	4.9	11.8
11. さまざまな施設や設備	3.9	8.3	9.8
12. 学校内の雰囲気	1.5	2.0	1.5
13. 部活動	19.1	5.4	5.9
14. 推薦入試による生徒の募集	1.5	1.5	2.0
15. 通学のしやすさ	6.4	4.9	6.4
無回答	5.9	5.9	6.4

〔別表2〕

Q16. あなたは，自分の「将来の職業」のことを，どの程度に考えていますか。考えている場合，それはどういった職業ですか。〔 〕の中に，できるだけ具体的に書いてください。（N=116）

	分 類	%		分 類	%
1	公務員，会社員	2.6	9	調理・料理関連の仕事	3.4
2	医師，弁護士，教師，薬剤師， 税理士	6.0	10	動物関連の仕事	2.6
3	保母	4.3	11	音楽，美術，デザインなど芸術関連 の仕事	6.0
4	看護・福祉関係の仕事	6.9	12	プロ・スポーツ選手，芸能関連の 仕事	7.8
5	工業，電気，建築，コンピュータ 関連の仕事	9.5	13	農業／園芸関係の仕事	2.6
6	自動車関連の仕事	0.9	14	その他	10.3
7	デザイナー，スタイリストなど服飾 関連の仕事	4.3	15	無回答	20.7
8	美容師	12.1			

平成10～12年度 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)
研究成果報告書

課題番号 10610229

高等学校総合学科の定着過程に関する追跡研究
2001(平成13)年3月

研究代表者 飯田浩之

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1丁目1-1
筑波大学教育学系

印刷 株式会社 いなもと印刷